

法 学 部

履 修 要 項

( 講 義 内 容 )

1995 (平成7) 年度

駒澤大學

# 学 年 暦

## 前 期

4月8日(土)	入学式	25日(月)	外国語指定届受付(仏教・文<除英米文>・法学部・短大国文・英文の1年次生)
10日(月)	} 新入生オリエンテーション	}	
}		29日(金)	秋季健康診断(卒業年次生以外対象)
12日(水)	} 在校生身分証明登録	26日(火)	専攻コース指定届受付
10日(月)		27日(水)	(歴史・社会学科の1年次生)
}		26日(火)	前期終了科目追・再試験
15日(土)	} 在校生成績発表	}	(授業平常どおり)
10日(月)		10月2日(月)	第113回開校記念日
11日(火)		15日(日)	
10日(月)	体育実技Ⅱ受講届(種目選択届)	23日(月)	} 編入学試験願書受付
11日(火)	受付(学部2年次生)	}	
12日(水)	時事外国語受講届受付 (経済学部3年次生)	27日(金)	} 転部・転科試験願書受付
13日(木)	} 在校生成績質疑応答	11月13日(月)	
}		16日(木)	
19日(水)	} 前期授業開始	12月1日(金)	卒業論文受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)
13日(木)		}	
17日(月)		11日(月)	編入学・転部・転科試験
}	春季健康診断(卒業年次生対象)	3日(日)	冬季休業開始(1月7日まで)
21日(金)	} 履修届受付(土曜日は除く) (学部により受付日が異なる)	21日(木)	} 体育実技Ⅱ集中授業コース (学部2年次生)
20日(木)		}	
25日(火)	} 履修確認表配布及び履修届訂正期間	25日(月)	
5月23日(火)		平成8年	
24日(水)	} 卒業論文論題受付(仏教・文学部の4年次生)(締切日は正午まで)	1月8日(月)	後期授業再開
25日(木)		13日(土)	後期授業最終日
6月12日(月)	} 中間試験及び前期終了科目定期試験 (授業平常どおり)	16日(火)	} 定期試験(専門・基礎・教職科目)
7月14日(金)		}	
20日(木)		24日(水)	} 定期試験(一般・外国語・保健体育科目)
20日(木)	25日(木)		
21日(金)	前期授業最終日	31日(水)	} 定期試験欠試験(追試験申込)受付 締切
21日(金)	夏季休業開始(9月15日まで)	2月5日(月)	
21日(金)	} 体育実技Ⅱ集中授業コース (学部2年次生)	6日(火)	卒業論文口頭試問(仏教・文学部の4年次生)
25日(火)		}	16日(金)
25日(火)	前期終了科目定期試験欠試験(追試験申込)受付締切	17日(土)	} 体育実技Ⅱシーズン・コース(スキー)(学部2年次生)
9月4日(月)	} 補講期間	19日(月)	
}		8日(金)	}
23日(金)	} 追・再試験(学部4年次生・短大生)及び追試験(学部1~3年次生)	22日(木)	
22日(木)		}	
28日(水)		3月19日(火)	卒業生名簿発表
9月16日(土)	後期授業開始	25日(月)	卒業式
18日(月)	} 前期終了科目定期試験成績発表(質疑応答)及び再試験申込受付		
19日(火)		}	

## 後 期

### 授 業 時 間

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9:00~10:30	10:40~12:10	12:50~14:20	14:30~16:00	16:10~17:40

# 法 学 部

## 履 修 要 項

### (講 義 内 容)

I	単 位 制 と 学 年 制
II	卒 業 に 必 要 な 単 位 数
III	授 業 科 目 の 履 修 方 法
IV	履 修 科 目 の 登 録 (履 修 届) と そ の 作 成 順 序
V	試 験 及 び 成 績 評 価
VI	進 級 に つ い て
VII	教 職 課 程 ・ 資 格 講 座
VIII	事 務 取 扱 い に つ い て
IX	学 籍 に つ い て
X	既 修 得 単 位 の 認 定 に つ い て
XI	届 書 ・ 願 書 に つ い て
XII	各 種 証 明 書 取 扱 い 窓 口
	試 験 実 施 規 程 ( 抜 粋 )
	講 義 内 容
付	録 研 究 所 案 内 国 家 試 験 に つ い て



# 目 次

## I 単位制と学年制

1. 単位制と学年制 ..... (3)
2. 授業科目の単位数 ..... (3)
3. 授業科目の区分 ..... (3)

## II 卒業に必要な単位数

1. 卒業に必要な単位数 ..... (7)
2. 卒業及び学位記の授与 ..... (7)

## III 授業科目の履修方法

1. 一般教育科目の履修方法 ..... (11)
2. 外国語科目の履修方法 ..... (13)
3. 保健体育科目の履修方法 ..... (15)
4. 基礎教育科目の履修方法 ..... (16)
5. 専門教育科目の履修方法 ..... (16)
6. 他学部科目の履修方法 ..... (20)
7. 随意科目の履修方法 ..... (22)
8. 再履修科目の履修方法 ..... (22)
- ※「日本語」・「日本事情」科目の履修方法 ..... (22)

## IV 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

1. 履修科目の登録 ..... (25)
2. 履修届記入上の注意 ..... (27)
3. 履修届（時間割）の作成順序 ..... (28)
4. 授業時間 ..... (28)

## V 試験及び成績評価

1. 定期試験 ..... (31)
2. 中間試験 ..... (31)
3. 追・再試験 ..... (31)
4. 受験心得 ..... (32)
5. 成績評価・単位認定 ..... (32)
6. 試験時間 ..... (33)
7. 成績発表 ..... (33)

VI	進級について .....	(37)
VII	教職課程・資格講座 .....	(41)
VIII	事務取扱いについて	
	1. 事務室の事務受付時間 .....	(45)
	2. 休 講 .....	(45)
	3. 掲示・連絡 .....	(45)
	4. 問い合わせ .....	(45)
IX	学籍について	
	1. 修業年限と在学年数 .....	(49)
	2. 休 学 .....	(49)
	3. 復 学 .....	(49)
	4. 退 学 .....	(50)
	5. 除 籍 .....	(50)
	6. 懲 戒 .....	(50)
	7. 編 入 学 .....	(50)
	8. 再 入 学 .....	(50)
	9. 転部・転科 .....	(50)
	10. 留 学 .....	(51)
	11. 学生氏名・保証人 .....	(51)
	12. 学生番号 .....	(51)
X	既修得単位の認定について .....	(55)
XI	届書・願書について .....	(59)
XII	各種証明書取扱い窓口 .....	(63)
	試験実施規程（抜粋） .....	(67)
	講 義 内 容 .....	(69)
	付 録	
	研究所案内 .....	(付1)
	国家試験について .....	(付2)

# I 単位制と学年制





# I 単位制と学年制

## 1. 単位制と学年制

大学では単位制が採用されている。単位制とは、授業科目を履修して試験に合格することにより、各授業科目ごとに定められている単位を修得する制度である。また、学年制とは、単位制に基づく学修過程を第1学年から第4学年の段階を追って計画的に修学し、一定の単位を修得すれば上級学年に進級していく制度である。

本学では、授業科目の履修と単位の修得を体系的、かつ合理的に進められるように単位制と学年制を併用した教育システムを採用している。

※ 進級についての基準はP.37を参照のこと。

## 2. 授業科目の単位数

各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果・授業時間外に必要な学修等を考慮して大学設置基準を基に学則において定めている。

## 3. 授業科目の区分

授業科目は次のように区分される。

- |           |                          |           |
|-----------|--------------------------|-----------|
| 1. 一般教育科目 | (人文分野・社会分野・自然分野) ……………   | 選択必修科目    |
| 2. 外国語科目  | (第1外国語・第2外国語) ……………      | 選択必修科目    |
| 3. 保健体育科目 | (講義・実技) ……………            | 必修科目      |
| 4. 基礎教育科目 | (専門教育科目の基礎となる科目) ……………   | 必修科目      |
| 5. 専門教育科目 | (専門的知識を内容とする科目) ……………    | 必修科目・選択科目 |
| 6. 他学部科目  | (履修可能な他学部公開設置科目) ……………   | 選択科目      |
| 7. 随意科目   | (卒業に必要な単位に含まれない科目) …………… | 選択科目      |

- ※ 必修科目 …… 必ず履修しなければならない科目  
選択必修科目 …… 数科目の中から所定の科目数又は単位数を選び、必ず履修しなければならない科目  
選択科目 …… 自由に選び履修できる科目



## Ⅱ 卒業に必要な単位数



## Ⅱ 卒業に必要な単位数

### 1. 卒業に必要な単位数

授 業 科 目 の 区 分		科 目 数	修 得 単 位	計	合 計
一 般 教 育 科 目	人 文 分 野	4	16	36	} 142以上
	社 会 分 野	3	12		
	自 然 分 野	2	8		
外 国 語 科 目	第 1 外 国 語	4	8	12	
	第 2 外 国 語	2	4		
保 健 体 育 科 目	講 義	1	2	4	
	実 技	2	2		
基 礎 教 育 科 目		1	4	4	
専 門 教 育 科 目	必 修	12	48	86	
	選 択		38		

### 2. 卒業及び学位記の授与

大学に4年以上（7年を超えてはならない）在学し、卒業に必要な単位を修得した者には、卒業証書・学位記が授与され、次の学士の学位が与えられる。

法学部 { 法律学科 …… 学 士 (法律学)  
 政治学科 …… 学 士 (政治学)



### Ⅲ 授業科目の履修方法





### Ⅲ 授業科目の履修方法

※ 北海道教養部では、授業科目等に多少の変更を生ずる場合がある。

#### 授業科目履修上の注意

- イ. 授業科目は、教授会の定めるところに従い各学年に配当する。
- ロ. 授業時間表の備考欄に番号が示されている科目は、各自の学生番号に該当するクラスで履修すること。ただし、再履修又は指定された学年で履修できなかった場合はこの限りではない。
- ハ. 各学年に配当された授業科目は、当該学年に限り履修することができる。ただし、下級学年に配当された授業科目を上級学年において履修することはさしつかえない。
- ニ. 各学年の履修科目数の最低及び最高限度は、教授会の定めるところによる。
- ホ. 一度単位の認定を受けた授業科目は、再度履修することはできない。

#### 1. 一般教育科目の履修方法

- イ. 一般教育科目は1年次及び2年次の2年間に人文分野・社会分野・自然分野の各分野から定められた科目数・単位数を履修しなければならない。
- ロ. 「宗教学Ⅰ」を1年次、「宗教学Ⅱ」を2年次の必修科目とする。
- ハ. 2年次までに所定の科目数・単位数を修得していなければならない。

#### 法 律 学 科

人文分野	4 科目	計16単位	}	合計 9 科目	36 単位
社会分野	3 科目	計12単位			
自然分野	2 科目	計 8 単位			

分 野	授 業 科 目	単 位	履 修 科 目 数	修 得 単 位	計	備 考
人文分野	宗教学Ⅰ（1年次必修）	4	「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」の 2科目を含めて 4科目選択必修	16	}	
	宗教学Ⅱ（2年次必修）	4				
	哲 学	4				
	論 理 学	4				
	倫 理 学	4				
社会分野	法 学 憲 法 (日本国憲法2単位を含む)	4	3科目選択必修	12	}	教員免許状を 取得しようとする ものは「法学 憲法」を必修と する。
	政 治 学	4				
	経 済 学	4				
	社 会 学	4				
	統 計 学	4				
自然分野	自 然 科 学 概 論	4	2科目選択必修	8	}	
	地 学	4				
	心 理 学	4				
	コ ン ピ ュ ー タ 概 論	4				
	生 物 学	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は水曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

※「コンピュータ概論」を受講（人数 100名）希望する者は、最初の授業で『履修届』用紙に担当教員の捺印を必ず受けること。（最初の授業教場で先着順にて履修者を決定する。）

## 政治学科

人文分野	4科目	計16単位	} 合計 9科目 36単位
社会分野	3科目	計12単位	
自然分野	2科目	計8単位	

分野	授業科目	単位	履修科目数	修得単位	計	備考
人文分野	宗教学Ⅰ（1年次必修）	4	} 「宗教学Ⅰ」・ 「宗教学Ⅱ」の 2科目を含めて 4科目選択必修	16	} 36	教員免許状を 取得しようとする ものは「法学 憲法」を必修と する。
	宗教学Ⅱ（2年次必修）	4				
	哲学	4				
	論理学	4				
	倫理学	4				
	文化学	4				
社会分野	法学憲法 （日本国憲法2単位を含む）	4	} 3科目選択必修	12	} 36	教員免許状を 取得しようとする ものは「法学 憲法」を必修と する。
	法学	4				
	経済学	4				
	社会学	4				
	統計学	4				
	文化人類学	4				
自然分野	自然科学概論	4	} 2科目選択必修	8	} 36	
	地理学	4				
	心理学	4				
	コンピュータ概論	4				
	生物	4				

※「宗教学Ⅰ」の授業は水曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

※「コンピュータ概論」を受講（人数 100名）希望する者は、最初の授業で『履修届』用紙に担当教員の捺印を必ず受けること。（最初の授業教場で先着順にて履修者を決定する。）

## 2. 外国語科目の履修方法

外国語科目は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語の6か国語が開講されている。これらのうち英語と入学手続の際に指定した英語以外の外国語の2か国語を履修することになる。その2か国語を1年次及び2年次において必要な科目数・単位数を必ず履修しなければならない。

履修年次	第1外国語		第2外国語		計	
	科目数	単位数	科目数	単位数	科目数	単位数
1年次	2	4	2	4	4	8
2年次	2	4	—	—	2	4
計	4	8	2	4	6	12

### 1年次の履修

6か国語のうち英語 I A・I B の2科目と、入学手続の際に指定した英語以外の外国語 I A・I B の2科目の計4科目8単位を必修とする。

授業科目	単位	科目内容	履修科目数
英語 I A	2		I A・I B の2科目を必修とする。ただし I A は「英会話 I (定員40名)」または「英語 LL I (定員30名)」に振り替えることができる。なお、振り替えを希望する者は、最初の授業に『履修届』用紙を持参し、担当教員の捺印を必ず受けること。
英語 I B	2		
英会話 I	2		
英語 LL I	2	視聴覚教材を使用した語学教育	
ドイツ語 I A	2	文法	5か国語のうちから入学手続の際指定した1か国語 I A・I B の2科目を必修とする。
ドイツ語 I B	2	講読	
フランス語 I A	2	文法	
フランス語 I B	2	講読	
中国語 I A	2		
中国語 I B	2		
スペイン語 I A	2		
スペイン語 I B	2		
ロシア語 I A	2		
ロシア語 I B	2		

#### ※ 英語科目内容

英語 I A：意思表現と意思伝達の基礎を把握する。

英語 I B：講読を通し、内容と文構造の基本を把握する。

#### ※ LL……ランゲージ・ラボラトリー

※「英語 I B」の授業は水曜日に玉川校舎（道順は学生部で配布の「学生手帳」を参照）で行う。

## 2年次の履修

1年次で履修した2か国語のうち、いずれかを第1外国語としてⅡA・ⅡBの2科目4単位を必修とする。

授 業 科 目	単 位	科 目 内 容	授 業 科 目	単 位	科 目 内 容
英 語 Ⅱ A	2		中 国 語 Ⅱ A	2	
英 語 Ⅱ B	2		中 国 語 Ⅱ B	2	
ド イ ツ 語 Ⅱ A	2	講 読	ス ペ イ ン 語 Ⅱ A	2	
ド イ ツ 語 Ⅱ B	2	講 読	ス ペ イ ン 語 Ⅱ B	2	
フ ラ ン ス 語 Ⅱ A	2	講 読	ロ シ ア 語 Ⅱ A	2	
フ ラ ン ス 語 Ⅱ B	2	講 読	ロ シ ア 語 Ⅱ B	2	

### ※ 英語科目内容

英語ⅡA：意思表現と意思伝達の能力を発展させ、応用力を修得する。

英語ⅡB：講読を通し、幅広い教養を修得する。

## 外国語科目履修上の注意

イ. 外国語科目の組分けは、すべて授業時間表で指定するので、学生は自己の学科・学生番号により該当するクラスで履修すること。

ロ. 1年次の9月25日(月)～29日(金)までの期間内に、現在履修の外国語(英語と他の1か国語)の中から2年次に履修する外国語(第1外国語)を指定し、登録すること。なお、登録後の変更はできないので、十分考慮の上行うこと。

また、登録をしない場合、外国語の履修ができなくなることもあるので、登録を必ず行うこと。

ハ. なお一層の語学教育を望む学生は、外国語随意科目を開講しているので進んで履修されたい。

ニ. 不合格科目の再履修については、別に定める(P.22参照)。

ホ. 2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

### 3. 保健体育科目の履修方法

保健体育科目は講義と実技に分かれ、講義は1年次に「保健体育理論」を1科目2単位、実技は1年次に「体育実技Ⅰ」を1科目1単位と2年次に「体育実技Ⅱ」を1科目1単位、計3科目4単位を必修とする。

	授 業 科 目	単 位	備 考
講 義	保健体育理論	2	1年次前期又は後期
実 技	体育実技Ⅰ	1	1年次通年
	体育実技Ⅱ	1	2年次前期又は後期

イ. 講義・体育実技Ⅰの授業は水曜日に玉川校舎で行う。

ロ. 講義・体育実技Ⅰが1年次不合格となった者は2年次において「再履修クラス」を履修し単位を修得する。

※ 体育実技Ⅰ（再履修クラス含む）の種目等の説明は、最初の授業に『体育実技受講要領』を配布して行うので、必ず出席すること。なお、当日の服装は、普段着でよい。

ハ. 体育実技Ⅱは次の授業形態のいずれかを履修し、単位を修得しなければならない。

A. 本校での前期又は後期の体育実技Ⅱの授業

B. 後期（冬季休業中）に実施される有料のシーズン・コースの授業

C. 前期（夏季休業中）又は後期（冬季休業中）に実施される玉川校舎での集中授業

ニ. 体育実技Ⅱが2年次不合格となった者は3年次において体育実技Ⅱを再び履修し、単位を修得する。

※ 体育実技Ⅱについての種目の説明、シーズン・コース及び集中授業等の申込み方法については、『体育実技受講要領』を参照すること。（受講要領配布については、掲示板参照。）

ホ. 講義・実技とも2年次までに所定の単位を修得していなければならない。

#### 4. 基礎教育科目の履修方法

基礎教育科目とは専門教育科目の基礎となる授業科目で、1年次において1科目4単位を必修とする。

##### 法律学科

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	法学概論	4	

##### 政治学科

履修年次	授業科目	単位	備考
1年次	基礎政治学	4	

#### 5. 専門教育科目の履修方法

専門教育科目は必修科目と選択科目とに分かれ、それぞれ定められた単位を修得することになっている。履修する授業科目の選択については、専門科目全般にわたって十分検討して履修すること。なお、一度単位を修得した授業科目については再度履修することはできない。

##### 法律学科

必修科目 (48単位)

1年次必修			3年次必修		
授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
憲法	4		刑法Ⅱ	4	各論
民法Ⅰ	4	総則	商法Ⅱ	4	商行為・手形・小切手法
2年次必修			民事訴訟法Ⅰ	4	判決手続
行政法Ⅰ	4	総論	4年次必修		
刑法Ⅰ	4	総論	刑事訴訟法	4	
民法Ⅱ(Ⅰ)	4	物権法			
民法Ⅲ(Ⅰ)	4	債権総論			
商法Ⅰ	4	総則・会社法			
国際法Ⅰ	4	総論・平時国際法			

# 法律学科

選 択 科 目 (38単位以上)

1 年 次 選 択			3 年 次 選 択			
授 業 科 目	単 位	備 考	授 業 科 目	単 位	備 考	
民 法 IV (1)	4	親 族	労 働 法	4		
2 年 次 選 択			税 法	4		
政 治 学 原 論	4		公 害 法	4	休 講	
マ・コミュニケーション論	4		社 会 保 障 法	4		
政 治 史	4		外 交 史	4		
法 思 想 史	4		国 際 法 II	4	戦時国際法	
経 済 原 論	4		国 際 私 法	4		
裁 判 法	4		時 事 英 語	4		
外 国 法	英 米 法	4	演 習	4		
	独 法	4	外 書 講 読	英 書	4	
	仏 法	4		独 書	4	
	社会主義法	4		仏 書	4	
3 年 次 選 択				中 国 書	4	
法 社 会 学	4		ス ペ イ ン 書	4		
行 政 学	4		4 年 次 選 択			
財 政 学	4		法 哲 学	4		
日 本 法 制 史	4		民 法 IV (2)	4	相 続	
西 洋 法 制 史	4		倒 産 法	4		
国 際 関 係 論	4		商 法 III	4	保 険 ・ 海 商	
経 済 政 策	4		知 的 財 産 権 法	4	※	
社 会 政 策	4		民 事 訴 訟 法 II	4	上 訴 ・ 民 事 執 行 法	
刑 事 政 策	4		政 治 思 想 史	4		
比 較 憲 法	4		演 習	4		
行 政 法 II	4	各 論	外 書 講 読	英 書	4	
民 法 II (2)	4	担 保 物 権		独 書	4	
民 法 III (2)	4	債 権 各 論		仏 書	4	
地 方 自 治 法	4			中 国 書	4	
経 済 法	4			ス ペ イ ン 書	4	

※「知的財産権法」は従前の「工業所有権法」を名称変更したものである。既に「工業所有権法」の単位を修得した学生は履修できない。(平成元年度から)

# 政治学科

必修科目 (48単位)

1 年 次 必 修			3 年 次 必 修		
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考
憲 法	4		政治社会学	4	
2 年 次 必 修			行 政 学	4	
政治学原論	4		国際政治学	4	
日本政治史	4		外 交 史	4	
経 済 原 論	4		政 治 制 度	4	
行政法 (総論)	4		4 年 次 必 修		
国 際 法	4		政治思想史	4	



政治学科

選択科目 (38単位以上)

1 年次選択			3・4年次選択			
授業科目	単位	備 考	授業科目	単位	備 考	
海外政治事情	東アジア圏	4	履修希望者は7地域圏より1科目選択履修すること。 (2科目履修は不可)	政治心理学	4	
	西 欧 圏	4		財 政 学	4	
	東 欧 圏	4		国 際 経 済 学	4	
	北 米 圏	4		日 本 法 制 史	4	
	中 近 東 圏	4		西 洋 法 制 史	4	
	アフリカ	4		西 洋 政 治 史	4	
	東南アジア圏	4		福祉国家論	4	休 講
中南米圏	4	休 講	経 済 政 策	4		
2 年次選択			社 会 政 策	4	休 講	
社会学原理	4		環 境 政 策	4	休 講	
マス・コミュニケーション論	4		刑 事 政 策	4		
比較社会構造論	4	休 講	比 較 憲 法	4		
刑 法	4	休 講	行 政 法 (各論)	4		
民 法	4		経 済 法	4		
外国法 (英米法)	4		商 法	4		
現代政治理論	4	休 講	労 働 法	4		
プロゼミ	2		比 較 政 治 学	4		
3 年次選択			財 政 史	4	休 講	
演 習	4		東 洋 政 治 史	4	休 講	
外書講読 I	英 書	4	国 際 関 係 論	4		
	独 書	4	国 家 安 全 保 障 論	4		
	仏 書	4	宣 伝 広 告 論	4		
	中 国 書	4	政 党 論	4		
	スペイン書	4	議 会 関 係 法	4		
4 年次選択			地 方 自 治 法	4		
演 習	4		国 際 取 引 法	4	休 講	
外書講読 II	英 書	4	出 入 国 管 理 論	4		
	独 書	4	時 事 英 語	4		
	仏 書	4	地 方 行 政	4	休 講	
	中 国 書	4	政 治 哲 学	4		
	スペイン書	4				

## 6. 他学部科目の履修方法

所属している学科以外の学科，他学部又は短期大学の授業科目の履修を希望する学生は，次の要領で履修することができる。

なお，履修に際しては授業科目担当教員の受講許可を必要とする。

### イ. 履修科目

他学部・他学科又は短期大学に開設されている授業科目のうち，他学部履修科目として公開された授業科目の中から所属学科が履修を認めた授業科目とする。（他学部履修科目一覧表P.21参照）

### ロ. 履修年次

3・4年次生を対象とし，授業科目開設学科の定める年次とする。

### ハ. 履修科目数

履修できる科目数は，卒業までに3科目12単位以内とする。

なお，その履修科目は所属学科の履修制限科目数に含める。

### ニ. 履修方法

(1) 『履修要項』の講義内容を参考に，『他学部履修科目授業時間表』の中から履修科目を選択し，『他学部履修願』用紙に必要事項を記入の上，最初の授業に出席し担当教員の受講許可を受ける。

なお，『他学部履修科目授業時間表』及び『他学部履修願』用紙は，教務部⑩番窓口で配布する。

(2) 『履修届』に記入し，『履修許可書』を添えて，所定の期日（履修届提出時）に提出すること。

### ホ. 履修登録上の注意

(1) 所属学科の開設科目は，他学部科目として履修登録できない。

(2) 他学部科目は，『他学部履修科目授業時間表』に記載の専用コード（005…）で登録すること。

(3) 同一名称（開設学科が異なる）の授業科目は，1科目のみ履修することができる。

### ヘ. 再履修

他学部科目が不合格となり再度履修を希望する場合は，改めて前項の手続きを経なければならない。

なお，再履修の取扱いについては『再履修科目の履修方法』（P.22）を参照のこと。

### ト. 単位認定

修得した単位は，所属学科の専門教育科目の選択科目の単位として認定し，卒業所要単位に算入することができる。

他学部履修科目一覧表

開設学科	授業科目	単位	履修年次	備考	開設学科	授業科目	単位	履修年次	備考	
禅学 科	禅学特講Ⅰ	4	3・4		経済 学 科	ロシア・東欧経済論	4	3・4	※イ	
	禅学特講Ⅱ	4	3・4			国民所得論	4	3・4		
	禅学特講Ⅲ	4	3・4			中国経済論	4	3・4		
	禅学特講Ⅳ	4	3・4			アジア経済論	4	3・4		
	禅学思想史	4	3・4			日本経済史	4	3・4		
	哲学史	4	3・4			中小企業論	4	3・4		
仏教 学 科	インド仏教史	4	3・4			教育経済論	4	3・4		
	中国仏教史	4	3・4			アメリカ経済論	4	3・4		
	日本仏教史	4	3・4			商 学 科	財務会計論	4	3・4	
	日用経典	4	3・4				管理会計論	4	3・4	
	仏教美術	4	3・4		会計監査論		4	3・4		
	現代哲学概説	4	3・4		商業政策		4	3・4		
国 文 学 科	上代文学	4	3・4		貿易論		4	3・4		
	中世文学	4	3・4		マーケティング		4	3・4		
	近世文学	4	3・4		原価計算論		4	3・4	休講	
	近代文学	4	3・4		労務管理論		4	3・4		
	中国文学	4	3・4		法 律 学 科		民法Ⅳ(1)	4	3・4	法律学科除く
	英 米 文 学 科	英文学特講Ⅰ	4	3・4				民法Ⅳ(2)	4	4
英文学特講Ⅱ		4	3・4			政 治 学 科	西洋政治史	4	3・4	政治学科除く
英文学特講Ⅲ		4	3・4				宣伝広告論	4	3・4	政治学科除く
英文学特講Ⅳ		4	3・4				比較社会構造論	4	3・4	政治学科除く 休講
英文学特講Ⅴ		4	3・4				政党論	4	3・4	政治学科除く
英文学特講Ⅵ		4	3・4			経 営 学 科	国際経営論	4	3・4	休講
英米演劇特講		4	3・4				経営統計	4	3・4	休講
米文学特講Ⅰ		4	3・4				保険経営論	4	3・4	
米文学特講Ⅲ	4	3・4		財務会計論			4	3・4		
地 理 学 科	地質学	4	3・4		経営分析論		4	3・4	休講	
	人口地理学	4	3・4		税務会計論		4	3・4		
	応用地理学Ⅰ	4	3・4		経営労務論		4	3・4	休講	
	文化地理学	4	3・4		商業史		4	3・4		
歴 史 学 科	日本仏教史Ⅱ	4	3・4	休講	経営情報論		4	3・4		
	日本史特講Ⅶ(近代)	4	3・4		情報理論		4	3・4		
	東洋史特講Ⅹ(近・現代)	4	3・4		短 大 国 文 学 科	国文講読Ⅰ(上代)	2	3・4		
	西洋文化史Ⅰ	4	3・4			国文講読Ⅱ(中古)	2	3・4		
	歴史哲学	4	3・4			国文講読Ⅲ(中世)	2	3・4		
	哲学史	4	3・4			国文講読Ⅳ(近世)	2	3・4		
	日本民俗学	4	3・4			国文講読Ⅴ(近・現代)	2	3・4		
産業社会学	4	3・4		国文特講Ⅴ(近・現代)		4	3・4			
社 会 学 科	都市社会学	4	3・4		短 英 文 大 科	英文タイプライティングⅡ	2	3・4	※ロ	
	社会福祉発達史	4	3・4			短 放 射 線 大 科	計算機言語概論	2	3・4	半期科目 ※ロ

※イ。「ロシア・東欧経済論」については、「ソビエト経済論」(旧名称)の単位を既に修得している学生は履修できない。

※ロ。「英文タイプライティングⅡ」、「計算機言語概論」については、機器数の関係上選抜により受講者を決定する。

## 7. 随意科目の履修方法

各学科とも2・3・4年次で履修することができるが、卒業に必要な単位に含めることはできない。

授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考	授業科目	単位	備考
比較思想特講	4		ドイツ語FLL(初級)	2		スペイン語FLL(初級)	2	
ドイツ語 F	2		ドイツ語FLL(中級)	2		スペイン語FLL(中級)	2	
フランス語 F	2		フランス語FLL(初級)	2		ロシア語FLL(初級)	2	
中国語 F	2		フランス語FLL(中級)	2		ロシア語FLL(中級)	2	
スペイン語 F	2		中国語FLL(初級)	2		英語(海外演習)	2	※
ロシア語 F	2		中国語FLL(中級)	2				

※ 「英語(海外演習)」は、海外姉妹校で行なわれる短期留学セミナーで、1年次生より履修できる。  
なお、詳細については、講義内容(P.83)を参照のこと。

## 8. 再履修科目の履修方法

イ. 再履修とは、前年度履修登録し単位を修得できなかった授業科目(受験しなかった科目を含む)を再度履修することをいう。

ロ. 担当教員が違っていても授業科目名が同じであれば、同一科目の再履修となる。

○ 「英会話Ⅰ」・「英語LLⅠ」については当該科目の振替である「英語ⅠA」を再履修科目とする。

ハ. 外国語科目, 体育実技Ⅰ, 保健体育理論及び宗教学Ⅰを再度履修する場合は、それぞれの「再履修クラス」で履修すること。(授業は本校で行う)

○ 原級者が同級学年の科目を再履修する場合は正規クラスで履修すること。

○ 外国語科目を「再履修クラス」で履修する場合は、最初の授業で『外国語再履修票』を提出して担当教員の許可を受けなければならない。(『外国語再履修票』及び『外国語再履修科目授業時間表』は教務部@番窓口で配布)

○ 1年次生は「再履修クラス」を履修することはできない。

### ※ 「日本語」・「日本事情」科目の履修方法

『外国人留学生』及び『海外帰国子女』の一部を対象とする科目で、原則として1・2年次において履修すること。

○ 日本語科目は、各所属学科の定めるところにより第1外国語又は第2外国語として履修すること。

修得単位は、外国語科目の卒業所要単位に算入する。

○ 日本事情科目の修得単位は、8科目16単位を超えない範囲で一般教育科目の卒業所要単位に算入する。

○ 各所属学科の定める一般教育科目及び外国語科目の代替できる単位の範囲を超えて履修した場合は、これを随意科目として単位認定する。

(注) 詳細は、『日本語・日本事情科目の履修要項』を参照すること。

## IV 履修科目の登録（履修届）と その作成順序



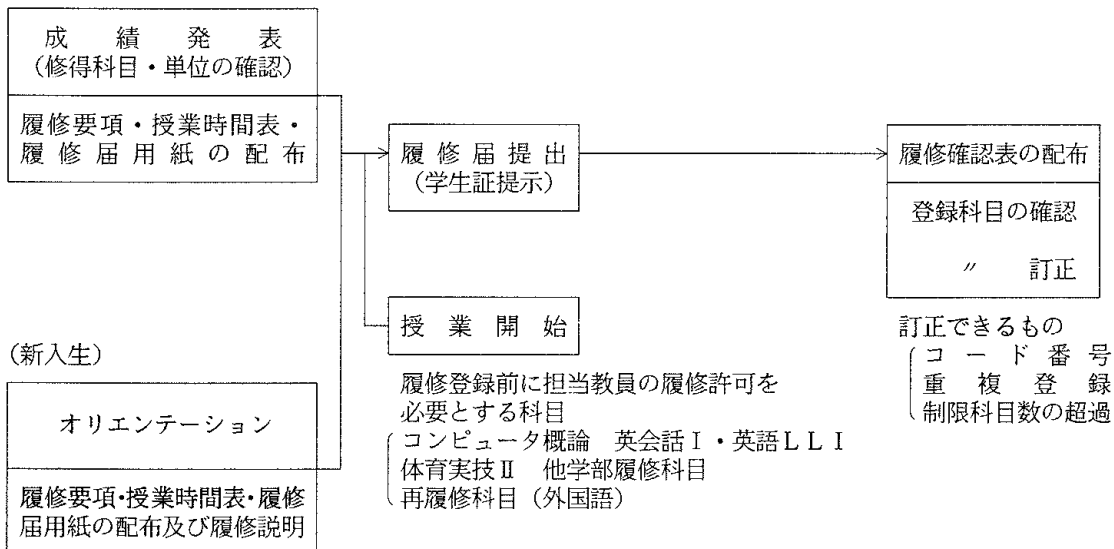
## IV 履修科目の登録（履修届）とその作成順序

### 1. 履修科目の登録

所属する学科、学年に開講されている授業科目のうち履修を希望する科目を授業時間表から選び、『履修届』用紙で届け出ることにより、通年（又は半期）の授業を受けることができる。

#### 履修科目登録の流れ

（在校生）



#### I) 制限科目数

各年次において履修できる授業科目数は原則として次のとおりである。

年次	履修科目数	課程・講座登録者科目数
1年次	15科目以内	—
2・3年次	14科目以内	18科目以内
4年次	1科目以上	

イ. 再履修科目、体育実技Ⅱ及び随意科目は、上記表の制限外とする。

（注）再度履修する科目であっても、前年度において履修登録していない場合は、再履修科目にならない。

ロ. 4年次生の1科目以上とは、再履修科目、体育実技Ⅱ、課程・講座科目及び随意科目等全ての科目を含む。

ハ. 半期科目も1科目とする。

ニ. 課程・講座科目を履修する場合

認める …… 履修制限科目数 14科目以内+課程・講座科目数=18科目

認めず …… 履修制限科目数 15科目以上+課程・講座科目数=18科目

## II) 登録上の注意

イ. 履修届は本人が記入捺印し、指定された日時に学生証提示の上提出すること。(提出しない場合は、学業の意志のないものとして処理する。なお、指定日時に提出できない者は事前に教務部⑨番窓口で相談すること。)

ロ. 履修届は、4月24日(月) 9時30分から16時まで教務部臨時窓口で受け付ける。

ハ. 所属する学科以外の授業科目は登録できない。ただし、他学部履修科目(P.20参照)は、履修登録できる。

また、教職課程・資格講座等資格取得のため必要な科目は課程・講座科目として登録できるが、その場合は『課程・各種講座授業時間表』(教職係窓口で配布)から履修し、教職係窓口で受講承認印を受けてから提出すること。

ニ. 履修登録をしない授業科目はたとえ聴講、受験しても単位は与えない。

ホ. いったん提出(登録)した履修科目の変更は認めない。

ヘ. 『履修届』用紙の注意事項をよく読んで間違いのないように登録すること。

## III) 履修確認表の配布及び履修届の訂正期間

下記の日・時に教務部臨時窓口において履修確認表を配布する。

(記) 5月23日(火)・24日(水) …… 9:30~16:00 昼休み除く

なお、履修届(本人控)と照合の上、誤りのある場合は、この期間に教務部⑨番窓口で訂正すること。



## 2. 履修届記入上の注意

授 業 時 間 表 (例)

曜日	時限	科目名	科目コード	担当者コード	担当者名
月	1	ドイツ語 I A	412201	879	百 済 勇
		~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
月	2	保健体育理論 (前期)	414201	A10	長 濱 友 雄
		保健体育理論 (後期)	414201	622	
		~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
月	3	宗 教 学 I	410101	157	岡 部 和 雄
		~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
月	4	論 理 学	410203	306	国 嶋 一 則
		~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
月	5	自然科学概論	410401	104	宇和川 正人
		~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~

正 しい 記 入 例

曜日	時限	再履	科目名	科目コード	担当	担当コード
	1		ドイツ語 I A	4 1 2 2 0 1	百 済	8 7 9
月	2		保健体育理論 (前期)	4 1 4 2 0 1	長 濱	A 1 0
			~~~~~	~~~~~	~~~~~	~~~~~
	3		宗 教 学 I	4 1 0 1 0 1	岡 部	1 5 7
(1)	4	○	論 理 学	4 1 0 2 0 3	国 嶋	3 0 8
	5		自然科学概論	4 1 0 4 0 1	宇和川	1 0 4

イ. 楷書体で正確に記入すること。

ロ. 記入の際は、黒のボールペンを使用し、捺印の上提出すること。

ハ. 授業時間表のとおり記入すること。ただし、「担当」欄には、担当教員の姓のみを記入すること。

ニ. 半期終了の科目は「再履」から「担当コード」欄までの中央に点線（上記、正しい記入例参照のこと）を入れ、前期終了科目は上段に後期終了科目は下段に記入すること。

ホ. 再履修科目がある場合は、再履欄に○印をつけること。

ヘ. 履修届は電算機で処理しているため、下記の場合には、登録が無効となるので注意すること。

(1) 科目名・科目コード、担当名（姓のみ）・担当コードが一致しない場合

(2) 時限を誤って記入した場合

(3) 判読できない数字で記入した場合（例として間違い易い数字 0と6, 1と7）

(4) その他、不明瞭に記入した場合

ト. 体育実技の記入方法は、授業時間表に載っている科目コード・担当名（姓のみ）・担当コードを正しく記入すること。

チ. 自己の責任において、必ず指定された日・時・場所に提出すること。

### 3. 履修届（時間割）の作成順序

履修要項・授業時間表により、各自がそれぞれの学年次の履修科目を決定する訳であるが、その場合必修科目、選択必修科目、選択科目の順序で決定すること。また、一般教育科目、外国語科目、保健体育科目及び基礎教育科目は1・2年次で所定の単位を修得し、上級学年に進むに従い専門教育科目、教職課程・資格講座科目等を多く履修することが望ましい。

1年次生の場合、次の順序で履修する科目を決定すると容易である。

#### 法律学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	法学概論（必修）	1
5	専門教育科目	憲法，民法Ⅰ（必修）	2
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から4又は5科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	} 5
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

#### 政治学科

順序	授業区分	授業科目（適用）	科目数
1	一般教育科目	宗教学Ⅰ（必修）	1
2	外国語科目	第1外国語，第2外国語（選択必修）	4
3	保健体育科目	保健体育理論（半期），体育実技Ⅰ（必修）	2
4	基礎教育科目	基礎政治学（必修）	1
5	専門教育科目	憲法（必修）	1
6	一般教育科目	人文分野 } 開講科目の中から5又は6科目を選択必修 社会分野 } (不足単位は2年次で履修) 自然分野 }	} 6
	専門教育科目		
1年次履修制限科目数			15

### 4. 授業時間

授業時間は、次のとおりである。

時 限	第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限
時 間	9：00～10：30	10：40～12：10	12：50～14：20	14：30～16：00	16：10～17：40

## V 試験及び成績評価





## V 試験及び成績評価

### 1. 定期試験

- イ. 前期で終了する授業科目の定期試験は7月14日（金）～7月20日（木）に、後期及び通年の授業科目の定期試験は1月16日（火）～1月31日（水）に実施する。
- ロ. 正規の手続きを経て履修登録した授業科目のみ受験できる。
- ハ. 筆記試験のかわりにレポートの提出を課せられた場合は、論題、枚数、提出日時、提出先等をよく確認の上、表紙に科目名・担当教員名・論題・学科・学年・学生番号・氏名を明記し、読み易くとした上で提出すること。

なお、指定された日・時以外は一切受理しない。

- ニ. 試験時間割は、原則として平常の講義の曜日・時限とし、時間及び教場等については掲示で発表する。

（注意）試験場は平常の授業教場と異なる。特に集中試験（同一科目を一括して行う試験）は平常時間割と曜日・時限とも変わるので掲示に十分注意すること。

### 2. 中間試験

授業科目担当教員が中間考査として任意に行う試験（レポート提出を含む）のことをいう。従って試験は平常の授業に準じて行う。

### 3. 追・再試験

#### I) 追 試 験

- イ. 追試験は、やむを得ない理由があり定期試験（期間外実施・レポート提出を含む）を欠試した場合受験することができる。その場合、欠試者は所定の欠試届にその理由を記入し、自分の全ての試験終了後直ちに届け出ること。〔締切日は前期7月25日（火）、後期2月5日（月）〕
- ロ. 追試験料は徴収しない。

#### II) 再 試 験

1・2・3年次生については、再試験は一切実施しない。

卒業年次生に限り下記により実施する。

- イ. 卒業年次に履修登録した科目の定期試験（期間外実施・レポート提出を含む）を受験し、不合格となった科目は願い出により受験することができる。
- ロ. 受験料は1科目1,000円とする。

（注意）前期終了科目の追・再試験は9月26日（火）～10月2日（月）に、後期及び通年科目の追・再試験は卒業生次生・在校生とも2月22日（木）～2月28日（水）に実施する。

#### III) 体育・外国語科目・その他

- イ. 体育実技、演習は追・再試験ともこれを行わない。
- ロ. 外国語科目についても追・再試験は行わない。ただし、定期試験を欠試した者は当該科目試験終了後直ちに担当教員に申し出て指導を受けること。

#### 4. 受験心得

- イ. 当該受験科目を履修登録していること。
- ロ. 指定された日・時・試験場（教場）で受験すること。
- ハ. 学生証を携帯していない学生は受験できない。
- ニ. 学生証は試験中、机上に提示しておくこと。
- ホ. 試験開始後30分を超えて遅刻した学生は受験できない。
- ヘ. 試験開始後30分を経過し、受験者名簿に氏名を記入するまで退場できない。
- ト. 学部・学科・学年・学生番号・氏名の記入はペン又はボールペン書きとする。
- チ. 無記名の答案は無効となるので注意すること。
- リ. 配布された答案用紙は必ず提出し、試験場外へ持ち出してはならない。
- ヌ. 試験場（教場）においては、すべて試験監督員の指示に従うこと。
- ル. 試験場（教場）の秩序を乱したり、試験実施の妨げとなる行為をした場合は退場を命じる。
- ヲ. 試験において下記のような不正受験行為があった場合は、「不正受験行為者処分規程」により処分されるので注意すること。
  - (1) 代人として受験したり、または代人受験を依頼すること。
  - (2) 使用が許可されていないノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を使用すること。
  - (3) 所持品その他への事前の書き込みや机・壁等への書き込みを利用すること。
  - (4) 他人の答案をのぞき見て書き写したり、書き写しさせること。
  - (5) 私語及び動作・メモその他の方法で連絡をしたり、連絡を受けること。
  - (6) 試験中にノート・テキスト・参考書・六法・辞書等を貸借すること。
  - (7) 答案用紙をすり替えたり、すり替えさせること。
  - (8) その他上記に類似する行為をすること。
- ワ. 学生証を忘れた場合は仮受験票により受験することができる。仮受験票の発行については、教務部⑨番窓口にて手続きをすること。

#### 5. 成績評価・単位認定

- イ. 定期試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)及び不可(59点～0点)とし、優、良、可を合格、不可は不合格として発表する。

なお、素点に関する問い合わせは一切受け付けない。
- ロ. 所定の授業時間数の3分の2以上授業に出席し、合格の成績評価を得た授業科目については所定の単位を認定する。
- ハ. 追試験の成績評価は定期試験に準ずる。
- ニ. 再試験（4年次生のみ）の成績評価は良（70点）以下とする。

## 6. 試験時間

定期試験実施時間(前期)		定期試験実施時間(後期)	
1時限 9:20~10:20	4時限 14:40~15:40	1時限 9:30~10:30	4時限 14:30~15:30
2時限 10:50~11:50	5時限 16:10~17:10	2時限 11:00~12:00	5時限 15:50~16:50
3時限 13:10~14:10		3時限 13:00~14:00	

追・再試験実施時間(前期)
1時限 16:10~17:00
2時限 17:10~18:00

追・再試験実施時間(後期)
1時限 9:30~10:20
2時限 10:50~11:40
3時限 13:00~13:50
4時限 14:10~15:00
5時限 15:20~16:10

※レポート試験は、開始後30分で受付を終了するので、遅れないよう注意すること。

試験実施規程(抜粋)が掲載されている(P.67)ので参照のこと。

## 7. 成績発表

- イ. 前期終了科目・後期及び通年授業科目の定期試験の結果は書類で発表する。
- ロ. 成績の質疑については、成績質疑応答期間内に教務部⑨番窓口にて相談すること。ただし、評価の質疑については直接担当教員に申し出て相談すること。
- ハ. 成績発表を受けるときは必ず学生証を提示すること。

前期成績発表 9月18日(月), 19日(火)  
後期成績発表(卒業年次生) 2月16日(金), 17日(土)  
" (在校生) 4月9日頃





# VI 進級について





## VI 進級について

上級学年に進級するためには、進級規程に定める各学年所定の単位を修得していなければならない。修得した単位数により進級及び注意進級とし、基準単位数に達しない場合は原級留置とする。

- 注意進級とは、進級の基準単位数には達していないが教育指導のうえ進級を認めるものである。  
これによる進級者は、修得単位数が少ないために次年度に原級留置となったり、卒業が困難となる場合もあるので、十分反省して勉学に努める必要がある。
- 修得単位数が注意進級の基準単位数に達しない場合は、原級とし、同一学年に留め置くものとする。

修得単位基準表

	1年次から2年次	2年次から3年次	3年次から4年次
進 級	30単位以上	60単位以上	99単位以上修得し、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目を全て修得していること。
注 意 進 級	29～20単位	59～50単位	99単位以上修得しているが、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目が1～12単位不足している場合。
原 級 留 置	19単位以下	49単位以下	98単位以下。または99単位以上修得しているが、一般教育科目・保健体育科目・外国語科目が、13単位以上不足している場合。

※ 各科目区分・分野における卒業所要単位を超える単位を除いた修得単位数を計算する。

※ 随意科目・課程・講座の修得科目を除く。



## VII 教職課程・資格講座





## Ⅶ 教職課程・資格講座

法学部で開講されている資格取得のための課程・講座は、次のとおりである。

課程・講座名	開講年次	備 考
教 職 課 程	2年次より	教員資格取得のためのもので教職課程の所定単位を修得した者は、中学校1種・高等学校1種の各普通免許が取得できる。
学校図書館司書教諭講座	"	学校教育を充実することを目的とする学校図書館の専門職としての資格。
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	"	社会福祉を増進させるための機関等における専門職としての資格。（社会福祉士の基礎科目も修得可能）
社会教育主事講座	"	社会教育活動を行う者に対し、求めに応じて専門的・技術的な助言と指導を与える教育専門職としての資格。

教職課程・資格講座の履修希望者は、1年次の秋（11月中旬）に実施するガイダンスに出席し、教職課程・資格講座の「履修要項」及び「課程・講座受講登録カード」を受け取ること。

（授業科目の講義内容は履修要項の講義内容を参照すること。）

なお、ガイダンスの日時等については、実施1か月前から掲示板で、その旨指示する。





## VIII 事務取扱いについて





## Ⅷ 事務取扱いについて

### 1. 事務室の事務受付時間

- イ. 事務受付時間は、9時から16時30分（土曜日は12時）までとする。ただし、昼食休憩時間は12時から13時とし、この時間は事務受付を休止する。
- ロ. 履修届提出・成績発表等各申込の受付は、9時30分から16時までとする。

### 2. 休 講

- イ. 休講は担当教員より連絡があり次第、休講掲示板（教務部事務室前ロビー）に掲示する。従って、教場の黒板に書いて休講の連絡はしない。始業時間より30分以上経過しても連絡のない場合は、教務部⑩番窓口申し出てその指示を受けること。
- ロ. 運輸機関のストライキによる休講措置については午前7時現在、JR東京近郊区間（山手・中央・京浜東北）又は東急がストライキを行っている場合の授業は全面休講とする。

### 3. 掲示・連絡

学生に対する公示・告示及び学習上周知を要する事項は、すべて掲示板に発表するので、登校・下校の際は、必ず掲示板を見ること。また、学生個人に対する伝達事項も、掲示又は郵便・電話で連絡するので遅滞なくその指示に従うこと。

### 4. 問い合わせ

事務室への電話による質問（行事予定、休講、授業、学籍、試験、成績、その他）は、間違いを生じやすく事務室に支障も生ずるので一切応じない。必要があるときは、必ず登校のうえ、掲示板を見るか、関係事務室窓口で問い合わせること。



# Ⅸ 学籍について





## IX 学籍について

### 1. 修業年限と在学年数

- イ. 修業年限とは、大学の教育課程修了に必要な期間のことをいう。（本大学の修業年限は4年）
- ロ. 在学年数とは、大学において学生の身分を有することができる期間のことで、本大学の在学年数は休学期間を除き7年と定めている。

### 2. 休 学

傷病その他の事由で引き続き2か月以上修学することができないときは、理由を付し、保証人連署のうえ願い出て休学の許可を得なければならない。

#### I) 休学の手続き

- イ. 休学願に添えて次の書類を提出すること。
  - (1) 傷病の場合は、医師の診断書
  - (2) 外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在留期間を証明する書類及び在留地届
  - (3) その他の理由の場合は、事前に窓口で相談の上、保証人連署の休学を必要とする理由書
- ロ. 休学の手続き期限は当該年度の11月30日までとする。
- ハ. 休学理由が休学許可日より2か月未満の期間内に消滅したときは、保証人連署の休学取り下げ願により休学を取り消すことがある。

#### II) 休学の期間

- イ. 休学の期間は1学年を区分とし、休学の許可を受けた日から当該年度の3月31日までとする。
- ロ. 引き続き休学を要する特別な事情があるときは、許可を得てさらに1年に限り休学することができる。
- ハ. 休学期間は通算4年を超えることはできない。
- ニ. 休学が許可された年度は在学年数に算入しない。

#### III) 休学する場合の学費

休学を願い出る者は当該期の学費を納入していること。

休学願提出日	学 費
4月1日～9月20日	第1期（前期）分納入済のこと。（第2期分免除）
9月21日～11月30日	第1期（前期）分・第2期（後期）分共納入のこと。

#### IV) 休学原級

休学を許可された者は、翌年度は現学年に原級留置とする。

### 3. 復 学

- イ. 休学した者が復学する場合は、第1期（前期）学費を納入の上、保証人連署の復学願を4月10日までに提出し許可を得ること。
- ロ. 傷病で休学した場合は、通学可能なことを証明する医師の証明書を添えること。

#### 4. 退 学

傷病その他やむを得ない事由で退学しようとする者は、所定の退学願を提出し許可を得ること。

イ. 退学願は、退学理由を付し保証人連署で願い出ること。

ロ. 退学願提出時に学生証を返却すること。

ハ. 退学年月日は次のとおりとする。

(1) 当該期学費納入者 …… 退学願提出日

(2) 当該期学費未納者 …… 学費納入済学期の最終日

#### 5. 除 籍

次の事項に該当する者はこれを除籍する。

イ. 在学年数を越えた者

ロ. 休学期間を越えた者

ハ. 学費の納付を怠り、督促を受けてもなお納入しない者

#### 6. 懲 戒

イ. 本大学の学則等に違反し、その他学生の本分に反する行為があった場合、情状により譴責、停学、退学の処分をする。

ロ. 退学処分は次の事項のいずれかに該当する者に対して行う。

(1) 性行不良で、改善の見込みがないと認められる者

(2) 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者

(3) 正当の理由がなくて出席常でない者

(4) 本大学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

#### 7. 編 入 学

本大学卒業者（卒業見込者を含む）が編入学を希望するときは、選考の上入学を許可することがある。ただし、編入学の学年は、単位を修得した授業科目によっては、2年次となる場合がある。

#### 8. 再 入 学

本大学を退学した者又は除籍された者で、再入学を希望する者があるときは選考の上許可することがある。

イ. 入学後1年未満で退学した者又は除籍された者は対象としない。

ロ. 退学又は除籍後3年以内の者とする。（出願時を基準とする）

ハ. 再入学者の在学年数は、従前在学した年数と通算し7年以内とする。

#### 9. 転部・転科

本大学の学生で、同一学部の他学科又は他の学部学科に転科もしくは転部を希望する者があるときは、選考の上許可することがある。（学科により異なる）

転部・転科した者の在学年数は、転部・転科した年次にかかわらず、入学の時期から通算する。



## 10. 留 学

本大学の学生で、外国の大学又は短期大学の授業科目の履修を希望する者があるときは、教授会の議を経てこれを許可することがある。

- イ. 履修した授業科目の修得単位については、本大学において修得したものとみなし、卒業所要単位に算入することができる。
- ロ. 留学期間は在学年数に算入する。

## 11. 学生氏名・保証人

- イ. 学生氏名は、住民票記載事項証明書又は外国人登録済証明書に基づき J I S 第 1 水準・第 2 水準文字で運用する。
- ロ. 外国人登録済証明書に記載されている通称名の使用を希望する者は、願い出て許可を得ること。
- ハ. 通称名使用の許可を得た者は、本大学在学中一貫して通称名を使用することとし、本大学発行の証明書、成績表、各種名簿等はすべて通称名で表示する。
- ニ. 保証人は原則として、父、母とし、やむを得ない場合は独立の生計を営む親族又は縁故者とする。
- ホ. 保証人は、学生の在学中の一切の事項について責任を負うものとする。
- ヘ. 学生・保証人の氏名住所等に変更があったときは、すみやかに所定の変更届を提出すること。

## 12. 学生番号

- イ. 学生番号は在学中はもとより、卒業後も不変の本人固有番号となるので正確に覚えておくこと。
- ロ. 学生番号は 6 桁の数字からなっていて、その各位の数字に次の意味を持たせてある。

### 学生番号区分

:	:	:	┌──────────┐		
学	学	入	└──────────┘		
部	科	学	一		
		年	連		
		度	番		
		曆	号		
		)			

(例) 1995年度入学・法学部  
法律学科15番の場合

4	1	5	0	1	5
:	:	:	┌──────────┐		
法	法	一	15		
学	律	九	番		
部	学	五			
	科	年			
		入			
		学			

### 学部・学科の番号

学 部 ・ 学 科 名	学部番号	学科番号
仏 教 学 部	1	
禪 学 科		1
仏 教 学 科		2
文 学 部	2	
国 文 学 科		1
英 米 文 学 科		2
地 理 学 科		3
歴 史 学 科		4
社 会 学 科		5
経 済 学 部	3	
経 済 学 科		1
商 学 科		2
法 学 部	4	
法 律 学 科		1
政 治 学 科		2
経 営 学 部	5	
経 営 学 科		1



## X 既修得単位の認定について





## X 既修得単位の認定について

### イ. 新たに第1年次に入学した者

- (1) 他の大学又は短期大学（外国の大学又は短期大学を含む）を卒業又は中途退学し、新たに本学の第1年次に入学した者は、従前在学した大学等において修得した授業科目の単位のうち、一般教育科目、外国語科目及び保健体育科目については、合計30単位を超えない範囲で本大学において修得した単位として認定を受けることができる。
- (2) 既修得単位の認定を受けようとする者は、申請書（所定様式）に成績（単位修得）証明書を添えて、教務部長に願い出なければならない。
- (3) 既修得単位の認定は、教務部長を経て当該教授会がこれを行う。

### ロ. 編入学者

従前在学中に修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書により当該教授会が認定する。

### ハ. 再入学者

従前在学中に修得した全授業科目の単位を認定する。

### ニ. 転部・転科者

従前在学中に修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書により当該教授会が認定する。

### ホ. 留学者

本学から外国の協定校・認定校へ派遣された学生が、留学先で修得した授業科目の単位は、提出された成績（単位修得）証明書・履修要項等により当該教授会が認定する。認定した単位は、卒業所要単位に算入される。



## XI 届書・願書について





## XI 届書・願書について

（教務部扱いのもの）

種 類		要 領 （ 必 要 書 類 ）	本 人 印	保証人 印	取 扱 窓 口
届 書	履 修 届	・所定用紙あり ・各年度に単位修得しようとする授業科目を指定 期日に必ず届け出ること	要	不要	掲示
	欠 試 届	・所定用紙あり ・本人履修全科目の試験終了後直ちに届け出ること （締切日は掲示参照）	不要	不要	⑨
	改 氏 名 届	・所定用紙あり ・戸籍抄本添付 ・変更後1週間以内	要	不要	⑤
	本籍地（都道府県 名）変更届	・所定用紙あり ・住民票記載事項証明書添付 ・変更後1週間以内	要	不要	
	保証人変更届	・所定用紙あり ・在学誓書（保証書）添付	要	要	
	保証人住所変更届	・所定用紙あり ・変更後1週間以内	不要	不要	
	死 亡 届	・所定用紙あり ・死亡が証明できる書類（写し可）添付	/	要	
願 書	休 学 願	・所定用紙あり ・傷病による場合は、医師の診断書添付 ・外国で修学する場合は、修学先・修学目的・在 留期間を証明する書類及び在留地届 ・その他の場合は、保証人連署の理由書	要	要	⑤
	復 学 願	・所定用紙あり ・傷病による休学をした場合は、医師の通学可能 である証明書添付 ・4月10日までに提出すること	要	要	
	退 学 願	・所定用紙あり ・学生証添付	要	要	

※ 大学の定める諸届（願）の提出期限が、日曜・祭日の場合はその翌日までとする。



## XII 各種証明書取扱い窓口





## ⅩⅡ 各種証明書取扱い窓口

証 明 書 名	取 扱 窓 口	料 金
成績・卒業見込証明書（卒業年次生のみ）	教務部④番	在学者にかかわる 証明書 1通200円 （英文 500円）  卒業者にかかわる 証明書 1通300円 （英文 600円）
成 績 証 明 書		
卒 業 証 明 書		
教員免許状取得見込証明書		
教職・講座単位修得（見込）証明書		
一般教養科目修了（見込）証明書		
そ の 他 の 諸 証 明 書		
人 物 考 査 書	就 職 部	
健 康 診 断 証 明 書	学 生 部 ③ 番	
在 学 証 明 書	学 生 部 ② 番	
学 割		無 料
通 学 証 明 書		無 料

※ 経理部前備付けの申込用紙に必要事項を記入し、手数料分の証紙を貼付（郵送料も同様）の上、取扱い窓口で申し込むこと。発行は原則として2日後。

教務部取扱い証明書は、5月下旬から7月下旬まで及び3月は大変混雑するので、掲示に注意し、十分余裕をもって申し込むこと。



# 試驗實施規程（拔粹）





## 試験実施規程（抜粋）

（昭和59年7月13日制定）

### （目 的）

第1条 この規程は、駒沢大学（以下「学部」という。）、駒沢短期大学（以下「短大」という。）、駒沢大学大学院（以下「大学院」という。）の各学則に規定する試験の実施について必要な事項を定めることを目的とする。

### （試験の実施）

第2条 試験は、当該教授会の責任のもとに実施される。

### （試験の種類及び実施の時期）

第3条 試験の種類は、次のとおりとする。

- (1) 定期試験 履修した授業科目修了の認定をするために前期あるいは後期の所定期間内に行われる試験をいう。
  - (2) 追加試験（以下「追試験」という。）病気その他やむを得ない理由で定期試験を受けることができなかった者について行う試験をいう。
  - (3) 再試験 第1号の試験を受験し不合格となった者について、臨時に行う試験をいう。
  - (4) 中間試験 第1号、第2号、第3号の試験とは別に平常の授業時間帯に授業科目担任者が中間考査として行う試験をいう。
2. 試験の実施時期については、行事予定表をもってこれを定める。ただし、中間試験については、この限りではない。
3. 第1項第2号及び第3号に規定する追試験及び再試験は、次の各号の一に該当するときは、これを実施しない。
- (1) 学部1・2・3年次生の再試験
  - (2) 学部外国語科目、体育実技、演習、その他実験実習をともなう授業科目の追試験及び再試験
  - (3) 短大体育実技の追試験及び再試験

### （試験の方法）

第4条 試験は、筆記、口述又は実技によって行う。ただし、授業科目担任者の決定により、レポート提出をもってこれに代えることができる。

### （試験時間）

第5条 試験時間は、原則として第1部は60分、第2部は50分とする。ただし、追試験及び再試験については50分とする。

### （受験資格）

第6条 授業科目修了の認定にかかわる定期試験を受験するためには、次の各号の条件を満たしていなければならない。

- (1) 当該授業科目を履修登録していること。
- (2) 授業料その他の学費を納入していること。

2. 前項の条件を満たしているときであっても、当該授業科目について、出席すべき時間数の3分の1以上欠席している者については、当該授業科目の受験資格が認められないことがある。
3. 追試験を受験するためには、定期試験終了後速やかに当該授業科目の欠試届及び追試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。
4. 再試験を受験するためには、所定の受験料を添えて再試験受験願を提出し、許可を受けなければならない。

(受験資格の喪失)

第7条 次の各号の一に該当するときは、当該授業科目試験の受験資格を失う。

- (1) 学生証を携帯していないとき。
- (2) 試験開始後30分を超えて遅刻したとき。
- (3) 試験監督員の指示に従わないとき。
- (4) 不正受験行為を指摘されたとき。

(受験心得)

第8条 試験を受ける者は、別に定める受験心得を遵守しなければならない。

(無効答案)

第9条 次の各号の一に該当する答案は、無効とする。

- (1) 受験資格を有しない者の答案
- (2) 不正受験行為により作成された答案
- (3) 氏名、学生番号が記載されていない答案
- (4) 指定された時間、指定された場所に提出されない答案
- (5) 所定用紙以外の用紙を用いた答案

(成績評価及び単位認定)

第10条 試験の成績は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)、不可(59点～0点)の4段階に分け、優、良、可を合格とし、不可を不合格とする。ただし、再試験の成績は、良(70点)、可、不可のいずれかとする。

2. 合格した授業科目については、所定の単位を修得したものと認める。

(不正受験行為者の処分)

第13条 不正受験行為者の処分については、別に定める。

(事務所管)

第14条 試験実施にかかわる事務は、教務部(教務課、第二学事課)の所管とする。

附 則

この規程は、昭和59年7月13日から施行する。

# 講 義 内 容

## ( 講 義 内 容 目 次 )

一般教育科目 (共通) .....	(73)
保健体育科目 (共通) .....	(80)
随 意 科 目 (共通) .....	(81)
法 律 学 科 .....	(87)
政 治 学 科 .....	(103)
他学部履修科目 (共通) .....	(115)

[ 卷 末 ]

教職及び資格講座



## 一般教育科目(共通)

## 保健体育科目(共通)

### 人文分野

宗教学Ⅰ(小川 順敬) .....	73
宗教学Ⅰ(菅原 壽清) .....	73
宗教学Ⅰ(山端 昭道) .....	73
宗教学Ⅰ(渡部 正英) .....	73
宗教学Ⅰ(再クラス)(岡部 和雄) .....	73
宗教学Ⅰ(再クラス)(田中 良昭) .....	73
宗教学Ⅱ(黒丸 寛之) .....	73
宗教学Ⅱ(小坂 機融) .....	74
宗教学Ⅱ(佐々木 章格) .....	74
宗教学Ⅱ(佐藤 秀孝) .....	74
宗教学Ⅱ(鈴木 格禅) .....	74
宗教学Ⅱ(青竜 宗二) .....	74
宗教学Ⅱ(永井 政之) .....	74

哲学(久保 陽一・坂本 清子・ 戸田 洋樹) .....	74
論理学(片桐 茂博・小宮山 隆・ 山口 祐弘) .....	75
倫理学(国嶋 一則) .....	75
倫理学(松田 文雄) .....	75
文学(平 敏功) .....	75
文学(増尾 聡哉) .....	75

### 社会分野

法学憲法(織田 晃子) .....	75
法学憲法(新田 浩司) .....	75
法学憲法(前田 英昭) .....	76
法学(松村 格) .....	76
政治学(早川 純貴) .....	76
社会学(長谷部 八朗) .....	76
社会学(橋爪 敏) .....	76
統計学(日下 泰夫) .....	76
文化人類学(加治 明) .....	77
文化人類学(村武 慶) .....	77
文化人類学(安田 ひろみ) .....	77
経済学(小野 俊夫) .....	77

### 自然分野

自然科学概論(篠原 正雄) .....	77
自然科学概論(安羅岡 一男) .....	78
地学(宇和川 正人) .....	78
地学(漆原 和子) .....	78
地学(清水 長正) .....	78
心理学(法律)(板津 裕己) .....	78
心理学(政治)(板津 裕己) .....	78
心理学(高橋 良博) .....	79
コンピュータ概論(竹田 洋一) .....	79
コンピュータ概論(三好 重明) .....	79
生物学(西谷 里美) .....	79

保健体育理論(秋田 浩一) .....	80
保健体育理論(大石 武士) .....	80
保健体育理論(館岡 儀秋) .....	80
保健体育理論(再クラス)(牧野 茂) .....	80
保健体育理論(再クラス)(宮沢 栄作) .....	80

## 随意科目(共通)

比較思想特講(麻生 建) .....	81
比較思想特講(洗 建) .....	81
ドイツ語F(松岡 晋) .....	81
ドイツ語F L L(初級)(小林 ゲアリンデ) .....	81
ドイツ語F L L(中級)(小林 ゲアリンデ) .....	81
フランス語F(野沢 協) .....	81
フランス語F L L(初級)(高橋 薫) .....	81
フランス語F L L(初級)(杉山, イマニエル) .....	82
フランス語F L L(中級)(杉山, イマニエル) .....	82
中国語F(釜屋 修) .....	82
中国語F L L(初級)(松本 丁俊) .....	82
中国語F L L(中級)(小川 隆) .....	82
スペイン語F(瓜谷 アウロラ) .....	82
スペイン語F L L(初級)(杉山, 初子 J.) .....	82
スペイン語F L L(中級)(杉山, 初子 J.) .....	82
ロシア語F(杉山 秀子) .....	82
ロシア語F L L(初級)(木村 英明) .....	83
ロシア語F L L(中級)(佐野 朝子) .....	83
英語(海外演習) .....	83



# 一般教育科目(共通)

## 人文分野

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I

お かわ とし けい  
小 川 順 敬

宗教学は様々な宗教現象の具体的・実証的研究をめざしています。前期では宗教が私たちの日常生活においてもつ意味や役割を、具体的事例を通して解説したいと思います。後期では特に仏教をめぐる問題について触れたいと思います。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I

すが わら とし きよ  
菅 原 壽 清

前期においては人間の生活と宗教とのかかわりあい、宗教学の研究領域、研究方法、さらに宗教の分類方法等について基本的な考え方を概説する。後期においては、前期の講義をふまえて、さまざまな宗教現象のうちから東南アジアの宗教についてもとりあげていくとともに、宗教と日常生活との関わりなど基本的な問題についても考えていきたい。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I

やま はた しょう どう  
山 端 昭 道

次の点を柱として、講義を進めたい。

1. われわれの周囲には、さまざまな宗教現象やそれに関する事象が在る。それらを知り、現代人としてのわれわれと宗教とのかかわりを考え、また自己自身の確立のために、宗教のもつ価値や意義を問う。
2. わが国の文化や社会、また異なった国々のそれらや人びとを知る上で、その国の宗教理解は欠かせない。過去から現在に至る重要な宗教の諸相へ理解を深める。
3. わが国の年中行事のいくつかをとり上げ、その背後に在る日本人の宗教意識を知り、かつその現代的意義を考える。

### 宗教学 I

わた なべ まさ ひで  
渡 部 正 英

宗教は日常生活と密接にかかわっている。われわれが文化現象、社会現象と考えている中でも、宗教が深く関係している事が多い。だから、特定の宗教信仰をもっていない場合でも、宗教への関心はもっていただけない。そこで、古今東西の宗教の歴史、さまざまな宗教形態を考えに入れて、宗教が人間生活になぜ必要なのかという疑問と対峙していきたい。

〔教科書〕水野弘元・柴田道賢監修『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I (再クラス)

おか べ かず お  
岡 部 和 雄

前半では宗教とは何かという問題について、現代のアクチュアルなテーマをとりあげて具体的に考えていく。また後半では仏教に的をしぼり、その基本的輪郭を明らかにしようと思う。

〔教科書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 I (再クラス)

た なか りょう しょう  
田 中 良 昭

前期は「宗教とは何か」というテーマで、広い視野から宗教全体を考察し、後期は「仏教・禅の特色は何か」というテーマで、仏教や禅についてできるだけわかりやすく解説していきたい。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

### 宗教学 II

くろ まる かん じ  
黒 丸 寛 之

仏教に関する全般的理解を深めるとともに、禅についての歴史と思想、および禅文化と人間観などについて講述する。

## 宗 教 学 II

こ さか き ゆう  
小 坂 機 融

本講座は、宗教学Ⅰを基調として、人々の宗教への関心の有無にかかわらず、誰もが回避することのできない人生における課題について考え、そこから自然・社会・人間に生起するところの抜き難い歪みについて省察し、これらに仏教は、現代文明社会の中でどのように応答していくかを講述したい。

〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）、  
『宗教学Ⅱ』（更生社）

## 宗 教 学 II

さ さ き しゅう かく  
佐々木 章 格

宗教学Ⅰでは、宗教の概説、インド・中国・日本の佛教についてその概要を学んだことと思う。この宗教学Ⅱにおいてはさらに進んで、日本文化や日本人の精神生活に多大の影響を及ぼした「禅」について、その概要と歴史の変遷を探究する。今日、一般の人々が佛教とりわけ「禅」に寄せる関心の高さには驚かされるものがある。

ここでは、「禅」の概要および中国で形成された禅宗修行集団の思想と変遷を、その時代時代の活潑な禅者を通してその言葉や行動を現代的視点から思考しながら学び、「禅」に対する思想的理解を深めたい。また坐禅の実習を本学坐禅堂で実施し、さらにインド・中国の主要禅宗史蹟の現況についてはスライドを使用する。

〔教科書〕山内舜雄編『宗教学Ⅱ』（更生社）  
〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 宗 教 学 II

さ とう しゅう こう  
佐 藤 秀 孝

仏教とくに禅を中心に講義を進めていく。内容としては、はじめに現代と宗教、日本人の宗教観、坐の文化などを論じ、さらに、禅および中国・日本の禅宗の歴史的展開を述べる。その後、禅とは何か、禅の真理を問題にし、禅の人間観や自然観、禅の生活、禅の行法、禅と日本文化、禅と現代といった問題を考えてみたい。

東洋・日本で育まれた思想の一つとして、仏教・禅の教えが如何なるものであるのか、他の宗教との相違などを理解していただきたい。

〔教科書〕『宗教学Ⅱ』（更生社）¥2,370  
〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

¥1,400

## 宗 教 学 II

すず き かく びん  
鈴 木 格 禪

仏教ないし禅の歴史や伝統を軸にしなが、できるだけ広く、且つ具体的な問題をえらび、これを「人間の学」として、共に考え一緒に学んでゆきたい。

〔教科書〕本学禅研究室編『宗教学Ⅱ』（更生社）  
¥1,950

## 宗 教 学 II

せい りゅう むね つぐ  
青 竜 宗 二

この講座は「宗教学Ⅰ」のあとをうけて、「禅仏教」を取り扱う科目であるが、特に禅思想を中心として、我々自身の人間形成にどのような関り合いをもっているかを考え、併せて日本文化と禅との関連をも言及してゆく。

## 宗 教 学 II

なが い まさ し  
永 井 政 之

宗教学Ⅰのあとを承け「禅」について、その歴史や思想を学ぶ。ますます複雑化する時代に宗教、就中、禅はどのような面で可能性を持ちうるのだろうか。学生諸君とともに考えてみたい。

〔教科書〕『宗教学Ⅱ』（更生社）¥2,370  
〔参考書〕『宗教学ハンドブック』（世界書院）

## 哲 学

く ぼ よう いち さか もと きよ こ  
久 保 陽 一 ・ 坂 本 清 子  
と だ ひろ き  
戸 田 洋 樹

哲学は生きるための支え、抛り所を求めつつ、同時にそれが確かめられた学問的知識であることを求める。その意味で、哲学は諸学と経験の基礎づけをめざし、それにより、生きることを学ぶものである。授業では、最初、この哲学的思索がいかに行われ、いかなる問いが立てられねばならないか、について一般的な要点を説明する。それを、更に、具体的に過去の哲学の営みを通して検討し、現代的視点から過去の哲学 — 古代ギリシア哲学から現代哲学にいたるまで — の意味を学ぶことにする。

〔教科書〕開講時に指示する。  
〔参考書〕その都度指示する。



## 論 理 学

かた ざり しげ ひろ こ み やま たかし  
片 桐 茂 博 ・ 小 宮 山 隆  
やま くち まさ ひろ  
山 口 祐 弘

科学であれ哲学であれ、また日常的な行為においても、正しい論理的思考が求められるが、それを主題的に探究するのが論理学である。授業では、前期では主にアリストテレス以来の伝統的論理学（概念論、判断論、推理論等）を取り上げる。後期では、現代の記号論理学の基礎的内容（命題論理学と述語論理学）を学ぶ。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 倫 理 学

くに しま かづ のり  
国 嶋 一 則

倫理学は、われわれがいかに生き、何を行為すべきかを探究する学問である。つまり、人間の行為に関する哲学である。人間として正しい行為とか、真実の行為とか理性的行為といわれるものは、人生の原理（人生観）や世界の原理（世界観）に基づく行為である。日常の人生観や世界観は、動揺して確実なものではないから、古代から現代にいたる主要な哲学者たちの思想を研究して、各自の確実な人生観や世界観の確立に努める。哲学思想の基礎的概念や考え方の解明を重視し、教材の重要な個所を解説して読解力を養成する。

〔教科書・参考書〕その都度指示する。

## 倫 理 学

まつ だ ぶん ゆう  
松 田 文 雄

本講座は東洋倫理として開講し、インド・中国・日本の倫理思想を概説する。

〔参考書〕随時指示する。

## 文 学

たいら とし かつ  
平 敏 功

『万葉集』の作品を読む。

万葉集は日本最古の古典文学であり、もっとも古い日本の人々のところを表現する歌うたの作品集である。そして、万葉集を読むということは、重く厚く存在する研究の歴史を読むということもかさなる。その手づきなしに、万葉集の学問的な読みはない。

講義では、一回一テーマ完結をめざす。その際、できるだけ過去の研究成果と現在の研究レベルをごく簡単に紹介し、できればわたしの判断も示したいと思う。そして、毎回の授業のおわりに各テーマに対する受講生諸君の意見を書いていただき、評価に応じて成績に加えて行くつもりである。

〔教科書〕小野 寛著『新選 万葉集抄』（笠間書院）  
¥1,600

## 文 学

ます お とし や  
増 尾 聡 哉

平安時代の物語と和歌の接点の問題について検討する。前期は「伊勢物語」、後期は「大和物語」をそれぞれ精読し、中古文学史における歌物語の位置を改めて考察する予定である。

〔教科書〕プリントにて配付

## 社会分野

### 法 学 憲 法

お だ てる こ  
織 田 晃 子

いまだ社会生活の経験の少ない学生に、法の役割や機能を理解していただき、しかも興味をもっていただくために、日常生活の中でおこるさまざまな法律問題、特に判例に現われた事例を多くとりあげて授業を進めたいと思っております。裁判所の判決は人間社会の具体的紛争解決をめざすものであり、そこにみられるさまざまな事実と判例理論は生きた社会そのものであるからです。

〔教科書〕開講時に指示します。

### 法 学 憲 法

にっ た ひろ し  
新 田 浩 司

スポーツの世界にルールがあるように、全ての社会には法というルールがある。法学はそのルールを専門的に学ぶための基本的な物の考え方、並びに法律用語を学ぶ最初の入口である。また、憲法は政府と我々国民の関係という国家生活の基本的ルールを決めたものである。

はじめて法学を学び、憲法の基本原理にふれる学生諸君を対象とし、前期では法学を中心として、人間や社会の存在理由の認識、道徳の必要性、法の発達過程、

現行法の体系と構造等について、また、後期では憲法について、その基本原理について正しく理解できるように、身近な日常の問題を例示しながら、講義を進める。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 法 学 憲 法

まえ だ ひで あき  
前 田 英 昭

本講座では、日本国憲法の基本原理を解説するとともに、我々が直面する法的諸問題を取り上げ、法的な考え方ができるように心がけたい。

〔教科書〕前田英昭『憲法Ⅰ（統治機構）』（高文堂出版社）

## 法 学

まつ むら いたる  
松 村 格

法の概念、法の生成、法と道徳、法と経済、法と政治、法と文化、法と福祉といったテーマをわかり易く講義する。法をシステムと把握して考察する方法論を採るので、まず簡単にシステム論について話し、その後、法システムを解明しながら、上記のテーマについてシステムティッシュな理解をしていく。法学は、法教義学や法哲学や法理論とも密接に関連しているので、そうした分野にも時折言及しながら「法」を科学していきたい。

〔教科書〕松村 格、小林弘人共編「法学・憲法」八千代出版 ¥3,500

## 政 治 学

はや かわ よし き  
早 川 純 貴

本年はほぼ40年近くにおよんだ自民党政治の特質を様々な角度から論じる。さらに自民党の長期政権を支えた日本人（社会）の政治意識も検討し、あわせて、なぜ90年代にはいって自民党政治が破綻したのかを議論したい。前期では自民党による利益政治（補助金政策・福祉国家政策）あるいは外交政策について論じてみたい。後期においては特に「田中角栄」と「中曽根康弘」という二人の政治家に焦点を当て、彼らの人物論から日本の70年代と80年代の政治状況および国民の当時の政治意識まで言及する。そしていかにして、自民党が分裂するに至ったかを最後に考えてみたい。

〔教科書〕河田潤一編著『現代政治学入門』（ミネルヴァ書房）¥2,800

〔参考書〕随時紹介

## 社 会 学

は せ べ はち ろう  
長 谷 部 八 朗

本講義は、私たちの営んでいる社会生活を、個人、集団、（全体）社会といった各分析単位に沿って理解することをめざしている。

講義の大筋は、前期で、こうした分析に必要な基本用語、概念、学説の解説を行い、後期では、これら基礎知識を現実の諸問題を通して具体的に検討する予定である。環境破壊や高齢化社会など今日的課題にもふれたいと思っている。

〔教科書〕安藤喜久雄ほか編著『社会学概論』（学文社）

## 社 会 学

はし つめ さとし  
橋 爪 敏

社会学という学問の持つ研究対象や性格は、ほかの社会諸科学と比べた場合、あまり理解しやすいものとは言えない。それは、社会学のもつ一種独特の学問的性格や対象の設定に基づくものである。社会学は、名称の示すごとく、社会を研究対象とするものであるがそれを常に具体的に、現実的な人と人との関係的現象、集団的現象に還元して考察、理解し、さらには理論的に体系化する志向をもつ。そこで、この講義では、このような社会学独自の社会現象の見方、考え方、また基礎的な知識をテキストをもとに理解し、考えていくことにする。

〔教科書〕安藤喜久雄ほか編『社会学概論』（学文社）  
〔参考書〕安藤喜久雄ほか編『わかりやすい社会学』（学文社）

## 統 計 学

くさ か や お  
日 下 泰 夫

統計学は経営、経済等の諸問題を解決する1つの有力な手法であり、広範な領域で利用されている。本講義では、統計学の基本的な考え方を微分・積分の知識を必要としない範囲で、例題をまじえて説明する。特に、重要な部分は、講義直後に演習を実施する。さらに、講義終了時(12月)には、それまでに学習した領域の典型的な問題と模範解答を配布し、逐一解説を行う。

1. 統計的方法の本質
2. 記述統計
3. 標本空間と確率
4. 確率変数と確率分布
5. 母集団と標本
6. 推定

7. 検定
8. 相関
9. 回帰

統計学の理解には積み重ねが重要ですので、継続して受講するように留意して下さい。

成績評価は主に学年末試験結果に基づいて行う。試験では、講義終了時に配布する問題が解ければ十分に対応できる問題を出題する。

〔教科書〕 P.G. ホーエル(浅井 晃・村上正康 共訳)

『初等統計学』(培風館) ¥1,530

〔参考書〕 開講時に紹介する。

## 文化人類学

か じ おまら  
加 治 明

文化人類学とは人類の文化や社会を研究する学問である。ただしこの場合の文化とは広い意味で使われ、人類の生活様式を指し、その範囲は経済・宗教・芸術・道徳等人間生活のさまざまな分野に及んでいる。いっぽう、この学問の特色は、今まで世界各地の「未開」民族の文化や社会を実地に調査、研究し、さらに比較研究等を通して理論化してきたことだが、近年は次第に文明社会も取り扱うようになり、現在では人類全体の文化や社会を研究対象にしていると言える。講義では、人類学(自然人類学と文化人類学)の目的と範囲、経済形態、社会組織、呪術と宗教、政治と法、文化の動態等について解説するが、学生諸君がその内容を身近なものとして受け入れられるよう努力していきたい。

〔教科書〕 吉田禎吾・寺田和夫著『人類学入門』

(東京大学出版会) ¥2,266

## 文化人類学

むら たけ けい  
村 武 慶

日本だけではなく、他の民族の文化・社会についても目をむけることにより、より深く自分達の文化・社会にたいしての理解を深くしてもらいたい。また、自分を中心とした家族や親族についてもいろいろな角度から見直してもらいたい。家族・親族・婚姻・儀礼などを日本文化を中心に他の社会の例もあげながら講義をするので自分には無関係な社会のことと思わずに聞いてもらいたい。

〔教科書〕 村武精一・佐々木宏幹編『文化人類学』

(有斐閣Sシリーズ) ¥1,545

## 文化人類学

やす た ひろみ  
安 田 ひろみ

政治や経済、宗教等、既存のシステムを詳細に知る事も重要だがなぜそれが形成され、機能し、どのように相互に関連しているか — は文化に関わる問題である。これを等閑視すると、異文化のシステムに対し、自文化優越主義に陥ったり、システムの背後にいる人間が見えなくなり易い。但し、文化を読むにも方法があり、そのルール・ブックとなるのが人類学である。

前期は人類学の考え方や方法、環境、社会組織等を中心にとり上げ、後期は法と政治、世界観、宗教等を始め、現代に即した問題も考察する予定である。

〔教科書〕 『人類学』東海大学出版会 ¥2,000

〔参考書〕 その都度紹介します

## 経済学

お の とし お  
小 野 俊 夫

いわゆる近代経済学の立場から、現代経済学の成果をも考慮してマイクロ経済学とマクロ経済学の基本の解説を行なう。

〔教科書〕 小野俊夫編著『現代経済学の基礎』

(学文社)

## 自然分野

### 自然科学概論

しの はら まさ お  
篠 原 正 雄

『現代科学の自然像と地球外文明探査』

現代の自然科学は細分化され、研究者も隣分野の専門的なことはわからない。けれども、自然は一つであるから、どの分野も互いに深く関わりあっている。宇宙の果ての天体の観測が地震予知に使われているのはその一例である。本講では地球外文明探査(SETI)をとりあげる。SETIの根底には、生命と文明に満ちた我々の世界が宇宙の中の極めて稀な偶然の産物なのか、それとも自然の進化の必然の結果なのかという問いが横たわっている。このテーマの下で、素粒子から宇宙に至る自然の階層構造と、自然の進化について現代科学諸分野を総合して得られる自然像を学ぶ。

評価は年度末の筆記試験と平常点により行う。

〔教科書〕 前田担著「自然科学への招待」(培風館)

¥1,680

〔参考書〕大島泰郎『宇宙生物学とET探査』  
(朝日文庫) ¥660

## 自然科学概論

やすら おか かず お  
安羅岡 一 男

今日では医学は臨床医学をも含めて自然科学の中の生物学の一分科である。「流行病の学問」として発生した疫学は、最近では「人間疾病の生態学」としてとらえられている。最近重大な関心が寄せられているエイズ、がん、輸入病、院内感染、気功などを例にとって、病気の科学について解説したい。

〔参考書〕その都度紹介する。

## 地 学

う わ がわ まさ ひと  
宇和川 正 人

水、気、地および生物圏を通じて人類とのかかわりあいを中心として解説する。あわせて、自然環境の保全に関する諸問題について考察する。

〔参考書〕その都度紹介する。

## 地 学

うるし ばら かず こ  
漆 原 和 子

前期は、主として日本列島の生いたちについて説明する。特に造山運動、プレートテクトニクスについて説明し、今日の日本各地の地殻変動の特色についてもふれる。

後期は、最も新しい地質時代である第四紀における人類の進化の歴史と、それぞれの時代の人類がどのように自然環境の変遷に対応してきたかについて説明する。さらに人間活動が将来の地球環境へ及ぼす影響について予測されている事柄についても解説する。

〔教科書〕『日本の地形』(岩波新書)

〔参考書〕『自然環境の生いたち—第四紀と現在』  
(朝倉書店)

## 地 学

し みず ちょう せい  
清 水 長 正

広範な地学の分野のなかで、本年度は地形学について講義を行う。地形とは地球表面の種々の形態である。本講では、形態およびそれを構成する地質などから、地形の成因・形成期などについて解説する。

〔教科書〕貝塚爽平ほか『写真と図でみる地形学』

東大出版会 ¥4,635

## 心 理 学 (法律)

いた つ ひろ み  
板 津 裕 己

心理学は、人間の諸行動を科学的に研究することによって、「人間とは何か」さらに「自分自身」を明らかにしていこうとする学問です。本講義では、まず最初に心理学研究の輪郭について述べた後、主要研究領域である感情・欲求・発達・パーソナリティ・社会的行動・犯罪や非行への心理学的アプローチ、さらには、産業界への応用などのうちからいくつかのテーマを選んで話を進めていきたいと思います。

年度成績は、出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合しておこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート(前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと)については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容などの詳細を説明するとともに、不明点について質問に応じます。履修予定者は、第1週に必ず出席し(その際は、本履修要項を必ず携行のこと)、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持つとともに、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努力してってください。

〔参考書〕講義の進行にともない、適宜紹介していきます。

## 心 理 学 (政治)

いた つ ひろ み  
板 津 裕 己

本講義では、心理学研究の輪郭の他に、感情、欲求、発達、パーソナリティや社会的行動などの主要心理学研究領域のうちいくつかについて述べていきます。これらの研究領域のなかでは、個人・集団行動、流言や普及過程などの集合心理現象を扱う社会的行動への心理的アプローチに時間をかければと考えています。

年度成績は、出席状況や課題レポートなどの平常点、前期試験、年度末試験、さらに講義時間内におこなう小テスト結果を総合しておこないます。これらのうち、課題レポートは必須とし、評価の際に最重要視します。

課題レポート(前期後期各1回程度、必ずワードプロセッサにて作成のこと)については、講義時間中に指示し、また、その書式や提出期限などは厳守してもらいます。

4月第1週はオリエンテーションとし、講義内容な

どの詳細を説明するとともに、不明な点について質問に応じます。履修予定者は、第1週に必ず出席し（その際は、本履修要項を必ず携行のこと）、講義の趣旨や内容などについてよく理解した後、自らの主体的判断で履修するか否かを決定してください。そして、履修する際は、自らの判断で選んだことに責任を持つとともに、積極的に講義に参加してください。さらに、本講義や課題で考えたことがらを実生活に十分に活かしていくよう努力してってください。

〔参考書〕講義の進行にともない、適宜紹介していきます。

## 心 理 学

たか ほし よし ひろ  
高 橋 良 博

心理学を初めて学ぶ者を対象として、なるべく日常的問題に即しながら、心理学の主要な領域と、その研究方法についての知識を深め、人間の心理学的理解に興味を持ってもらう事を目的に講義を進めてゆく予定である。

また、講義の中で随時供覧実験などを折り込みながら心理学研究の雰囲気伝えたい。

〔教科書〕中村昭之監修『心理学概説』（八千代出版）  
¥1,500

## コンピュータ概論

たけ だ よう いち  
竹 田 洋 一

現代社会においてはコンピュータはきわめて重要な役割を果たしており、これからの若い世代にとってはこの技能の修得は必須である。本授業はこの土台となるべき基礎知識を実際にパソコンを操作する体験を通して身につけてもらうことを目的とするものである。授業で扱う内容としては①キーボードの操作の習熟、②BASIC 言語を用いた基本的プログラミング、③オペレーティングシステムMS-DOSの基礎知識、④ワープロソフト等の応用ソフトの経験、などを予定している。月1回の講義+その月の残りの3~4回はパソコン室での実習という形で進めるが、毎回出席をとり、又各学期に課題を与えてそのレポートも試験と合わせて評価の資料とする。

〔教科書〕河西朝雄著『最新はじめてのBASIC』  
(技術評論社) ¥1,600

## コンピュータ概論

み よし しげ あき  
三 好 重 明

コンピュータとは何かということから始めて、その構成要素は何か、コンピュータはどういう仕組みで計算できるのか、コンピュータの動作原理（アルゴリズム）はどういうものか、プログラム言語とは何であって、どうして必要なのか、ハードウェアとシステムソフトウェア及び応用ソフトウェアの役割、などのことがらを解説してから、実際に受講者自身が簡単なプログラムを書いてそれをコンピュータに実行させることをやりたい。時間が許せばワープロや表計算などの応用ソフトウェアの実習も行なえるかもしれない。できるだけ演習を行ない、レポートの課題を与えて、理解の助けとなるようにしたい。

〔教科書〕教科書は特に指定しない。

## 生 物 学

にし たに さと み  
西 谷 里 美

地球環境問題、死の判断基準、臓器移植や遺伝子操作の是非、がんやエイズ対策など、現代社会には私達が考えなければならない生物学的かつ倫理的な問題が山積されている。この講義では、こういった問題を理解し、更に自分なりの解答を探っていく上で必要な基礎知識の取得をめざす。前半では、生命の歴史をふりかえり、進化からみた人間の位置について考える。また現在人間の生存を可能にしている自然の仕組みや、その仕組みを乱す環境破壊について解説する。後半では細胞や分子のレベルから見た生命活動のメカニズムと、それを応用したバイオテクノロジーについて解説する。

〔教科書〕特に指定しない

〔参考書〕授業の中で紹介する

# 保健体育科目(共通)

## 保健体育理論

あき た こう いち  
秋 田 浩 一

健康, 体育, スポーツに関する全般的知識, 特に「健康」というテーマを心と体の両面から考えていく。また, 身体運動, スポーツ, レクリエーションの必要性とその傷害及び救急法について講義を行なう。

## 保健体育理論

おほ いし たけ し  
大 石 武 士

健康や体力, 体育の概念的ことがらについてふれ, スポーツ・レクリエーション時および日常生活に於ける傷害の救急処置法について講義を行う。

〔教科書〕保健体育部編『保健体育概論』

(カズサ出版)

## 保健体育理論

たて おか よし あき  
館 岡 儀 秋

### <講義目的(要旨)>

現代社会における健康の増進, 体力の向上及び生涯を通じて継続的な運動, スポーツの必要性について講義する。

### <授業内容・授業計画>

1. 健康・体力と運動・スポーツの関連
2. 運動不足と成人病の関連
3. 健康を目的とした体力づくり
4. 健康管理法
5. 起こりやすい疾病と障害
6. 救急処置
7. エイズ予防

### <評価方法>

出席および筆記試験。また, レポート等課題提出物によって試験に変える可能性もあります。

### <教材>

特に教科書は指定しません。自分でしっかりノートをとって復習すれば, 講義自体の理解は難しくないと思います。参考図書等は授業時に紹介します。

## 保健体育理論(再クラス)

まさ の しげる  
牧 野 茂

健康の正しい認識, 健康を阻害する因子, 健康・体力づくりを中心テーマとし, 具体的な事例又は話題をとりあげながら授業を展開する。

## 保健体育理論(再クラス)

みや ざわ えい さく  
宮 沢 栄 作

大学保健体育の目的をふまえ, 我が国体育の変遷にふれ, 併せてその時代時代の体育の特長を明確にとらえさせることを導入とし, 身体運動の意義とスポーツの持つ価値の再認識を生理, 解剖学的根拠をもって図る。

具体的には, 栄養学を含めた体力トレーニング論と, 価値あるべきスポーツが, 方法を誤ると重大な障害を引き起こすスポーツ障害の原因, 予防, 更に日常生活に於ける救急処置法等についてふれていきたい。また現在大きな問題となっているエイズについても, ビデオ等を教材として過ちのないよう指導をしたいと考えている。

## 随 意 科 目 ( 共 通 )

### 比較思想特講

あ まつ けん  
麻 生 建

ヨーロッパの思想が明治以来、さまざまな形で歪められながら輸入されてきた経緯を考えながら、日本の思想とヨーロッパの思想の差異について考える。

〔教科書〕丸山真男『日本の思想』（岩波新書C39）

### 比較思想特講

あらい けん  
洗 建

法律と宗教のかかわりについて考察する。法律が規範の体系である以上、社会で主要な伝統となってきた宗教の世界観や人間観と無縁ではあり得ない。東西の宗教文化と日本の近代法をめぐる問題について考える。

〔参考書〕随時指示する。

### ドイツ語 F

まつ むか すずむ  
松 岡 晋

ドイツ、オーストリアの文化にかかわるテキストを原文で読みながら、ドイツ語圏に関するさまざまな情報、知識を得ることがこの講義の目的です。参加者はあまり多くはないと予測されますので、演習形式で行う予定です。教材はあらかじめこちらで数種類用意して、受講者の希望も加味して決定するつもりであります。定期的に出席して、積極的に取り組んでくださる方々の受講をのぞんでおります。

〔教科書〕コピーにて配布

〔参考書〕その都度、指示します。

### ドイツ語 F L L (初級)

こ げやし  
小 林 ゲアリンデ

生きたドイツ語に触れ、聴き取り能力をつけることをめざす。そして基本的な語彙や文型を身につけ、ドイツ語の基礎的な表現力を養成し、簡単な日常会話が出来るようにしたい。テキストは教室で適宜配布する。

### ドイツ語 F L L (中級)

こ げやし  
小 林 ゲアリンデ

ドイツ語 F L L (初級) を履習したすべての学生を対象とします。また、L L 以外のドイツ語の授業ですらに文法と会話を学び、さらにドイツ語の日常会話を学びたいという学生も歓迎します。L L (中級) では、ドイツ語を読み、書き、聞く能力を養うほか、文法を学びます。また時には遊びも入ります。しかし何よりもドイツ語を話すことに重点をおきます。

テキストは“Themen neu 1”を使用し、今年度は第4課からはじめます。

### フランス語 F

の ざわ きょう  
野 沢 協

フランス語 I, II をすでに履修した上で、一層の語学力を身につけたいと思う学生諸君のための語学授業です。したがって、フランス語 I, II の修了者か、独習または学外での学習によってそれと同等の語学力のある諸君だけを対象とします。使用する教材の分野について、担当者としての願望はもちろんあります（できれば、17～19世紀の何か古典的なテキスト、それも多少抽象度の高いものを一緒に読めたらと思います）が、最終的には、学年はじめに受講者の希望や好みを聞いた上で決定するつもりです。

〔教科書〕未 定

### フランス語 F L L (初級)

たか はし かむる  
高 橋 薫

ビデオ教材を利用して、ごく初歩の聞きとり・表現の練習をします。フランス語を母語とする人々と、ひとりの外国人として、簡単なコミュニケーションをはかれるようになればよい、と思います。簡単な言葉のやりとりから相互理解が始まるのです。時間が許せば映画・ニュース・ドキュメンタリーなどを見て、映像や音声を通じて、フランス人の暮らしぶりを知ることができればよい、と考えています。

〔教科書〕教室で指示します。

## フランス語 F L L (初級)

ボダン, エマニュエル

基礎的な文法に基づいたフランス語会話のパターンを獲得することを目的とする。使用する教科書は講義の時間に指示する。

## フランス語 F L L (中級)

ボダン, エマニュエル

これまで学習した内容の復習と応用を行なう。  
使用する教科書は講義の時間に指示する。

## 中国語 F

かま や おさむ  
釜 屋 修

中国の民衆の生活の実態を微型小説(ショート・ショート)、新聞記事などを通してさぐりつつ、中国語読解能力の向上をめざします。中国語学習歴二年以上またはそれと同等の力を有し、中国と中国語に関心をもつ諸君を“熱烈歓迎”。

毎時間簡単な中国語会話の練習もとりいれます。

独自プリントを開講時に配布します。

〔参考書〕開講時に紹介します。

## 中国語 F L L (初級)

まつ もと あつ とし  
松 本 丁 俊

ビデオ教材を使って、会話と聴き取りの練習をします。中国語 I 既習でいどの基礎力が必要です。ビデオの内容は、ごく日常的な場面での会話ばかりで、楽しく学んでいけると思います。

発音の復習から始めますので、イチからやり直したい人、中国語 I A・B の成績が芳しくなかった人でも大丈夫。

## 中国語 F L L (中級)

お かわ たかし  
小 川 隆

中国語を1年以上履修したか、またはそれと同程度の学習歴のある人を対象に、映画・テープ等を使った会話と聴き取りの訓練を行います。新たな知識の獲得よりも、既習の知識の耳と口への定着を主な目標とします。予習は必要ありませんが、その日に学んだ内容

は、必ず翌週までに暗譜してきて下さい。

〔教科書〕榎本英雄『やさしい中国語会話』

(白水社) ¥1,300

## スペイン語 F

うり は  
瓜 谷 アウロラ

1・2年でおぼえた基本のスペイン語を身につけよう! 最新のビデオを見てかんたんな会話をどういうコンテキストの中で使うかをたしかめてから実際に声を出して自分のものにします。必要に応じてカセットテープも使う予定です。

〔教科書〕VIAJE AL ESPAÑOL 『SELF-ACCESS COURSE

BOOK 2』SANTILLANA発行

発売元: 伸興通商株式会社 ¥2,000

Tel (03) 3353-1751

## スペイン語 F L L (初級)

ナバロ, ホワン J.

初心者を対象に、スライドやビデオを見ながら、やさしい日常会話を勉強します。正規授業のスペイン語を履修している学生の受講を望みます。

## スペイン語 F L L (中級)

ナバロ, ホワン J.

前年度 L L 初級を終えたもの、またはそれと同等の学力を身につけているものを対象に、ビデオを見ながら、日常会話を勉強します。

## ロシア語 F

すぎ やま ひで こ  
杉 山 秀 子

本講座はロシア語初級課程を終えたものを主たる対象とする。ロシア語の表現力を身につけるための平易な読みものを取りあげ、ロシア語らしい言いまわしや、語いを広げて様々なスタイルのロシア語文に馴れてもらうことを主眼とし、第二には最新版のセミナーやリテラトゥールナヤ・ガゼータの記事を取りあげ、現代ロシア社会のひずみや歪んだ部分に光をあててみたい。

〔教科書〕教場にてプリントを配布。

〔参考書〕露語辞書



## ロシア語FLL (初級)

き むら ひで あき  
木 村 英 明

日常会話に役立つ簡単な表現をやさしい文章を用いて練習します。発音、イントネーションに重点をおいた反復練習により初等ロシア語の知識を耳と口から身につけることを目的とします。特に、最初の段階では受講者一人一人の発音上の欠点を分かりやすく指摘し、正しいロシア語の発音に慣れるようにします。

〔教科書〕プリントを教場で配布。

## ロシア語FLL (中級)

さ の あさ こ  
佐 野 朝 子

ロシア語の正規授業を履修した人または同程度の学習体験を有する人を対象とします。ロシア語独特の言いまわし、イントネーションを小話等の短文を用いながら受講者の能力に応じて修得することを目的とします。またロシア語を通じユーラシア大陸におけるロシア連邦、各共和国、諸民族の生活や文化にもふれます。

〔教科書〕プリントを教場で配布。

## 英語 (海外演習)

この授業科目は、クインズランド大学・ブリティッシュコロロンビア大学・エクセター大学・カリフォルニア大学アーバイン校における短期留学セミナーでの四週間に及ぶ現地演習を中心として行なわれる英語随意科目である。受講対象学生は、全学部の1年次生から卒業年次生までとする。

現地演習後に4大学より受講生の成績・評価等が出される。受講生には単位認定がなされる。



# 法律学科

## 基礎教育科目

法学概論(大久保 治男).....	87
法学概論(北野 かほる).....	87

## 専門教育科目

1年次必修科目	
憲法(齊藤 寿).....	88
民法Ⅰ(河野 弘矩).....	88
1年次選択科目	
民法Ⅳ(1)(叶 和夫).....	88
2年次必修科目	
行政法Ⅰ(金子 昇平).....	88
行政法Ⅰ(齊藤 寿).....	88
刑法Ⅰ(松村 格).....	89
刑法Ⅰ(山口 邦夫).....	89
民法Ⅱ(1)(青野 博之).....	89
民法Ⅱ(1)(前期:椿 久美子)	
(後期:林 幸司).....	89
民法Ⅲ(1)(鶴井 俊吉).....	89
商法Ⅰ(荒木 正孝).....	89
商法Ⅰ(山田 泰彦).....	90
国際法Ⅰ(王 志安).....	90
国際法Ⅰ(齋藤 洋).....	90
2年次選択科目	
政治学原論(大塚 桂).....	90
マス・コミュニケーション論(相田 敏彦).....	91
政治史(寺崎 修).....	91
経済原論(浅野 克巳).....	91
法思想史(金刺 亮介).....	91
裁判法(杉浦 智紹).....	91
外国法(英米法)(北野 かほる).....	91
外国法(独法)(山口 邦夫).....	91
外国法(仏法)(上井 長久).....	92
外国法(社会主義法)(土岐 茂).....	92
3年次必修科目	
刑法Ⅱ(松村 格).....	92
刑法Ⅱ(山口 邦夫).....	92
商法Ⅱ(島原 宏明).....	92
商法Ⅱ(関口 雅夫).....	93
民事訴訟法Ⅰ(杉浦 智紹).....	93

## 3年次選択科目

法社会学(小林 弘人).....	93
行政学(福田 耕治).....	93
財政学(里中 恆志).....	93
日本法制史(大久保 治男).....	93
西洋法制史(北野 かほる).....	94
国際関係論(首藤 素子).....	94
経済政策(森岡 仁).....	94
社会政策(金子 征史).....	94
刑事政策(斎藤 静敬).....	94
比較憲法(西 修).....	94
行政法Ⅱ(齊藤 寿).....	95
民法Ⅱ(2)(鶴井 俊吉).....	95
民法Ⅲ(2)(前期:織田 博子)	
(後期:林 幸司).....	95
経済法(川井 克倭).....	95
労働法(浜村 彰).....	95
税法(岸田 貞夫).....	96
社会保障法(大場 敏彦).....	96
外交史(首藤 素子).....	96
国際法Ⅱ(王 志安).....	96
国際私法(笠原 俊宏).....	96
地方自治法(梅木 崇).....	96
時事英語(三竹 直哉).....	96
3・4年次選択科目	
外書講読(英)(青野 博之).....	97
外書講読(英)(金子 昇平).....	97
外書講読(独)(松村 格).....	97
外書講読(仏)(荒木 正孝).....	97
外書講読(中)(3選)(江林 英基).....	97
外書講読(中)(4選)(岩崎 皇).....	97
外書講読(ス)(佐藤 玖美子).....	97
4年次必修科目	
刑事訴訟法(齊藤 誠二).....	98
4年次選択科目	
法哲学(山口 邦夫).....	98
民法Ⅳ(2)(叶 和夫).....	98
倒産法(馬越 道夫).....	98
商法Ⅲ(山田 泰彦).....	98
知的財産権法(盛岡 一夫).....	99
民事訴訟法Ⅱ(梅 善夫).....	99
政治思想史(小林 正敏).....	99



# 法 律 学 科

## 基礎教育科目

### 法 学 概 論

おおく ぼ はる お  
大久保 治 男

法学部で学んでいこうとしている諸君に必要な最小限の基礎的概念や理論を概説する。法とは何か、法の目的、法の根拠、法源、法の種類、法の解釈、法の効力、法と国家などの総論と民法、刑法等全体を鳥瞰し2年次以降の法学の各講義がスムーズに受け入れられるべく入門的かつ相当高度な専門的レベル迄ガイドを講ずる各論とよりなる。現代社会の諸特質もふまえ、社会が繁栄し、各個人と全体との調和のために最大公約数としての法秩序をいかに合目的的に運用していかねばならないかを多角的に分析し、これらの背景になっている法史学的、法哲学的、法社会学的問題にふれたり、アップ、ツー、デイトの事例にまで具体的に展開して受講生に法学に対する興味と意欲を起させるよう配慮する。

〔教科書〕大久保治男著『法学概説』（芦書房）

〔参考書〕水辺編・大久保他 共著『演習ノート法学』（法学書院）

大久保治男著『家族関係』（芦書房）

### 法 学 概 論

また の  
北 野 かほる

これから法学を学んで行くための基本的観点と感覚を養うため、「法」と社会と人間との関わりについての一般的考察、「法」の社会的機能の要点、を概観し、「法学」の全般的機能を考察した上で、「法学」を学ぶことの意味を改めて考える。また、今後の学習の指針として、現代日本の法学の諸分野とその大まかな特徴を解説する。

〔教科書〕年度当初に指示する。

〔参考書〕随時指示する。

# 専門教育科目

## 1 年次必修科目

### 憲 法

さいとう ひさし  
斉 藤 寿

「基本的人権論」と「統治機構論」を中心に、学説・判例・事例研究等を通して、体系化した講義を続け、基本的・強靱な思考力と科学的な創造力を養いたいと思う。前者の「基本的人権論」では、自由権・平等権・人身保護権・救済権・参政権・社会権などについて講義し、後者の「統治機構論」では、国会・内閣・裁判所・自治体・財政などについて講義する。

〔教科書〕『憲法原理の分析と展開』、『憲法論理の展開』、『憲法要論』など、拙著の中から、講義の際、選択・指示する。

### 民 法 I

こうの ひろのり  
河 野 弘 矩

民法典は、総則・物権・債権・親族・相続の五編から構成されている「私法関係についての一般法（普通法）」である。本講の対象は、第一編『総則』（第1条～174条ノ2）である。民法『総則』規定は、財産法（物権法・債権法）に対する通則として抽象的な表現方法をもちいているが、講義では、われわれが日常遭遇する具体的事案に極力あてはめ、適切な具体例を通してわかりやすく進行する。

〔教科書〕河野弘矩『民法総則』（八千代出版）  
¥3,200

## 1 年次選択科目

### 民 法 IV (1)

かこう かずお  
叶 和 夫

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案の中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財

産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりまぜて、面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕遠藤 浩他 5名編集

『民法(8)親族 第3版増訂版』

(有斐閣双書)

〔参考書〕島津一郎編

『基本法コンメンタール第3版 親族』

別冊法学セミナー（日本評論社）

## 2 年次必修科目

### 行 政 法 I

かね こ しょう へい  
金 子 昇 平

行政法の総論的問題、すなわち行政と法の一般的関係、行政法の基本原理、行政立法、行政行為、行政上の契約、行政指導、行政計画、行政調査、行政手続、行政過程における私人等に関する問題を、個別的、具体的に検討する講義を試みる。

〔教科書〕塩野 宏『行政法I』（有斐閣）¥2,060

〔参考書〕塩野 宏・室井 力編『行政法を学ぶ(IX2)』（有斐閣双書）

### 行 政 法 I

さいとう ひさし  
斉 藤 寿

現代国家においては、国民と行政権のかかわり合いが増大しつつある。そこで、行政主体（行政庁）と行政客体（私人）との間の権利義務関係を支配する法理・法原則を究明することは、重要にしてかつ興味深い研究対象の一つとなっている。こうした観点から、本講義は、生きた行政法を重視しながら、次の諸問題を考察する。

(1)行政と行政法の意義 (2)行政法の基本原理

(3)行政法の法源と効力 (4)行政上の法律関係

(5)行政行為 (6)行政裁量 (7)行政立法 (8)行政手続

(9)行政契約 (10)行政計画 (11)行政指導 (12)行政強制

(13)行政罰 (14)行政救済 (15)行政上の損害賠償および

損失補償 (16)行政争訟

〔教科書〕拙著の中から、開講の際、選択・指示する。

## 刑 法 I

まつ 村 格  
松 村 格

前期の前半において、「刑法学への誘い」を教材として刑法と刑法学の全体像を罪刑法定主義・責任主義・謙抑主義といった法原則を中心にして学習し、その後に講義案に従って犯罪論を詳細に勉強していく。そこで、行為論・構成要件論・違法論・責任論・未遂論・共犯論・罪数論・刑罰論については、前期の学習でその大要をつかんでから前期後半と後期に詳しく検討していくこととする。全体的にシステマティッシュな理解を中心とする。

〔教科書〕①松村 格『刑法学への誘い』  
(八千代出版)

②松村 格『日本刑法(総則講義案)』  
(八千代出版)

〔参考書〕①齊藤誠二編『演習ノート刑法総論』  
平成2年版(法学書院)

②『刑法判例百選I総論』(第3版)

③『刑法基本講座』(法学書院)

## 刑 法 I

やま ぐち くに お  
山 口 邦 夫

ドイツ刑法を継受した、わが国の刑法を理解するにあたって、その歴史的背景を考慮しながら講義をすすめた。また、フランス刑法の流れをくむ旧刑法をも参考にしながら、刑法総論の解釈学を行う。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕山口邦夫『一九世紀ドイツ刑法学研究』  
(八千代出版)

## 民 法 II (1)

あお の ひろ ゆき  
青 野 博 之

本講義は、民法典の第2編「物権」の第1章から第6章までを対象として行う。不動産売買をめぐるトラブルがどのように解決されるかなど、物権変動を中心に、講義を進める。判例・学説がどのような事案でどういう解決をめざしているかに関心を持って、講義を聴きにきてほしい。受講生からの質問は大歓迎である。

教科書は下記のものを使うが、ほかに自分で気に入ったものがあればそれでもよい。

〔教科書〕遠藤 浩ほか編『民法(2)物権(第3版)』  
(有斐閣)

## 民 法 II (1)

(前期) つばき く み こ  
椿 久 美 子  
(後期) はやし こう じ  
林 幸 司

この講義では、民法第二編「物権」のうち、175条～294条までの物権法を対象とする。295条以下のいわゆる担保物権法は範囲外である。講義は、物権変動(たとえば家の売買において所有権は登記をしなくても移転するかといったような問題)、占有(おおよそ物を自分の支配下に置くことを言い、所有者も賃借人も盗人もみな占有しているが、その場合の法律問題)および共有(数人がお金を出し合って一台の車を購入したような場合の法律問題)に重点を置き、用益物権(地上権・永小作権など)は簡単な説明にとどめる。予習は必ずしてきてほしい。なお、六法は第一回目から持参すること。

〔教科書〕淡路剛久・鎌田 薫・原田純孝・生 長幸  
『民法II-物権』(第2版)(有斐閣)

¥1,957

〔参考書〕講義の際に指示する。

## 民 法 III (1)

つる い しゅん きち  
鶴 井 俊 吉

民法III(1)は、民法典のうち第三編「債権」の第一章「総則」、いわゆる「債権総論」と呼ばれる部分を本講義の対象とする。

債権総論は、一般的・抽象的でよく解り難いといわれているが、それは債権をその成立の原因から切り離して抽象的に取扱い、その性質ないし効力の共通の部分を規定するものだからである。

講義では、できる限り具体的な事例などをあげて解説する予定である。

〔教科書〕遠藤・川井他編『民法(4)債権総論』  
(有斐閣双書)

## 商 法 I

あらか き まさ たか  
荒 木 正 孝

この講義では、商法総則(法例、商人、商業登記、商号、商業帳簿、商業使用人、代理商)および会社法(総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社)についてその基礎的な法知識を身につけることを目的とする。

商法は、民法を一般法とする特別法ですから、商法を学ぶ際には基本となる民法総則、物権法、債権総論などの知識があると一層理解しやすいと思いますが、

講義の内容を理解するために必要な限度で民法にも触れるつもりですから、民法（財産法）を履修していなくてもかまいません。ただ、企業を目指す法学部の学生諸君は、商法に興味を抱くか否かは別として、やはり財産法を学んでおいたほうがよいでしょう。

講義のやり方ですが、年間の限られた授業時間をできるだけ有効に使いたいのので、最も活発に議論の展開されている会社法、なかでも現代社会において我々国民の経済生活に計り知れない影響を与えている株式会社法の生成、機能、構造、消滅などを規整する株式会社法に重点を置き、その骨格に係わる重要な法律問題について、最新の学説、判例および実務の対応などを検討するなかで、会社法の基本的考え方を十分に理解できるようにする。

〔教科書〕 荒木正孝著『現代企業法（商法総則・会社法）第2版』（成文堂）

〔参考書〕 奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第2版』（成文堂）  
鴻・竹内編『会社判例百選（第5版）』（有斐閣）

## 商 法 Ⅰ

やま      た      や      ひ  
山      田      泰      彦

株式会社は、現在の経済活動において、不可欠の組織であり、重要な構成単位である。この講義では、株式会社を法制度の側面からみることにする。株式会社法の理念、それを支える基本原則を踏まえながら、株式会社法の各制度内容を概観し、ときには現在問題となっているトピックも取り上げる予定である。具体的な講義内容は、最初の授業のときに、年間予定を表にして配付する。なお、商法総則は、会社法の講義に関連した限りで取り上げ、特にまとまった授業はしない。

〔教科書〕 荒木正孝『現代企業法』（成文堂）¥2,800

## 国 際 法 Ⅰ

おう      し      あん  
王      志      安

激しい変動期にある現代国際関係における国際法の地位及び役割について、理論及び実行の両面から考えていきたい。まず、国際法の基本構造及び特徴を歴史的・機能的な視点から説明する。それを基礎にして、国家、国際機構、国家領域、人権および外交関係の諸制度を具体的に取り上げて解説する。

〔教科書〕 香西 茂・太寿堂鼎・高林秀雄・山手治之著『国際法概説』（第三版改訂）（有斐閣）  
¥1,900

〔参考書〕 開講時に指定する。

## 国 際 法 Ⅰ

さい      とう      ひろし  
齋      藤      洋

本講座は、国際法の全体系のなかで、平和的国際関係における法領域を概観する。国際法の歴史から始めて、基礎理論、法の主体と客体、国際法律行為、紛争の平和的処理を中心に、国際法の基礎知識の修得と、国際社会で実際に生きてはたらいっている法としての理解をめざすものである。

〔教科書〕 香西 茂・太寿堂鼎・高林秀雄・山手治之著『国際法概説』（第三版改訂）（有斐閣）  
¥1,900

〔参考書〕 桜井光堂『改訂 国際法』（有信堂）

## 2 年次選択科目

### 政治学原論

おお      つか      かつら  
大      塚      桂

現代政治学の体系的な理解を深めるべく、以下の諸問題について検討していく。

- I. 政治学の課題と対象ならびに方法論
- II. デモクラシーとリベラリズムの概念、史的展開
- III. 政治権力論
- IV. 政治制度・機構論
- V. 行政国家論・現代社会論
- VI. 政治変動論
- VII. 政治行動論
- VIII. 政治過程論・政策決定過程論
- IX. 政治集団論
- X. 現代政治理論

〔教科書〕 大塚 桂『政治学原論序説』（勁草書房）  
¥3,296

〔参考書〕 原田 鋼『政治学原論』（朝倉書店）  
¥5,356

中山政夫『現代政治学』（三和書房）  
¥2,575

佐竹 寛『政治学体系論』（法学書院）  
¥3,090

日下喜一『現代政治学概説』（勁草書房）  
¥2,060

本田 弘『政治理論の構造』（勁草書房）  
¥4,000



〔参考書〕青山『経済原論の頻出問題』  
(実務教育出版) 1994年, ¥906

### 法思想史

かね さし りょう すけ  
金 刺 亮 介

プラトン, アリストテレス, アウグスチヌス, トマス・アクィナス, ホップズ, ロック, ルソーカント, ヘーゲルなどの, 法思想史上古典とされる作品を取り上げ, 支配と自由, 秩序と自由という観点から講義していく予定です。

〔参考書〕三島淑臣『法思想史』(青林書院) ¥5,000  
加藤新平『法思想史』(勁草書房) ¥1,200

### 裁判法

すぎ うら とも つぐ  
杉 浦 智 紹

本年は, 現代の裁判制度を学生諸君に的確に把握してもらえる様に講義を進める予定である。講義の内容はⅠ. 裁判所の機構論, 裁判官論, 検察官論, 弁護士制度, 公証人制度, ならびに法曹教育問題, Ⅱ. 裁判の本質論, 裁判の審理と促進に関する問題, 各種裁判の手續等についてその概要を述べた上, その問題点などを指摘しながら論究すると共に, 三年次以後の訴訟法を勉強するための基礎が形成できるよう, 手続法の原理など基本的な事項について言及するよう努める。

〔教科書〕開講時に指示する。  
〔参考書〕開講時に指示する。

### 外国法(英米法)

きた の かほる  
北 野 かほる

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について, 日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し, その主要な理由をなすと考えられる, 法形成における裁判の意味について, 司法機構と判例法を中心に考察する。

〔教科書〕特に指定しない。  
〔主要参考書〕望月礼二郎『英米法(改訂第二版)』  
(青林書院)現代法律学全集55 ¥5,150  
〔参考書〕年度当初に指示する。

### 外国法(独法)

やま ぐち くに お  
山 口 邦 夫

この講義の目的は, 単なる外国法のひとつとしての

### マス・コミュニケーション論

あい だ とし ひこ  
相 田 敏 彦

1. テレビなどのマス・メディアが, 現実をどのように正しく, あるいはゆがめて映し出しているか, また, 視聴者など一般の人びとは, そのメディアの内容をいかに受けとめているか, この問題を記号論的角度的を取り入れながら検討する。
2. パソコン通信, テレビゲームなどのいわゆるニューメディアが, 従来のコミュニケーション行動や, さらにはその理論におよぼすインパクトを論じる。
3. 通常のコミュニケーション概念を批判し, コミュニケーション理論についての新たな視点を構築する。
4. ヨーロッパを中心とした研究上の最新の動向の検討。

〔教科書〕カラン・グレヴィッチ  
『マスメディアと社会』(勁草書房)

### 政治史

てら さき おさむ  
寺 崎 修

日本政治史上の諸事件を素材に, 日本近代化の過程をわかりやすく説明する。これまで不明とされてきた問題や, 今日, 比較的軽視されている問題についても言及するつもりである。

〔教科書〕開講時に指示する。

### 経済原論

あさ の かつ み  
浅 野 克 巳

現実の経済の動きを念頭におきながら, 現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお, 公務員試験(其他国家試験)の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので, 下記の問題集も用意されたい。

- Ⅰ マクロ経済学の理論
1. 経済循環と国民所得の概念
  2. 国民所得の決定
  3. 経済の変動と成長
  4. 賃金・物価・インフレーション
- Ⅱ ミクロ経済学の理論
1. 消費者行動の理論
  2. 企業行動の理論
  3. 市場と価格決定
  4. 市場と企業
- Ⅲ 公共政策
- Ⅳ 国際経済学

〔教科書〕浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』  
(成蹊堂) 1995年

ドイツ法を説くのではなく、また比較法のために一国法としてのドイツ法を説くでもない。それは、わが国が明治時代以降、いくつかのヨーロッパの法を継受した歴史的事実を基礎に、わが国の諸法律および法思想に多大なる影響を与えた外国法のひとつとしてのドイツ法を講義することにある。したがって、おもに19世紀以降のドイツ法と日本の法律との関連を「法学入門」風に講義することとなる。

前期は、憲法をはじめとするおもな法典についての概略を説明し、後期には、それらの背景となった法思想を、著名な法思想家を中心に講義を進めたい。

受講者の条件として、一年次においてドイツ語を履修したか、あるいはドイツ語に興味をもって、みずから学ぶ意欲のあることが望ましい。

### 外国法(仏法)

うえいながひさ  
上井長久

一般に外国法を学ぶことは、外国の法思想・法制度・法原理の意義、機能及びその歴史的、社会的背景などを探ることであり、同時にそれらを通して外国法に固有の考えられない見方を会得することである。外国法の学習はまた、わが国の法の理解にも役立つ。とくに、フランス法はわが国の法に対して過去においても現在においても大きな影響を及ぼしており、わが国の法を理解する上でも重要である。

本講は、主として、フランス私法を理解する上で必要な、フランス古法、革命期の法、法典編纂及びその後の変遷、自然法、権利と法、司法制度など基礎的問題を解明していく。適宜、わが国の法との関連もみていく。

〔教科書〕開講のときに、プリントを配付する。

〔参考書〕開講のときに掲げる。

### 外国法(社会主義法)

と き しげる  
土岐茂

今日の社会主義諸国の変化は、改めて「社会主義」とは何だったのかを問い直さざるを得ない大きな問題を提起している。経済改革によって激しく変化している「社会主義」中国の法の姿をとくに「民主主義」の観点から分析することを課題としたい。

講義内容は、主に教科書の第2部および第3部に対応するものとなる予定である。したがって、学生諸君にはあらかじめ該当部分を読んでおくことを望みたい。

〔教科書〕小口彦太、木間正道、田中信行、国谷知史『中国法入門』(三省堂) ¥2,400

〔参考書〕毛里和子『現代中国政治』(名古屋大学出版会) ¥2,575

## 3年次必修科目

### 刑法 II

まつむらいたる  
松村格

人工受精、脳死と臓器移植、安楽死、尊厳死、公害被害児、コンピューター犯罪、磁気カードの改ざん、贈収賄罪など現代まさに問題になっている重大犯罪をテーマにとりあげて、生命や暴力・傷害の概念、財産や文書の概念について全員で考えてみたいと思う。教科書の各箇所をわたって同時に学習していくし、時には教科書をはなれることもあるので、毎回出席していないと理解できなくなる。

〔教科書〕松村格『日本刑法(各則講義案)』(八千代出版)

〔参考書〕①『ジュリスト刑法判例百選II各論』(1992年版)(有斐閣)

②『刑法基本講座』(法学書院)

### 刑法 II

やまぐちくにお  
山口邦夫

法益による犯罪の分類が、現在、通説的な説明方法となっているが、各犯罪類型のもつ歴史的背景を加味しつつ、その犯罪類型の論理構造を解明しながら講義をすすめたい。

〔教科書〕開講時に指示する。

### 商法 II

しまほらひろあき  
島原宏明

現代の経済社会における企業間の取引では、その決済に手形や小切手が数多く使用されている。したがって、諸君がいずれなんらかの形で企業活動に参入することになれば手形や小切手の関わりを持たなければならない。また、手形・小切手は典型的な有価証券であって、その流通に関する法規制は商法上の他の有価証券にも及んでいるため、その意味でも手形小切手法の体系を把握しておくことは大変重要である。

なお、大半の学生諸君には手形や小切手の世界は現実感が乏しく興味が起こりにくいため、なるべく具体的な事例を示した上で解説をしていくつもりである。

〔教科書〕高鳥正夫『手形法小切手法(改訂版)』(慶應通信)

〔参考書〕開講時に指示する。

## 商 法 Ⅱ

はき ぐち まさ お  
関 口 雅 夫

商法Ⅱは、商法学のうち、「商行為法」および「手形小切手法」を主要な対象としている。

本講義は平易を旨とし、商法Ⅱを論理体系的に、かつ判例を通じて実践的に理解し、その基礎的知識の修得を目的とする。

〔教科書〕関口雅夫編著『商法Ⅰ（商法総則・商行為法）』（八千代出版）¥2,800

関口雅夫編著『商法Ⅲ（手形小切手法）』（八千代出版）¥2,800

## 民事訴訟法Ⅰ

すぎ うら とも つぐ  
杉 浦 智 紹

「訴訟」は訴訟法と実体法を総合する場であり、民事訴訟法学は「民事訴訟」をその学問対象とする。訴訟構造は、總ての審査手続の範型をなすものであるから、学生諸君は等しく研究することが必要であると思う。

講義は、判決手続を中心に、民事訴訟の基礎理論からはじめて、訴訟主体論、訴訟客体論、訴訟行為論、第一審訴訟手続論及び裁判論へと進める予定である。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕開講時に指示する。

## 3 年次選択科目

### 法 社 会 学

こ ばやし ひろ ひと  
小 林 弘 人

前期は、法社会学の基礎理論（学説の説明が中心になる）の解説、後期は、法と社会の関連について、具体的テーマを設定して講義する予定である。

その他、諸般のことがらについては、講義初日に説明する。

〔教科書〕及川 伸著『法社会学入門』（新版）（法律文化社）

〔参考書〕六本佳平著『法社会学』（有斐閣）

## 行 政 学

ふく だ こう じ  
福 田 耕 治

一国レベルでは到底管理できない地球規模の問題が山積みする現在、わが国を取り巻く行政環境も大きく変わりつつある。本講義では、こうした行政の現実と行政理論の動向にも言及しながら、わが国が直面する行政課題や諸外国から指摘される日本官僚制の問題点、国内行政の「国際化」への対応と具体的争点を分かり易く概説する。また、国際機関の行政、国際行政と国内行政との関係など、国際化時代に行政学が取り組むべき課題を理論的かつ実証的に解明することにした。

〔教科書〕福田『現代行政と国際化』（成文堂）

## 財 政 学

さと なか つね し  
里 中 恆 志

経済生活のなかで公共部門の関与する比重は確実に増しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこには市場経済原理とは異なる原理が機能する。国民が財政意志の形成に参加する方法は民主的な手続をとおしてであるから、適切な財政政策の実現のためには国民が財政をコントロールするルールとその制度の背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。このような観点から公共収入政策、公共支出政策の原理および基準を考察し、現実の財政問題に対する判断力を養う。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 日 本 法 制 史

おおく ぼ ぼる お  
大久保 治 男

法律文化の変遷の流れを上古時代より近代まで概説する。刑事法制、財産法制、家族法制（女性史や婚姻史を主）の各分野の歴史を巾広くふれ、さらにわたくし達の意識や習俗や言語等に残っている法制史的事柄にまで展開する。また、刑法や民法等の現行法との対比も常に行いその異同も視点に入れる。教授方法は講義の他に、OHP、スライド、VTR等視聴覚教材やシンポジウム、劇化の方式も取り入れ、楽しい法制史にして学生の研究意欲を起こさせるよう工夫する。「温故知新」であり世は「歴史ブーム」。テレビや映画の時代考証にも役立ち、多くの話題を提供する一味ちがうユニークな法制史にしていきたい。

〔教科書〕大久保治男他著『日本法制史』（高文堂出版社）¥2,650

〔参考書〕大久保治男編『江戸の犯罪と刑罰』（高文堂出版社）¥1,100

## 西洋法制史

きた の かほる  
北 野 かほる

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を1.古代、2.中世、3.近世、4.近代の4つの時期に分け、1-3を中心に、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特点と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕年度当初に指示する。

## 国際関係論

しゅ とう へい こ  
首 藤 素 子

冷戦後の国際関係の特徴と問題について考える。講義を構成するテーマは次の3つに大別できる。第1に、欧州地域の安全保障協力や政治、経済協力の進展と制度化について、第2に、アジア太平洋地域の経済的相互依存の深化や安全保障協力を目的とするフォーラムの形成と問題について、第3に、冷戦後の国際組織の役割の拡充とその機能の実態について。なお、第2のテーマでは戦後の日本の外交政策や日米関係の推移等も講義でとりあげる。また第3のテーマでは、国際機関による開発援助や融資の問題、貧困と開発と人権の問題、現代文明のグローバルな環境問題の関連等を講義でとりあげたいと思っている。

〔教科書〕細谷千博・臼井久和編『新版 国際政治の世界』（有信堂高文社）1993年

〔参考書〕講義で指示する。

## 経済政策

もり おか じん  
森 岡 仁

経済政策を理解するには経済の理論的知識を必要とするが、ここでは法学部の学生諸君にも十分理解しうるように講義を進める。内容は以下のとおりである。

- I. 現代経済と経済政策
- II. 経済政策学の発展
- III. 現代経済政策の課題
- IV. 経済の成長政策
- V. 経済の安定政策
- VI. 産業組織政策
- VII. 社会均衡化政策
- VIII. 経済政策と人口政策

〔教科書〕森岡（他）『現代経済政策』（千倉書房）

¥2,800

## 社会政策

かね こ まさ ふみ  
金 子 征 史

近年の経済不況は、労使関係のあり方を再考する格好のチャンスを与えた。これは、今回の経済不況にのみ特有の問題ではないが、それでも、わが国のこれまでの労使関係を規定してきた終身雇用制、それにもとづく年功賃金制、さらには企業別労働組合といった特色が変容しつつある今日の状況を考えると、従来の不況とはその現象面においてさえ質的な変化が大きくあらわれてきていることを感じざるをえない。社会政策は、法学部での労働法、社会保障法といった、いわゆる社会法のあり方を政策的視点からとらえる学問である。経済、政治の変動をダイナミックにとらえ、現代的政策問題をあきらかにする講義を予定している。

〔教科書・参考書〕未定、開講時に参考文献とともに指示する。

## 刑事政策

さい とう よし ゆき  
斎 藤 静 敬

刑事政策は、犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究する学問である。そこで、犯罪の現象と原因を考察し、その対策を概説する。例えば、身体構造、知能、性格、年令、家庭、婚姻、教育と犯罪。仮釈放、起訴猶予、執行猶予、刑罰……など。

## 比較憲法

にし おさむ  
西 修

比較憲法の研究は、世界各国憲法の動向を知り、かつ日本国憲法の特徴、問題点を認識するという点で、重要な意義を有する。講義は、比較憲法の研究の方法、世界の憲法体系の類型などマクロ的側面と、英、米、仏、独、ロ、中の主要諸国の憲法体制の説明などミクロ的側面をミックスしながら進めていく。ビデオなども使用し、わかりやすい講義にしていくつもりである。なお毎時間の講義内容については、別に配布するシラバスを参照のこと。

〔教科書〕アルバート・P. ブラウスタイン著、西 修訳『世界の憲法——その生成と発展』（成文堂）1994年

〔参考書〕（主要参考書）西 修著『よくわかる平成憲法講座』（TBSブリタニカ）1995年シラバスを参照のこと

## 行政法Ⅱ

さい とう ひさし  
斉 藤 寿

行政法の各論として、各種の行政法領域ごとに、関係法令を類型化し、解釈学的にとらえるとともに、判例や事例研究を通して、行政法令の現実的機能にふれつつ、興味深い講義を続け、楽しく研究します。

主な内容としては、(1)行政組織法、(2)公務員法、(3)公物法・営造物法、(4)警察法、(5)統制法、(6)公企業法、(7)公用負担法、(8)財政法、などについて学んでいきます。

そして、時間的に可能であれば、生活空間（環境）形成行政法などにも、および予定です。これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕『現代行政法論』（勁草書房）、  
『行政法Ⅰ・Ⅱ』（評論社）など、拙著の中  
から、講義の際、選択・指示します。

## 民法Ⅱ(2)

つる い しゅん きち  
鶴 井 俊 吉

民法Ⅱ(2)は、担保物権法を対象とする。担保物権法は、資本主義経済の発展に伴って、その重要性がますます増大している。今日、財産法部門で最も変化の多いところであり、取引界の要請により、新しい法令が制定され、年々歳々進展し、そして著しく変動している。

講義では、民法典の第二編「物権」の留置権、先取特権、質権、抵当権を中心に、譲渡担保、仮登記担保等がその内容となる。物的担保制度の基礎的原理については、できるかぎりわかりやすく、具体的事例などをあげて解説する。

〔教科書〕遠藤・川井・原島他編『民法(3) 担保物権』（有斐閣双書）¥1,400

## 民法Ⅲ(2)

(前期) おり た ひろ こ  
織 田 博 子  
(後期) はやし こう じ  
林 幸 司

本講義では、民法のうち、債権各論（契約、事務管理、不当利得、不法行為）を対象とする。民法の講義を中心とするが、民法以外の特別法（例えば、交通事故が問題となる場合には自動車損害賠償保障法、宅地建物の賃貸借が問題となる場合には借地借家法など）にも必要な限りで言及する。

本年度は、不法行為、契約、事務管理、不当利得の

順で講義を進める。

〔教科書〕我妻栄＝有泉亨著  
『民法2 債権法』（一粒社）  
〔参考書〕『民法(5)(6)(7)』（有斐閣双書）など適宜

## 経済法

かわ い よし かつ  
川 井 克 倭

経済法—独占禁止法を中心として—

第1部 経済法概説。経済法とは何か。経済法と競争政策。経済法における独占禁止法の位置づけ。  
第2部 独占禁止法。独占禁止法の目的。その他私的独占、カルテル、企業結合、独占的地位、不公正な取引方法等について、なるべく条文に即して講義する。

このほか、最近でいえば経済の国際化を迎えて、国の内外で競争政策に対する関心が高まっている。日米構造問題協議しかり、臨行審の公的規制の見直ししかりである。このようなアップデートの問題に対して講義し、学生の社会的問題に対する学問的素養を高める。

〔教科書〕川井克倭『競争政策法概説』（高文堂）  
¥3,600

〔参考書〕講義の中で紹介する。  
川井克倭著『カルテルと課徴金』（日本経済新聞社）  
川井克倭著『いまでもわかる公取委』（日本経済新聞社）

## 労働法

はま むら おみさ  
浜 村 彰

わが国労働法は、戦後、国際的規準を受け入れたり、アメリカ法制を導入するなどして、発展してきました。その法理は、社会経済構造の変化、労働運動のあり様や社会生活における労働者意識の変化などによって、たえず既存の法理の妥当性が検証され、深化してきました。雇用平等法、労働時間法、労働契約法、労働協約法など、今日の課題も多いのです。

また、諸君にとって労働法は、将来就職し労働生活をおくるなかで、欠かせない法領域です。また、会社でも人事労務管理上、必須の法領域です。

授業は、諸君が見聞きするであろう事項を念頭に、それについての基礎的な考え方を、具体的な事例を取り入れておこなうつもりです。今年は、労働保護法の領域から始めます。

〔教科書〕最初の講義のときに話します。  
〔参考書〕ジュリスト増刊『労働法の争点』  
菅野和夫著『労働法』（弘文堂）

## 税 法

かし だ さだ お  
岸 田 貞 夫

租税及び租税法の基本原則，租税法の法源，解釈原則について検討し，その後，所得税法及び法人税法について各法規の規定の解釈を中心として研究する。

〔参考書〕田中二郎『租税法』（有斐閣）  
金子 宏『租税法』（弘文堂）

## 社会保障法

おほ ば とし ひ  
大 場 敏 彦

社会保障法とは，傷病，出産・育児，老齢，障害等について，国民の生存権を直接的に保障することを目的とするさまざまな法律の統合体であるといえる。

ところが，「さまざまな法律の統合体である」がゆえに，その内容の正確な理解が妨げられ，その結果，的確な社会保障制度の批判がなされていないようにも思われる。

そこで，講義では社会保障法による給付の内容をできるだけわかりやすく説明し，その上で社会保障法が抱えている問題点について法的な検討を加えていくこととする。

〔教科書〕開講時に指定する。  
〔参考書〕必要にあわせ，適宜指示する。

## 外 交 史

いし とう ひと こ  
首 藤 素 子

前期は，ドイツの国家統一にはじまる西欧列強間の勢力均衡政策の展開とその帰結としての第1次世界大戦の勃発に至る外交史の展開を中心に講義し，かつ1990年代の欧州諸国の外交課題に共通する問題を考えたい。後期は，東アジアにおけるワシントン体制の形成とその崩壊の過程をあつかう。そして，日本の南方進出と東南アジアにおける軍政の状況ならびに戦後の賠償交渉のもつ諸問題を扱いたい。

〔教科書〕池井 優『3訂 日本外交史概説』（慶応通信）1992年，¥3,914  
〔参考書〕講義において指示する。

## 国 際 法 II

おう し おん  
王 志 安

国際法に対する理解を一層深めさせるために，国際紛争の平和的解決及び戦争法規を中心に講義を進め

ていきたい。まず，国際法の基本構造への回顧を通して，平和という基本的価値の国家間関係システムにおける地位及び性質を考える。その上で，平和を実現するために国際法上発展されてきた国際裁判制度，平和維持の諸制度を具体的に引き上げて説明する。そして，平和状態が破られた場合に適用される戦争規範，または人道法規をも考えていきたい。

〔教科書〕香西 茂・太寿堂鼎・高林秀雄・山手治之著『国際法概説』第三版改訂（有斐閣）  
¥1,900

〔参考書〕開講時に指定する。

## 国 際 私 法

かさ はら とし ひろ  
笠 原 俊 宏

渉外的要素を有する私法上の問題の規律を目的とするのが国際私法である。講義においては，わが国の法源である法例およびいくつかの特別立法について解説し，さらに，国際私法の展望として，当事者利益の考量によって画期的に変化しつつある準拠法決定の構造に論及したい。なるべく身近な問題を想定することにより，理解しやすいものとなるよう工夫するつもりである。

〔教科書〕笠原俊宏『国際家族法要説（新装版）』（高文堂出版社）

## 地 方 自 治 法

うめ き たかし  
梅 木 崇

行政法の原理・原則の応用としての地方自治法を考えてみたい。必要に応じて，行政法総論における基本概念を説明するつもりである。

〔教科書〕開講にあたって指示する。

## 時 事 英 語

み たけ なお や  
三 竹 直 哉

最新のヨーロッパ政治に関する英字新聞・雑誌の記事を読んでいく。進捗はできるだけゆっくりとしたものとし，予習・復習の負担を最小限にし，授業時間内に最大の学習効果があるよう，工夫をしていく。扱う記事は授業で指示する。

### 3・4年次選択科目

#### 外書講読（英）

おのひろゆき  
青野博之

英米私法（たとえば、契約法、不法行為法）に関する著書（の一部）または論文を読む。なお、授業の具体的な進め方、教材については、受講生と相談して決める。

英語、英米法、比較法に関心のある学生は、ぜひ受講してほしい。

〔教科書〕プリントを配布する。

#### 外書講読（英）

かねこしょうへい  
金子昇平

前期はアメリカ憲法を逐条的に読み、基本的人権と統治機構に関して、どのような憲法問題が存在するのかを明らかにしていきたい。後期はアメリカ最高裁判所の判例を読み、判例の研究にウエイトを置いた講義をしていく。

〔教科書〕開講時にプリントを配布する。

〔参考書〕講義内容に応じて適宜指示する。

#### 外書講読（独）

まつむらいたる  
松村格

法哲学・法学・法理論に関する文献を一緒に読みながら理解を深める。初めゆっくりと進めるので安心して参加できるし、確実に進歩する。

〔教科書〕後日指定する。

#### 外書講読（仏）

あらかきまさたか  
荒木正孝

わが国の法制度は、その多くが欧米諸国の影響を強く受け、またはそれらに倣って作られたものであるから、母国における法制度の内容や法的思考等を学ぶことは、わが国の諸制度を理解するうえで重要な意味がある。この授業では、原書の読解によってフランス法の仕組みやその文化的・社会的背景などについて理解を深めてゆく。受講者は、毎回十分に下調べをして出席するように希望します。

〔教科書〕受講者と相談して決める。

#### 外書講読（中）（3選）

こうりんひでもと  
江林英基

社会主義中華人民共和国の新憲法と三民主義中華民国の「五権憲法」を解説しながら、国家政治機構および国民の基本的人権についての規定を比較しながら授業を進めていく。さらに、政治と法律に関する文章の文型を解説する。

〔教科書〕江 英居著『中国憲法』（大学書林）

〔参考書〕『六法全書』（台北 三民書局）

『中華人民共和国法律匯編』

（北京 人民出版社）

#### 外書講読（中）（4選）

いゆさきひろし  
岩崎皇

中国の社会状況が分かるような文章を読みたいと思っています。具体的内容については、受講者と相談の上決めます。

#### 外書講読（ス）

さとうくみこ  
佐藤玖美子

スペインにおける今世紀最大の歴史学者であり、社会学者であるAmérico Castro著“Iberoamérica”の講読を行う。1年間で全冊を読み通すことは不可能であるので、中南米各国論のうちのいくつかの国を受講者の希望によって、順次ピックアップしながら、出来るだけ多くを読むことを目指す。学生諸君が1、2年で習得したスペイン語の知識の深化、発展を計ると共に、中南米諸国がたどって来た苦難屈折の歴史を知り、中南米の現状に対する理解を深め、その将来を考えることを試みたい。

〔教科書〕コピー

## 4 年次必修科目

### 刑事訴訟法

さいとう せいじ  
齊藤 誠二

刑事訴訟の制度は、その時代のその国の社会的・文化的・政治的な要請を鋭く反映する法制度である。ここでは、刑事訴訟の流れにそって現代のわが国の刑事訴訟が当面しているいろいろの問題を分析しながら、わが刑事訴訟が歩む方向を考えていく。また、刑事訴訟はひじょうに実践的な性格をもつものでもある。そこで、ここでは、ただ、刑事訴訟の理論的な分析ばかりではなくて、実際に訴訟の場でおこなわれている姿が多く語られることになるであろう。さらに、現代の刑事訴訟は、刑事司法という形で、刑事政策と深くむすびついている。ここでは、いつも、こういう方向でのアプローチも心掛けていくつもりである。

〔教科書〕 齊藤誠二編『刑事訴訟法』（八千代出版）が予定されている。

〔参考書〕 松尾浩也『刑事訴訟法』（上・下）（弘文堂）

渥美東洋『刑事訴訟法』（有斐閣）

田宮 裕『刑事訴訟法』（有斐閣）

## 4 年次選択科目

### 法 哲 学

やまぐち くに お  
山 口 邦 夫

過去3ヶ年、解釈学を十分学んできた諸君に、最終学年で今まで何を勉強してきたのか、を振り返る機会を与えたい。法哲学は、哲学の一部門であり、実定法が基礎としている思想ないし原理を、もう一度思索しなおすのに役立つ。近代の法律学の基盤が、如何なるものであるかを問いかける諸君の参加を望む。講義というよりも、皆で共に考え討論をするコロキウム方式で進めたい。出席者の思索と積極的な発言を期待している。

〔教科書〕 ホセ・ヨンバルト『法哲学案内』（成文堂）

〔参考書〕 多数あるので、毎時限、問題ごとに紹介する。

### 民 法 IV (2)

かのう かず お  
叶 和 夫

相続制度全般にわたって講義するが、遺言及び遺産分割を詳説したい。判例及び実務の経験をおりませて面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕 遠藤 浩他 5名編集『民法(9)相続第3版』（有斐閣双書）

〔参考書〕 島津一郎編『基本法コンメンタール相続』別冊法学セミナー（日本評論社）

### 倒 産 法

ま こし みち お  
馬 越 道 夫

倒産とは債務者が経済的に破綻し債務の弁済が困難になった状態をさす。この場合、競合する債権者に公平な弁済をなし、また債務者の経済的更生を図るための制度として破産法・和議法のほかに、会社整理・特別清算・会社更生に関する諸制度が存在する。かかる制度のうち本講は特に破産法を中心とし、具体例をあげ出来るだけ平易に講述したい。受講にさいしては教科書のほか、六法全書も教科書の一部と考え必ず持参すること。

〔教科書〕 桜井孝一編 馬越道夫 他 9名著

『演習ノート 破産法』（法学書院）¥1,700

『ポケット 六法』（有斐閣）¥1,100

### 商 法 III

やま だ やす ひこ  
山 田 泰 彦

複雑・高度化した社会生活は、様々な危険に満ちている。危険が顕在化し、自分がその被害者となったり、あるいは加害者の立場に心ならずも立ったとき、自己の被った損害をどのように補填し、またどのようにして損害を賠償すべきか。これを社会的なリスク配分のもと、社会的に担うものとして保険がある。現代生活において、保険の果たす役割は、ときとして決定的ですらある。これを法の視点からみることにする。また、四囲を海にかこまれた日本が、国際取引を積極的に展開することで、今日の経済大国に結実したのは周知であるが、こうした国際取引の基礎となるものに、海上運送がある。海上運送は、経済活動にとり不可欠の物流を支える重要な構成要素であり、海商法は、その中心となる法分野である。前期は、保険法を、後期は海商法を概観する。

〔教科書〕 山野・山田編『現代保険法・海商法30講』（中央経済社）



## 知的財産権法

もり おか かず お  
盛 岡 一 夫

企業が発展するために必要なことは、優秀な技術を開発することであり、そのために企業は巨大な投資をしている。そこで、前期は、発明はどのような手続によって特許権を取得するのか、従業者が発明した場合の法律関係、特許権の保護、営業秘密およびコンピュータ・ソフトウェアの保護等について講義する。後期は、意匠法、商標法等の工業所有権法および著作権法について解説する。

〔教科書〕盛岡一夫『工業所有権法概説（新版）』  
（法学書院）

## 政治思想史

こ ばやし まさ とし  
小 林 正 敏

プラトン、アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。

〔教科書〕特定のテキストは用いない。

## 民事訴訟法 II

とが よし お  
梅 善 夫

民事訴訟法第3編上訴および民事執行法について講義する。年間講義予定時間のうち3分の1を上訴に、3分の2を民事執行法にあてる。平成3年1月1日から施行された民事保全法についても触れる予定である。第1回目の講義の時に年間の講義予定表を配付する。

〔教科書〕住吉 博編『演習ノート民事執行法』  
（法学書院）¥1,600

〔参考書〕新堂幸司・竹下守夫編『基本判例からみた民事執行法』（有斐閣）



## 政治学科

### 基礎教育科目

基礎政治学 (浦田 早苗) .....	103
基礎政治学 (前田 英昭) .....	103
基礎政治学 (小林 正敏) .....	103
基礎政治学 (福田 耕治) .....	103

### 専門教育科目

#### 1年次必修科目

憲 法 (竹花 光範) .....	104
-------------------	-----

#### 1年次選択科目

海外政治事情 (東アジア圏)(竹花 光範) .....	104
海外政治事情 (西欧圏)(三竹 直哉) .....	104
海外政治事情 (東欧圏)(小林 正敏) .....	104
海外政治事情 (北米圏)(小堀 訓男) .....	104
海外政治事情 (東南アジア圏)(首藤 素子) .....	104

#### 2年次必修科目

政治学原論 (大塚 桂) .....	105
日本政治史 (寺崎 修) .....	105
経済原論 (浅野 克巳) .....	105
行 政 法 (総論)(梅木 崇) .....	105
国 際 法 (王 志安) .....	105

#### 2年次選択科目

社会学原理 (渡辺 源樹) .....	106
マス・コミュニケーション論 (相田 敏彦) .....	106
民 法 (前期: 鶴井 俊吉) (後期: 林 幸司) .....	106
外 国 法 (英米法)(北野 かほる) .....	106
プロゼミ (相田 敏彦) .....	106
プロゼミ (浦田 早苗) .....	106
プロゼミ (小林 正敏) .....	106
プロゼミ (小堀 訓男) .....	107
プロゼミ (寺崎 修) .....	107
プロゼミ (早川 純貴) .....	107
プロゼミ (福田 耕治) .....	107
プロゼミ (前田 英昭) .....	107
プロゼミ (三竹 直哉) .....	107

#### 3年次必修科目

政治社会学 (上條 末夫) .....	108
行 政 学 (福田 耕治) .....	108
国際政治学 (小堀 訓男) .....	108
外 交 史 (首藤 素子) .....	108
政治制度 (前田 英昭) .....	108

#### 4年次必修科目

政治思想史 (小林 正敏) .....	108
---------------------	-----

#### 3・4年次選択科目

外書講読 I・II (英)(相田 敏彦) .....	109
外書講読 I・II (英)(首藤 素子) .....	109
外書講読 I・II (英)(三竹 直哉) .....	109
外書講読 I・II (独)(早川 純貴) .....	109
外書講読 I・II (仏)(荒木 正孝) .....	109
外書講読 I (中)(3選)(江林 英基) .....	109
外書講読 II (中)(4選)(岩崎 皇) .....	109
外書講読 I・II (ス)(佐藤 玖美子) .....	109
政治心理学 (上條 末夫) .....	110
財 政 学 (里中 恆志) .....	110
国際経済学 (徳永 俊明) .....	110
日本法制史 (大久保 治男) .....	111
西洋法制史 (北野 かほる) .....	111
西洋政治史 (浦田 早苗) .....	111
経済政策 (森岡 仁) .....	111
刑事政策 (斎藤 静敬) .....	111
比較憲法 (竹花 光範) .....	112
行 政 法 (各論)(梅木 崇) .....	112
経 済 法 (川井 克俊) .....	112
商 法 (荒木 正孝) .....	112
労 働 法 (浜村 彰) .....	112
比較政治学 (三竹 直哉) .....	113
国際関係論 (首藤 素子) .....	113
国家安全保障論 (小堀 訓男) .....	113
宣伝広告論 (上條 末夫) .....	113
政 党 論 (早川 純貴) .....	113
議会関係法 (前田 英昭) .....	113
地方自治法 (梅木 崇) .....	114
出入国管理論 (竹内 昭太郎) .....	114
政治哲学 (大塚 桂) .....	114
時事英語 (三竹 直哉) .....	114



# 政治学 科

## 基礎教育科目

〔教科書〕小林正敏他著『政治学講義』（成文堂）

### 基礎政治学

うら た さ なえ  
浦 田 早 苗

世界は今、大きな転換期にある。冷戦構造の崩壊と社会主義体制の変革、高度産業化に伴う社会の変質などによって、国家や政党、制度や組織、国民や民族などの近代政治の概念に基本的な再検討が迫られている。本講座は、激動の現代政治を誤りなく把握する上で必要な基礎知識を概論し、併せて政治学の専門分野への導入をはかるものである。政治と政治学の基礎用語の解説、及び政治の機構、理論、過程を考察していくが、政治的視野拡大のため適宜時事問題も取り上げていく。

### 基礎政治学

まえ だ ひで あき  
前 田 英 昭

本講座では、政治学を学ぶ上で必要な基礎知識を身につけるとともに、今日の政治現象を考えながら、政治学の専門分野に進むための準備ができるよう心がけたい。

参考文献は随時紹介する。

教科書を使わないから、できるだけ出席すること。

### 基礎政治学

こ ばやし まさ とし  
小 林 正 敏

本講座は「政治学入門」のために設けられているものである。従って、まず政治学がいかなる学問であるかを理解するとともに、専門的な政治の諸領域を学ぶについて必要とされる基礎的知識を身につけることを目的としている。

また本講座は2年次に配当されている政治学原論と不可分の関係にあり、基礎的、全般的であると同時に、選挙制度、国際機構、政治思想、民主政治論などにはとくに力をいれ、政治学原論と合わせて全体をカバーすることになっている。講義にあたって、随時、時事的な問題も取りあげて、理論と現実がかみ合うように心がけたい。

### 基礎政治学

ふく だ こう じ  
福 田 耕 治

政治学の幅広い眺望を心得て、基礎的な概念や考え方になじんでおくことは重要である。現代の政治現象を理解するために、本講義ではまず伝統的な政治学の基礎である政治制度や政治思想、政治権力論などを概説する。次に、政治意識と政治参加、世論と圧力団体、政党と選挙、議会と政治家、官僚制および国際関係などに関する問題を取り上げ、政治の動態的な側面や政治と行政の関係を明らかにする。その際、政策過程論、政治行動論の観点から現代政治学の分析手法についても検討を加える。このような作業を通じて、民主シーの理念と現実との間のギャップや現代政治の構造と過程の問題状況を探究することにした。

〔教科書・参考書〕講義時に適宜指示する。

# 専 門 教 育 科 目

## 1 年次必修科目

### 憲 法

たけ はな みつ のり  
竹 花 光 範

まず、日本国憲法成立の経緯と法理について述べ、ついで日本国憲法の特質について述べる。その後、日本国憲法本文の各条について講義するのであるが、時間的に逐条の講義には限界があるので、各章ごとに規定内容と問題点を整理し、日本国憲法の存在性格が理解できるような講義としたい。

〔教科書・参考書〕講義の中で述べる。

## 1 年次選択科目

### 海外政治事情（東アジア圏）

たけ はな みつ のり  
竹 花 光 範

本講義の中心は、中国の政治事情である。時間が許せば、その他、南北朝鮮、モンゴルについても論及したい。なお、講義の内容は、過去から現在にいたる政治事情の変遷が中心になるが、できるかぎり、時事的な問題もとりあげてコメントしていくつもりである。

〔教科書・参考書〕講義の中で述べる。

### 海外政治事情（西欧圏）

み たけ なお や  
三 竹 直 哉

ヨーロッパ統合で注目されている西欧の政治事情を紹介する。その際、ヨーロッパ統合の進展が与える多様な影響を考慮に入れつつ、国家の役割の変化や、地域の変容を考えていきたい。あわせて、人や物の移動の活発化や経済のボーダーレス化によって、西ヨーロッパで生じている政治的・社会的問題を考えていき、日本における同様の問題を考えるためのレファレントになるようにしていきたい。

〔教科書〕梶田孝道著『統合と分裂のヨーロッパ—EC・国家・民族』（岩波書店）¥620  
安江則子『ヨーロッパ市民権の誕生』（丸善）¥620

### 海外政治事情（東欧圏）

こ ぼやし まさ とし  
小 林 正 敏

1989年以來の改革によって、政治的概念としての「東欧」は大きく変容した。この講義では、多様化する旧「ソ連・東欧圏」諸国の政治を中心に、その国際関係、社会構造等にも論及することにした。

### 海外政治事情（北米圏）

こ ぼやし のり お  
小 堀 訓 男

前期は、アメリカ史を概観し、「アメリカの民主主義にキリスト教が、どのような影響を与えたか」を中心に考察する。

後期は、ルーズベルト大統領からレーガン大統領までの、アメリカ政治の特質を、各大統領のおこなった政策決定という側面から観察して、アメリカ政治を理解する。

〔教科書〕講義中に指示する。

### 海外政治事情（東南アジア圏）

しゅ とう ほと こ  
首 藤 素 子

講義では、まず組織としてのASEANの形成と歴史、国際関係におけるその位置付けの変化、とくにAPECの発展とASEANの関係等を考える。さらに、ASEAN構成国のうち、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイ、フィリピンについて、それぞれの政治制度の特徴と問題、経済政策の検討を行う。何回か最新のスライドやビデオを使って、視聴覚的な効果を持てるように工夫したい。

〔教科書〕萩原直之著『ASEAN』（有斐閣選書）  
¥1,854

〔参考書〕講義において指示する。

## 2 年次必修科目

### 政治学原論

おお つか かつら  
大 塚 桂

現代政治学の体系的な理解を深めるべく、以下の諸問題について検討していく。

- I. 政治学の課題と対象ならびに方法論
- II. デモクラシーとリベラリズムの概念、史的展開
- III. 政治権力論
- IV. 政治制度・機構論
- V. 行政国家論・現代社会論
- VI. 政治変動論
- VII. 政治行動論
- VIII. 政治過程論・政策決定過程論
- IX. 政治集団論
- X. 現代政治理論

〔教科書〕大塚 桂『政治学原論序説』（勁草書房）  
¥3,296

〔参考書〕原田 鋼『政治学原論』（朝倉書店）  
¥5,356

中山政夫『現代政治学』（三和書房）  
¥2,575

佐竹 寛『政治学体系論』（法学書院）  
¥3,090

日下喜一『現代政治学概説』（勁草書房）  
¥2,060

本田 弘『政治理論の構造』（勁草書房）  
¥4,000

### 日本政治史

てら さき おさむ  
寺 崎 修

明治維新以降の近代日本政治史を講義する。ただし、近代日本政治史上の諸問題に重点をおくので、基礎的知識については、概説書により予習しておくことを希望する。

〔教科書〕開講時に指示する。

### 経済原論

あさ の かつ み  
浅 野 克 巳

現実の経済の動きを念頭におきながら、現代経済学の基礎理論を以下の順序で解説する。なお、公務員試験（其他国家試験）の受験対策として必要に応じ問題練習も行うので、下記の問題集も用意されたい。

#### I マクロ経済学の理論

1. 経済循環と国民所得の概念
2. 国民所得の決定
3. 経済の変動と成長
4. 賃金・物価・インフレーション

#### II ミクロ経済学の理論

1. 消費者行動の理論
2. 企業行動の理論
3. 市場と価格決定
4. 市場と企業

#### III 公共政策

#### IV 国際経済学

〔教科書〕浅野・荒木・浅田『エコノミックス改訂版』（成蹊堂）1995年

〔参考書〕青山『経済原論の頻出問題』

（実務教育出版）1994年、¥906

### 行政法（総論）

うめ き たかし  
梅 木 崇

行政行為論と行政救済論を中心にして、行政法を講ずる。新たに行政手続法が制定されたので、その分野にまで及ぶつもりである。

〔教科書〕原田尚彦『行政法要論』（学陽書房）  
（できるだけ新しい版を購入のこと）

### 国際法

おう し あん  
王 志 安

激しい変動期にある現代国際社会における国際法の地位及び役割について、理論と実行の両面から考えていきたい。前半では、国際法の基本構造及び特徴を歴史的・機能的な視点から説明する。それを基礎にして、国家、国際機構及び国家領域の諸制度を具体的にに取り上げて解説する。後半では、引き続き人権、外交関係、条約及び国家責任などの法制度を考えていきたい。

〔教科書〕香西 茂・太寿堂鼎・高林秀雄・山手治之著  
『国際法概説』（第三版改訂）（有斐閣）  
¥1,900

〔参考書〕開講時に指定する。

## 2 年次選択科目

### 社会学原理

わた なべ もと き  
渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

### マス・コミュニケーション論

あい だ とし ひこ  
相 田 敏 彦

1. テレビなどのマス・メディアが、現実をどのように正しく、あるいはゆがめて映し出しているか、また、視聴者など一般の人の心と、そのメディアの内容をいかに受けとめているか、この問題を記号論的の角度をとり入れながら検討する。
2. パソコン通信、テレビゲームなどのいわゆるニューメディアが、従来のコミュニケーション行動や、さらにはその理論におよぼすインパクトを論じる。
3. 通常のコミュニケーション概念を批判し、コミュニケーション理論についての新たな視点を構築する。
4. ヨーロッパを中心とした研究上の最新の動向の検討。

〔教科書〕カラン・グレヴィッチ  
『マスメディアと社会』（勁草書房）

### 民法

（前期） つる い しゅん きち  
鶴 井 俊 吉  
（後期） はやし こう じ  
林 幸 司

民法（I）は、民法総則、物権法を対象とする。民法総則は民法の通則であって、抽象的でわかりづらい。そして物権法も、日本の特殊性が強く出ている領域であって、これもまたむずかしい。できる限り具体的な事例などをあげて解説する予定である。

〔教科書〕我妻 栄・有泉 亨著『民法1』  
総則・物権法（一粒社）

### 外国法（英米法）

きた の  
北 野 かほる

近現代法治国家の主要法系のひとつである英米法系について、日本法を含む大陸法系と比較しての基本的特徴を概観し、その主要な理由をなすと考えられる、法形成における裁判の意味について、司法機構と判例法を中心に考察する。

〔教科書〕特に指定しない。

〔主要参考書〕望月礼二郎『英米法（改訂第二版）』  
（青林書院）現代法律学全集55  
¥5,150

〔参考書〕年度当初に指示する。

### プロゼミ

あい だ とし ひこ  
相 田 敏 彦

放送番組の内容や放送局自体に関する問題点、また、新聞のもつ問題などを、文献資料や番組自体からさぐりだし、検討のテーマとする。

テーマ自体は身近だが、毎週、レポートの発表または討論の準備メモ作成をせねばならない。そのための時間を1年間持続してとれるかどうかを自己検討して、参加をきめてほしい。

### プロゼミ

うら た さ ねえ  
浦 田 早 苗

前期は各自の問題意識を高める目的で、国際化・情報化された時代の政治に関わる様々な問題を取り上げディベートとパネル・ディスカッションを行う。後期は4～5名のグループで興味あるテーマを設定・考察し、共同報告あるいは個人発表を行う。本プロゼミでは、各自が主体的研究方法を身につけることに主眼をおいている。

### プロゼミ

こ はやし まさ とし  
小 林 正 敏

プロゼミは本ゼミのための予備的な知識および研究方法について考究し、討議するものである。

そこで、次のことを中心にして指導を行う。

1. 政治学一般に関する研究方法  
テーマのきめ方、文献や資料の選び方およびその使用方法など。
2. 研究論文の書き方



3. 研究発表の方法

4. 各種の実地見学

政治学を学ぶにあたって必要な施設・機関などの見学を適宜行う。

プロゼミ

こ ぼり のり お  
小 堀 訓 男

プロゼミは本ゼミのための予備的な知識および研究方法について考究し、討議するものである。

そこで、前期においては国家、階級、民族、権力などを中心に考察し、政治学の基礎知識を整理する。

後期においては国際政治のいくつかの出来ごとをケーススタディーとしてとりあげ、国際政治学の基礎理論を考察する。

〔教科書〕講義中に読むべき本を指示する。

プロゼミ

てら さき おさむ  
寺 崎 修

本プロゼミでは、日本政治について歴史的にアプローチをする立場から、主として日本近代史に関する諸文献を輪読します。輪読にあたっては、内容理解ばかりでなく、資料収集の方法、資料批判のあり方、分析の手法など、広く応用のできる“政治史の方法”を身につけてもらうつもりです。なお、プロゼミの具体的な進め方、使用する文献等については、開講時に説明します。

プロゼミ

はや かわ よし き  
早 川 純 貴

プロゼミは3年次からのゼミに向け、十分な政治学の知識を養い多面的な観察力と深い分析力を身につけることを目的としている。とりわけ当プロゼミではこうした能力を、グループ毎のディベートを通じて涵養していきたい。取り扱うテーマは日本および世界の政治・社会問題（特に賛否両論が際立つup to dateなもの）に限定し、それぞれのテーマについて二つのグループが相反する立場からアプローチしていく。ディベートは勉強の総括であり目標でもある。

プロゼミ生には積極的な議論と勉強への参加が求められる。

〔教科書〕使用せず

〔参考書〕随時紹介

プロゼミ

ふく だ こう じ  
福 田 耕 治

政治学研究の方法、研究論文の読み方や書き方（外国語文献を含む）、討論や研究発表のしかたについて基礎的な能力を身につける。また、シュミレーション・ゲームなどを通じて政治や行政に対する関心を深め、各自の問題意識を養うことを目指したい。

本年度は、「欧州統合と日本」を統一テーマとして考察する。EUの機構と政策決定、政策実施過程の構造、EUの行財政の改革、行政官僚制の特色、欧州議会と直接選挙制度、政党、国際利益集団の機能および共通農業政策、地域政策、環境・消費者保護政策などEUの諸政策とわが国のそれとの比較、EUの対外関係とわが国への影響など、政治学・行政学分野の問題を中心に取り上げてみたい。

〔教科書〕最新の文献や資料を選び、必要に応じて紹介、指示する。

〔参考書〕福田耕治『EC行政構造と政策過程』（成文堂）

プロゼミ

まえ だ ひで あき  
前 田 英 昭

議会制民主主義の仕組みと実態の問題を中心テーマにして、選挙、政党、立法、政治資金など国会の組織と運営に関する問題を幅広く取り上げ、本ゼミのための予備的な知識や学習、研究方法などを勉強する。その際、スライドを見たり国会その他の実地見学を行い、現実の生きた姿に触れるよう心がける。

プロゼミ

み たけ なお や  
三 竹 直 哉

まず、文献調査のしかたやレポートの書き方の基礎を学び、その上で、西ヨーロッパの諸事例を中心に、変容する国民国家や各地の民族問題などに関連する文献を大量に読みこなす訓練をしていく。英語文献の読解にも挑戦する。

〔教科書〕木下是雄『レポートの組み立て方』（筑摩書房）¥780

### 3 年次必修科目

#### 政治社会学

かみ じょう すえ お  
上 條 末 夫

現代政治学の中心をなすのが政治社会学である。その対象領域は広範であり、アプローチは多様であるが、主として日本の現代政治を対象とし、そのメカニズムを多角的かつ総合的に分析する。具体的には、日本のデモクラシーのあり方に視点を置き、内閣や政党の構造、政治参加としての選挙、マス・メディアや圧力団体の機能と役割、世論の形成と機能などを取り扱う。

〔教科書〕上條末夫『政治社会学概論』（北樹出版）  
¥2,300

〔参考書〕上條末夫『戦後日本の総選挙』（北樹出版）  
¥2,300

#### 行政学

ふく だ こう じ  
福 田 耕 治

一国レベルでは到底管理できない地球規模の問題が山積みする現在、わが国を取り巻く行政環境も大きく変わりつつある。本講義では、こうした行政の現実と行政理論の動向にも言及しながら、わが国が直面する行政課題や諸外国から指摘される日本官僚制の問題点、国内行政の「国際化」への対応と具体的争点を分かり易く概説する。また国際機関の行政、国際行政と国内行政との関係など、国際化時代に行政学が取り組むべき課題を理論的かつ実証的に解明することにした。

〔教科書〕福田『現代行政と国際化』（成文堂）

#### 国際政治学

こ ぼり のり お  
小 堀 訓 男

国家、権力、国際政治の主体、国際政治の客体、国際政治における権力と道義、国内政治と国際政治等を中心に、前期では“国際政治の本質”について講義する。後期では“国際政治の問題”として、冷戦後の国際政治、植民地ナショナリズム、地域的安全保障、エネルギーを中心とした国際問題を中心に検討する。

#### 外交史

しほ とう むと こ  
首 藤 素 子

前期は、ドイツの国家統一にはじまる西欧列強間の勢力均衡政策の展開とその帰結としての第1次世界大戦の勃発に至る外交史の展開を中心に講義し、かつ1990年代の欧州諸国の外交課題に共通する問題を考えた。後期は、東アジアにおけるワシントン体制の形成とその崩壊の過程をあつかう。そして、日本の南方進出と東南アジアにおける軍政の状況ならびに戦後の賠償交渉の諸問題を扱いたい。

〔教科書〕池井 優『三訂 日本外交史概説』（慶応通信）、1992年、¥3,914

〔参考書〕講義において指示する。

#### 政治制度

まえ だ ひで あき  
前 田 英 昭

イギリス、アメリカ、フランス及びドイツの政治制度の沿革と現状を理解し、それとの比較において日本の政治制度、特に議会制度の実態を把握し、あるべき姿を模索する。

教科書は特に使わない。

〔参考書〕読売新聞社『西欧の議会』

ラスキ『イギリスの議会政治』（日本評論社）

前田英昭『国会の100年』（原書房）

前田英昭『イギリス議会政治の研究』

（溪林出版社）

前田英昭『政治腐敗防止法を考える』

（信山社）

### 4 年次必修科目

#### 政治思想史

こ ばやし まさ とし  
小 林 正 敏

プラトン、アリストテレスから現代に至る政治思想史、政治学説史について、思想家を中心に、その時代的背景にもふれながら論述する。

〔教科書〕特定のテキストは用いない。

### 3・4年次選択科目

#### 外書講読Ⅰ・Ⅱ（英）

あ い だ と し ひ こ  
相 田 敏 彦

マスコミの内容を分析したものや、マスコミが人びとにおよぼす影響について論じたもので、あまり読みにくくないものを取りあげる予定である。

〔教科書〕開講時にコピーを配布。

#### 外書講読Ⅰ・Ⅱ（英）

し り とう へい こ  
首 藤 素 子

今年度は国際関係の理論について、最新の文献を使用しながら学習する。目下テキストとして考えているのは次の2冊である。

Booth 他編、International Relations Theory Today. 1994年

Groom 他編、Contemporary International Relations. A Guide to Theory. 1994年

また、適宜Foreign Affairs等の雑誌論文も読みたいと思っている。

〔教科書〕開講時に受講者と相談して、上記2点のいずれかに決める。また、適宜雑誌論文のコピーを配布する。

#### 外書講読Ⅰ・Ⅱ（英）

み たけ なお や  
三 竹 直 哉

主に、比較政治学・政治社会学的な問題を扱っている最新の雑誌論文の読解に挑戦する。参加者の関心に応じて対象は自由に選定できるようにするが、主に世界各地の民主化や民族問題に関する文献を読んでいこうと考えている。文献は授業において適宜指定する。ゼミ生でない学生の参加も可。

#### 外書講読Ⅰ・Ⅱ（独）

はや かわ よし き  
早 川 純 貴

ドイツ社会民主党（SPD）が1989年ベルリンにおいて採択した党基本綱領は、先進資本主義諸国における多くの党綱領の中でも、最も先進的な内容を含むものであった。しかしその先進性ゆえに、東西両ドイツの再統一に伴う経済混乱の中で、とりわけ旧東ドイツ

国民には十分共鳴を得られず、総選挙（1990年）においてSPDは敗北したのである。それではいったいこのSPD基本綱領はどこが先進的であるのか、本年度はこの綱領を熟読しつつ、内容について議論してみたい。

〔教科書〕講義開始時にコピーを配布

〔参考書〕随時紹介

#### 外書講読Ⅰ・Ⅱ（仏）

あら き まさ たか  
荒 木 正 孝

わが国の法制度は、その多くが欧米諸国の影響を強く受け、またはそれらに倣って作られたものであるから、母法国における法制度の内容や法的思考等を学ぶことは、わが国の諸制度を理解するうえで重要な意味がある。この授業では、原書の読解によってフランス法の仕組みやその文化的・社会的背景などについて理解を深めてゆく。受講者は、毎回十分に下調べをして出席するように希望します。

〔教科書〕受講者と相談して決める。

#### 外書講読Ⅰ（中）（3選）

こう りん ひで ひと  
江 林 英 基

社会主義中華人民共和国の新憲法と三民主義中華民国の「五権憲法」を解読しながら、国家政治機構および国民の基本的な人権についての規定を比較しながら授業を進めていく。さらに、政治と法律に関する文章の文型を解説する。

〔教科書〕江 英居著『中国憲法』（大学書林）

〔参考書〕『六法全書』（台北 三民書局）

『中華人民共和国法律滙編』

（北京 人民出版社）

#### 外書講読Ⅱ（中）（4選）

いわ さき ひろし  
岩 崎 皇

中国の社会状況が分かるような文章を読みたいと思っています。具体的内容については、受講者と相談の上決めます。

#### 外書講読Ⅰ・Ⅱ（ス）

さ とう くみ こ  
佐 藤 玖 美子

スペインにおける今世紀最大の歴史学者であり、社会学者であるAmérico Castro著“*Iberoamérica*”の講

読を行う。1年間で全冊を読み通すことは不可能であるので、中南米各国論のうちのいくつかの国を受講者の希望によって、順次ピックアップしながら、出来るだけ多くを読むことを目指す。学生諸君が1、2年で習得したスペイン語の知識の深化、発展を計ると共に、中南米諸国がたどって来た苦難屈折の歴史を知り、中南米の現状に対する理解を深め、その将来を考えることを試みたい。

〔教科書〕コピー

## 政治心理学

かみ じょう すえ お  
上 條 末 夫

政治行動論の一つとしての政治心理学は、政治現象の心理的側面を分析する学問である。政治的人間の意識、態度、行動などの特徴を明らかにし、さらに集団行動としての大衆運動、投票行動などを分析する。また、集団内におけるリーダーシップ、グルーピング、ヒューマンリレーションなども扱う。

〔教科書〕堀江・富田・上條編著『政治心理学』  
(北樹出版) ¥2,300

## 財政学

さと なか つね し  
里 中 恆 志

経済生活のなかで公共部門の関与する比重は確実に増しつつある。財政学は公共財政経済を対象とする学問であるが、そこには市場経済原理とは異なる原理が機能する。国民が財政意志の形成に参加する方法は民主的な手続をとおしてであるから、適切な財政政策の実現のためには国民が財政をコントロールするルールとその制度の背後に作用し合う諸力について理解していなければならない。このような観点から公共収入政策、公共支出政策の原理および基準を考察し、現実の財政問題に対する判断力を養う。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 国際経済学

とく なが とし あき  
徳 永 俊 明

### 〈講義の趣旨〉

学問への出発点は「私はどこにいるのか?」という問いにあります。実際、私たちはアマゾンの密林で生活しているわけではありませんし、江戸時代の農村に生きているわけでもありません。では、「どこ」にいるのでしょうか。

「世界の中にいる」と言っても、「日本にいる」と言ってみても、これらは答えにはなりません。どのよ

うな世界なのか、どのような日本にいるのか — 少なくともこれをつかまなければ先の問いに対する答えにはなりません。今日の世界社会、今日の日本社会の〈内容〉を理解しなければなりません。

ところで、世界経済は、今日、世界社会・日本社会の〈土台〉をなしているものです。世界経済という〈土台〉なしには、世界社会も日本社会も成り立ちません。世界と日本を理解するカギは世界経済を理解することにあります。この講義では、このような位置にある世界経済の〈基本構造〉の解明をめざします。ただし、私の力量からして“社会主義”経済に十分言及することはできません。資本主義世界経済に限定して検討します。

この講義のキーワードは〈階級的支配関係〉と〈民族的支配関係〉です。世界経済は、資本主義という社会の誕生とともに成立し始め、資本主義社会の〈土台〉として、またその〈産物〉として推移してきました。資本主義社会は言うまでもなく、〈階級的支配関係〉を命綱としていますが、同時に、世界の諸民族の間の〈民族的支配関係〉をもう一つの命綱として扱っていることが重要な特徴です。これら二つの支配・従属の関係は資本主義社会のいわば2本柱をなすものです。そして、〈民族的支配関係〉こそ世界経済の〈基本構造〉として機能してきたのです。

そこで、この講義では、この〈民族的支配関係〉の問題を座標軸にして世界経済の基礎的な理論と歴史、現状そして展望を検討したいと思います。

前期は、世界経済の歴史を跡づけ、今日の世界経済の歴史的段階を確認します。

後期は、歴史的知識を念頭において、今日=第2次世界大戦後の世界経済の〈基本構造〉を形づくっている主な柱を一つずつ検討します。

〈国際化〉の問題がいよいよ重大になっているいま、多くの諸君の主体的な受講を期待します。

### 〈講義テーマ(予定)〉

前期 — 世界経済の歴史的推移

- (1) 〈講義の趣旨〉および〈講義テーマ〉の説明
- (2) 資本の本源の蓄積と重商主義植民地体制
- (3) 産業革命と自由貿易植民地体制
- (4) 帝国主義と帝国主義植民地体制
- (5) 第1次世界大戦と世界経済
- (6) 戦間期の世界経済

後期 — 今日の世界経済

- (1) 第2次世界対戦と世界経済
- (2) 「アメリカ中心体制」
- (3) 新植民地主義と世界経済
  - ・貿易
  - ・国際通貨制度
  - ・資本輸出——(「援助」と多国籍企業)
  - ・〈南北問題〉と新国際経済秩序
- (4) 世界経済の現段階
- (5) 日本経済と世界経済
- (6) われわれの選択

### 〈講義の方法〉

参考書は下記のとおりですが、教場では毎回資料を

プリントして配布し、それを説明するという形で講義をすすめます。

〈成績評価の基準〉

成績は世界経済の基本事項 — 世界経済の“枝葉”ではなく、“幹”の理解度をミニ・レポート（3回予定）および学年末レポートで評価します。（追・再試験は行いません。）

〈備考〉

私の研究室は第2研究館4階、電話は直通03(3418)9353です。気軽に立ち寄って下さい。

〔参考書〕徳永俊明『世界経済と第三世界』（大月書店）¥1,800

## 日本法制史

おおく ぼ ほう お  
大久保 治 男

法律文化の変遷の流れを上古時代より近代まで概説する。刑事法制、財産法制、家族法制（女性史や婚姻史を主）の各分野の歴史を幅広くふれ、さらにわたくし達の意識や習俗や言語等に残っている法制史的事柄にまで展開する。また、刑法や民法等の現行法との対比も常に行いその異同も視点に入れる。教授方法は講義の他に、OHP、スライド、VTR等視聴覚教材やシンポジウム、劇化の方式も取り入れ、楽しい法制史にして学生の研究意欲を起こさせるよう工夫する。「温故知新」であり世は「歴史ブーム」テレビや映画の時代考証にも役立ち、多くの話題を提供する一味ちがうユニークな法制史にしていきたい。

〔教科書〕大久保治男他著『日本法制史』（高文堂出版社）¥2,650

〔参考書〕大久保治男著『江戸の犯罪と刑罰』（高文堂出版社）¥1,100

## 西洋法制史

さい の  
北 野 かほる

イギリスの法制度の歴史を、社会の法的構造と国家統治機構のかかわりを軸に解説する。イギリスの法制度の歴史を、1.古代、2.中世、3.近世、4.近代の4つの時期に分け、1-3を中心に、特に注目される法的現象を挙げながら、各時代毎の法制度の全般的特徴と、基本的社会・政治構造との関連について考察する。

〔教科書〕特に指定しない。

〔参考書〕年度当初に指示する。

## 西洋政治史

うら た さ へい  
浦 田 早 苗

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。今年度はフランス革命以後の18、19世紀のフランス政治史を通じ、『近代』の意味するところを考えてみたい。

## 経済政策

もり ねか じん  
森 岡 仁

経済政策を理解するには経済の理論的知識を必要とするが、ここでは法学部の学生諸君にも十分理解するように講義を進める。内容は以下のとおりである。

- I. 現代経済と経済政策
- II. 経済政策学の発展
- III. 現代経済政策の課題
- IV. 経済の成長政策
- V. 経済の安定政策
- VI. 産業組織政策
- VII. 社会均衡化政策
- VIII. 経済政策と人口政策

〔教科書〕森岡（他）『現代経済政策』（千倉書房）¥2,800

## 刑事政策

さい とう よし ゆき  
斎 藤 静 敬

刑事政策は、犯罪を防遏するための合理的、合目的な手段、方法を探究する学問である。そこで、犯罪の現象と原因を考察し、その対策を概説する。例えば、身体構造、知能、性格、年令、家庭、婚姻、教育と犯罪。仮釈放、起訴猶予、執行猶予、刑罰……など。

## 比較憲法

たけ はな みつ のり  
竹 花 光 範

本年度も、昨年度と同様、次の順序で講義を行う予定である。

1. 比較憲法学とは
2. 憲法概念と分類
3. 国体と元首（共和制と君主制、元首、国のシンボル等）
4. 統治の原理と構造（民主政治の基本原則、議院内閣制と大統領制、一院制と二院制、社会主義国における議会制度等）

〔教科書・参考書〕講義の中で述べる。

## 行政法（各論）

うめ き たかし  
梅 木 崇

いわゆる行政法各論のテーマ、すなわち、警察行政以下の分野の詳しい説明は、さして有用と思えないので、必要な限りにおいて言及するにとどめる。中心は、各種問題の分析とその内容を素材とした行政法全体の理解を目的とする。比較的人数の少ない講義なのでゼミナールに類似した形式をとることになる。それが諸君の将来に資するものになると思っている。

〔教科書〕梅木 崇著『行政法』（実務教育出版）

その他開講にあたって紹介する。

## 経済法

かわ い よし かつ  
川 井 克 俊

経済法—独占禁止法を中心として—

- 第1部 経済法概説。経済法とは何か。経済法と競争政策。経済法における独占禁止法の位置づけ。
- 第2部 独占禁止法。独占禁止法の目的。その他私的独占、カルテル、企業結合、独占的状态、不公正な取引方法等について、なるべく条文に即して講義する。

このほか、最近でいえば経済の国際化を迎えて、国の内外で競争政策に対する関心が高まっている。日米構造問題協議しかり、臨行審の公的規制の見直ししかりである。このようなアップトゥデートの問題に対して講義し、学生の社会的問題に対する学問的素養を高める。

〔教科書〕川井克俊『競争政策法概説』（高文堂）

¥3,600

〔参考書〕講義の中で紹介する。

川井克俊著『カルテルと課徴金』

（日本経済新聞社）

川井克俊著『いやでもわかる公取委』

（日本経済新聞社）

## 商 法

あらい き まさ たか  
荒 木 正 孝

この講義では、商法総則（法例、商人、商業登記、商号、商業帳簿、商業使用人、代理商）および会社法（総則、合名会社、合資会社、有限会社、株式会社）についてその基礎的な法知識を身につけることを目的とする。

商法は、民法を一般法とする特別法ですから、商法を学ぶ際には基本となる民法総則、物権法、債権総論などの知識があると一層理解しやすいと思いますが、講義の内容を理解するために必要な限度で民法にも触れるつもりですから、民法（財産法）を履修していなくてもかまいません。ただ、企業を目指す法学部の学生諸君は、商法に興味を抱くか否かは別として、やはり財産法を学んでおいたほうがよいでしょう。

講義のやり方ですが、年間の限られた授業時間のできるだけ有効に使いたいの、最も活発に議論が展開されている会社法、なかでも現代社会において我々国民の経済生活に計り知れない影響を与えている株式会社の生成、機能、構造、消滅などを規整する株式会社法に重点を置き、その骨格に係わる重要な法律問題について、最新の学説、判例および実務の対応などを検討するなかで、会社法の基本的考え方を十分に理解できるようにする。

〔教科書〕荒木正孝著『現代企業法（商法総則・会社法）第2版』（成文堂）

〔参考書〕奥島・中島編『商法演習Ⅰ（会社法）第2版』（成文堂）

鴻・竹内編『会社判例百選（第5版）』

（有斐閣）

## 労 働 法

はま むら あさひ  
浜 村 彰

わが国労働法は、戦後、国際的規準を受け入れたり、アメリカ法制を導入するなどして、発展してきました。その法理は、社会経済構造の変化、労働運動のあり様や社会生活における労働者意識の変化などによって、たえず既存の法理の妥当性が検証され、深化してきました。雇用平等法、労働時間法、労働契約法、労働協約法など、今日的課題も多いのです。

また、諸君にとって労働法は、将来就職し労働生活をおくるなかで、欠かせない法領域です。また、会社でも人事労務管理上、必須の法領域です。

授業は、諸君が見聞きするであろう事項を念頭に、それについての基礎的な考え方を、具体的な事例を取

り入れておこなうつもりです。今年、労働保護法の領域から始めます。

〔教科書〕最初の講義のときに話します。

〔参考書〕ジュリスト増刊『労働法の争点』

菅野和夫著『労働法』（弘文堂）

## 比較政治学

み たけ なお や  
三 竹 直 哉

国民国家形成の歴史や、近年の国民国家の変容の実態について学び、国民国家を自明視する視角を相対化していくことを目指す。また、複数の民族が存在する国民国家において、政治的紛争を回避するための諸手法を、各地の諸事例から学んでいく。本年度は、多言語国家として知られるベルギーの例をおもにとりあげる。教科書・参考書は、授業で配布する講義案を参照。

## 国際関係論

しゅ とう もと こ  
首 藤 素 子

冷戦後の国際関係の特徴と問題について考える。講義を構成するテーマは次の3つに大別できる。第1に、欧州地域の安全保障協力や政治、経済協力の進展と制度化について、第2に、アジア太平洋地域の経済的相互依存の深化や安全保障協力を目的とするフォーラムの形成と問題について、第3に、冷戦後の国際組織の役割の拡充とその機能の実態について。なお、第2のテーマでは戦後の日本の外交政策や日米関係の推移等も講義でとりあげる。また第3のテーマでは、国際機関による開発援助や融資の問題、貧困と開発と人権の問題、現代文明とグローバルな環境問題の関連等を講義でとりあげたいと思っている。

〔教科書〕細谷千博・臼井久和編『新版 国際政治の世界』（有信堂高文社）1993年

〔参考書〕講義で指示する。

## 国家安全保障論

こ ほり のり お  
小 堀 訓 男

国際社会のなかで、一つの国家が存続するにはどのような条件が必要なのか、そして、国家的利益とは一体何をもって利益というのか、等々を中心に考えながら国家安全保障の原理と理念を究明する。

〔教科書〕小堀・志鳥共著『国家安全保障の研究』

（高文堂出版）¥1,200

## 宣伝広告論

かみ じょう せえ お  
上 條 末 夫

政治宣伝と政治的コミュニケーションの問題を主として取り上げる。政治宣伝の理論、歴史、そして実際について、具体例によって説明する。現代は宣伝の時代ともいわれ、政治も宣伝やコミュニケーションがきわめて重要な役割をもっている。主権者としての国民は、これにどう対応していくべきか、あるいは社会人として、社会および個人の関係をどう調整していくべきか、という問題を解明していきたい。

〔参考書〕その都度指示する。

## 政党論

はや かわ よし き  
早 川 純 貴

本年度の「政党論」のテーマは政党の包括化過程である。一つの政党が包括政党（キャッチ・オール）化していく過程をいくつかの側面から論じていく。すなわち 1）支持層拡大戦略（新しい政策と固有の政策・イデオロギーとの葛藤） 2）組織拡大に伴う諸問題 3）歴史的背景・政治文化との関係 4）福祉国家形成との相互作用 5）政党システム（一党優位制・二大政党制・多党制）との関連 6）包括政党の限界、などである。そして最後に、日本における包括政党の可能性について言及したい。なお本講義は他学科にも開講するが、最低限、一般教養の「政治学」を履修、ないしそれと同程度の政治学の知識を有する学生でなければ内容の理解は困難である。

〔教科書〕使用せず

〔参考書〕随時紹介

## 議会関係法

まえ だ ひで あき  
前 田 英 昭

憲法第四章（国会）、国会法、公職選挙法、政治資金規正法など国会の組織と運営に関係する法律を取り上げ、日本の議会政治とのかかわりを明らかにする。教科書は特に使わない。

〔参考書〕松澤浩一『議会法』（ぎょうせい）

浅野一郎『国会事典』（有斐閣）

前田英昭『国会の100年』（原書房）

前田英昭『政治腐敗防止法を考える』

（信山社）

前田英昭『憲法Ⅰ（統治機構）』

（高文堂出版社）

## 地方自治法

うめ き かし  
梅 木 崇

行政法の原理・原則の応用としての地方自治法を考えてみたい。必要に応じて、行政法総論における基本概念を説明するつもりである。

〔教科書〕開講にあたって指示する。

## 出入国管理論

たけ うち しゅうたろう  
竹 内 昭太郎

出入国管理行政とは外国人を主対象とし元来は軍事防衛の作用が平時の一般人の往来管理に移行したもので、自国人の出入国管理と対比して初めて意味が判ってくる。当国人は当国領土の共同所有者だが外国人には条件つきで使用（居活動）権を与える。人間として平等、契約人として対等の借間人対家主の関係に立つ。この大前提に立った上で、入国拒否、密入国防止、条件期限の更改（事業者・留学生・芸能人・配偶者の虚実管理）登録証強制、出国強制、不法就労不法残留、永住、帰化などの応待が、移民国と非移民国、島国と大陸国でどのように異ってくるかの因果関係と意味を解説する。つまりは外国人の基本論（居活動権の貸与論）となるものである。

〔教科書〕竹内昭太郎『出入国管理論』（駒沢書店）  
¥1,030

〔参考書〕坂中英徳『今後の出入国管理行政のあり方について』（日本加除出版KK）¥2,900

## 政治哲学

おお つか かつら  
大 塚 桂

政治における「価値」の問題を政治思想史研究の手法を用いて考察する。具体的には、以下の諸問題について究明していく。

- I. 政治哲学の課題と対象および方法
- II. 政治的なるものの意味～政治と権威、支配と服従、権力、政治と倫理、政治の認証
- III. 共同（体）的なるものの分析～国家、社会、主権、法、正義
- IV. イデオロギー的なるものの分析～イデオロギー、ユートピア
- V. 特殊研究（現代国家の成立と展開および問題点）

〔教科書〕大塚 桂『フランスの社会連帯主義』（成文堂）¥未定

〔参考書〕クランストン『啓蒙の政治哲学者たち』（昭和堂）¥2,884

南原 繁『政治哲学序説』（岩波書店）

## 時事英語

み たけ なお や  
三 竹 直 哉

最新のヨーロッパ政治に関する英字新聞・雑誌の記事を読んでいく。進度はできるだけゆっくりとしたものとし、予習・復習の負担を最小限にし、授業時間内に最大の学習効果があるよう、工夫をしていく。扱う記事は授業で指示する。



# 他 学 部 履 修 科 目

(全学部・短大共通)

※他学部科目の講義内容が掲載されているが，受講できる科目は各学部・短大によって異なっている。（履修についての詳細は，「他学部科目の履修方法」を参照すること。）

# 目 次

禅学特講Ⅰ(原田 弘道) .....	1	アメリカ経済論(瀬戸岡 紘) .....	12
禅学特講Ⅱ(永井 政之) .....	1	財務会計論(遠藤 孝) .....	13
禅学特講Ⅲ(石井 修道) .....	1	管理会計論(中原 章吉) .....	14
禅学特講Ⅳ(鈴木 格禅) .....	1	会計監査論(飯岡 透) .....	15
禅学思想史(峰岸 孝哉) .....	1	商業政策(岩下 弘) .....	15
哲学史(中村 友太郎) .....	1	貿易論(古沢 紘造) .....	16
インド仏教史(田上 太秀) .....	2	マーケティング(曾我 信孝) .....	16
中国仏教史(岡部 和雄) .....	2	労務管理論(石井 脩二) .....	17
日本仏教史(石川 力山) .....	2	経営管理論(百田 義治) .....	18
日用經典(皆川 広義) .....	2	行政法Ⅱ(齊藤 寿) .....	19
仏教美術(中島 亮一) .....	2	民法Ⅳ(1)(叶 和夫) .....	19
現代哲学概説(山口 祐弘) .....	2	民法Ⅳ(2)(叶 和夫) .....	19
上代文学(小野 寛) .....	3	比較憲法(竹花 光範) .....	20
中世文学(水原 一) .....	3	経 済 法(川井 克倭) .....	20
近世文学(富士 昭雄) .....	3	地方自治法(梅木 崇) .....	20
近代文学(高田 知波) .....	3	国際関係論(首藤 素子) .....	20
中国文学(中村 璋八) .....	3	西洋政治史(浦田 早苗) .....	20
英文学特講Ⅰ(石原 孝哉) .....	3	宣伝広告論(上條 末夫) .....	21
英文学特講Ⅱ(高野 正夫) .....	3	政 党 論(早川 純貴) .....	21
英文学特講Ⅲ(岡崎 寿一郎) .....	3	保険経営論(石名坂 邦昭) .....	21
英文学特講Ⅳ(中岡 洋) .....	4	財務会計論(渡邊 惠一郎) .....	21
英文学特講Ⅴ(高松 雄一) .....	4	税務会計論(高木 克己) .....	22
英文学特講Ⅵ(丸小 哲雄) .....	4	商 業 史(山田 勝) .....	22
英米演劇特講(落合 和昭) .....	4	経営情報論(高井 徹雄) .....	22
米文学特講Ⅰ(東 雄一郎) .....	4	情報理論(西村 和夫) .....	23
米文学特講Ⅲ(原川 恭一) .....	4	国文講読Ⅰ(上代)(佐原 作美) .....	23
時事英語(坂本 武) .....	4	国文講読Ⅱ(中古)(鈴木 裕子) .....	23
地 形 学Ⅰ(小池 一之) .....	5	国文講読Ⅲ(中世)(蘭部 幹生) .....	23
地 質 学(貝塚 爽平) .....	5	国文講読Ⅳ(近世)(清田 啓子) .....	23
人口地理学(土谷 敏治) .....	5	国文講読Ⅴ(近・現代)(大室 英爾) .....	24
応用地理学Ⅰ(高木 正博) .....	5	国文講読Ⅴ(近・現代)(笹瀬 王子) .....	24
文化地理学(菱口 善美) .....	5	国文特講Ⅴ(近・現代)(笹瀬 王子) .....	24
日本史特講Ⅶ(近代)(佐藤 元英) .....	5	英文タイプライティングⅡ(湯浅 陽子) .....	24
東洋史特講Ⅹ(近・現代)(安藤 正士) .....	5	時事英語(岡本 誠) .....	24
西洋文化史Ⅰ(佐々木 真) .....	6	英語演習Ⅰ(岡本 誠) .....	24
歴 史 哲 学(麻生 建) .....	6	計算機言語概論(杉田 徹) .....	24
哲学史(丸山 豊樹) .....	6	臨床放射線特論Ⅰ(本間 襄) .....	25
日本民俗学(谷口 貢) .....	6	応用計測学(樫尾 英次) .....	25
マスコミュニケーション(川本 勝) .....	6		
産業社会学(安藤 喜久雄) .....	6		
都市社会学(江上 涉) .....	6		
社会福祉発達史(林 千代) .....	7		
ロシア・東欧経済論(山縣 弘志) .....	7		
社会政策(光岡 博美) .....	8		
国民所得論(吉野 紀) .....	8		
中国経済論(小杉 修二) .....	9		
アジア経済論(小林 英夫) .....	10		
日本経済史(古庄 正) .....	10		
中小企業論(三井 逸友) .....	11		
教育経済論(谷敷 正光) .....	12		

# 他 学 部 履 修 科 目

## 禅学特講 I

はら だ ひろ みち  
原 田 弘 道

### 禅宗と公案

公案は禅宗における經典観と深いかわりをもつ。そこで公案の成立とその歴史的展開を通し、その意義と機能について考察する。

(1)公案の起源と歴史、看話禅の成立 (2)曹洞宗と公案 (3)公案の諸相、公案の意義と機能。以上の順序で講義を進める。

## 禅学特講 II

なが い まさ し  
永 井 政 之

8～9世紀、中国の禅宗は歴史的にも思想的にも一つの頂点を迎える。このことを一般には「仏教が中国に広まった」と評する。しかし中国人の誰もが「仏教」を十全に理解しえたわけではない。この授業では、中国禅の思想を原資料によって確認しつつ、中国の民衆が「仏教」をどのように理解していったかを考えることとする。

〔教科書〕必要に応じてコピーを配布する。

〔参考書〕随時指示する。

## 禅学特講 III

いし い しゅう どう  
石 井 修 道

平成6年度につづいて『大慧書』を読む。大慧宗杲は看話禅の大成者である。その後の禅思想に大きな影響を与えた大慧の看話禅の性格は、『大慧書』に最もよくあらわれている。書とは、手紙のことであり、大慧が居士に与えた手紙を中心としているので、主張は明瞭である。宋代禅の性格を知る入門書と言えるであろう。荒木見悟博士の訳注本もあるが、まず禅録になれる意味もふくめて和刻本をテキストにしたい。その折に和刻本の誤読についても言及したい。

〔参考書〕荒木見悟著『大慧書』

(筑摩書房) ¥3,500

石井修道著『禅語録』

(中央公論社) ¥5,200

## 禅学特講 IV

すず き かく ぜん  
鈴 木 格 禅

### 『見聞宝永記』講読

本書は通常『損翁老人見聞宝永記』と呼ばれる。損翁老人とは、仙台の泰心院に住した損翁宗益(1649～1708)のことである。損翁は面山瑞方(1683～1769)の師であり、面山の宗教的人格形成に頗る影響を与えた古聖である。面山が損翁に随侍したのは約二年間程にすぎないが、その間における損翁の法益を集録したのが本書である。従って本書は、損翁における面山の「随聞記」といってよく、内容は多岐にわたるが、その根底には、現状にもなお光輝を放つ洞門の宗教的志操が、一貫して流れている。

本学年度は、前年度にひきつづき本書を講読し、学道の資助としたい。

〔教科書〕教員より配布する。

## 禅学思想史

みね ぎし こう せい  
峰 岸 孝 哉

禅学思想史の範囲はもとより広く考えられるが、本年は日本禅、とりわけ永平道元(1200～53)の流れを汲む曹洞教団の展開に注目し、そこにみられる教学・思想の歴史的性格を跡付けてみたい。

〔教科書〕『道元禅の歴史』〔講座道元II〕(春秋社)

〔参考書〕鈴木泰山著『禅宗の地方発展』

(吉川弘文館)

廣瀬良弘著『禅宗地方展開史の研究』

(吉川弘文館)

## 哲学史

なか むら ともた ちゅう  
中 村 友 太 郎

西洋の思想と文化は、ヘレニズムとヘブライズム、ギリシア哲学と聖書的信仰の結合の上に形成されてきた。ここではとくにキリスト教的な中世哲学の形成とその展開をあとづけることを主眼としたい。それは、神・自然・人間をめぐる理性の立場と信仰の立場との対決・調和・抗争の思想史という様相を呈するであろう。なお前期にはその背景となるギリシア哲学史を簡

単に展望することから始めたい。  
〔教科書〕開講時まで決定する。  
〔参考書〕その都度指示する。

### インド仏教史

た がみ たい しゅう  
田 上 太 秀

インド哲学・宗教の歴史における仏教の位置づけ、インドにおける仏教の発生と展開、仏教思想の特徴、仏像の起源と展開・伝播などについて、幅広く講義する。

各時限ごとにプリントを配布し、さらに適時に参考書を紹介する。

### 中国仏教史

おか べ かず お  
岡 部 和 雄

中国仏教の歴史を概観したい。漢字に翻訳されて展開した仏教の特異性を種々の観点から分析しようとする。

〔参考書〕鎌田茂雄『中国仏教史』（岩波全書）  
任継愈『定本中国仏教史』（柏書房）

### 日本仏教史

いし かわ りき ざん  
石 川 力 山

日本における「仏教伝来の意義」といった課題を軸にして、日本に仏教が伝来した当初からの歴史を辿りつつ、日本思想史・宗教史上において果たしてきた仏教の役割を明らかにしたい。特に、中世における鎌倉新仏教の成立は、急速に仏教が社会のすみずみにまで浸透する契機となり、それにともない、さまざまな社会問題にも関与することになって、正・負の両面に機能を果たすことになった。この授業では、仏教思想の流れとともに、こうした社会的機能の側面についても、あわせて検討していきたい。

〔参考文献〕辻 善之助『日本仏教史』  
（全10巻、岩波新書刊）  
家永三郎・圭室諦成・赤松俊秀監修  
『日本仏教史〈古代篇〉〈中世篇〉〈近世・近代篇〉』（全3巻、法蔵館刊）  
川岸宏教・速見侑等篇『論集・日本仏教史』（全11巻、雄山閣出版刊）

### 日用経典

みな がわ ひろ よし  
皆 川 広 義

わが国における日用の経典について、解説し、その平易な解釈をする。

この講義でとりあげる経典は、般若心経、法華経（寿量品、普門品）、修証義、大悲心陀羅尼などである。また、偈文・回向文などについても解釈したい。

これらの経典は、日本人の精神形成に大きな影響をあたえたものであり、その仏教経典としての正しい理解に心がけたい。

〔教科書〕テキスト プリント配布。

### 仏教美術

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では仏教美術のルーツをインドに求め、その誕生の経緯と東漸のあとをたどり、その図像学的な解釈と信仰思想との関係、仏陀の伝記などを考察する。

後期は中国・朝鮮を経た仏教美術が、日本伝来後変容していく姿を、信仰思想の変遷とあわせて観察する。（スライド併用）

〔教科書〕佐和隆研編『仏像案内』  
（吉川弘文館）¥1,900

〔参考書〕その都度指示する。

### 現代哲学概説

やま ぐち まさ ひろ  
山 口 祐 弘

科学技術を柱とする文明の進展は様々な問題を提起している。これらは、人間とは何か、生きるこの意味は何かという根本的な疑問に発展することがある。現代の哲学はこれらの問題を回避するわけにはゆかない。本講はまず、20世紀に起きた現実的な出来事を取り上げ、そこに示された人間の苦悩と行動、更には人間性の変貌を具体的に抽出しつつ、人間の実相に迫り、その中にある思想的課題を抽出する。次に、これらを西洋哲学に限定することなく広く思想史に照らして捉え返し、現代に生きるための哲学的態度を追求する。

〔教科書〕山口祐弘『近代知の返照』  
（学陽書房）¥3,800

〔参考書〕M. ホルクハイマー『理性の腐蝕』  
（せりか書房）¥2,000

## 上代文学

おのひろし  
小野寛

『万葉集』をよむ。これは古代の日本人の心をよむことであり、古代の歴史をよむことである。『万葉集』をよむにあたって、一首一首、諸本の本文の異同をたずね、その訓みを明らかにし、上代語およびその独自の語法をしらべ、作者の心をさぐり、その作品の背景となる歴史・風土・民俗などについても詳細にしらべながらよんでいく。毎年新しいテーマでよむ。

〔教科書〕小野 寛著『新選万葉集抄』（笠間書院）

## 中世文学

みずほらほじめ  
水原一

『とはずがたり』（後深草院二条の日記）を読み、題材となった作者の生涯・運命・人間関係について考察し、日記文学としての特色について考えてみたい。

〔教科書〕富倉徳次郎『とはずがたり』（筑摩書房）

## 近世文学

ふじあきお  
富士昭雄

『去来抄』の講読を通して、芭蕉の俳論を考察する。  
〔教科書〕プリント（実費）

## 近代文学

たかだちなみ  
高田知波

樋口一葉の代表的な作品を取りあげて精読する。幸田弘子氏による朗読テープも活用する。

〔教科書〕樋口一葉『にぎりえ・たけくらべ』（新潮文庫）

## 中国文学

なかむらしょうはち  
中村璋八

中国の民族思想の中心的な陰陽五行説を集大成した五行大義を平易な解説をしながら、演習方式で読んで行く。この陰陽五行説は、儒教や道教など中国の文化の中で重要な位置を占めているだけでなく、日本にも夙に伝来し、奈良朝から江戸期に至るまでの陰陽道・仏教・神道・国文学・年間行事、民間信仰など多くの

方面に大きな影響を及ぼし、現代においても暦・習俗の中に受け継がれている。そこで、国文学や日本史・東洋史を専攻する人々には欠かせない内容を含むものと思う。是非熟読されたい。

〔教科書〕『五行大義』（明德出版）¥2,300

## 英文学特講 I

いしほらこうさい  
石原孝哉

ルネッサンス期の英文学について講じる。中世のたそがれから近世の夜明けへの過渡期の文学を、過去と未来の両方に開かれたものとしてとらえ、文化のさまざまな方面から論じる。とりあげる作家はThomas More, Edmund Spenser, Christopher Marlowe, William Shakespeare, John Miltonを予定している。殊に Shakespeareは代表的な10作品を選んで詳しく講じる。意欲的な学生の受講を望む。

〔教科書〕『ノースロップ・フライのシェイクスピア講義』（三修社）¥3,800

## 英文学特講 II

たかのまさお  
高野正夫

イギリス・ロマン派の詩人、ワーズワス、キーツ、ブレイクなどの詩を中心に読んでいく予定です。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 英文学特講 III

おかざきとしいちろう  
岡崎寿一郎

おそらく、過去のいかなる瞬間もまた現在であったことの認識をもつことなく現代という言葉を理解することはむつかしい。この認識の方法によって、十九・二十世紀の英詩について、その現代的意味を確認したい。具体的には、十九世紀ロマン派の詩人たち、テニスン、M. アーノルドの詩の検証を経て、ハーディ、イェイツ、D. H. ロレンス、さらに、エズラ・パウンド、T. S. エリオット以後の現代詩（モダニズム）について論究する。

〔教科書〕教場にて指示。

〔参考書〕教場にて指示。

## 英文学特講IV

なか おか ひろし  
中 岡 洋

イギリス小説の代表的傑作 *Jane Eyre* や *Wuthering Heights* を残した Brontë sisters について、彼女たちの文学史的位相を見定め、彼女たちの生涯と芸術について詳述する。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 英文学特講V

たか まつ ゆう いち  
高 松 雄 一

20世紀イギリスのモダニズム文学の種々相を考察する。世紀末の唯美主義批評、イェイツ、イマジズム、エリオット、ジョイスらの作品や批評を取りあげて、モダニズム文学運動の意味を考えたい。

〔教科書〕必要があれば開講時に指示する。

## 英文学特講VI

まる こ てつ お  
丸 小 哲 雄

文学批評は個人の嗜好ではなく、集団的な判断の問題へ発展させながら、向側に作家・作品を位置づけ、こちら側に読者の経験を豊かに高めることになります。前期ではそのための有効な方法として伝統批評、ロシア・フォルマリズム；ニュー・クリチズム、精神分析批評、受容理論（読者の立場）、構造主義、記号論、ポスト構造主義などの批評的考え方を講義します。後期では、作品の読み方と研究の仕方を修得するためにテキストを利用して、レポートを作成してゆきます。従って、テキスト理論とテキスト実践を平行的に作業することになります。

〔教科書〕The 20th Literary Criticism (Longman) 読書のためのプリント・リスト、および適宜必要に応じてプリントを配布します。

## 英米演劇特講

おち かい かず おき  
落 合 和 昭

19世紀から現代までの演劇史に見られる主義（～ism）をその劇場史とともに、追いながら、重要な出来事、用語などの説明をする。

また、講義用のテキストとしては、図や写真が多く載っているアメリカの大学生用テキストを用いる。さらに、必要とあらば、英文の研究書などにも目を通し、多様な見方にも慣れる。

課題としては、講義の内容をまとめたレポートや他の英文（教冊のアメリカ大学生用テキストや研究書からのプリント）の要旨をまとめたレポートを十数回（一回につき四百字の原稿用紙2～3枚程度）ほど提出してもらおう。

## 米文学特講I

あずま ひろし  
東 雄一郎

19世紀のアメリカン・ルネッサンスから、20世紀初頭のモダニズム、そして現在のポストモダニズムに到るまで、アメリカの詩に関し、具体的な作品を味読しながら、考えていく。

〔教科書〕新倉俊一『アメリカ詩入門』

（研究社）¥2,200

## 米文学特講III

はら かわ きょう いち  
原 川 恭 一

20世紀アメリカ文学の巨星William Faulknerの作品世界を、代表的長篇小説 *The Sound and the Fury*, *Light in August*, *Absalom, Absalom!* の解説、および、短篇小説 "A Rose for Emily", "Dry September" の精読を通じて覗いてみたい。なお、作品の背景となっているアメリカ南部の特異な歴史的状況の説明をも加えていく予定。教科書、参考書以外の講義資料はコピーして配布する。

〔教科書〕大橋健三郎編・注 *A Rose for Emily & Other Stories* (英宝社) ¥1,380

〔参考書〕大橋健三郎著『フォークナー — アメリカ文学、現代の神話』

（中央公論社〔中公新書〕）¥720

## 時事英語

さか もと たけし  
坂 本 武

放送英語、新聞英語その他時事面に関する英語について、テープ等も随時併用して講義する。また、時事文を多用しての英作文の作法についても採りあげ、「読み書き聴く」の三点を重視していきたい。別名、Living Englishと呼ばれる程「生き役立つ」英語の筈である。積極的に受講してほしい。

〔教科書〕教場にて指示する。

## 地 形 学 I

こ いけ かず ゆき  
小 池 一 之

地理学の基礎、地形学史から講義をはじめ、川・海の作る地形を中心にする。地形事変が国の内外で起こったときは、出来るだけ、それらの解説も加える。講義は、プリント、スライド、ビデオを使ったわかりやすいものにした。 (内容は最先端の知見を含む)

〔教科書〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』

(東大出版会) ¥4,532

## 地 質 学

かい つか そう へい  
貝 塚 爽 平

前期には関東・東海地方でみられる、地震・火山・地層・岩石・地質構造・地殻変動などを解説しつつ一般論に及ぶ。また、日本列島ないし地球規模でおこる地質現象(たとえば大洋底の運動・造山運動・海面変動・気候変動・氷床の形成・サンゴ礁の形成)についても講ずる。後期には主として外国の地形・地質を一般論と交えて解説する。

## 人 口 地 理 学

つち たに とし はる  
土 谷 敏 治

人口の分布とその変化・人口移動などの諸現象と都市構造・都市システムの関係について、研究方法やこれまでの研究成果を紹介する。

1. 人口統計と地域概念
2. 地域の人口構造とその記述法
3. 人口の分布と都市構造
4. 中心地論
5. 都市システムと人口移動

## 応 用 地 理 学 I

たか ぎ まさ ひろ  
高 木 正 博

河川と地域を、利水・災害・自然環境などの視点から捉える。また、近年水環境に対する関心が高まっているが、その問題点について、地理学と他の研究分野を関連させてのべる。

〔参考書〕高橋 裕著『河川工学』(東大出版会)

中西準子著『水の環境戦略』(岩波新書)

## 文 化 地 理 学

こも ぐち よし み  
菱 口 善 美

本講義では、まず文化地理学の中心的課題、すなわち(1)文化、(2)文化領域、(3)文化景観、(4)文化史(詩)、(5)文化生態について概観する。さらに内・外の研究事例を紹介しながら、文化地理学的手法による地域分析について議論する。

## 日 本 史 特 講 Ⅶ (近 代)

さ とう もと せい  
佐 藤 元 英

明治初年より太平洋戦争までの外交史時期区分論を講ずる。

前期は幕末維新期における列国の対日政策と日本の対応、明治初年の領土問題、条約改正、日清戦争、日露戦争、第一次対戦とパリ講和会議などについて論じ、外交主体の確立と近代主権国家系への参加から大陸膨張政策という対外路線を検討する。

後期は1920年代の国際関係と極東新秩序の模索、ワシントン体制と幣原外交及び田中外交、満州事変と国際的孤立化、国際体制の現状打破、日中戦争、太平洋戦争などについて論じ、国際協調から離脱していく世界新秩序の形成という対外路線を検討する。

〔参考書〕入江 昭『日本の外交』(中公新書)

池井 優『日本外交史概説』(慶応通信)

## 東 洋 史 特 講 Ⅹ (近・現 代)

みん どう まさ し  
安 藤 正 士

前期に「西安事変研究」、後期に「文化大革命研究」をおこなう。

### 1. 西安事変研究

はじめに一問題の提起、①西安事変にかんするこれまでの研究、②1930年代の中国政治外交政策、③西安事変、④「三位一体」体制の崩壊、⑤国民党3中全会、おわりに

### 2. 文化大革命研究

はじめに一問題の提起、①毛沢東の神格化、文革の綱領、②奪権闘争の展開、③新しい社会のヴィジョンと現実、④対外関係、⑤林彪事件、⑥近代化論争、おわりに

〔参考書〕安藤正士・太田勝洪・辻康吾『文化大革命と現代中国』(岩波新書)1986

## 西洋文化史 I

さ さ き まこと  
佐々木 真

今日、私たちがイメージする西洋文化とは、主に19世紀から20世紀にかけて、知識人たちの影響下で形成された、近代文化のことであろう。しかし、最近のヨーロッパ史研究では、前近代社会や民衆世界においては、今日と異なった文化が存在したことが指摘されている。本講義では、西洋の民衆文化を題材として、中世末から近代にかけての文化変容の問題を考えてみたい。具体的には、民衆の生活様式（人口動態、家族・労働形態、女性や子供の地位）や知の世界（読書行為、識字）、民衆の心性（価値規範、死生観）などを手がかりとして民衆の文化世界を考察する。教科書は特に指定せず、参考文献については必要に応じて授業時に紹介する。

## 歴史哲学

あ そう けん  
麻 生 建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で、歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を、「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは、今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが、そもそもは「他者理解」の問題、「歴史理解」の問題である。

〔教科書〕麻生 建『解釈学』（世界書院）¥2,500

## 哲学史

まる やま とよ き  
丸 山 豊 樹

この講義「哲学史」の内容は「近世哲学史」である。しかし、近世哲学も古代および中世の哲学の発展・展開であるから、まず始めに古代・中世の哲学を概観した後で、近世哲学を論ずることにする。

「イギリス経験論」と「大陸合理論」によって、近世哲学の歴史は開始されるが、それはカントの「批判哲学」によって総合され、後さらに幾多の曲折を経て、現代の哲学に結実する。それらの哲学の特色を捕らえて、現代の哲学と科学との関連を考慮しながら講義を進めたい。

〔教科書〕国嶋一則編『西洋哲学の展開』（公論社発行）

## 日本民俗学

たに ぐち みつぎ  
谷 口 貢

民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・習慣の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにしたい。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## マスコミュニケーション

かわ もと まさる  
川 本 勝

マス・コミュニケーションの生産過程から受容過程にいたるまでの主要なメカニズムを、これまでのマスコミ研究の成果、理論を紹介しながら考察し、マス・コミュニケーションの特質、社会的機能、効果や影響などを検討する。

高度情報化社会といわれる現代、ニューメディアを含めて、マス・メディアが社会や人びとの社会生活とどのようなかかわりをもっているか、社会学的に分析する。

〔参考書〕その都度指示する。

## 産業社会学

あん どう きく お  
安 藤 喜久雄

産業社会学の主要領域 — 組織、企業経営と労働者生活および労働者意識、労使関係、労働組合、職業・産業と社会、などについて概観し、そこでの社会学的諸問題が現代人にとってどのような意味をもっているか検討する予定である。

〔教科書〕安藤喜久雄他『産業社会学』（学文社）¥2,500

## 都市社会学

え がみ わたる  
江 上 渉

次の様な内容で講義を進める予定である。

### 1. 都市社会学の誕生

シカゴ学派の人間生態学から、都市社会学の誕生



へ（パーク、バージェス、ワースの所論を中心に）

## 2. 都市社会学の興隆

わが国における都市社会学の受容と発展（都市化論、都市類型論、都市分類研究、町内会論、生活構造論など）

## 3. 都市社会学の展開

70年代以降のコミュニティ研究を中心に、都市化社会から都市型社会への変動を分析する。

〔教科書〕特に使用しない

〔参考書〕その都度指示する

## 社会福祉発達史

はやし ちよ  
林 千代

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想、その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕今岡 他編『社会福祉事業発達史』

（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕随時紹介

## ロシア・東欧経済論

やま がた ひろ し  
山 縣 弘 志

### 〈授業内容と目標〉

ソ連邦が解体し、東欧諸国も再編成されて、いかなる方向かとはもかくとして移行過程にあるが、この地域が従来の歴史的経緯を背負って今後も多少とも他と区別される経済圏を形成していくことは確かであろう。

ロシア・東欧圏は、ヨーロッパとアジアにまたがりオリエントと接するユーラシア地域として、独自の、また内部的には多様な文化を醸成してきた。この地域は、帝国主義の時代に、第1段階としてロシア革命、第2段階として第2次大戦を契機に社会主義をめざすことになった。そしてそれはまぎれもない社会主義の歴史として通俗的に理解されてきたが、本来は社会主義の模索として開始されたものであり、社会主義になりえたか否か自体が問われなければならないという認識が、同時代史によって求められている。社会主義であれ資本主義であれ、個別の体制は独特のあり方として捉えなければならない。その意味からも、ロシア革命による歴史の断絶か連続かの問題は、今日においては、後者に重点を置いた捉え方が妥当であるというこ

とが明らかになったのであるから、しからばロシア・東欧圏の歴史的連続性と独自性を何に求めるか、という問題も併せて探究していく必要がある。

社会主義論の原理的な捉え直しの上に立って、1930年代にソ連邦で形成され40年代に東欧に移植された独特の体制への認識が深まり、我々の時代の当面している課題が明らかになれば、自らの姿を鏡に映すという外国研究の基本的役割をいささかでも果たすことになるであろう。

### 〈授業予定〉

トピックスにコメントする機会が多いと思われるので、以下はあくまで予定と考えて頂きたい。

#### 1. 社会主義とロシア革命

- (1) 社会主義論の歴史
- (2) マルクスの社会主義論
- (3) ロシア革命のめざしたものーレーニン時代ー

#### 2. ソ連経済体制の成立とスターリン時代

- (1) 1920年代から30年代への根本的転換
- (2) 工業化と農業集団化
- (3) ソ連型「社会主義」の特質
- (4) ソ連・東欧経済圏の形成

#### 3. 「計画経済」と经济管理システム

- (1) 「計画経済」の成立
- (2) 「計画化」と「計画経済」の実態
- (3) ソ連型经济管理システム

#### 4. ソ連経済の到達水準

- (1) 経済構造の特質
- (2) 軍事生産と工業生産力
- (3) 工業技術の諸問題
- (4) 農業政策と農業制度
- (5) 農業生産力

#### 5. 停滞からペレストロイカへ

- (1) 経済改革の時代
- (2) ブレジネフと停滞の時代
- (3) ペレストロイカとその挫折

#### 6. ロシア・東欧経済の現状と課題

- (1) ロシア・東欧社会の特質
- (2) 市場経済化の諸問題ー何から何への移行かー

### 〈成績評価〉

本講義に限らず、学生諸君にはステレオタイプから脱して自分自身の頭で考えることを求めたい。そのような観点で、成績評価はレポート（9月提出、40点配点）と定期試験（自筆ノート持込み可、60点配点）によって行なう。

〔教科書・参考書〕

教科書はない。授業中にノートを取るの当然である。参考書は適宜指示する。

## 社会政策

かひ　お　ひろ　み  
光　岡　博　美

### 〈社会政策の内容〉

社会政策とは、資本主義社会で発生する社会問題や労働問題を体制内において解決する社会改良思想や政府の政策を意味している。この社会政策という学問は19世紀の中葉に、当時ヨーロッパの後進国であったドイツで発生したが、やがて近代化をめざす日本に紹介された。この意味で、戦前から、社会政策学は日本の経済学のなかでも重要な位置を占めてきたが、それは戦前日本の経済学がドイツ経済学から大きな影響を受けてきたからであった。

戦後の時代になると、社会問題や労働問題の処理は、政府の政策によってだけでなく、国民の権利を前提として、その解決が意図されるようになってきた。殊に、労働問題は、政府の介入を避け、労使の自主的な団体交渉によって事態に対処していくという方向に向かった。労働基準法、労働組合法、労働関係調整法といった労働法体系は、このような体制を作り出すために制定された法律だったのである。

このような現実世界の変化は、社会・労働問題研究へのアプローチの方法として、労使関係論の学問的発達を促すこととなった。戦後の日本においても、欧米社会で開拓された労使関係論を吸収し、日本の労働問題や労使関係の実態を分析し、労使関係をその実態に即して理解しようとする研究が大きな影響を及ぼしている。

### 〈本年度の講義内容〉

そこで、このような社会政策論や労使関係論の動向を視野に置いたうえで、本年度は、次のような講義内容で授業を行うことにしたい。

- (1) 社会政策学 of 思想と理論
- (2) 労使関係論 of 思想と理論
- (3) 日本における社会政策の歴史
- (4) 日本における労使関係の歴史
- (5) 戦後日本における労使関係の展開
- (6) 現代日本の社会政策と労働問題
- (7) 日本の労使関係の現実とその未来

上に述べた(1)～(7)の項目について、各々約3回程度の講義を予定している。しかし、時には、社会政策や労働問題を勉強するための専門書の紹介や解説、最近注目されている外国人労働者問題や女性労働問題などの時論、私が専門的に研究してきた問題なども、できるだけ分かりやすく解説してみたいと考えている。

また、授業とは直接関連はないが、労働問題を考えるうえでも有益と思われるような名作(映画)を鑑賞する機会も準備してみたい。

なお、全体の講義を通じて、その時々 of 社会政策や労働運動・社会運動によってどのような問題が解決され、どのような問題が未解決のまま残されその解決が迫られているのかを考えてみることにする。そして、

われわれにとつて of “より良い”社会とはどのような社会であるのかといった事柄にも思いをめぐらしてみたい。

### 〈履修条件と成績評価〉

履修条件は特にないが、教場では私語を慎むこと。また必要に応じて、出欠の点検を行う場合もある。成績の評価基準や答案作成の注意は、年度末試験の2週間ほど前の授業で説明する。

〔教科書〕なし

〔参考書〕必要に応じて講義のなかで紹介する。

## 国民所得論

よし　の　おさむ  
吉　野　紀

220万 of 法人企業、6,700万人 of 就業者、そして4,200万 of 世帯、これらの間でさまざまな生産活動や取引が営まれている。これに政府や海外取引を含めると、日本経済では正に無数といってよいほどの取引関係が日々結ばれていることになる。

これらの取引関係は複雑に入りこんでおり、その1つ1つを追跡すると、経済という森に歩み入って、森全体の状況についての認識に到達することが難しくなる。そこで、森の上に飛び上がって、これらの取引を上空から眺める工夫が生まれてくる。こうして、上空から眺めると複雑に入りこんだ諸取引はいくつかの類似した性質を共有するグループに分けられることに気付くであろう。このような諸活動の1年間の成果が、たとえば、日本経済の場合、国民総生産(GNP)460兆円に結実してゆくのである。

「国民所得論」はこのような視点に立脚した経済分析方法である。しばしば、マクロ(巨視的)分析とよばれる所以である。モデル・アナリシスと、現実に観察される日本経済との対応が常に心懸けられるであろう。

### 〈授業計画〉

「国民経済計算」……………5回

GNP、GDPなど、国民経済全体をとらえるための経済指標の理解と、さまざまな諸取引間の相互関係をとらえることが主題となる。

「平成5年日本経済の循環図」(配布資料)

西嶋・藤岡『国民経済計算の知識』(日経文庫)

「総需要、均衡産出量、均衡所得……………4回

いわゆる単純なケインズ派の所得決定理論が、モデル分析に即して説明される。このテーマの終了後、練習問題が宿題として課される。解答と解説は授業中に示される。

中谷『入門マクロ経済学』(日本評論社)第3章「貨幣・利率および同時均衡」……………8回

この段階で貨幣のはたす役割が導入され、前回までの主題との接合がはかられて、IS曲線とLM曲線を主な武器とする分析が進められてゆく。モデルを用いた説明が中心となるが、日本経済の置かれている現況

との関わりが登場する機会も徐々に増えてゆくであろう。本テーマの終了時にも、簡単な練習問題が宿題として課される。正解と解説は授業中に示す。

「金融政策、財政政策」…………… 4回

前回までの内容が理解できれば、金融政策と財政政策の発動によって、望ましい所得水準を達成するプロセスは比較的容易に理解できるものと思われる。ただし、金融政策、財政政策ともに、その効果という点では一律ではなく、機動的なポリシー・ミックスが望まれる、といった点にも触れなければならない。

『マクロ経済学(上)』ドーンブッシュ・フィッシャー(マグローヒル)第4章

「労働市場を組み込んだ総需要・総供給分析」

…………… 4回

これまでに扱われてきたのは、財やサービスの取引と貨幣市場であったが、これに労働力市場が明示的に組み合わされる。

「最終講義」…………… 1回

平成7年日本経済の予想。

海外経済との関わりは、主に為替レートを中心にここで触れられる。

〈成績評価〉

期末試験…………… 85%

2回の練習問題の提出(2回とも提出することが条件)…………… 15%

なお、練習問題を教場で黒板に解答して見せてくれる学生諸君(年間15名前後)には、学生諸君全体の意見を反映しつつ別途配点することもありうる。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 中国経済論

こ さぎ しゅう じ  
小 杉 修 二

1. 現在の中国は対外開放、経済成長と生活の向上の結合、経済改革の試み等、新たな活気みなぎるようになった。また、企業自主権の拡大、株式会社、個人営業の公認、失業・倒産の制度化、「1国2制度」「6・4天安門事件」等々話題に事欠かない状況である。

本講義ではこのような目前的変化をとらえると同時に、より長い視野と射程で問題を論じることとする。即ち、本講義のキー・ワードは、超大国志向、社会主義、発展途上国である。この三点で中国の長期的動態を論ずる。

2. 前期授業のはじめに、キー・ワードを3週間分かけて説明する。ここでは、地域研究が本来もっている特徴である、問題のさまざまな面をとらえる、ということと、そのうち比重の大きい側面は何であるかをつかむ、といった点に留意する。特に、私独自の見方である中国の超大国志向について詳しく説明する。

3. 2につづいて、中国経済の解明に取り組むが、それは一言でいえば歴史的方法をとる。すなわち、中華人民共和国の成立(1949年)から今日までを、3つの特徴的な時期に分けて(1)ソ連モデル(1949~57年)、(2)毛沢東モデル(1958~78年)、(3)鄧小平モデル(1978~)として、それぞれの時期の特質とその変化の動因を説明する。

このような方法をとるのは、今現在の目先の出来事も何かの方向へ向かって動いている訳だが、その方向というものは、あまりに近くで見ているとわかりにくいものだからである。つまり、現在および将来というのは、過去の何らかの延長であると考えらるからである。それが単純な延長である場合もあろうし、新しい条件に見合った微修正の延長である場合もあろうし、また全く過去の否定的総括に立った転換である場合もあろう。その場合も、過去の何が否定的に総括されたのかを知らねば、将来への延長線は引かれないであろう。そこで歴史的方法をとるわけである。

4. 上記の3つのモデルを超大国志向、社会主義、発展途上国の3つのキー・ワードを軸にして説明していくが、そこでの中国は著しく軍事大国志向、経済成長志向である。世界の他の国々がそのような志向性をもっている中で、また、中国が途上国であることからして、やむを得ない面もあるが、世界が環境問題で行き詰まりつつある中での、このような志向性のもつ問題点をも相対化し得る見方をもてるように留意したいと思う。

5. 授業の進め方は、教科書に沿った講義とビデオ(1-201または1-301教室)上映による説明の二本立てで行っている。

教科書は専門家向けに書かれており、自明のことや初歩的なことは書かれていない。したがって、中国経済に全くの初心者であると思われる学部学生に対しては、自明とされていることや、初歩的な知識の説明を補いながら講義を行う。

また、何分にも外国のことなのでイメージがわきにくいといった問題があるので、年に数回、中国関係のビデオを見る。例えば、新日鉄宝山製鉄所、天津の用水路、長春第1自動車工場、江南億元郷、天安門激動の40年等。

6. 受験勉強の本質は正解当てクイズである。しかし、このような方法は実社会では通用しない場合が多いし、正解も変わっていく。諸君が物事(中国経済)を自前の頭で理解し判断できるための勉強が高等教育の場である。そのために、無数にいる専門家の意見の比較、優劣判定、取捨選択、時間による検証、といった作業が必要になる。その前提になるのが、各専門家の学説の正確な理解である(学説の受け入れとは異なる)。テストは基準となる一つの学説(とりあえず、私の説)の正確な理解ができたかどうかを見るものである。

7. 学習が正解当てクイズに終るかどうかは諸君の学習意欲にも係わっている。教科書の脚注引用文献や

同第5章「諸学説の検討」あるいは授業中にその都度指摘する文献を積極的に読むことを希望する。

〔教科書〕小杉修二著『増補現代中国の国家目的と経済建設—超大国志向・低開発経済・社会主義』（龍溪書舎）¥4,120(消費税込み)

〔参考書〕小林英夫『戦後日本資本主義と「東アジア経済圏」』（御茶の水書房）¥3,200  
小林英夫『東南アジアの日系企業』（日本評論社）¥3,200

## アジア経済論

こ ばやし ひで お  
小 林 英 夫

今日ほどアジアが目されるようになった時期もめずらしい。とりわけ、その目ざましい経済成長が目されたのである。1970年代は韓国、台湾、香港そしてシンガポールが、そして80年代後半になるとタイやマレーシアといったアセアン諸国が、その高成長のゆえに注目された。韓国をはじめとする4ヵ国は、一つの高成長グループとしてくられ、その名をニックス(NICS)と称された。

では、なぜ、この時期、アジアで経済成長が生じたのであろうか。それは、どのような歴史を背景に生まれたのか。そして、こうした成長地域の出現は、世界政治と経済にどのような影響を与えたのであろうか。アジア経済論は、こうしたアジアの経済成長の歴史的背景と現状そして将来を展望し、それが日本と世界の政治、経済に与えたインパクトを考察することにある。

授業は、講義形式でおこなう。ただし、原則として年間2回外部講師をまねいて、実際のアジアの実情を紹介してもらっている。これまでに野村証券の調査員にシンガポールの金融事情を、ジェトロの調査員にマレーシアの実情を、三菱柏会の事務局長に自動車部品産業の実情を紹介してもらった。今年も同様の“アジア・ガイド”を計画している。

今年度の授業項目と授業スケジュールは以下の通りである。

4月

アジアの実情

5月～7月

日本とアジアの経済関係（戦後日本とアジアの関係を、Ⅰ.賠償過程、Ⅱ.借款過程、Ⅲ.直接企業進出の3期に分けその過程を追うと同時に、それが日本の産業構造に与えた影響について検討する。

7月の夏休み前に、外部講師をよび、企業進出に的を絞った、実態報告を行う。

9月～12月

東南アジアの日本企業の活動（1972年以降開始された日本企業の東南アジアでの活動実態について、主に輸出加工区でのそれをめぐってその活動実態を検討する）

1月

まとめ（1年間の講義について、まとめを行なう）

授業の受講にあたっては、あらかじめ指示した教科書を講読しておくこと。テストは、夏休み直前と期末のテストの2回を実施し、両者の総合成績で決定する。

## 日本経済史

こ しょう ただし  
古 庄 正

開港前の日本は、極東の一封建国家にすぎませんでした。1853年（嘉永3）のペリー(M. C. Perry)来航に始まる鎖国体制の解体と欧米列強による領事裁判権・協定関税率・最恵国条項を内容とする安政条約の強制は、政治的にも経済的にも軍事的にも、幕末日本を植民地化の危機に陥れました。それにもかかわらず、日本は開港後わずか数十年の間に工業化を達成し、アジアにおける唯一の工業国家になりました。インド・中国・朝鮮その他のアジア諸国が工業化に失敗する中で、日本だけがなぜ工業化に成功したのでしょうか。この講義の第1の課題は、この点を歴史的・具体的に明らかにすることです。第2の課題は、日本の工業化は内外の民衆にとって何であったかを明らかにすることです。工業化は民衆の犠牲なしにはあり得ませんでした。苛酷な租税収奪による農民の没落、「インド以下の低賃金」の強制による労働者の貧困、公害の放置による地域住民の生活破壊等は工業化のもう一つの側面でありました。資源確保のためのアジア諸国への侵略はアジア諸国の民衆に塗炭の苦しみを強要することになりました。日本の工業化の問題はこれらのこととセットで考えなければなりません。第3の課題は、天皇制国家によって強行された日本の工業化と、戦後補償問題に端的に示されているような、自己反省に欠ける日本国家・日本企業の傲慢で醜い体質との間に、どういう因果関係があるのかを突き止めることです。日本経済史の対象はすこぶる広く、古代社会から現在までということになります。しかし、時間的・能力的制約から今年度は主に明治期（いわゆる産業革命期）の問題に話を限定したいと考えています。話の具体的中身としては、今のところ次のテーマを予定しています。なお、年度内に生起する諸事件の中で、日本経済史との関連で特に重要なものについては、適宜これを取り上げてお話するよう心掛けたいと思っています。生きた具体的な現実との緊張関係を抜きにした講義は、社会科学の講義としては適切なものではないかと思うからである。

1. 幕藩体制の構造とその矛盾
2. 開港と植民地化の危機
3. 幕藩制の崩壊と明治維新
4. 明治国家の工業化政策
5. 政商と天皇・華族の資本蓄積
6. 農民の分解と士族の没落
7. 自由民権運動と天皇制国家
8. 産業革命と工業化

9. 紡績と製糸業
10. 工業化と在来産業
11. 重工業と鉱山業
12. 工業化と公害
13. 財閥の形成と発展
14. 工業化と地主制
15. 鉄道業と海運業
16. 外国貿易の発展と構造
17. 工業化と財政・金融
18. 植民地の領有とその矛盾
19. 工業化は民衆にとって何であったか。

経済史を含めて、いま、なぜ、歴史を学ぶ必要があるのだろうか。講義要綱を書くたびに、いつも気になるのはこの点です。大学の先生のような研究と教育を商売にしている人間は一応別として、一般の学生や市民にとって、果たして歴史を学ぶ必要などあるのでしょうか。多少我田引水のように少し気がひけるのですが、私はやはりその必要があると思っています。歴史学は何が真実なのかを問い直す一つの有効な武器となるからです。現在と過去とが密接にリンクしている戦後補償問題に例をとって、この点を説明しましょう。

第2次大戦中、日本の政府と企業は100万を越える朝鮮人を労務要員として、あるいは軍人軍属や従軍慰安婦として動員し、その果てに多くの人々を死傷させ、または心身に癒し難い傷を負わせました。しかし、加害者である日本国と日本企業はこれらの戦争犠牲者に対して何の補償もせず、戦後処理に決着をつけました。従軍慰安婦を別とすれば、日本政府も関係企業もこれらの戦争犠牲者に謝罪すらしていません。こうした理不尽な戦争処理の再検討を求めて、いま戦争犠牲者たちは東京地裁等で裁判を始めています。しかし、国も企業も強制連行、強制労働・差別待遇の事実を一切認めず、日韓協定ですべて解決済として、原告の要求を突っぱねています。国と企業が過去の蛮行を何ら反省することなく、こうした傲慢な態度をとり続けているのはどうしてでしょうか。その理由の一つは、事実の解明が十分でなく、原告側が国や企業の強弁に有効な反論ができないためです。中央大学の吉見義明教授が防衛庁防衛研究所所蔵の軍の機密資料を発見、従軍慰安婦問題については軍の直接的関与を認めさせ、政府の政策を大きく転換させましたが、その他の問題については、国と企業の徹底した資料隠しも加わって、被害の実態が十分つかめていません。原告側の最大の弱みはこの点にあります。もう一つの理由は、韓国併合以来の朝鮮および朝鮮人に対する蛮行が、学校教育では殆ど知らされていないこともあって、多くの人々が戦後補償問題について無知・無関心であるということです。被害国家の民に対する国と企業の理不尽な対応を日本国民が許す一因はここにあります。文部省が教科書検定に執念をもやしたわけがよくわかります。戦後補償裁判を傍聴してしみじみ感じたことは、歴史研究と歴史教育が何としても必要だということでした。国民が真実を知らなければ、どんなに理不尽なことでも、それが正論として公法廷の場でも罷り通る

ことになりかねないからです。

経済史を含めた歴史学の課題は、何が真実であるかを明らかにすることにあります。そういう意味では、本質的には批判の学であります。しかし、経済史を含めた歴史学の勉強をこういう側面にのみ限定して考えるのは一面的にすぎます。人が自分の過去を懐かしく思うように、自己の所属する国家や民族や地域について、あるいは自らがその中で生きている社会や経済や文化について、その過去を知りたいと思うのは、いわば人間の本性のようなものです。そういう知的欲求を満たしてくれるのもやはり歴史学なのです。

## 中小企業論

みつ い い と  
三 井 逸 友

「中小企業」を論じるというのは実は存外に容易ではない。世界的な「中小企業フィーバー」の続いた80年代をへて、深刻化する不況と「構造転換」のすすむ今日こそ、さまざまな俗論や安直な先入観念を排し、きちんとした学問的方法と総合的でグローバルな現状認識をはかり、さらに21世紀を展望した「政策観」をつくり上げていく必要があろう。

日本の中小企業は約600万、企業の99%、従業員の80%を占め、製造業中小企業に限っても80万をこえ、付加価値の50%以上を生み出している。つまり、日本の経済社会にとって中小企業はきわめて重要な「メジャー」な存在であるとともに、諸外国からうらやましがられる「日本産業の競争力」を支えているのである。しかしこのことは、中小企業の地位が安定し、そこに働く人々が恵まれていることを示すものではない。中小企業をめぐる格差、不利、経営不安などの「問題状況」も依然広くみられ、今日また深刻となっている。しかもこうした「期待」と「困難」の交錯する事態は先進国に共通して確認されているのである。

この講義ではこうした中小企業の存在状況と役割、当面する問題を概観し、次にこうした中小企業の存立と問題性をめぐる理論・研究を検討し、「中小企業問題」の二面性と、現代経済における中小企業の「構造論」的位置づけを明らかにする。講義の後半では、「下請制」、「地場産業産地」などの中小企業群の形成する分業と協働・集団の諸形態の特徴と最近の動向を追い、結合生産力の「効率性」と、これに対する競争と統制・管理の貫徹がもたらす「経済的關係」のうえでの問題状況を示す。事態は独占大企業の「支配・利用」と「過剰・淘汰」の間で現われるのである。さらにこうした「中小企業問題」に対応して展開されてきた「中小企業政策」の国際比較研究を行い、「生産力」的に成功を収めてきた日本の「中小企業近代化政策」の特徴と限界、これに対する欧米の政策の相違点と近年の「収斂傾向」を解明する。加えて補論として、最近の政策課題として注目される、「構造転換」(リストラ)対応策、分業にもとづく結合生産力の目的意

識的な組織としての、企業間連携・共同促進策、新規開業促進策、そして「基本法30年」での中小企業政策の見直しの動きについてもふれてみたい。

授業は主に講義の形で進めるが、企業経営のナマの現場を理解してもらうため、ビデオ、スライドの上映、企業経営者の方の話などもとり入れたい。その中で産業分析の基礎知識も伝え、さらに担当者の世界各地や全国での見聞も活用する。

#### 〈構成予定〉

- I. 中小企業論の課題と対象、規定と構成、問題状況
- II. 「中小企業論」研究の方法と「存立」論・「問題」論
- III. 中小企業の現代的存在形態
- IV. 「中小企業政策」の展開と国際比較

なお、毎年夏休みには、補足的資料として、『中小企業白書』を読んでもらい、希望者にはレポートを書いてもらっている。成績評価は、他の専門科目同様、学年末定期試験を中心とする。

〔教科書〕三井逸友『現代経済と中小企業』  
(青木書店) ¥2,800 (税抜)、  
三井逸友『EU欧州連合と中小企業政策』  
(白桃書房) (予定)

〔参考書〕中小企業庁編『中小企業白書』〔各年次〕

### 教育経済論

や しき ただ りつ  
谷 敷 正 光

#### 〈授業内容〉

経済発展に産業教育が果たした意義とその役割について考察する。

日本は近年、「経済大国」として世界的に認められるようになったが、この発展を築いた基礎に日本の高い教育水準と人材養成があるといわれている。そして欧米各国では経済面での国際競争力の低下が教育水準の低下と密接に関連しているとの観点から日本の産業教育政策を解明するとともに、2,000年に向けて一斉に教育改革に着手している。アメリカの「危機に立つ国家」「全米教育サミット」「2,000年のアメリカ」、イギリスの「教育改革法」「二十一世紀に向けての教育・訓練」、フランス「ジョスパン法」など各国の改革の中心は厳しい経済競争に勝ち残るための教育水準の向上、教育に市場原理の導入、高等教育の質的充実、教育投資の拡大など教育を「国の最優先課題」と位置づけている。

そこで本年度は、こうした各国の経済再建と教育改革の動向、日本の現状をまず考察する。

次に、外国からは高く評価されている日本の高い教育水準、人材養成教育を戦前は産業資本確立期を中心に、戦後は朝鮮戦争を契機に復興した復興期から平成景気までを中心にそれぞれの経済発展段階の特徴とそれに応じた産業界の教育要求と国の教育政策、産業教育政策を考察する。

#### 〈授業形態〉

毎時間、講義のはじめに、現実的理解のために視聴覚教室でビデオを使用する。

#### 〈授業項目と授業スケジュール〉

- (1) 欧米先進国の経済の現状と教育
    - ① アメリカ
    - ② イギリス
    - ③ フランス
    - ④ ドイツ
    - ⑤ 日本
  - (2) 戦前の経済発展と実業教育の振興
    - ① 学制時代(明治10年前)
    - ② 教育令時代(明治20年代)
    - ③ 学校令時代(明治30年代)
    - ④ 実業学校令時代(明治30年代)
  - (3) 戦後の経済発展と産業教育の振興
    - ① 復興期
    - ② 高度成長期
    - ③ 1970年代
    - ④ 1980年代
    - ⑤ 1990年代
- (1)(2)は前期に、(3)は後期に講義する予定。

#### 〈履修条件〉

- ① 欠席しないこと。
- ② 視聴覚教室を使用することが多いので教室には注意すること。
- ③ 年間数十枚のプリントを配布の予定ですが、一度配布したプリントは、後の時間では配布しないので、必ずその時間中に受けること。

#### 〈評価方法〉

定期試験の成績

〔教科書〕年間25〜30枚のプリントを講義資料として配布するので特に使用しない。

〔参考書〕豊田俊雄編『わが国産業化と実業教育』  
(東大出版)  
文部省『産業教育百年史』(ぎょうせい)

### アメリカ経済論

せ と おか ひろし  
瀬戸岡 紘

☆ 現代のアメリカ経済事情を幅ひろくわかりやすく解説します。

最新のアメリカ情報と、過去の私のアメリカ生活および研究活動でのエピソードを多数まじえながら、今日のアメリカ経済事情について、幅ひろく、トータルな解説をするのが、この講義です。それとともに、アメリカのできごとと関係のふかい世界の情勢を、ひろく検討します。

☆ 特別な経済学の予備知識がなくても理解できる授業です。

この講義を受講するためには、特別な経済学の予備知識などは必要ありません。経済学部以外の学生でも

十分に理解できるように、理路整然と、わかりやすく話をすすめます。しかし同時に、アメリカ経済について関心をもつ学生諸君には、さらにふかめた研究をしていく動機をつかめるような学問的挑発を試みようかとも考えています。他方、講義でとりあげるニュースとキーワードは、就職などでの試験を受けようとする者にも役にたつものとなるでしょう。全体として、この講義は、いわゆる専門的な特定領域の探求をこころみるものではなく、奥ふかく興味のつきないアメリカ経済の世界に諸君を道案内するものなのです。

☆ 1回の講義でひとつのテーマをとりあげます。

1回ごとに独立したひとつのテーマをとりあげ、完結させるように話します。年間をとおしてきくと現代のアメリカ経済の全体の輪郭がわかるように講義を組んでいます。とりあげるテーマには、おおむねつぎのようなものを予定しています。

前 期

[導入の話題]

◇大統領の今年の経済政策とアメリカ経済の近況

[総 論]

- ◇アメリカ的特質
- ◇アメリカ経済の歴史的背景

[アメリカ経済各論]

- ◇アメリカの農業
- ◇アメリカの工業
- ◇アメリカの企業家
- ◇アメリカの労働者
- ◇アメリカの商業とサービス
- ◇アメリカの金融
- ◇アメリカの科学技術
- ◇アメリカの先端産業

後 期

[世界とアメリカ]

- ◇国際通貨ドルの地位とIMF
- ◇アメリカと貿易 (GATTとWTO)
- ◇アメリカ軍の世界的ネットワークと経済的意義
- ◇アメリカの海外援助
- ◇アメリカの多国籍企業
- ◇多国籍企業とアメリカ経済

[アメリカと世界の諸地域]

- ◇アメリカとEU
- ◇アメリカとカナダ・メキシコ
- ◇アメリカと日本
- ◇アメリカとアジア・太平洋

[むすびの話題]

◇アメリカの経済学 (あたらしい学派の見解)

毎回の講義では、まずテーマに即した最新のニュースを話題にするところから話を始め、ついでそれぞれのテーマを理解するための基礎的な事実とキーワードを具体的な資料やデータにもとづいて解説します。各講義のしめくくりには、受講者諸君との対話を大切にしながらテーマの本質について考えてみます。

☆ あたらしい情報やトピックスを、解説つきで、つねに受講者に紹介します。

年間予定とは別に、あたらしいニュースや情報は、随時、解説をつけて、お話します。ただし、ただあたらしいことを追うばかりにおちいらぬで、この真相や本質的なことがらを、ちょっとたちどまって考えることができるような、多少とも理論的な視角をもちこみます。

☆ アメリカの諸大学にみられる長所をとりいれた授業です。

講義は、極力、受講者諸君の希望をいかして、たのしくすすめるつもりです。とくに、この講義には、アメリカの大学に見られる望ましい習慣をとりいれるようにこころがけています。たとえば、ながい時間の講義に諸君がつかれて集中力をおとさないように、講義の途中で小休止をおくようにしています。講義のなかでの受講者諸君の発言や質問は大歓迎です。講義にたいする受講者の側からの評価や採点、改善提案などは、もちろん今年も実施します。

☆ 最新の情報をもとに講義をすすめます。だから特定のテキストは使用しません。

この講義では、特定の図書を教科書として使用しません。アメリカ経済をあつかった文献はあまりにたくさんあって、しかもどの一冊も、これさえ読めばアメリカ経済が把握できるというほどアメリカ経済は単純ではないからです。講義では、その都度よい文献などを紹介していきます。日々のニュースと諸君の周囲にあるさまざまなアメリカものの本の全体が、この講義の教科書ですが、今、どうしてもといわれれば、グリーンバーグ著『資本主義とアメリカの政治理念』(瀬戸岡訳、青木書店、1994年)をおすすめします。

☆ 熱心な受講者には楽勝の、単位だけがほしい学生には恐怖の科目です。

この講義は、3年生、4年生いずれもが受講できることはいうまでもありませんが、以上のべたこの講義の性格からして、3年生のうちに受講することをすすめます。また、この講義については、いわば単位をかすめとることなど考えないほうが無難でしょう。すすんで受講しようとする者には、退屈させない楽しい講義をするつもりですし、また、そういう受講者がよい成績をおさめられるように評価のしかたを工夫しています。たとえば、この講義では、一発の年度末試験よりも平常点や時間をかけて書きあげたレポートを重視する予定です。

財務会計論

えん どう かし  
遠 藤 孝

<授業の主たる内容>

会計学、とくに企業の活動内容を外部に伝達開示することを目的とする財務会計 (FINANCIAL ACCOUNTING) について、その伝達、開示の手段である貸借対照表

(BALANCE SHEET), 損益計算書 (INCOME STATEMENT) を中心に、その性質、内容、役割などについて講義する。

財務会計論は会計学原理ともいえるもので、企業会計とは何か、企業が作成する貸借対照表などの決算書は、どのようにして作成されるか、それはどのような性質、内容をもつものであるか、それはどのような役割を果たすものであるか、また決算書はどのように読んだら良いのか、など実例をもって説明する。

〈授業形態、講義〉

できるだけ多くプリントを配る予定。

〈授業項目と授業スケジュール〉

前期

- ① 4月第1週  
企業会計、財務会計とは何か。  
会計学、財務会計論とは何か。その企業会計、財務会計の何を学ぶのか。
- ② 4月第2週  
先週に引続き、企業会計、財務会計とは何か。  
企業会計、財務会計がわれわれの生活とどのように関係しているのかを中心に講義。
- ③ 5月第1週  
財務会計の制度性について。  
企業会計制度とは何か。日本の企業会計制度、各国企業会計制度のタイプ。
- ④ 5月第2週  
貸借対照表論、貸借対照表とは何か。実際に企業が作成した貸借対照表で説明。貸借対照表の役割、貸借対照表学説。
- ⑤ 5月第3週  
資産評価について。流動資産 — 棚卸資産の評価、有価証券の評価、現行評価制度の問題点。
- ⑥ 6月第1週  
資産評価について。固定資産の評価、土地評価、減価償却について。
- ⑦ 6月第2週  
繰延資産について。繰延資産の特殊性、繰延資産項目とその償却。
- ⑧ 6月第3週  
引当金について、引当金とは何か。引当金の設定基準 — 商法、「企業会計原則」の引当金、引当金会計の問題点。
- ⑨ 6月第4週  
同上
- ⑩ 7月第1週  
資本会計について。

後期

- ⑪ 9月第1週  
損益計算書とは何か。費用収益の認識。
- ⑫ 9月第2週  
連結財務諸表とは何か。
- ⑬ 9月第3週  
同上

- ⑭ 10月第1週  
セグメント会計について  
リース会計について
- ⑮ 10月第2週  
企業内容、会計内容の開示について。  
注記 財務諸表附属明細表 (書)
- ⑯ 10月第3週  
同上
- ⑰ 10月第4週  
財務諸表の監査、商法上の監査。
- ⑱ 11月第1週  
財務諸表の監査、証券取引法上の監査。  
「企業会計原則」について
- ⑲ 11月第2週  
会計の国際化、会計基準の国際的調整。
- ⑳ 11月第3週  
同上
- ㉑ 11月第4週  
日本、世界企業会計の最新動向。
- ㉒ 12月第1週  
同上
- ㉓ 12月第2週  
会計学を学ぶについて考えるべきこと。  
— 総括
- ㉔ 最終週  
予備

以上のスケジュールは学会出張、大学祭など大学の行事によって変更することがある。

〈成績評価の方法〉

試験による。(前期、後期2回実施の予定)  
〔教科書〕講義の際指示。

## 管理会計論

なか ほん しょう きち  
中原 章 吉

〈授業の主たる内容〉

「管理会計」という分野は、多くの人にとって、大学に入って初めてお目にかかるものです。どの分野でも、ある段階に達するまでには、何段もの階段を一段一段昇ってゆかねばなりません。この「管理会計論」は、その二段目にあたる科目です。一段目の科目は「会計学総論」です。

「管理会計論」は、企業の「ことば」である会計、その知識体系である会計学の学習に必須な会計学の主要な2領域である「財務会計」と「管理会計」のうちの一つであるということができると思います。「財務会計」が企業の外への「ことば」であるのに対して、「管理会計」は企業の内での「ことば」です。

〈授業項目と授業スケジュール〉

前期は、管理会計の本質、体系その中での意思決定会計と業績管理会計をキーとして管理会計の基礎的概念を説明すると共に予算管理や原価管理との関連につ



いても講義していきたいと思ひます。

後期は、管理会計の豊富な各論のなかから、「財務諸表分析」と「付加価値管理会計」をキーとして管理会計の問題点を検討します。

「財務諸表分析」については、その企業の健康診断としての役割を、方法とその留意点、収益性の分析、生産性の分析、安全性の分析、総括的方法を内容として説明します。「付加価値管理会計」については、経営計画とくに要員計画と付加価値会計、経営管理のための付加価値生産性を内容として説明します。

<予め読むべき文献など>

1年生で「会計学総論」を選択しなかつた経済学部の学生は会計学の入門書を読んでおく講義が理解しやすいと思ひます。例えば、『企業会計の基礎知識』（創成社）  
〔教科書〕講義の際、指示します。

## 会計監査論

いい おか とおる  
飯 岡 透

会計監査の目的は、企業の作成した財務諸表がその企業の財政状態や経営成績を適正に表示しているかどうかについて、監査人が意見を表明することであり、企業規模の拡大、利害関係者の多様化および企業活動の複雑化に伴い、近年、その役割はますます重要になってきている。

本講座では、次の内容につき順次講義する。

1. 会計監査の目的と種類
  - (1) 会計監査の目的
  - (2) 会計監査の種類
  - (3) 監査基準の必要性和その構造
2. わが国における監査制度の発展
  - (1) 第2次大戦前におけるわが国監査制度の展開
  - (2) 第2次大戦後におけるわが国監査制度の展開
3. 証券取引法による監査制度
  - (1) 証券取引法による企業内容開示制度
  - (2) 公認会計士監査制度
4. 商法による監査制度
  - (1) 商法による計算と公開制度
  - (2) 監査役監査制度
  - (3) 会計監査人監査制度
5. 監査人の要件と責任
  - (1) 監査人の要件
  - (2) 監査役および会計監査人の選任と解任
  - (3) 監査役および会計監査人の職務権限と責任
6. 監査要点と監査手続の選択適用
  - (1) 監査要点の意義と種類
  - (2) 監査手続の意義と分類
7. 監査証拠の種類と内容
  - (1) 監査証拠の意義と分類
  - (2) 十分な証拠とその決定要因

## 8. 内部統制と監査リスク

- (1) 内部統制の構成要素とその評価
- (2) 監査リスクと重要性

## 9. 監査計画の設定要件と組織的監査

- (1) 監査契約と予備調査
- (2) 監査計画の目的とその設定
- (3) 組織的監査の必要性和審査機能の整備
- (4) 他の監査人の監査結果の利用

## 10. 監査調査の目的と種類

- (1) 監査調査の目的と作成要件
- (2) 監査調査の種類と保存

## 11. 経営者による確認書の意義と記載内容

- (1) 経営者による確認書の役割
- (2) 経営者による確認書の記載内容

## 12. 監査報告書と監査概要書

- (1) 監査報告書の意義と機能
- (2) 監査報告書の種類
- (3) 短文式監査報告書の記載内容
- (4) 特記事項の記載内容
- (5) 監査概要書の目的と記載内容

会計監査は、財務諸表の適否についての意見表明を目的とするものであるから、会計学総論、簿記論および財務会計論などの講義を履修し、財務諸表について十分に理解していることが望まれる。なお、成績は、レポートおよびテストの結果によって評価する。また、教材・参考書については、最初の授業時に指示する。

## 商業政策

いわ した おし  
岩 下 弘

<授業項目>

- 一 わが国の小売商業構造と蓄積構造
  - 1 80年代の小売商業構造
  - 2 80年代の大手小売業の資本蓄積構造
  - 3 90年代の大手小売業の資本蓄積構造
- 二 わが国の流通政策論
  - 1 中小小売商保護政策論
  - 2 流通近代化政策論
  - 3 流通システム化計画論
  - 4 流通革命論
- 三 流通ビジョンと流通政策
  - 1 70年代の流通
  - 2 80年代流通産業ビジョン
  - 3 90年代流通ビジョン
- 四 わが国の小売商業調整政策の展開過程
  - 1 百貨店法
    - 1) 第一次百貨店法 2) 第二次百貨店法
  - 2 中小小売商業振興法
  - 3 小売商業調整特別措置法
  - 4 大店法
    - 1) 1973年法 2) 1979年改正法
    - 3) 1991年改正法

- 5 凍結宣言、要綱及び条例
- 6 通産省による行政指導＝抑制措置
- 7 規制緩和
  - 1) 規制緩和の流れ－前川レポート、行革審報告
  - 2) 日米構造問題協議 3) 適正化措置
- 8 特定商業集積法
- 9 街づくりと都市計画

五 海外の流通政策

- 1 イギリス
  - 1) 出店調整政策－都市・農村計画法
  - 2) 日曜営業問題－商店法
- 2 フランス－ロワイエ法
- 3 ドイツ－土地利用計画
- 4 アメリカ－ゾーニング規制

六 流通問題と消費者保護政策

- 1 消費者問題論
- 2 消費者保護基本法
- 3 消費者行政
- 4 生協

七 流通問題と独禁政策

- 1 独占禁止法
- 2 不公正取引
- 3 取引慣行

〈成績評価〉

試験、レポート、出席により評価する。

〔教科書等〕

教科書は特に指定しない。必要な文献は指示する。

貿易論

ふる さわ こう ぞう  
古 沢 絃 造

オゾン層破壊、熱帯林破壊、温暖化、酸性雨、放射能汚染など地球を取り巻く環境はますます深刻になっています。一方、私たち生命体は水・大気・土壌の汚染により生存を脅かされるところまで来ています。本講義では、こうした危機的状況を踏まえ、生命系の経済学の立場に立って日本の対外経済関係（貿易、投資、援助）を批判的に考察したいと思います。その際、構造的に、また、人々の生活の実態に触れながら検討をすすめます。

生命系の経済学とは、人格をもった人間としてのニーズ、環境、資源、地球のすべての生命との共存などを基準とした主体的な指標の確立と、それを実現し保証する政策と運動を具体的に提出する経済学です。詳しくはポール・エキンズ編著『生命系の経済学』（御茶の水書房）を読まれるとよいでしょう。

〈授業内容〉

- I. 農産物と貿易
- II. 水産物と貿易
- III. 林産物と貿易
- IV. 資源と貿易
- V. 工業製品と貿易

- VI. 援助と貿易
- VII. 企業進出と貿易
- VIII. 総括

I～VIIIの具体的な内容については、最初の講義のときに話したいと思います。

〈評価方法〉

基本的にはペーパー・テストにより評価しますが、自主的にレポートを提出してもらい、それを含めて評価をすることも考えています。答案やレポートを書くとき、論点を明確にし、自分の考えをしっかりと出すように努力してもらいたいと思います。思考の跡がうかがえないものは評価の対象にはならないでしょう。

〈教材〉

とくにこれといった教科書はありません。専門用語などむずかしいことは、そのつど説明しますので、授業に出てもらえば内容は充分理解できると思います。講義の中で特に興味をもち、もう少し掘り下げてみたいということがありましたら、遠慮なく話に来て下さい。いろいろな文献や訪れたらよい機関を紹介します。講義の内容と卒業論文のテーマが関連しているということで研究室（第2研究館4階34号室）を訪ねる人もいます。

マーケティング

そ が のぶ たか  
曾 我 信 孝

1. 前期はマーケティングの基本政策を収奪構造の観点から解明する。

(1) 製品政策

- ① 概念と差別化政策
- ② 多様化・細分化政策
- ③ ライサイクルと計画的陳腐化政策

(2) 価格政策

- ① 概念と価格設定の方法(1)
- ② 価格設定の方法(2)と消費者支配
- ③ 差別価格と収奪

(3) チャネル政策

- ① 概念と流通機構
- ② 商業の排除と系列化政策
- ③ 流通支配の形態

(4) 販売促進政策

- ① 概念と人的販売政策
- ② 広告政策と広告業界

(5) マーケティング・ミックス

※前期の講義のねらいは、マーケティングの基本理論を理解してもらうことにある。しかし、講義中は理論の説明に固執するわけではなく、とりわけ消費財のマーケティング事例を豊富に取り入れるつもりである。それは学生諸君が今後マーケティングを応用できる能力をつけることを期待しているためである。

2. 後期はマーケティング理論の応用と国際マーケティングの分析を課題にする。とりわけ、総合商社を軸として、日本企業が激変する国際市場にどのように対応しているかを、マーケティングの観点から分析する。

- (1) 激変する市場環境
  - ① 国内市場の変化
  - ② ブロック経済化
  - ③ 経済規制の緩和
- (2) 総合商社の新事業
  - ① 川下戦略
  - ② 消費財生産部門への参入
  - ③ 新事業への対応政策
- (3) 総合商社の国際マーケティング戦略
  - ① 消費財マーケティングの展開
  - ② 総合商社の需要創造活動
  - ③ ネットワークと支配
- (4) 総合商社と子会社
  - ① 子会社戦略
  - ② マーケティング管理と子会社
- (5) 情報化戦略
  - ① 国際化と情報の対応
  - ② 通信事業と支配
  - ③ 情報関連事業と支配

※地球規模での市場の変化は、日本企業だけではなく、世界の企業がマーケティングを限定した地域で展開することはできなくなっている。また、日本市場だけを考えても、生産から消費までを考えなければならぬマーケティングでは、国際マーケティングを抜きには論じられなくなっている。そのなかで、日本企業の国際マーケティングに総合商社は深く関与している。したがって、総合商社の行動を分析することで、総合商社の国際マーケティングはもとより、日本企業の国際マーケティングの実態を解明することにねらいがある。

<評価の方法>

- ① 年一回の定期試験……70%  
夏休中の課題 ……20%  
出席状況 ……10%
- ② 評価基準  
講義内容の理解 ……60%  
問題意識 ……30%  
分析力・応用力 ……10%

〔教科書〕 曾我信孝『総合商社とマーケティング』  
(白桃書房) ¥4,000

〔参考書〕 三浦 信・来往元郎・市川 貢『マーケティング』(ミネルヴァ書房) ¥2,200  
曾我信孝編著『マツダ マーケティング戦略』(白桃書房) ¥2,700

## 労務管理論

いし い しゅう じ  
石 井 脩 二

<講義目的>

日本経済の繁栄を支えてきた日本企業の存在意義が問われはじめている。国際的には依然としてくすぶり続ける経済摩擦や経済ブロック化への動き、国内的には政財界ゆ着による倫理性のない企業犯罪の頻発、過労死や長時間労働に示される労働生活の貧しさ、いわゆるバブル崩壊に伴う企業業績の悪化といった情勢のなかで、あらためて日本企業のあり方が問われている。日本企業をとり巻くこれらの環境変動は、日本企業が今後どのような方向へ進んでいくのかという「将来予測」を難しくしている。この変化の激しい時代に必要なことは、現実には生起している事実を可能な限り把握し、そのなかで次なる時代の方向を自分なりに見定めることである。この講義の目的は、日本企業の現実に焦点を合わせ、これから到来するであろう社会がいかなる様相をもつことになるかを考えるための情報を提供することにある。

<講義内容>

企業は、一般にヒト・モノ・カネ・さらに情報といったさまざまな経営資源を調達・購入し、その効果的な組み合わせによって目的とするものを実現していく。日本企業が国際的に強い競争力を発揮しえたのは、これら諸資源のうちヒト資源つまり人的資源の活用卓越性によるといわれている。企業活動のうちで人事・労務管理といわれてきたものが専らこのヒト資源の有効利用に関係している。

ところが現在、日本企業がつくりあげてきた強い競争力そのものが問われはじめている。このことは、競争力の源であった日本企業での人的資源管理つまり人事・労務管理そのものがその妥当性を問われているということにはほかならない。この講義では、日本企業が直面している企業環境の変化のなかで、どのような人的資源管理が展開されようとしているかを極力最新の情報によりつつ明らかにし、新しい制度・方式の展開の先にどのような日本企業の将来が浮上してくるかを考える。

前期は、人的資源管理に関わるもののうち、一般に「雇用管理」といわれている領域の問題を扱う。雇用管理とは、企業が必要とする量と質の人的資源を調達し育成する一連の計画的・組織的活動である。この雇用管理を貫いていた原理・原則は、周知の終身雇用慣行であり、年功制度であった。しかし、今日は、日本企業を取りまく環境変動は、従来の雇用管理の原理・原則をゆり動かし、解体の様相さえみせはじめている。この講義では、その変動に関する事実情報を可能な限り把握し伝えようというわけである。講義は、以下の順序で進めていく。

序 章

労務管理ないし人的資源管理とは

## 第1章

日本企業が直面している諸問題

第1節 企業環境の変化と日本企業の戦略転換

第2節 事例研究

## 第2章

雇用管理の内容と新しい動き

第1節 募集・選考

第2節 教育訓練・配置

第3節 昇進・昇格

第4節 給料・報酬

第5節 労働時間

第6節 定年退職

## 第3章

人事制度の新しい展開

第1節 変化を促進した要因

第2節 具体的制度とその有する意味

### 〈授業方式〉

授業は、講義方式、板書。出欠にはこだわらない。

但し前期・後期それぞれに試験を行う。

### 〈成績評価〉

前期（50点）、後期（50点）を総合して判定する。

試験内容の評価は、答案の論理性と説得性にもとづく。

勿論、講義内容をふまえていることを条件とする。優

・良・可・不可の配分は行わない。全員の答案がすぐ

れていれば全員が優と判定されることもありうる。また、

その逆も極端な場合には生じうる。

〔教科書・参考書〕

テキストは使用しない。しかし、以下の文献は必読。講義時間にプリント配布。

①日本経済新聞社編『ゼミナール現代企業入門』

（日本経済新聞社）¥2,800

②日本経済新聞社編『会社解体新書』

（日本経済新聞社）¥1,300

③日本経済新聞社編『テラスで読む当世労働事情』

（日本経済新聞社）¥1,300

④佐野陽子『企業内労働市場』（有斐閣）¥1,700

## 経営管理論

ひく た よし はる  
百 田 義 治

### 〈講義の要旨〉

企業とは何か。それはどのような目的・理念のもとに経営されているのか。また、そこで人々はどうのように働き、生活しているのか。一年間の講義を通して、こうした問題をさまざまな視角から取り上げて検討します。

今日、日本企業の経営システムには、「トヨタイズム」という言葉に象徴されるように国際的に大きな関心が寄せられています。その関心には、労働生産性の高さという「効率性」に注目した「肯定的」な評価もあれば、「過労死」や「長時間労働」という「非人間性」に注目した「否定的」な評価もあります。日本企

業の活動のグローバリゼーションが進展する中で、また外国企業が日本の経営システムを導入する（ジャパナイゼーション化）中で、日本の経営システムの「普遍性」・「特殊性」をトータルに把握し、国際化時代と共生する日本企業の今後を考えることが私達に今日ほど求められている時期はありません。

しかし同時に、現代社会における私達の生活そのものが、企業の活動を媒介に実現されています。私達は、労働者としてだけでなく、消費者としても、地域社会（コミュニティ）で生活する市民としても、企業の活動と無関係に生活することができない存在です。私達は、物質的にも精神的にも豊かな生活を実現し、働きがいのある労働生活と生きがいのある家庭生活を「回復」するためにも、現代企業の経営管理に無関心ではいけないのです。

このような現代企業の経営管理活動を研究の対象とする経営管理論は、20世紀の初頭に経営管理活動を近代化・合理化する技法・制度・理念の提供を課題として誕生したものです。現代においても、その基本的性格が企業経営のための実践的な指針・政策の提供すること（実践性）にあることは否定できません。すなわち、現代の経営管理論も、FAやOAなどめざましい技術革新の進展や著しい国際化の展開、あるいは急速に進行する高齢化社会の到来や地球規模で深刻化する環境問題、さらには自覚し多様な価値観を持った消費者の行動など、企業を取り巻く諸条件の変化に起因する問題に対応するための指針・政策の提供というプラグマティックな方策論的な性格を一面において持っています。フィランソフィー、経営（企業）倫理、コーポレート・ガバナンスといった最近の議論もその例外ではありません。

講義では、このような方策論的経営管理論が提起するさまざまな経営管理の技法・制度・組織あるいは経営理念・経営思想の歴史的展開と現状を事実と則して具体的に検討します。しかし、経営管理の諸問題は批判的に検討することも必要です。すなわち、経営管理の諸問題は、経営学や社会科学の対象として位置づけで考察することも必要です。

その理由として、二つのことが考えられます。一つには、現代企業の諸活動は、方策論的経営管理論が実践的な指針・政策の提供の対象とする経営者や管理者だけではなく、圧倒的多数を占める一般の労働者をも含めた、あらゆる人々の「総労働」として実現されているからです。そのような総体としての企業構成員すべての労働と生活の豊かな未来を展望した問題の検討が経営管理論の課題でもあります。二つには、圧倒的多数の現代の企業は私企業ですが、その社会的影響力という点から見れば、市民社会あるいは国際社会と共生すべき「社会的存在」であり、「社会的公器」であるとも言えます。その意味では、国民全体の豊かな未来、国際社会との共生という立場から、現代企業の経営管理問題の多様な諸相を歴史的、客観的、科学的に認識し、その問題点を解明し、現代的諸問題へのアプローチの方途を検討することが経営管理論の重要な課

題であると言えます。

現代企業の諸活動は企業構成員全体の労働に支えられたものであり、またその諸活動は一般の大衆株主や消費者あるいは取引業者や地域住民などとの、さらにはグローバリゼーションの現状を考えれば進出国との関係をも含めて、数多くの利害関係者との多面的で密接なネットワークの中で展開されています。したがって、現代企業の経営管理の諸問題は、一般従業員、下請け・関連企業、市民・地域住民、消費者、大衆株主などとの関係、さらには国際関係をも視野に入れて検討されなければなりません。授業では、このような視点から経営管理の諸問題にアプローチすることになります。

#### 〈授業の方法〉

- (1) 前期：テキスト（教科書、参考書）を利用して、経営管理の技法・制度や理論・思想の歴史的な展開を学びます。しかし、随時、新聞記事や雑誌論文などを使用して、経営管理の現代的諸問題との関連をできるかぎり重視し、歴史的な展開を学ぶことの意義を考えて行きます。
- (2) 後期：日本の経営システム、グローバリゼーション、技術革新と経営管理の変化、などに関する授業では、可能なかぎりビデオも利用し、できるかぎり具体的に現代の経営管理問題を把握できるようにします。

#### 〈授業スケジュール〉

##### 【前期】

- ① 4月：(1) 現代の企業と経営管理の基本的性格について
- (2) 現代経営管理の諸領域について
- ② 5月：(1) 経営管理の生成について：  
体系的な管理と科学的な管理
- (2) 経営管理の展開について：  
人間関係管理と人的資源管理
- ③ 6月：(1) 経営管理の理論について：  
管理過程論と管理組織論
- (2) 経営管理の理論について：  
企業環境と経営戦略論
- ④ 7月：(1) 経営管理の理論について：  
経営倫理と企業の社会的責任論
- (2) 前期試験（前期最終講義）

##### 【後期】

- ① 9月：(1) 技術革新と経営管理：  
F A・O A化と管理問題
- ② 10月：(1) 日本の経営について：  
日本の労使関係の特質
- (2) 日本の経営について：  
日本の生産システム
- (3) 日本の経営について：  
企業集団と経営管理
- ③ 11月：(1) 日本企業の経営比較：  
経営組織構造、経営理念、労働観
- (2) 国際化と経営管理：  
日米企業の国際化の現状と課題

④ 12月：(1) 現代経営管理の課題と労働の未来

⑤ 1月：(1) 後期・学年末試験

（以上のスケジュールは、授業の進め方の基本的な方向です。若干変更せざるをえない場合があります）  
〈成績評価〉

前期試験および後期試験に、数回のレポートと出席状況を加えて総合的に評価します。

〔教科書〕 笹川・稲村・井上編著『現代経営の基本問題』（税務経理協会）1994年

〔参考書〕 新書・文庫などを中心に随時紹介します。

## 行政法 II

さいとう ひさし  
斉 藤 寿

行政法の各論として、各種の行政法領域ごとに、関係法令を類型化し、解釈学的にとらえるとともに、判例や事例研究を通して、行政法令の現実的機能にふれつつ、興味深い講義を続け、楽しく研究します。

主な内容としては、(1)行政組織法、(2)公務員法、(3)公物法・営造物法、(4)警察法、(5)統制法、(6)公企業法、(7)公用負担法、(8)財政法、などについて学んでいきます。

そして、時間的に可能であれば、生活空間（環境）形成行政法などにも、およぶ予定です。これらの講義は、一年間・全体を通じて、極めて楽しい雰囲気の中でなされます。

〔教科書〕 『現代行政法論』（勁草書房）、  
『行政法 I・II』（評論社）など、拙著の中から、講義の際、選択・指示します。

## 民法 IV (1)

かのう かず お  
叶 和 夫

婚姻制度等に関する民法改正要綱試案の中の重要な問題点や内縁、養子制度等のほか、高齢者の扶養や財産管理をめぐる成年後見制度等を文明諸国家の法制度を視野に置いた上、現代の視点に立って論説する。判例及び実務の経験をおりませて、面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕 遠藤 浩他 5名編集『民法(8)親族 第3版増訂版』（有斐閣双書）

〔参考書〕 島津一郎編『基本法コンメンタール第3版親族』 別冊法学セミナー（日本評論社）

## 民法 IV (2)

かのう かず お  
叶 和 夫

相続制度全般にわたって講義するが、遺言及び遺産

分割を詳説したい。判例及び実務の経験をおりませて面白く楽しい講義にしたい。

〔教科書〕遠藤 浩他 5名編集『民法(9)相続 第3版』  
(有斐閣双書)

〔参考書〕島津一郎編『基本法コンメンタル相続』  
別冊法学セミナー(日本評論社)

## 比較憲法

たけ はな みつ のり  
竹 花 光 範

本年度も、昨年度と同様、次の順序で講義を行う予定である。

1. 比較憲法学とは
2. 憲法概念と分類
3. 国体と元首(共和制と君主制, 元首, 国のシンボル等)
4. 統治の原理と構造(民主政治の基本原則, 議院内閣制と大統領制, 一院制と二院制, 社会主義国における議会制度等)

〔教科書・参考書〕講義の中で述べる。

## 経済法

かわ い よし かつ  
川 井 克 俊

経済法—独占禁止法を中心として—

- 第1部 経済法概説。経済法とは何か。経済法と競争政策。経済法における独占禁止法の位置づけ。
- 第2部 独占禁止法。独占禁止法の目的。その他私的独占, カルテル, 企業結合, 独占的地位, 不公正な取引方法等について, なるべく条文に即して講義する。

このほか、最近でいえば経済の国際化を迎えて、国の内外で競争政策に対する関心が高まっている。日米構造問題協議しかり、臨行審の公的規制の見直ししかりである。このようなアップトゥデートの問題に対して講義し、学生の社会的問題に対する学問的素養を高める。

〔教科書〕川井克俊『競争政策法概説』(高文堂)  
¥3,600

〔参考書〕講義の中で紹介する。

川井克俊著『カルテルと課徴金』  
(日本経済新聞社)

川井克俊著『いやでもわかる公取委』  
(日本経済新聞社)

## 地方自治法

うめ き たかし  
梅 木 崇

行政法の原理・原則の応用としての地方自治法を考えてみたい。必要に応じて、行政法総論における基本概念を説明するつもりである。

〔教科書〕開講にあたって指示する。

## 国際関係論

しゅ とう むと こ  
首 藤 素 子

冷戦後の国際関係の特徴と問題について考える。講義を構成するテーマは次の3つに大別できる。第1に、欧州地域の安全保障協力や政治、経済協力の進展と制度化について、第2に、アジア太平洋地域の経済的相互依存の深化や安全保障協力を目的とするフォーラムの形成と問題について、第3に、冷戦後の国際組織の役割の拡充とその機能の実態について。なお、第2のテーマでは戦後の日本の外交政策や日米関係の推移等も講義でとりあげる。また第3のテーマでは、国際機関による開発援助や融資の問題、貧困と開発と人権の問題、現代文明とグローバルな環境問題の関連等を講義でとりあげたいと思っている。

〔教科書〕細谷千博・臼井久和編『新版 国際政治の世界』(有信堂高文社)1993年

〔参考書〕講義で指示する。

## 西洋政治史

うら た さ なえ  
浦 田 早 苗

現代西ヨーロッパの政治は、そこから多くのことを学んできた我々の先達が描いたほど理想的な状態で機能しているわけではなく、数々の矛盾にみちている。自由、平等の精神なり、『華やかなりし議会政治』の概念は、激動の現代政治のなかにあっては時として空虚な響きを投げかけてくることは否定できない。しかし、国家や政党、国民や民族といった西洋で生まれた近代政治の概念に再検討が迫られている今ほど、そうした概念の本質を成立した歴史過程のなかで考察することの重要性が問われたときはなかった。今年度はフランス革命以降の18、19世紀のフランス政治史を通じ、『近代』の意味するところを考えてみたい。

## 宣伝広告論

から じょう すえ お  
上 條 末 夫

政治宣伝と政治的コミュニケーションの問題を主として取り上げる。政治宣伝の理論、歴史、そして実際について、具体例によって説明する。現代は宣伝の時代ともいわれ、政治も宣伝やコミュニケーションがきわめて重要な役割をもっている。主権者としての国民は、これにどう対応していくべきか、あるいは社会人として、社会および個人の間をどう調整していくべきか、という問題を解明していきたい。

〔参考書〕その都度指示する。

## 政 党 論

はや かわ よし き  
早 川 純 貴

本年度の「政党論」のテーマは政党の包括化過程である。一つの政党が包括政党（キャッチ・オール）化していく過程をいくつかの側面から論じていく。すなわち 1) 支持層拡大戦略（新しい政策と固有の政策・イデオロギーとの葛藤） 2) 組織拡大に伴う諸問題 3) 歴史的背景・政治文化との関係 4) 福祉国家形成との相互作用 5) 政党システム（一党優位制・二大政党制・多党制）との関連 6) 包括政党の限界、などである。そして最後に、日本における包括政党の可能性について言及したい。なお本講義は他学科にも開講するが、最低限、一般教養の「政治学」を履修、ないしそれと同程度の政治学の知識を有する学生でなければ内容の理解は困難である。

〔教科書〕使用せず

〔参考書〕随時紹介

## 保険経営論

いしな ざか くに あき  
石名坂 邦 昭

〈講義のねらい〉

本講義においては、保険学のアプローチとして近年一般化しつつあるリスク・マネジメントの基本的事柄につき理解した後に、保険理論の基本的知識を正確にし、わが国の保険事業並びに一般企業がかかえているリスクに関する諸問題にどのように対処したらよいかの応用能力が持てるようになることを目標とする。

〈講義の内容と授業スケジュール〉

保険学の研究は、保険法学的アプローチ、保険経済学的アプローチ、保険経営学的アプローチとそれぞれの時代を背景に論じられてきた。今日、保険学研究については保険経営学的研究をより発展させた「危険管理論」（リスク・マネジメント）研究が主流となつて

いる。本講義においては、最初にリスク・マネジメントの基本的体系について論じ、リスク・マネジメントの理論、歴史的発展について見た後に、リスク・マネジメントの中心となる保険の機能、保険本質、保険技術について詳しく見ていきたい。

前期はリスク・マネジメントを中心とした講義を行い、後期は保険論を中心とした講義を行う。講義はOHP等を使用し、理解しやすいように工夫をこらしていく。教科書は使用するが、それは本講義を理解するための基本的共通知識として使用し、講義は教科書に書かれている事柄が理解されていることを前提として進めていく。

〈履修上の留意点〉

保険およびリスク・マネジメントを理解するためには使用される専門用語を理解されていなければならない。学ぶことも広範囲にわたるため、講義を受ける前に必ず教科書を読み講義後の復習も忘れないようにしてほしい。学生諸君の積極的な授業への参加を望む。

〈成績評価の方法〉

講義への出席状況及び授業時の質疑応答と定期試験の結果を総合して成績評価を行う。

〔教科書〕石名坂著『リスク・マネジメントの理論』

（白桃書房）¥3,500

## 財務会計論

わた へべ えいちろう  
渡 邊 恵一郎

### 1. 講義のねらい

財務会計論は会計学の一分野である。この講義では、財務会計の基本的問題を多角的に考察したうえで、会計処理と表示方法及び財務開示制度について、理論と実務の両面から講述する。

財務会計は、企業経営者が企業外部の利害関係者達（投資者、債権者など）に対して、企業の経済事象を貨幣的に表現して伝達することであり、このため受講生達は財務会計の基準・法規などの知識と簿記とを習得する必要がある。しかし、私はさらに一歩進め、受講生達が、財務諸表やその基礎資料を見たら、「なぜこの数値（金額）になるのか」、「この数値は正しいか」、「今後、企業はどう展開していくか」などと追求し、数値の背後に存在する生々しい人間ドラマを想像できるようになってもらいたいので、会計的ものの見方にも触れる予定である。

### 2. 講義の内容と授業スケジュール

講義の内容は、教科書の記載順序により、また大略、次のスケジュールである。

4月～5月 基本的問題：財務会計に関する職能論・公準論・計算構造論、報告論・社会制度論など

6月～7月 会計処理と表示方法(1)：収益・費用

9月～10月 会計処理と表示方法(2)：資産・負債・資本

11月～翌年1月 財務開示制度：財務諸表（個別、中間、連結）の作成と国際比較、その他（外貨換算、財務分析、金融商品、会計方針の変更、粉飾決算、不正・使途秘匿金など）

### 3. 履修上の留意点と成績評価の方法

- (1) 出席率を重視する。
- (2) 年2回レポートを提出させる。
- (3) 成績評価は、定期試験（筆記）の結果と出席率とを総合して決める。

なお、上記(2)のレポートを提出していない者は、定期試験の結果が良好でも単位を取得できない。

〔教科書〕 染谷恭次郎著『現在財務会計』

（中央経済社）

〔参考書〕 授業時間において、随時指示する。

### 10. 圧縮記帳

### 11. 引当金と準備金

### 12. 企業を巡る国際課税の問題

- (1) 移転価格税制
- (2) タックス・ヘイブン対策税制
- (3) 外国税額控除制度

### 13. 法人税額の計算

#### 〈評価方法〉

原則として学年末の試験によって評価する。レポートは年1回程度、提出を求める。また、毎回出欠をとるかどうかは、初回の講義の中で受講生諸君と相談して決めたい。

〔教科書〕

富岡幸雄著『税務会計論講義』

（中央経済社）¥2,900

参考書等は、講義の中で適宜紹介する。

## 税務会計論

か き かつ む  
高 木 克 己

今日、租税は我々個人にとっては、所得税、相続税等の問題として、また、企業にとっては、法人税の問題が大きな関心事として存在している。消費税についても何かと話題にのぼっている。本講義では、普通法人（株式会社等）を前提とした法人税の算定過程を中心に講義を進めていく。

税務会計とは、一般に企業における課税所得の算定過程を研究する分野をいう。この課税所得は、商法あるいは企業会計原則等によって算出された利益にもとづいて算定される。そこでは、法人税法固有の規定（いわゆる別段の定め）が適用され、負担の公平、簡便性、あるいは政策的配慮等さまざまな考え方が反映されている。講義では、こうした税法固有の考え方の根拠、背景等を出来るだけやさしく説明しながら、今日、法人税法の抱えている問題点を明らかにしていきたいと考える。

講義内容の概要は次のとおりである。

1. 法人の種類及び課税所得の範囲等
2. 同族会社と青色申告
3. 課税所得の計算構造
  - (1) 企業利益と課税所得の関係
  - (2) 益金の額及び損金の額
  - (3) 公正処理基準及び資本等取引
4. 収益の計上基準についての原則的な考え方
  - (1) 引渡基準
  - (2) 特殊販売収益の計上基準
  - (3) 役務、請負、譲渡収益等の計上基準
5. 受取配当金益金不算入
6. リース取引
7. 給与（報酬、給料、賞与）の税務処理基準
8. 交際費及び寄付金
9. 有価証券、棚卸資産、固定資産、繰延資産等の税務処理

## 商業史

やま だ まさる  
山 田 勝

商業と商業経営の歴史的発展の過程を、文化との関係に留意しながら講義する。その際、対象とする時代の人々の生活や考え方、現代とのかかわり、といった諸点も検討していきたい。

主に対象とする時代は欧米については16世紀以降、日本については19世紀中葉以降とする予定である。

〔教科書〕 開講時に指示する。

## 経営情報論

か い てつ お  
高 井 徹 雄

経営スタッフの役割は、ひとこと而言うと、「意思決定の支援」である。すなわち、意思決定の問題に関するデータを収集し、決定の指針となる情報へとまとめあげ、それをタイミングよく意思決定者に提供するのが、経営スタッフの仕事である。

本講義では、将来、企業や官庁などで、経営スタッフとして活躍されるであろう皆さんのために、経営情報に関するシステムの観点と、情報処理技術の基礎について解説する。

### I. 総論：経営情報のシステムの観点

- (1) 科学とシステムの理論
- (2) 経営情報と意思決定
- (3) コンピュータと情報環境の発展
- (4) データベースとネットワーク

### II. 各論：経営情報の処理技術

- (1) 統計処理とデータ解析
- (2) シミュレーション技法
- (3) 意思決定を支援する人工知能システム



〔教科書〕 高原康彦・高津信三編, 高井徹雄他著  
「経営情報システム」(日刊工業新聞社)  
¥3,200

(注) 先にプログラミング論を履修しておくことが望ましい。

〔関連科目〕 経営科学, 情報理論

## 情報理論

にし むら かず お  
西 村 和 夫

### (1) 講義のねらい

近年では日常的に使われる言葉となっている“情報”の本質を探ります。具体的にいうと、情報の量(情報量)を定義したシャノン(C. E. Shannon)流の情報理論について講義します。

この授業を受講すれば、ある通報や記号のもっている情報量を、具体的な数値として(ビットという単位で)計算できるようになります。これによって、たとえばDNAの情報をフロッピーディスクに記録するために十分な枚数が、たちどころに計算できるようになります。

また、情報量の期待値(平均値)であるエントロピーという概念も理解でき、計算できるようになります。これは、経営情報論、符号理論、通信理論、暗号理論などで利用される重要な概念です。

### (2) 講義の内容と授業スケジュール

月	回数	内 容
4	3	授業内容概説, 情報とは, 情報量への要求
5	3	対数の原理と性質, 計算練習
6	4	情報量の定義, 練習, 試験, 情報量の利用
7	3	暗号系と用語, 古典的な暗号
9	2	現代的な暗号, 暗号技術を使ってできること
10	2	符号化(JISコード, 万国共通文字符号)
10	2	確率過程およびマルコフ過程
11	2	遷移確率と同時確率
11	1	エントロピーの定義
12	2	冗長度, 言語のエントロピー
12	1	価格以外の情報がない場合の市場占有率予測
1	1	チェック桁, 情報の圧縮と乱数, デジタル

### (3) 履修上の留意点

内容の性質上、確率と対数に関する多少の数学的知識が必要になりますが、これらについて全く知らなくても理解できるように配慮しています(上表5

月参照)。

出席はとりませんが、出席して計算練習に参加していないと試験問題を解くことは無理でしょう。

### (4) 成績評価の方法

中間試験(6月)と定期試験との合計点によります。

### (5) 授業の形式など

クイズと計算練習を適宜とりいれます。また、OHPとプリントを使います。適当な教科書はありません。各種の参考書をそのつど紹介します。

〔関連科目〕 →経営情報論

## 国文講読Ⅰ(上代)

さ はら さく り  
佐 原 作 美

『万葉集』の中から各期を代表する歌人の特色ある歌を選んで講読していきたい。

〔教科書〕土橋 寛編『作者別 万葉集』  
(桜楓社) ¥1,800

## 国文講読Ⅱ(中古)

すず き ひろ こ  
鈴 木 裕 子

今年度は、『源氏物語』を、賢木巻から読む。本文を正確に読みながら光源氏の青春期の喜びや苦悩というものについて考えてみよう。

〔教科書〕新潮日本古典集成『源氏物語』二  
(新潮社)

## 国文講読Ⅲ(中世)

その べ みき お  
薊 部 幹 生

中世は説話の時代とも言われるが、そのなかでも説話文学の代表作品である『宇治拾遺物語』を読む。一つ一つの説話が担っている歴史的背景や意味、及び他作品との関連について考えてみたい。

〔教科書〕中島悦次校註 角川日本古典文庫  
『宇治拾遺物語』(角川書店) ¥720  
〔参考書〕その都度指示する。

## 国文講読Ⅳ(近世)

せい だ けい こ  
清 田 啓 子

近世小説の白眉とされる『雨月物語』をとりあげる。古典と中国文学との摂取による独自の世界を充分味わってみたい。また、読本の発生以来、後期読本への流

れも見、できれば「春雨物語」も読んで「雨月」の位置も確かめたい。

〔教科書〕水野 稔校注『雨月物語』（明治書院）

### 国文講読Ⅴ（近・現代）

おおむろえいじ  
大室英爾

近代詩を読む。『於母影』の訳詩などからはじめて大正期の朔太郎・厚星・春夫あたりまでの主たる作品を順次読み、考え、鑑賞する。併せて近代詩の流れにも検討を加える。

〔教科書〕萬田・吉田編著

『展望 近代詩—その歴史と作品—』

（双文社出版）¥1,236

### 国文講読Ⅴ（近・現代）

ささせおうじ  
笹瀬王 子

本年度は、尾崎紅葉、幸田露伴、泉鏡花の作品を扱う。明治期を代表する三文豪の作品の読みを通して、普段あまり接することのない明治文学の特質とその魅力に迫りたい。

〔教科書〕木村有美子・山根賢吉編『紅葉・露伴文学選』（和泉書院）¥1,236

泉 鏡花著『歌行燈』（岩波文庫）¥260

### 国文特講Ⅴ（近・現代）

ささせおうじ  
笹瀬王 子

昨年度に引き続き、田山花袋の回顧録『東京の三十年』を読む。本書に描かれた文壇や社会の動きに留意しつつ、多角的に明治の文学を考えてみたいと思う。

〔教科書〕田山花袋『東京の三十年』

（岩波文庫）¥570 ほか

〔参考書〕授業中、適宜指示する。

### 英文タイプライティングⅡ

ゆあきようこ  
湯浅陽子

ブラインド・タッチを完全に習得した者のみを対象に、英文ワープロソフトWORDSTAR、日本語ワープロソフト—太郎、表計算ソフトLotus1-2-3等を使って様々な文書を作成します。

コンピュータ使用の為定員を32名とします。第一回目の授業の時にキーボード操作テストを行い、合格者及び人数制限の抽選に残った者を履習登録可能としま

す。

尚この授業は昨年度の「情報処理入門」と授業内容が重複するところが多い為、その受講者は対象外としておきます。

〔教科書〕第一回目の授業時に指示します。

### 時事英語

おかもとまこと  
岡本 誠

その日の朝の英語ニュースを聞く。受講者はこれを機会に世の中の政治経済の動きにも関心をもつことが肝要。また当日は耳をよく掃除してこること。

〔教科書〕テープ使用。

### 英語演習Ⅰ（ディクテーション）

おかもとまこと  
岡本 誠

慣用句の成立背景を歴史的にみていく。例えば、OKという言い方はどのようないきさつで成立したのか。あるいはmaverickとはどうして「一匹狼」の意味になったのか。これを全講義ディクテーションで行なう。紙と鉛筆それに辞書を持ってこること。各自TOEFL500点をめざしてほしい。

〔教科書〕テープ使用。

### 計算機言語概論

すぎたとおる  
杉田 徹

高度情報化社会と呼ばれる二十一世紀の基盤技術のひとつにコンピュータが上げられる。その利用はあらゆる分野で急速に進められている。特に通信分野、医療関係の検査診断機器には、顕著なものがある。将来、診療放射線技師を目指す諸君にとって、コンピュータの基本知識は必要不可欠なものである。この講義ではパーソナルコンピュータの高級言語であるBASICを中心に、アルゴリズム的発想の習得とその活用を目標に授業を進める。講義は次のテーマで行う。

1. コンピュータ言語の基本理論
2. BASIC言語
3. パーソナルコンピュータ（PC-9801）による実習

〔教科書〕コンピュータ教育工学研究所編  
ガイドブック『BASIC』

（サイエンス社）¥1,854

## 臨床放射線特論 I

ほん ま じょう  
本 間 襄

医療の中で、診療録・依頼箋の内容を理解し、相互のコミュニケーションに欠かせない外来医学用語の初歩的知識の修得を目的とする。

他学部履修では、将来病院や医学関係に従事する人に必要な知識である。

〔教科書〕 定めず

## 応用計測学

がし お えい じ  
櫃 尾 英 次

医用画像診断装置は、コンピュータ技術の進歩と共に診断には不可欠なものとなってきた。この講義では、核医学機器（ガンマカメラ、シングルホトンECT、ポジトロンCT）、X線CT装置、MRI装置のハードウェアとソフトウェアについて概説する。また超音波診断装置、DSA、CRならびにPACSについても、その概要を講述する。

〔参考書〕 岩井喜典他 編著『医用画像診断装置』  
（コロナ社）



## 教 職 及 び 資 格 講 座

教 職 課 程  
学校図書館司書教諭講座  
社会教育主事講座  
博物館学講座  
社会福祉主事講座  
社会福祉士基礎

※上記の教職及び資格講座授業科目の講義内容が掲載されているが、各学部において受講できる課程及び講座は以下のとおりである。  
(履修についての詳細は、「教職課程・資格講座の履修要項」を参照すること。)

課 程 ・ 講 座 名	資 格 取 得 学 部
教 職 課 程	全 学 部
学校図書館司書教諭講座	全 学 部
社会教育主事講座	全 学 部
博物館学講座	仏教学部・文学部
社会福祉主事講座 社会福祉士基礎	全 学 部

# 講義内容目次

## I 教職課程

### (1) 教職に関する専門科目(必修)

教育原理(上岡 安彦) .....	1
教育原理(北村 三子) .....	1
教育原理(坂本 信昭) .....	1
教育原理(田中 智志) .....	1
教育原理(村山 輝吉) .....	1
教育心理学(教育方法論を含む) (遠藤 司) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (大浜 幾久子) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (北島 歩美) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (国眼 眞理子) .....	2
教育心理学(教育方法論を含む) (中村 均) .....	2
青年心理学(教育方法論を含む) (大浜 幾久子) .....	2
青年心理学(教育方法論を含む) (川田 三夫) .....	2
青年心理学(教育方法論を含む) (小宮山 要) .....	3
青年心理学(教育方法論を含む) (常田 秀子) .....	3
特別活動(中野目 直明) .....	3
生活指導(遠藤 司) .....	3
生活指導(佐藤 尚人) .....	3
宗教科教育法(小山 一乗) .....	3
国語科教育法(神谷 道倫) .....	4
書道科教育法(那須 隆吉) .....	4
英語科教育法(荒井 良雄) .....	4
社会科・地理歴史科教育法(長野 覺) (平成元年度以前入学生:社会科教育法)	4
社会科・地理歴史科教育法(中島 義一) (平成元年度以前入学生:社会科教育法)	4
社会科・地理歴史科教育法(野呂 肖生) (平成元年度以前入学生:社会科教育法)	4
社会科・公民科教育法(長谷部 八朗) .....	5
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
社会科・公民科教育法(谷敷 正光) .....	5
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
社会科・公民科教育法(小山 一乗) .....	5
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
社会科・公民科教育法(橋爪 敏) .....	6
(平成元年度以前入学生:社会科教育法)	
職業科教育法(前田 幸一) .....	6
商業科教育法(谷敷 正光) .....	6
道德教育の研究(上岡 安彦) .....	7

教育実習(上岡 安彦) .....	7
教育実習(坂本 信昭) .....	7
教育実習(田中 智志) .....	7
教育実習(村山 輝吉) .....	7
教育実習(北村 三子) .....	8

### (2) 教職に関する専門科目(選択)

青少年問題研究(皆川 広義) .....	8
教育哲学(汐見 稔幸) .....	8
教育社会学(高島 秀樹) .....	8
現代社会の諸問題と教育(高島 秀樹) .....	8
教育評価(大浜 幾久子) .....	8
教育情報学(小倉 康仁) .....	8
教育調査(鈴木 規夫) .....	9
教育史(北村 三子) .....	9
教育関係法規(広沢 明) .....	9
社会教育の基礎(社会教育概論) (村山 輝吉) .....	(9)
社会教育施設(村山 輝吉) .....	(9)
図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	(9)
図書館学Ⅱ(源 昌久) .....	(9)
視聴覚教育(飯森 彬彦) .....	(9)
教育臨床心理学(牟田 隆郎) .....	9
教育法規研究(神田 修) .....	9
児童文化(香川 良成) .....	10
宗教教育(小山 一乗) .....	10

### (3) 教科に関する専門科目

<b>【社会 地理 歴史 公民】</b>	
日本史概説(遠藤 廣昭) .....	10
日本史概説(小松 寿治) .....	10
世界史概説(井村 行子) .....	10
世界史概説(渡辺 惇) .....	11
地誌学概説(小田 匡保) .....	11
地誌学概説(川元 豊和) .....	11
地誌学概説(橋詰 直道) .....	11
人文地理学概説(小林 高壽) .....	11
自然地理学概説(高木 正博) .....	11
自然地理学概説(早船 元峰) .....	11
民法Ⅰ(青野 博之) .....	11
民法Ⅰ(前期:鶴井 俊吉) .....	12
(後期:林 幸司)	
政治学原論(大塚 桂) .....	12
社会学原論(渡辺 源樹) .....	13
経済原論(荒木 勝爾) .....	13
経済原論(大石 雄爾) .....	14
経済原論(小野 俊夫) .....	14
哲学概説(国嶋 一則) .....	14
哲学概説(中村 璋八) .....	15

倫理学概説(久保 陽一) .....	15
宗教学概説(洗 建) .....	15
宗教学概説(松田 文雄) .....	15
宗教人類学(佐藤 憲昭) .....	(15)
民間信仰論(谷口 貢) .....	15
東洋思想研究(館野 正美) .....	15
民衆宗教成立史(洗 建) .....	16
歴史哲学(麻生 建) .....	16
日本仏教史(廣瀬 良弘) .....	16
日本文化史Ⅰ(廣瀬 良弘) .....	(16)
美術史概説(中島 亮一) .....	(16)
日本宗教文化史(松田 文雄) .....	16
<b>【職業】</b>	
産業概説(前田 幸一) .....	16
職業指導(山田 勇治) .....	16
商業実習(前田 幸一) .....	17
<b>【商業】</b>	
職業指導(山田 勇治) .....	(17)

## Ⅱ 学校図書館司書教諭講座

図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	18
図書館学Ⅱ(源 昌久) .....	18

## Ⅲ 社会教育主事講座

### (1) 必修科目

社会教育の基礎(社会教育概論) (村山 輝吉) .....	19
社会教育計画(村山 輝吉) .....	19
社会教育実習(上岡 安彦) .....	19
社会教育実習(村山 輝吉) .....	19

### (2) 選択必修科目

現代社会の諸問題と教育(高島 秀樹) .....	(19)
婦人問題と社会教育(矢口 悦子) .....	19
青少年問題研究(皆川 広義) .....	(20)
青少年指導演習(平野 学) .....	20
社会教育施設(村山 輝吉) .....	20
図書館学Ⅰ(山崎 慶子) .....	(20)
博物館学Ⅰ(倉田 芳郎) .....	(20)
博物館学Ⅱ(竹内 順一) .....	(20)
企業内教育・職業訓練(塩川 正人) .....	20
社会体育Ⅰ(古田 潤子) .....	20
社会体育Ⅱ(古田 潤子) .....	21
視聴覚教育(飯森 彬彦) .....	(21)
教育原理 .....	(21)
教育心理学(教育方法論を含む) .....	(21)
青年心理学(教育方法論を含む) .....	(21)
社会心理学(前期:坪井 健) .....	21
(後期:穴田 義孝)	
教育社会学(高島 秀樹) .....	(21)
教育調査(鈴木 規夫) .....	(21)
教育史(北村 三子) .....	(21)

児童文化(香川 良成) .....	(21)
社会教育行政(東 寿隆) .....	22
成人学習論(東 寿隆) .....	22

## Ⅳ 博物館学講座

### (1) 必修科目

博物館学Ⅰ(倉田 芳郎) .....	23
博物館学Ⅱ(竹内 順一) .....	23
教育原理 .....	(23)
社会教育の基礎(社会教育概論) (村山 輝吉) .....	(23)
視聴覚教育(飯森 彬彦) .....	23
博物館実習Ⅰ(館務) (倉田 芳郎・太田 喜美子) .....	23
博物館実習Ⅱ(収集) (倉田 芳郎・所 理喜夫・ 葉貫 磨哉・恵津森 智行・ 太田 喜美子) .....	24
考古発掘実習(千葉 基次) .....	24
博物館実習Ⅲ(見学) (倉田 芳郎・松本 信道 太田 喜美子) .....	24

### (2) 選択必修科目

日本文化史Ⅰ(廣瀬 良弘) .....	24
西洋文化史Ⅰ(佐々木 真) .....	24
西洋文化史Ⅲ(三小田 敏雄) .....	24
仏教民俗学(谷口 貢) .....	24
仏教美術(中島 亮一) .....	25
現代美術(矢野 陽子) .....	25
禅 美術(海老根 聡郎) .....	25
美術史概説(中島 亮一) .....	25
西域美術史(松平 美和子) .....	25
考古学概説Ⅰ(日本) (倉田 芳郎) .....	25
考古学概説Ⅱ(外国)(飯島 武次) .....	25
考古学特講Ⅱ(高浜 秀) .....	25
考古学特講Ⅳ(飯島 武次) .....	26
日本民俗学(谷口 貢) .....	26
宗教人類学(佐藤 憲昭) .....	26
地形学Ⅰ(小池 一之) .....	26
地質学(貝塚 爽平) .....	26

## V 社会福祉主事 講座 社会福祉士基礎

※社会福祉原論(伊藤 秀一) .....	27
※社会福祉原論(原田 信一) .....	27
※老人福祉論(東條 光雅) .....	27
※障害者福祉論(原田 信一) .....	27
児童福祉論(柏女 靈峰) .....	27

※社会保障論（坂田 周一）	28
※公的扶助論（伊藤 秀一）	28
※地域福祉論（和田 敏明）	28
※心理学（福祉）（井上 孝代）	28
※社会学（福祉）（橋爪 敏）	28
※法 学（福祉）（鶏徳 啓登）	28
リハビリテーション論（原田 信一）	28
社会福祉計画論（川延 宗之）	29
家 族 福 祉 論（高橋 重宏）	29
医 療 福 祉 論（春見 静子）	29
婦 人 福 祉 論（林 千代）	29
保 健 福 祉 論（安梅 勅江）	29
社会福祉発達史（林 千代）	30
海外社会福祉論（中野 いく子）	30
上記科目のうち	

※印は、社会福祉主事、社会福祉士基礎に兼用する科目、それ以外は社会福祉主事のみ対象とする科目

注（ ）頁は他の課程・講座と兼用科目のため、講義内容は主たる課程・講座にのみ掲載し、その頁を表示している。



# I 教 職 課 程

## (1) 教職に関する専門科目（必修）

### 教育原理

かみ　　お　　や　　ひ  
上　　岡　　安　　彦

『エミール』（上・中・下）を年間を通して読みます。次に、出てくる問題について日本の現象を例として教育学的に考察します。

そして最後に原本に直接触れ、ルソーの音楽の音色を身体で感じることにします。

〔教科書〕『エミール』〔上・中・下〕

（岩波文庫）

上 ￥570，中 ￥520，下 ￥520

10. 障害児とともに

11. 内なる差別を考える

12. 学びへの出発

さらに、教育問題にかかわるVTRを視聴する予定です。

〔教科書〕田村皖司他『きょういく』ビジュアルノート  
（エイデル研究所）￥1,800

〔参考書〕教師養成研究会『教育原理』

（学芸図書）￥950

デュイ著、宮原誠一訳『学校と社会』

（岩波文庫）￥200

西村絢子他『現代教育を考える』

（昭和堂）￥2,600

### 教育原理

きた　　むら　　みつ　　こ  
北　　村　　三　　子

登校拒否・不登校の広がりや象徴するように、今日の社会では、それまで自明だとされていた学校や教育の価値が揺ぎ始めている。このような時期にあって、私たちはどのような方向で教育について考えてゆけばよいのだろうか。本講義では、その手掛りを、J. クリシュナムーティの教育思想の中に探してみたい。

〔教科書〕クリシュナムーティ著『道徳教育を超えて  
— 教育と人生の意味 —』

（霞ヶ関書房）￥1,648

### 教育原理

た　　なか　　さと　　し  
田　　中　　智　　志

本講義は、教育についての基本的・総合的な認識と、教育の現実を直視する学問的姿勢を学ぶことを目的とするものであり、とくに個人的経験をこえた、ひと・社会と教育・学校との構造的な関係をあきらかにしていきたいと思います。とりあげるトピックスは、1. 人間と教育（人間を形成するとはどういうことか）、2. 社会のなかの学校（学校の選抜機能はなぜ生じるのか）、3. 教育課程と学習指導（みえないカリキュラムとはなにか）、4. 教育と学校の存立構造（脱学校論や再生産論はなにを告発しているのか）などです。なお、前期は講義が中心ですが、後期はグループ発表を中心とします。

〔教科書〕松浦良充編著『いま教育を考えるための8章』（川島書店）￥2,200

（また、5月中に参考書を指示します）

### 教育原理

さか　　もと　　のぶ　　あき  
坂　　本　　信　　昭

下記のテーマを「問題」としてとりあげ、ともに考えていきます。

1. いま教育のめざすもの
2. ひとの適応・成長・発達
3. 家庭の役割・地域の働き
4. 人格をはぐくむ
5. 学校への期待
6. よりよい授業に向けて
7. 学習をふかめる
8. 教師を育てる
9. 教育制度をみなおす

### 教育原理

むら　　やま　　てる　　よし  
村　　山　　輝　　吉

テキストにそいながら、下村湖人の著作なども参照しつつ、人間の発達と教育、文化、社会のかかわりについて原理的考察をおこない、あわせて教育の制度、形態、内容、方法のもつ意味と問題を社会的歴史的な視座からアプローチしたい。

〔テキスト〕堀尾輝久著『教育入門』

(岩波新書) ¥480

〔参考書〕『下村湖人全集』[全10巻] (国土社)

『教育の原理Ⅰ・Ⅱ』(東大出版会)

## 教育心理学

(教育方法論を含む) えん どう つかさ  
遠 藤 司

今日の教育の現場において、教師、生徒がおこなう様々な活動に対して心理学の知見を基にした見方がなされている。特に、教師として生徒と様々な形で関わる際に、心理学的見方に対してどのような態度で臨むかによって、具体的な教育活動のあり方が異なってくる。本講義では、心理学の知見がどのように教育の世界に影響を及ぼしてきたかを、学習、評価等の諸領域において概観しながら、生徒とのよりよい関わりを作るために、教師としてどのような活動をしていけばよいのかという問題について考えていきたい。

教科書、参考書については、講義中、随時紹介する。

## 教育心理学

(教育方法論を含む) おお はま きくこ  
大 浜 幾久子

前半では、発達心理学・学習心理学・人格心理学など現代心理学の諸分野の基礎理論のうち、教育にかかわるものを解説する。後半では、学校教育を中心に、教育の現場の様々な問題を取りあげ、教育心理学的な考え方と、それに関連した最近の心理学研究を紹介、解説していく。また、性格テストなどの実習や初歩的な実験演習も随時、行う。

## 教育心理学

(教育方法論を含む) きた じま みゆ み  
北 島 歩 美

思春期、青年期の心理的発達課題について概説し、それらと合わせて、教育の現場においてあらわれる臨床的諸問題(不登校、心身症など)について検討する。さらに、時間が許せば、それらの問題についての臨床的アプローチを考えていきたいと思っている。

〔教科書〕バーバラ M. ニューマン著

フィリップ R. ニューマン

『生涯発達心理学』(川島書店)

〔参考書〕E. H. エリクソン著「自我同一性」

(誠心書房) ¥2500

中井久夫・中山康裕編「思春期の精神病理と治療」¥4,000

## 教育心理学

(教育方法論を含む) こく がん まりこ  
国 眼 眞理子

教育心理学は、教育という場に応用された心理学であるため広汎な領域が含まれるが、中学・高校教諭の免許状取得を念頭において、「青年期」「心の健康」、「対人関係とパーソナリティ」の三領域を中心に学んだ上で、「学習意欲と教育評価」や「進路指導」についても併せて考えていきたい。

〔参考書〕授業において随時プリントを配布する。

## 教育心理学

(教育方法論を含む) なか むら ひとし  
中 村 均

### 1. 発達

どのような仕組みで発達が起こると考えられているか。発達的变化の概観。

### 2. 学習

どのような仕組みで学習が起こると考えられているか。学習を促進する条件はどういうものがあるか。

### 3. 個人差

一人ひとりの違いの把握について。

### 4. 教育方法

教育メディアの利用について。

〔参考書〕授業中そのつど紹介する。

## 青年心理学

(教育方法論を含む) おお はま きくこ  
大 浜 幾久子

まず青年期に限らず一般に、人間の発達とは何か、について考察する。その上で青年期の様々な問題を取りあげ、それらに対する心理学的な分析の方法と最近の研究を紹介、解説していく。また、性格テストなどの実習や初歩的な研究演習も随時、行う。

## 青年心理学

(教育方法論を含む) かわ だ かつ お  
川 田 三 夫

青年は発達の存在であると同時に社会的存在でもある。思春期の頃にふと自分のことを考え始め、友達と比較をしたりして色々悩みながら現在に至っている。親はもちろん、テレビ・マンガ、遊び・おもちゃ、学校・友達、勉強・進学、文学・音楽など自己の形成に影響を与えるものは数多い。講義の前半はこれらの意味や役割について考えてみる。

後半は身近な所で起きている現象や話題を取り上げながら青年を考える一方で、分かっているようで分かってない自分のことを人格心理学的な側面からアプローチして理解を広げてみたい。簡単な心理学のテストなども試みにやってもらう予定である。

## 青年心理学

(教育方法論を含む)

こみやま かのめ  
小宮山 要

前半では青年期の発達課題、自我、感情、知性等について考察する。また、後半では親子関係、恋愛・結婚、職業、問題行動、時間的展望等について検討し、自己と他者の理解を深めていく。

〔教科書〕使用しない。

## 青年心理学

(教育方法論を含む)

つね た ひで こ  
常 田 秀 子

青年期とは、子どもから成人へと移行する10代半ばから20代半ばまでの幅広い時期を指す。この講義では、この変化に富んだ時期の人間の心理について、生涯発達の視点から理解を進める。人間発達についての考え方、青年期の知性、青年期の自己、青年をとりまく社会的環境などについて扱う予定である。

基本的には講義中心の授業とする。必要に応じて、受講生によるレポートや討論も取り入れたい。受講生の多くは自らも青年期にあることから、講義内容を自分たちの問題としてとらえ、主体的に講義に参加してくれることを期待する。

〔教科書〕後日指定します。

## 特別活動

なかのめ なお あき  
中野目 直 明

情報化、国際化、高齢化の進む現代社会において、広い視点から学校教育の意義やこれからの方向を考え、人間形成を目指す特別活動のねらいや内容を明らかにしたい。主として、次の内容を講義する。

1. 現代社会と学校教育の課題
2. 人間形成を目指す特別活動
3. 特別活動の内容とその指導

〔教科書〕宇留田敬一編『特別活動の基礎理論と実践』(明治図書) ¥1,650

〔参考書〕中野目直明著『教育情報管理と学校経営』(エイデル研究所) ¥2,000

## 生活指導

えん どう つかき  
遠 藤 司

教師として生徒の「生活」にいかにして関わらなければならないという問題は、今日の学校教育において重要になっている。特に最近、学校生活に適応できずに、様々な形で不適応状態に陥り、困難をおぼえている生徒も多い。本講義では、それぞれの生徒にとっての学校生活に適応することの意味、あるいは不適応状態に陥ることの意味を探りつつ、一人一人の生徒に教師がどのように関わればよいのか、また、学校という生活の場をどのように作っていけばよいのかという問題について考えていきたい。

教科書、参考書については、講義中、随時紹介する。

## 生活指導

さ どう なお と  
佐 藤 尚 人

児童・生徒の教育を考える時、教科学習の指導はもちろん、学習がスムーズに行われるための環境づくり、わけても1人ひとりの子どもの学習への積極的な姿勢を導き出すことは極めて重要である。

本講義では、友だちができない・学習に集中できない・登校拒否・非行など具体的事例をもとに、子どもの精神発達の道すじを理解し、教師として子どもにどのように関わってゆくかについて考える。

〔教科書〕講義ノートに基づき進めてゆく。

〔参考書〕大貫・佐々木編著『心の健康と適応』(福村出版) ¥2,200

## 宗教科教育法

こ やま かず のり  
小 山 一 乗

先ず教育関係法規下での「宗教科教育」の位置づけを概観する。特に各教科と宗教科との関係、「宗教科教育」と「宗教教育」との異同点にも留意する。我が国にかかわる第2次世界大戦後の、対日米国占領教育改革施策に看取される「宗教教育」の諸問題を例示しつつ、日本国憲法20条と教育基本法9条との関係、基本法9条と初期社会科学学習指導要領の文言との関係等を検証する。その上で、「宗教の定義集」への着目をし、「『宗教に関する寛容の態度』の涵養」への展開を検討する。そこからさらに「宗教の社会生活における地位」に関する「宗教的無知」解消を図る授業展開を考える。宗教一般知識教育、宗教的情操教育、宗派教育の学習指導方法を具体的に探究して、異文化理解の課題にも備えるようにしたい。

適宜わらべうた等も導入し、幼稚園教育から高校教

育までの接続も考察に含めたい。模擬授業を課します。  
学習指導案作成の徹底的指導をする。

- 〔教科書〕『仏教概論－わかりやすい仏教－』  
(曹洞宗宗務庁) ¥800  
『仏教・キリスト教・イスラーム・神道  
どこが違うか』(大法輪閣) ¥1,600  
『教育小六法』(学陽書房) ¥2,200  
小中高各『学習指導要領』  
(文部省, 各¥230, ¥250, ¥370)  
『生徒指導の手引』(文部省) ¥460  
『教職教養ランナー』  
(一ツ橋書店) ¥1,020  
小山一乗『社会科における宗教の教育と寛  
容－「告げる」と「教える」をめぐる』  
(宣協社) ¥2,700  
その他必要に応じて指示する。資料を配布  
するのでファイルを用意しておくこと。
- 〔参考書〕『宗教教育の理論と実際』  
(鈴木出版, 1985年)  
その他必要に応じて多数指示する。

## 国語科教育法

かみ や みち のり  
神 谷 道 倫

前期は中学校・高等学校の国語科教育の意義・目標・内容、あるいは教材に即したそれぞれの指導方法等について講義、後期は実際の教材にあたって、基礎学力を点検するとともに、教材研究のあり方・指導事項・方法等主に模擬授業の形態で具体的に研究を深め、実践に際しての指導力を養成する。

- 〔教科書〕新 中学校・高等学校『国語科教育法概論』  
(有精社) ¥1,600

## 書道科教育法

な す たか よし  
那 須 隆 吉

長い歴史をもつ書の特徴を考察し、その指導法を学習する。文部省の芸術科指導要領を理解し、将来の教師としての自覚を促し、指導力を養うことにつとめた。

- 〔教科書〕久米公著『書写書道教育要説』  
(萱原書房) ¥2,300  
〔参考書〕『高等学校学習指導要領解説』  
(文部省) ¥410

## 英語科教育法

あら い よし お  
荒 井 良 雄

中学校や高等学校の英語教員として教壇に立つための基本となる英語教育法の理論と実践の研究指導を行う。

学習指導案の作成法と授業の進め方の実際的な指導が中心になる。教師に必修のPublic Speaking を重視する。

- 〔教科書〕『新英語科教育の展開』(英潮社) ¥2,600  
〔参考書〕稲村松雄『ジャック・アンド・ベティーから21世紀へ』(桐原書店) ¥1,400

## 社会科・地理歴史科教育法 (平成元年度以前入学生： 社会科教育法(地理))

なが の ただし  
長 野 覚

学習指導要領に基づく中学校社会科・高等学校地理歴史科の教科目的・教科内容等を概観したのち、特に地理教育について教案作成・教材の工夫・視聴覚器材の使用法などを指導し、授業演習を行い、教育実習に備える。

- 〔教科書〕『中学校社会科地理教科書』『高等学校地理A・B教科書・地図帳』『文部省学習指導要領』

## 社会科・地理歴史科教育法 (平成元年度以前入学生： 社会科教育法(地理))

なか じま き いち  
中 島 義 一

社会科(地理歴史)教育の諸問題を講義し、後半は学生諸君に交代で壇上に立ってもらって授業演習を行う。出席を重視する。遅刻や欠席の多い人は教師として不適格である。

## 社会科・地理歴史科教育法 (平成元年度以前入学生： 社会科教育法(歴史))

の ろ たが けい  
野 呂 肖 生

「中学校で社会科、高等学校で地理歴史科の授業をするさいに役立つように」を目標とし、社会科・地理歴史科教育(とくに歴史)の理論と実践を学ぶ。とくに個性を重視したい。

社会科・公民科教育法  
(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

は せ べ    はち    ろう  
長 谷 部   八   朗

教育をめぐるさまざまな今日的課題にもふれながら、社会科公民科教育のあり方をともに考えてみたい。

前期は、社会科公民科の性格、目標、歴史、指導計画、指導案、教材研究、教育評価といった問題について、とりあげる予定である。

そして後期には、模擬授業やディスカッションの機会を持ち、受講生の主体的な授業参加を期したい。

より詳しい進め方については、最初の授業で述べる。  
〔参考書〕適宜指示する。

社会科・公民科教育法  
(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

や    し    だ    みつ  
谷   敷   正   光

〈授業内容〉

社会科は、民主主義の発展と平和的な国家・社会の形成者の育成をめざす上で、重要な使命を負って誕生した教科であり、日本の将来を担ったと云っても過言ではない教科である。しかし、この社会科教育も、戦後の政治・経済の発展とともに大きく変遷し、動揺を続けてきた。学習指導要領は1989年に第6回目の改訂が行われた。今回の改訂は単なる教科内容の改訂にとどまらずに小学校低学年の社会科と理科を廃止し、新たに生活科を設け、高等学校の社会科を廃止し、新たに地理歴史科と公民科を設けたことの意味を考えなければならない。

したがって、しっかりとした社会科教育を樹立するため、単なる授業方法の技術論ではなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼって充分検討してみたい。その上で、社会科教育の基本原理とその内容・方法の把握につとめ、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

〈授業形態〉

講義を基本に教室での模擬授業実践と討論、視聴覚教材を多く使用して現実的理解につとめる。

〈授業項目〉

1. 日本教育の現状
2. 教育の基本概念
3. 社会科の成立
4. 社会科学習指導要領の変遷
5. 中学校の教育課程と社会科
6. 高等学校の教育課程と公民科
7. 社会科の学習指導計画
8. 学習指導案の作成
9. ビデオによる現場教師の授業研究

10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての社会科の学習指導と授業実践の研究
12. 中学校社会科の目標・内容・取り扱い
13. 高等学校公民科の目標・内容・取り扱い
14. 教育評価
15. 教育実習の意義
16. 社会科教師論
17. 教員採用試験の準備と今年度の採用について  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する)

〈履修条件〉

出席を確認する。

〈成績評価の方法〉

授業での課題の提出、学習指導案の作成などで総合的に評価する。

〔教科書〕大森・谷敷共著『社会科教育研究』  
(梓出版)

〔参考書〕『社会科・公民科の教科書』『中学校・高等学校学習指導要領』も使用する。

〔注 意〕①年間かなりのプリントを配布するので、必ずファイルを用意すること。

②視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

社会科・公民科教育法  
(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

こ    や    か    のり  
小   山   一   乗

我が国にかかわる第二次世界大戦、英文・邦文の「日本国憲法・教育基本法」、学習指導要領相互の関連検証。学校教育法に規定する学校の目的・学校教育の目標の系統的位相性の検討。社会科創設の国際関係論的・歴史的背景、及び、初期社会科指導要領(試案)以来の変遷概観。社会教育の目標・内容・方法・カリキュラム論。カリキュラムの類型。学習指導の段階説。学習指導案の様式・類型と教師の教育観。学習指導要領各項文末表現①「知識理解度事項」②「態度的事項」③「技能的事項」等と学習指導上のねらいの確認。中・高等学校の社会科・公民科の教科書を用い、個人又はチームによる模擬授業実践を課す。その際、年間学習指導計画案から本時学習指導計画案までを作成し、他教科との関連をも考慮すること。模擬授業とはいえ実際の授業とこころえ、メディア・ミックスを含めた手作りの「掲示・配布資料等の実物」を作成すること。模擬事業は、カガミ利用としてのビデオに収録し、事後の授業分析の討議に供する予定。最後に『学習指導要領』『指導書 社会編』『解説 公民編』をもとにして、各自手作りの教科書素描の提出を課す。シラバスは開講時に示す。

〔教科書〕小・中・高校各『学習指導要領』  
各¥230 ¥250 ¥370 小学校・中学校学習

指導要領各『指導書 社会編』 ¥90 ¥100

『高等学校学習指導要領解説公民編』

(実教出版) ¥220

『中学生の社会科・地理』 『同 歴史』

『同公民』 (中教出版) 各¥605 ¥605 ¥605

『最新版 倫理』 『改訂版 政治・経済』

(中教出版) 各¥370 ¥370

『地図帳』 各自で用意のこと

『平成6年版 教育小六法』

(学陽書房) ¥2,200

小山一乘『社会科における宗教の教育と寛容 — 「告げる」と「教える」をめぐる』

(宣協社) ¥2,700

〔参考書〕 『楽しく学べるヒント教材 シリーズ

中学 社会科の授業Ⅰ』 『同・Ⅱ』

(明治図書) 各1,400

『教職教養ランナー-95年版』

(一ツ橋書店) ¥1,020

『一般教養ランナー-95年版』

(一ツ橋書店) ¥1,020

谷川彰英『戦後社会科教育論争に学ぶ』

(明治図書) ¥783

### 社会科・公民科教育法

(平成元年度以前入学生：社会科教育法)

はし つめ さとし  
橋 爪 敏

社会科は、戦後改革の一環として、民主的な国民の育成を目指して設定された教科である。したがって、単に知識の習得のみを目的としたものではなく、戦後教育の中心を成すものと位置付けられてきた。しかし、現実の政治的状況・教育状況によって紆余曲折してきたのも事実である。

1994年4月から、高等学校社会科は公民科と地歴科の2科に再編される。その分割再編の是非はともあれ、公民科・社会科教師に求められる「資質」は他教科のそれにも増して、厳しいものがあると言ってよからう。

この授業では、こうした点を踏まえた上で、公民科・社会科教師に必要な基礎的認識や知識を習得する事を目的とする。また、模擬授業等の機会を設け“教えること”を、実際の体験を通して学習する。

〔教科書〕 開講時に指示する。

### 職業科教育法

まえ だ ゆき かず  
前 田 幸 一

〈講義目的〉

職業科及び技術・家庭科に関する教育について学んでいきます。授業は人数の関係もありますが、ゼミ形式で進めていきます。

〈授業内容〉

基本的には以下の項目に沿って授業を進めていきます。

(1) 「技術・家庭のあり方」について、新聞の切り抜きを通して考えていく。

(2) 「中学校学習指導要領」の技術・家庭科について、その新旧の違い、変化などを比較検討する。

(3) 職業教育について

(1)(2)は前期授業、(3)の職業教育は後期授業で行う予定です。なお(3)の職業教育についてはテキストを利用します。これは開講時に指示します。

〈評価方法〉

筆記試験はしません。平常点かレポート提出物などで評価します。

### 商業科教育法

や しき たか りつ  
谷 敷 正 光

〈授業内容〉

「産業教育」(職業教育)の一つである商業教育は、日本の経済をささえる重要な一環としてつねに重視され、産業構造の高度化、経営革新にともなってめまぐるしく変遷してきた。そして、高度成長期の高校教育は大きく軌道修正され、さらに先端産業化、国際化、情報化時代をむかえ、再び修正されている。従って、本講は、「職業教育」のあり方そのものが問われている現在、しっかりと商業教育を樹立するため、この「教科教育法」を商業教育の単なる技術論に終わらせることなく、より基本的な「教育とは何か」といったところまでさかのぼり、本来的な意味での商業教育論を展開し、教科担当の専門職としての認識を深めるとともに教員としての資質の養成につとめたい。

〈授業形態〉

講義を基本に教室での模擬授業実践と討論、視聴覚教材を使用して現実的理解につとめる。

〈授業項目〉

1. 日本経済の発展と教育・産業教育
2. 商業教育の現状と課題
3. 職業教育・商業教育の概念
4. 高等学校における商業教育の歴史
5. 高等学校の教育課程
6. 商業科の教育課程
7. 商業科の学習指導計画
8. 学習指導案の作成
9. ビデオによる現場教師の授業研究
10. 4年生による模範授業
11. 模擬授業を通じての商業科の学習指導と授業実践の研究
12. 商業の各科目の個別目標・内容・取り扱い
13. 教育評価
14. 教育実習の意義
15. 商業科教師論

16. 教員採用試験の準備と今年度の試験について  
(教員採用試験の受験希望者は授業とは別に指導する)

<履修条件>

出席を確認する。

<成績評価の方法>

授業中の提出物・課題で総合評価する。

〔教科書〕岡田修二他『新商業教育論』(多賀出版)

〔参考書〕『高等学校商業科の教科書』『高等学校学習指導要領』

- 〔注意〕①年間かなりのプリントを配布するので、必ずファイルを用意すること。  
②視聴覚教室も使用するので、常に教場には注意しておくこと。

教育実習後は、口頭報告、レポート作成-提出、教育問題にかかわるVTRの視聴、グループ編成による授業(ディスカッション)を行い、教育への理解を深め、教育とは何か、どうあるべきかについて各自の教育観を明示できるようにし、さらに、望ましい教師像についても一緒に考えたいと思う。参考書は、下記以外にも授業で適宜紹介する。

〔教科書〕栗原敦雄他『教育実習ガイド』  
(宣協社) ¥1,500

〔参考書〕大村はま著『教えるということ』  
(共文社) ¥480

田村皖司他著『きょういく』ビジュアルノート(エイデル研究所) ¥1,800

西村絢子他『現代教育を考える』  
(昭和堂) ¥2,600

## 道徳教育の研究

かみ ねか やす ひこ  
上 岡 安 彦

道徳教育の基礎理解と課題研究を行う。

〔教科書〕『道徳教育の研究』〔新訂版〕  
(学芸図書) ¥900

## 教育実習

た なか さと し  
田 中 智 志

講義は、教育実習前の段階と教育実習後の段階の二部構成です。教育実習前の段階では、教育実習の意義・方法・内容についての講義とビデオ視聴をつうじて、教育実習の事前準備指導を行います。

つぎに教育実習後の段階では、小レポートの作成、グループ・ディスカッション、模擬授業などをつうじて、教師としての在るべき姿について一緒に考えてみます。

〔教科書〕最初の授業のさいに指示します。

## 教育実習

かみ ねか やす ひこ  
上 岡 安 彦

事前指導

学校の教師としての仕事について講義

学習指導案作成実習

訪問指導

実習期間の研究授業参加

事後指導

デュエイの『学校と社会』によって自分の教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

〔教科書〕『中学校 学習指導要領』

(大蔵省印刷局) ¥250

『高等学校 学習指導要領』

(大蔵省印刷局) ¥370

デュエイ『学校と社会』(岩波文庫) ¥350

## 教育実習

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

学生が教育実習に主体的にとりくみ、教育実践について理解を深めるよう、年間を通じて次の事項をとりあげる。

1. 教育実習の意義と心がまえ
2. 学習指導について
3. 生活指導について
4. 学校と教師に関する諸問題

実習校における実習体験をはさんで、講義、討議、レポート作成、面接指導等、適宜の方法と形態で進めていく。

## 教育実習

さか もと のぶ おき  
坂 本 信 昭

教育実習前の段階では、教育実習の意義・目標・内容(領域)に関する講義とビデオ教材「教育実習の日々」等を視聴し、教育実習の心得などについての事前準備指導を行う。

教育実習期間中は、できるかぎり実習校を訪問したいと思っている。

## 教育実習

きた むら みつ こ  
北 村 三 子

前半は教育実習の準備にあてる。後半は、教育をめぐる様々な問題について、文献を読み合い討議をした。

## (2) 教職に関する専門科目 (選択)

### 青少年問題研究

みな がわ ひろ よし  
皆 川 広 義

現代における青少年問題を総合的に考察する。

青少年の意識と行動、青少年の教育(人格形成)、青少年の非行問題などを主な課題として研究する。

将来、僧侶に成る者、教師をめざす者、青少年の指導を志す者などに資する講義をしたい。

〔教科書〕和田謙寿著『少年補導の研究』(駒沢大学青少年問題研究室) ¥2,500

### 教育哲学

しほ み とし ゆき  
汐 見 稔 幸

科目名は教育哲学となっているが、固苦しいものではなく気軽に現代の教育問題の本質やその背景などを学び考え合う授業を考えている。教員志望者だけでなく現代と将来の日本社会と文化のことを考えたいと思っている人も歓迎する。教育の成否は受けた教育体験が一人ひとりの中でいかに発酵するかにかかっている。そのことを深く考えるためには、人間の発達と教育体験の機微についての思索が何よりも大切である。不登校や新学力問題、新しい教育方法、学校の本質などテーマは数多く考えられるが詳細は参加者と相談してきめたい。授業は毎週ではなく、適当に合宿をおりませで集中して議論する日をおりこみながら進めたいと考えている。

〔参考書〕汐見稔幸『地球時代の子どもと教育』(ひとなる書房)

### 教育社会学

たか しほ ひで き  
高 島 秀 樹

教育社会学は教育を社会的な事象としてとらえ、社会学の方法をもって実証的に解明していこうとする教育科学の一部門である。教育が個人の発達を旨とする

みであることはいうまでもないが、それは同時に人間を社会の成員にふさわしく形成し、次代の担い手を育成することを通して社会の存続・発展を可能にするという、きわめて社会的な営みでもある。

この講義ではこうした教育社会学の基本的な考え方を明らかにした上で、社会集団の教育(家族、遊びと仲間集団、地域社会など)と学校に焦点を合わせ、その基本的特質を明らかにするとともに、現代日本における実態・問題点をできる限り具体的に考察していきたい。

〔教科書〕福永安祥・高島秀樹『教育社会学』(明星大学) ¥2,000

### 現代社会の諸問題と教育

たか しほ ひで き  
高 島 秀 樹

現代日本社会とその内での私達の生活は、今日大きく変動しつつあり、そこに多くの問題を内在させている。この科目では、現代社会の内における個人のライフコースに沿って、各ライフステージにおける生活世界の実態と発達課題、各ライフステージにおいて個人と密接な関係を持つ社会集団や社会の状況について明らかにし、さらにそれらと教育との関係についてできるだけ具体的に、実例を取り入れて考察していきたい。

この科目では単なる「講義」にとどまらず、各々の問題について基本的なことを説明した上で、受講生自身に考え、発表してもらうことも取り入れていく。

〔教科書〕高島秀樹・岩上真珠・石川雅信共著『生活世界を旅するーライフコースと現代社会』(福村出版)1994年刊、¥2,400

### 教育評価

おほ はま きく こ  
大 浜 幾 久 子

まず狭義の教育評価にとらわれず、教育心理学の研究手法 — 実験・観察・調査・テスト — の基礎を学ぶ。その上で、発達や学習の測定、評価に関わる研究演習を行い、そのことを通して、教育評価の諸問題に対する考察を深めていきたい。

なお、パソコンによるデータ分析の実習も行う。

### 教育情報学

お ぐら やす よし  
小 倉 康 仁

パソコン用アプリケーションソフト(ワープロソフト、表計算ソフト、オーサリング・ソフト)や教育用プログラミング言語の操作実習を通して、教育におけるコンピュータ利用の可能性について多角的に検討す



る。

授業で取り上げる話題としては、コンピュータ・リテラシー、CAIとCAL、CMI、オースリング・ソフト、シミュレーション・ソフト、データベース、パソコン通信、マルチメディアなどを予定している。

## 教育調査

すず き のり お  
鈴 木 規 夫

教育調査あるいは社会調査を実際に行い、調査に必要な基本的プロセスを学ぶと共に調査に不可欠なデータの解析法についても学習する。主な内容は、調査主題の設定、主題に関する討議、調査票の作成、調査の実施、結果の分析等である。なお、結果の分析は主としてパソコンを利用する。

## 教育史

きた むら みつ こ  
北 村 三 子

まず、日本教育史の通史を検討する。次いで、参加者と相談の上適当なテーマを設定し、史料を読みたい。  
〔教科書〕石川松太郎『教育の歴史－日本における教育の歩みを中心に－』（財団法人放送大学教育振興会）¥1,960

## 教育関係法規

ひろ さわ あきら  
広 沢 明

憲法、教育基本法、子どもの権利条約など教育に関する基本法規につき、具体的事例に触れながら講義を行う。校則、体罰、内申書、日の丸・君が代、教科書検定、学校事故、障害児教育、民族教育など今日的な教育問題について、法的観点から検討をしたい。

〔教科書〕広沢明『憲法と子どもの権利条約』

（エイデル研究所）¥2,800

〔参考書〕開講時に指示する。

## 社会教育の基礎（社会教育概論）

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

（P.19）参照

## 社会教育施設

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

（P.20）参照

## 図書館学Ⅰ

やま ざき けい こ  
山 崎 慶 子

（P.18）参照

## 図書館学Ⅱ

みなもと しやう きやう  
源 昌 久

（P.18）参照

## 視聴覚教育

いい もり あき ひこ  
飯 森 彬 彦

（P.23）参照

## 教育臨床心理学

む た たか お  
牟 田 隆 郎

現代の青年や子どもをとりまく社会環境は、必ずしも適正なものとはいいがたい。そのために、感受性に富む若い人たちが、社会のもつさまざまな矛盾を、「問題」というかたちで表現してもいる。

本講義では、社会の表面に現れた青少年の諸問題を種々の材料を用いてとりあげ、その発生の機序と対応について、心理面・社会面等から考察していく。

## 教育法規研究

かん だ おおむ  
神 田 修

教育法規とか教育法というと、とかく実際の教育とは関係のない堅くしい「きまり」ぐらいに考えられ易い。しかし、今日の教育は、関係する法や法規をさしおいては正しく理解できません。教育法規は、教師になろうとする者はもちろん、そうでない者でも、しっかり勉強しておく必要のある分野です。

今年度は、下記のテキストを使い、いろいろな教育問題や情報にもふれながら、基本的なことを学ぶとと

もに、生きた教育と法ないし法規の学習をします。できるだけわかりやすく、教育界（学校や社会教育の仕事）に入っていく学生諸君のためになる授業にしたいと思っています。

- 〔教科書〕 神田 修、兼子 仁『ホーンブック教育法』（北樹出版）1995年 ¥2,300  
 〔参考書〕 『解説教育六法』（三省堂）1995年版 ¥2,400

## 児童文化

か がわ よし しげ  
香 川 良 成

「児童文化」と言えば、子どもの生活と人間形成に関わるあらゆる領域と分野に渡るわけであるが、今回は日本の児童演劇史と演劇教育史を中心に捉え、明治以後の発展の歴史を振り返りながら、子どもの発達の問題を、ことばとからだ・身体表現の問題の側面から検討してみたい。児童劇作品も幾つか取り上げて皆で読んでみたい。

- 〔参考文献〕 滑川道夫著『児童文化論』（東京堂出版）  
 滑川道夫・中川正文編『児童文化』（東京書籍）  
 富田博之著『日本児童演劇史』（東京書籍）

## 宗教教育

こ やま かず のり  
小 山 一 乗

種々様々な考察を試みる。用語・訳語としての宗教教育、宗教、religion、畏敬、注意深く観察する、（再）結合、宗、教、育、education、誓願、アニミズム、アニメーション等の字源・語源をさぐる。更に、何～何事、what～whatness、児童生徒の疑問態（の調査研究）、節分、雛祭り、節句、七夕、盆祭り、七五三、合格祈願、お守り、羽田空港長の朝、クリスマス、ターミナル・ケア等を狙上に載せ教育的思考と法的思考で考える。受講生各自に、各自が余命僅か（六カ月以内）ということをも具体的に想定してもらい①一番大切な人を一人遊び、その人に②「別れの手紙」を書き、③書いた後の感想を書くことを体験・経験してもらう。憲法20条・教育基本法9条・初期社会科学習指導要領との絡みの中に、対日米国占領教育改革政策が胚胎していた異文化理解問題の史実を見る。宗教を文化現象の一形態として考えるか否かについて諸説を見ておきたい。道徳教育の内容項目上の宗教的用語が「宗教の定義集」・「現代日本の諸家の宗教観」の二典中では、どう規定されているか、その脈絡を意味論的に概観する。tellとteachとの差異、<religious education>と<education about religion>の教授概念を検討する。多民族多文化多宗教共生社会のうねり、

隣人は異邦人等がいわれ日常生活化しつつある国際化社会時代の問題・課題解決に与する宗教教育の目的論・目標論・内容論・方法論を具体的に考えたい。シラバスの詳細は開講時に示す。

- 〔教科書〕 小山一乗『社会科における宗教の教育と寛容－「告げる」と「教える」をめぐる』（宣協社）¥2,700  
 小中高各『学習指導要領』  
 各¥230, ¥250, ¥370  
 『仏教・キリスト教・イスラーム・神道どこが違うか』（大法輪閣）¥1,600  
 『教職教養ランナー』（一ツ橋書店）¥1,020  
 『教育小六法』（学陽書房）¥2,200  
 〔参考書〕 『宗教教育の理論と実際』（鈴木出版、1985年）

### (3) 教科に関する専門科目

教科に関する専門科目で各学科専門教育科目と兼用する科目の講義内容は「専門教育科目」欄に掲載されている。

#### 【社会 地理 歴史 公民】

## 日本史概説

えん どう ひろ おき  
遠 藤 廣 昭

各時代の特徴をおさえ、研究成果と論点を含め講義する。特に、中世の宗教・文化史については、詳述するつもりである。

- 〔教科書〕 有斐閣選書『概説日本史』（有斐閣）¥1,957

## 日本史概説

こ まつ とし はる  
小 松 寿 治

古代から近世にわたり政治史を中心に講義を行なう予定であるが、特に日本史を教える上で、最小限必要である事項を選び、授業を行ないたいと思う。教科書はとくに用意しない。

## 世界史概説

い むら ゆき こ  
井 村 行 子

「帝国主義の時代」以降の世界史をヨーロッパ、アメリカを中心に概説する。

- 〔参考書〕 大下・西川・服部・望田編『西洋の歴史』

〔近現代編〕（ミネルヴァ書房）¥2,000  
 西川正雄・南塚信吾『帝国主義の時代』  
 《ビジュアル版》世界の歴史18  
 （講談社）¥1,500

## 世界史概説

わた なべ あつし  
 渡 辺 惇

アジアの歴史を地域的に東アジア、東南アジア、南アジア（インド）、西アジア、内陸アジアに分け、それぞれの歴史的世界の風土、歴史展開の特色等について講義する。

〔教科書〕特に定めず、プリント・資料を配布する。

## 地誌学概説

お だ まき やす  
 小 田 匡 保

日本の諸地域については中学で、世界の諸地域は中学と高校で、それぞれ浅く広く学習されているはずである。本講義ではヨーロッパに焦点をあて、地域の地理学的見方について考えてみたい。高校の時のものでよいから、地図帳を持参すること。

〔参考書〕T.G. ジョーダン著（山本・石井訳）

『ヨーロッパ文化』（大明堂）¥5,300

## 地誌学概説

かわ もと とよ かず  
 川 元 豊 和

前半では地誌学の基本的な枠組について説明したい。また後半ではアジアの村落に的をしぼり、農業と村落の変化の様相を明らかにしようと思う。

〔教科書〕プリントを配布する。

## 地誌学概説

はし つめ なお みち  
 橋 詰 直 道

前半は、地域の捉え方、地域区分、自然環境と人間の関係など地理学の基礎と地誌的な地域の見方を中心に学ぶ。

後半は、主に都市と農村の変容について、動態地誌的な事例研究成果を紹介し、地理的空間構造とその変容過程を学ぶ。

教科書は特に定めず、講義はプリント中心に行う。

参考書は講義の中で紹介する。

## 人文地理学概説

こ ばやし こう じゅ  
 小 林 高 壽

教職のための人文地理学を概説するのである。そのために①人文地理とは何か（本質論）②人文地理をどう教えるか（教授論）③教える立場と教わる立場の考察（教育論）④人文地理の基盤となるべき自然地理の内容はどうなっているか（体系論）⑤自然環境及社会環境とは（相互作用論）⑥地図と地理統計をどう読むか（教材論）⑦地理学にあらわれてくる人物をどうとらえるか（主体論）⑧人文地理の教育と研究について（教養論）等にわたって講述したい。

地図帳と最新地理統計（小冊子になっている）は持参して貰いたい。

〔教科書〕長谷川典夫編著『教養のための地理学トビックス』（大明堂）¥2,800

〔参考書〕高校用地図帳（アトラス）と、二宮書店編の『地理統計』

## 自然地理学概説

たか ぎ まき ひろ  
 高 木 正 博

自然地理学の分野のうち、地形と水を基本的な視点において、自然環境と人間生活とのかかわりを具体的な地域事例をもとに解説し、それぞれの地域が有する地域的特性を明らかにする。

## 自然地理学概説

はや ふね げん ぼう  
 早 船 元 峰

人間生活の舞台である大地の形成過程について講じ、人間と自然とのかかわりあいについて論じる。

さらに受講生に2.5万分の1、5万分の1の地形図を用意（10枚程度）してもらい、それらをもとに種々なる作業（土地利用図・切峰面図・帯状平行投影地形断面図等を作成）をして、より一層の理解を深めてもらう。トレース紙・方眼紙・色鉛筆・黒インク等各人用意すること。

〔参考書〕水見山幸夫・岡本次郎編著『土地利用変化とその問題』（大明堂）¥3,600

## 民法 I

あお の ひろ ゆき  
 青 野 博 之

〈講義目的（要旨）〉

生活に関連するものとして、民法を学ぶ。民法の最

初ということで、民法入門という性格も有する民法総則が中心となるが、物権法も、もちろん講義対象である。

民法総則・物権法の中で、自分と他人との関係を権利義務という法律の目でみることができるようになれば、講義目的は達成される。自分は他人に対して何をなぜ主張することができるのか(権利)、自分は他人に対してなぜそんなことをしなければならないか(義務)を受講生自身が考えていけるように講義を進めたい。質問は大歓迎である。

出席者がそれほど多くなければ、私から受講者に質問しつつ、受講者に民法の条文を読み上げていただきながら、私の講義を聞いていただくことになると思われる。

#### 〈授業内容・授業計画〉

##### 前期

民法総則のうち法律行為の前半まで(民法一条から一一八条まで)。

4月、序説(たとえば、自分の土地はどういうふうに使ってもいいとはどういう意味か、他人に迷惑をかけても自分の自由に使ってもいいか)。

5月、自然人(たとえば、未成年者と契約をするときにどんな問題があるか)。

6月、法人(たとえば、法人という制度を認めることによってどんな利点があり、どんな弊害が発生するか)、物

7月、法律行為(たとえば、契約は自由であるとはどういう意味か)。

##### 後期

民法総則のうち法律行為の後半から時効まで、および物権法(民法一九九条から三九八条の二二まで)。

9月、法律行為(たとえば、契約を取り消すことができるのはどんな場合か、契約を取り消すとどういう結果になるか)、期間、時効(たとえば、時効という制度はなんのために認められているか)。

10月、物権総論(たとえば、物権は債権とどこが違うか)、物権変動(たとえば、マンションを買った場合には何をしなければならないか)。

11月、占有権、所有権、用益物権(たとえば、土地を借りるとどんな権利が発生するか)。

12月、担保物権(たとえば、貸金を確実に回収するためにはどうすればよいか)。

1月、質問に答える(受講生からの質問には毎回の講義時間の際に答えるが、それとは別に質問時間を設ける)。

#### 〈評価方法〉

出席して質問をした回数、およびその質問の内容を重視する。出席者に対して私の方から質問をするので、これに答えてくだされば、これもカウントに入れる。正しい答えでなくともよく、自分で考えた答えであればよい。自分で考えることに意味がある。答えられなかったとしても不利には扱わないので、安心して質問に答えてほしい。出席したらできるだけ、質問をし、私からの質問に答えることが結局受講生のためになる。

また、私のためにもなる。したがって、質問および回答はこの講義を進める鍵である。試験に際しては一切の持ち込みを不可とする。

#### 〈教材〉

教科書：我妻 栄・有泉 亨著(川井 健補訂)『民法1(総則・物権法)』(一粒社)、教科書は、上記のものを使うが、ほかに自分が気に入ったもの、手持ちのものがあれば、それでもよい。

六法：憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法を中心として法律を集めて編集したものを六法と呼んでいる。受講する際にはぜひとも六法を持っていくこと。外国語を学ぶ際に辞書が欠かせないように、法律科目を履修する際には六法は不可欠である。六法は、『ポケット六法』(有斐閣)、『コンパクト六法』(岩波書店)、『デイリー六法』(三省堂)などの大きさ(厚さ・値段)のもので十分である。『コンサイス六法』(三省堂)、『判例基本六法』(岩波書店)、『判例六法』(有斐閣)を進んだ勉強をしたい受講生に勧める。『口語〜』という書名のついたものでもよい。六法は毎年出版されるので、新しいものの方が望ましい。

民法 I				
(前期)	つる 鶴	い 井	しゅん 俊	きち 吉
(後期)	はやし 林	こう 幸	じ 司	

民法(I)は、民法総則、物権法を対象とする。民法総則は民法の通則であって、抽象的でわかりづらい。そして物権法も、日本の特殊性が強く出ている領域であって、これもまたむずかしい。できる限り具体的な事例などをあげて解説する予定である。

〔教科書〕我妻 栄・有泉 亨著『民法1(総則・物権法)』(一粒社)

政治学原論			
	おお 大	つか 塚	かつら 桂

現代政治学の体系的な理解を深めるべく、以下の諸問題について検討していく。

- I. 政治学の課題と対象ならびに方法論
- II. 政治思想の史的展開
- III. 政治権力論
- IV. 政治制度・機構論
- V. 行政国家論・現代社会論
- VI. 政治変動論
- VII. 政治行動論
- VIII. 政治過程論・政策決定過程論
- IX. 政治集団論
- X. 国際政治理論

- [教科書] 大塚 桂『政治学原論序説』  
(勁草書房) ¥3,296
- [参考書] 原田綱『政治学原論』  
(朝倉書店) ¥5,356
- 佐竹寛『政治学体系論』  
(法学書院) ¥3,090
- 中山政夫『現代政治学』  
(三和書房) ¥2,575
- 日下喜一『現代政治学概説』  
(勁草書房) ¥2,060
- 本田弘『政治理論の構造』  
(勁草書房) ¥4,000

## 社会学原論

わた なべ もと き  
渡 辺 源 樹

何よりも社会学は現実科学であるという視点をふまえ、つとめて人間の存在・行動の問題と関らしめながら、集団論・組織論などを中心として基礎理論にぞくする諸問題を講述するとともに、現代社会学の課題とその主要問題を体系的かつ具体的に講述する。

## 経済原論

あら き よし ひろ  
荒 木 勝 啓

原論は本来ミクロ・マクロ両面にわたって学習すべきであるが、この科目が商学科選択および他学部生の教職科目でもあることを考慮して、この授業はもっぱらマクロ経済学の基礎的部分(IS-LM分析まで)に限定して行うことにする。

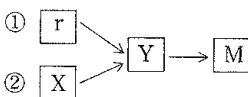
ところでなぜ経済事象を理解するために「経済理論」を学ばなければならないのであろうか。理論なき現実観察がいかに危ないものであるかは、毎年のように見られる次のような答案の叙述をみればよく理解できよう。

「公定歩合が下がる。すると景気が良くなるとともに国際収支の黒字幅が拡大し……」

この記述は、おそらく「日本経済が過去において輸出主導型であり、輸出拡大によって(その結果)黒字が増大しながら景気が拡大していった」という記憶に基づいて書かれたものであろう。たしかに経験に基づけば、日本経済の輸出拡大(黒字増大)と、景気拡大は同時進行的であったように見える。しかし経験の一般化ほどこわいものはない。ではアメリカはどうだったであろうか。景気が拡大するたびに国際収支の赤字が増大したではないか。

上述の答案のように(A)景気がよくなると国際収支の黒字化傾向となるのが正しいのか、それともアメリカがそうであったように(B)景気がよくなると国際収支の赤字化傾向となるのが正しいのか。

そこで問題の整理が、すなわち前提条件を明確にした上で結論を導くという方法論、つまり「理論」が必要となるのである。今輸出をX、輸入をMとし、国際収支を便宜上經常収支すなわち輸出-輸入だけに限定し、 $B = X - M$ と書こう。BはもしXがふえれば増大(黒字化)し、Mがふえれば減少(赤字化)する。X、Mともにふえればその相対的なふえ方に応じてBの増減が決まる。さて、公定歩合をrと表し、「景気」を国民所得Yで代表しよう。すると、「公定歩合が下がる」と景気が良くなる」という関係は $r \downarrow \rightarrow Y \uparrow$ と書ける。「輸出が増大すると景気が良くなる」という関係は $X \uparrow \rightarrow Y \uparrow$ と表すことができる。また輸入は景気が良くなると増加するのが一般的であるから $Y \uparrow \rightarrow M \uparrow$ という関係がある。すると図式的に



のような causality が成立つてであろう。さて上述の答案の混乱は、本来この図式の①から出発する事象の流れを、日本経済の経験が示した②から出発する流れと混同してしまったところに原因があるのである。①から出発したとすれば、結果はMの増加だけであり、従って $B = X - M$ は赤字化以外の道はない。すなわち80年代後半のアメリカ経済のように超低金利政策のもとで輸出の拡大を伴わなければ經常収支Bは赤字化する以外にないのである。②から出発したとすれば、結果はやはりMの増大となるがしかし、日本経済の経験が示すように $\Delta X > \Delta M$ である限りBはふえる。すなわち經常収支は増大するのである。こうして、上述の答案は前提が違うが故に、誤りであり、また(A)が正しいのか(B)が正しいのかという問題は、「景気が良くなった」その原因、出発点が①であるのか②であるのかを明示化しなければ判定できないという結論が導けるのである。このように理論とは条件明示化の方法論なのである。

以上のように本講義は現実問題をたえず念頭に置きつつもマクロ理論を基礎から構築するということを主眼に置いている。年間の主要項目は次の通りである。

- (1) 総供給=総需要
- (2) 均衡国民所得の決定
- (3) 政府・海外部門の存在する場合への拡張
- (4) 乗数
- (5) ビルト=イン=スタビライザー
- (6) 貨幣とは何か
- (7) 信用創造理論
- (8) 貨幣数量説
- (9) マネタリズム
- (10) 古典派経済学の3命題
- (11) ケインズ理論
- (12) IS-LM分析
- (13) 財政政策と金融政策
- (14) ポリシー・ミックス

- (15) フィリップス曲線をめぐって
- (16) 期待理論
- (17) 成長理論

なお、最低年1回実地研修を行う。予定では証券取引所である。この時出席点をとる。

試験は期末に前後期合わせた分の試験を行う。ノート・本・電卓持込可。2題出題し1題は計算問題、1題は論述問題が予定。

〔教科書〕浅野・荒木・浅田著『エコノミックス』  
(成蹊堂)

## 経済原論

お い し ゆう じ  
大 石 雄 爾

この豊かになった日本において、労働者はいまだに長時間労働を余儀なくされている。不況の中にあっても企業はそれなりの成長をしているが、多数の勤労者の所得は抑えられている。また、日本での営業に見切りをつけ、東アジア諸国などに生産の拠点を移す企業がふえ、アメリカが経験してきた産業の空洞化現象が進行しつつある。

地球全体に目を広げると、20世紀の「社会主義」体制が崩壊し、資本主義的な方向での世界の再編成が行なわれている。その中で、いわゆる「南と北」の諸国間に横たわる貧富の差はますます拡大し、地球規模における環境の破壊が進行している。環境問題は、いまや人類に遠くない将来における生死の選択を迫りつつある、といっても過言ではない。

このように、一見しただけでも現代世界は複雑な様相を呈しているが、よく見ると一本の赤い糸で結ばれていることがわかる。それは、世界の主要問題の多くが、資本（企業）の活動の全面的展開の結果として生み出されている、という事実である。確かに、資本はすでに百余年にわたって社会的富を生産し、分配し、また全体として富を急速に拡大させてきた。それが可能であったのは、資本が社会的労働の大部分を資本のもとに取り込んできたからに他ならない。

そこで、われわれは、社会的な労働が資本のもとで行なわれると、どうして現代世界に見られるような諸問題を生み出すのか、ということを考えてみなければならない。そのためには、まず、資本とは一体何か、資本のもとにおける労働はどのような特徴をもつのか、そしてさらに、資本によってこの資本主義社会そのものがいかにして再生産されるかということ、すなわち、資本主義経済の一般的法則を理解することが必要となるものと思われる。

この講義は、以上のような趣旨にもとづいて、およそ次のようなテーマに沿って進めてゆく。

1. 経済理論を学ぶにあたって
2. 商品とは何か
3. 貨幣とは何か
4. 資本の生産過程

5. 賃金とは何か
6. 資本の蓄積
7. 資本の流通過程
8. 剰余価値と利潤
9. 価値と生産価格
10. 商業資本
11. 利子生み資本
12. 近代的土地所有

〈講義方法と留意点〉

講義は、ほぼ2回で1テーマについてお話するというペースで進める。皆さんの理解を深めていただくために、相当量の板書することになっているが、これを書写してこと足れりと考えることなく、読み返したときに理解できるようなノートの取り方を各自くふうしてほしい。

時に、講義の冒頭で経済や政治にかかわる問題を取り上げ、簡単な解説を加えることにする。また、皆さんの問題関心を高める一助として「30分レポート」を年間数回、講義時間を利用して実施する。

経済原論はその科目の性格上、全体的な関連を把握して初めて、各部分の理解も可能になるというものである。そのため、受講する皆さんには、年間を通して毎回出席することを強く要求したい。

〈成績評価〉

試験は原則として年度末に行ない、これを中心に成績評価をする。「30分レポート」も判定の参考とする。

〔教科書〕平野喜一郎他『経済原論』

(青木書店) ¥2,781

〔参考書〕金子ハルオ他『資本主義の原理と歴史』

(青木書店) ¥1,854

## 経済原論

お の とし お  
小 野 俊 夫

いわゆる近代経済学の立場から、近年の学問的成果をも考慮し、現代経済学のミクロとマクロの基本を解説し、複雑な現代経済を理解しうる力を養うことを目指す。

〔教科書〕小野俊夫編著『現代経済学の基礎』

(学文社)

## 哲学概説

くに しま かず のり  
国 嶋 一 則

人間は、何かを頼りとし支えとしなければ生きてゆけない。しかし日常、われわれは自己の人生の頼りとなり支えとなるものを自覚していない。それを自覚することは、自分がどのような生き方をしているのかを知ることである。つまり主義に拠り主張をもって生きることである。

歴史上の大きな主義を検討することによって、現代世界の有力な主義を明確にし、自己の持つべき主義を選択する手掛りとしたい。

哲学思想の基礎的概念や考え方の解明に重点をおく。また書物の読解力を養成するために、教材の重要な箇所を読んで解説する。

〔参考書〕その都度示す。

## 哲学概説

なか むら しょう はち  
中 村 璋 八

この講義は中国の哲学を中心とし、その起源より、それ以後、現代に至るまでの史的展開を概説する。哲学・思想は洋の東西にかかわらずなく、その地の自然環境、すなわち気候、風土やその時々政治、経済などと密接な関連を持ちながら発生し、それを展開して行くものである。中国は広大であり、その歴史も世界の中で最も長い。そこで、この講義も中国各地の気候・風土やその各時代の政治・経済を念頭におきながら殷墟卜辞・諸子百家を始め秦・漢以降の経学・道教・佛教などの各特色を考察し、それが朝鮮半島や日本に如何に受容され、変質して行ったのかも考えてみたい。

〔教科書〕中村璋八編『中国思想文学通史』

(明治書院) ¥1,600

## 倫理学概説

く ぼ よう いち  
久 保 陽 一

善や正義などの倫理学上の基本的概念を歴史的に検討しながら、—アリストテレス倫理学、キリスト教の倫理、カント道徳哲学、ヘーゲルの法哲学、マルクス主義、実存主義、プラグマティズム、功利主義等—現代における倫理の問題(生命環境倫理学等)について考えることにしたい。

〔教科書〕開講時に指示する。

## 宗教学概説

あらい けん  
洗 建

宗教学の体系について概観し、その中から特に宗教社会学的問題を中心に考察する。教職教科であることに配慮し、憲法問題の宗教学的考察などをとりあげる。

〔教科書〕なし。

〔参考書〕その都度指示する。

## 宗教学概説

まつ だ ん ゆう  
松 田 文 雄

初めに宗教学の研究手法、その領域、宗教学で用いる用語などを概説し、後期、今年度は日本仏教の特色について述べる。

〔参考書〕随時指示する。

## 宗教人類学

さ とう のり おき  
佐 藤 憲 昭

(P.26) 参照

## 民間信仰論

なに ぐち みつぎ  
谷 口 貢

日本社会の各地に展開している神祭りや信仰行事の具体的な調査事例を紹介しながら、神と人が織り成すさまざまな世界には、どのような意味があるのかを探ってきたい。そして、民間信仰の性格や機能、あるいは現代的意義といった問題について考察を加える。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## 東洋思想研究

たて の まさ み  
館 野 正 美

中国古代における様々な思想家たち—いわゆる“諸子百家”—の哲学思想を概観する。その際、たとえば、孟子は性善説・荀子は性悪説といった、単なる知識の羅列ではなく、むしろ、彼らが人間存在の深層に“何”を見出し(あるいは見出すことに失敗し)て、それをどのように表現しているのか、といった点にこそ意を注ぎ、詳細に論じてゆきたい。

かくして、孔子や孟子・荀子らの儒家思想、老子や荘子らの道家思想を経て、後期には『呂氏春秋』の諸思想、今年度は特にその医学思想について論及してゆきたい。

〔教科書〕館野正美著『中国古代思想管見』

(汲古書院) ¥1,200

〔参考書〕授業中に適宜紹介します。

## 民衆宗教成立史

あらい けん  
洗 建

新宗教の規定をめぐる諸問題，新宗教の展開，発達史を概観し，主要な新宗教教団について紹介する。

〔参考書〕堀 一郎編『日本の宗教』

(大明堂) ¥2,000

## 歴史哲学

あ ま せい けん  
麻 生 建

歴史哲学をめぐる諸問題について概観した後で，歴史哲学の基盤をなす歴史「認識」の問題を，「解釈学」を中心に考えてゆく。「解釈学」とは，今日では哲学一般の構成要素の一つとして「人間存在」そのものに関わるものとされているが，そもそもは「他者理解」の問題，「歴史理解」の問題である。

〔教科書〕麻生 建『解釈学』（世界書院）¥2,500

## 日本仏教史

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

仏教の歴史の流れを概観し，のちに平安後期から江戸期にかけての仏教と社会・文化との関わりについて講述する。とくに鎌倉仏教の成立と展開，仏教諸宗派の僧侶・寺院と地域社会とのかかわり，都市景観と寺院，一向一揆・無縁所寺院と戦国大名，近世においていかにして寺院が寺請制度を担うるまでに至ったかの問題，寺院と檀家等について考察する。その際には，各地の寺院が所蔵する古文書・過去帳・授戒会帳・墓石史科学も提示しながら行うことにする。

〔教科書〕史料はコピーして随時配布する（無料）

〔参考書〕黒田俊雄著『寺社勢力—もう一つの中世社会—』（岩波新書），網野善彦著『無縁・公界・衆』（平凡社選書），井上鋭夫『山の民・川の民』（平凡社選書）

## 日本文化史 I

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

(P. 24) 参照

## 美術史概説

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

(P. 25) 参照

## 日本宗教文化史

まつ だ ぶん ゆう  
松 田 文 雄

仏教文化に的をしぼり，近世における日本宗教文化について講義する。必要な資料はプリントして，受講生と共に講読する。

## 【職業】

## 産業概説

まえ だ ゆき かず  
前 田 幸 一

### 〈講義目的〉

日本の主要な産業を勉強していきます。教職コースの科目ということもあり，受講者数が多くないのでゼミ形式で授業を進めていきます。

### 〈授業内容・授業計画〉

授業は

1. 戦後日本の産業発展と今後の展望
2. 産業の見方・考え方
3. 素材型産業
4. 組立加工型産業
5. 生活関連産業

という項目に沿って進めていきますが，特に上記の3，4，5の項目に力を入れて授業を進めます。

### 〈評価方法〉

筆記試験はしません。平常点かレポート提出物のどちらかで評価します。

〔教科書〕日本興業銀行産業調査部編『日本産業読本』（東洋経済新報社）

〔参考書〕水口和寿『現代産業概論』（昭和堂）

宮沢健一・竹内宏編『日本産業教室』

(有斐閣)

## 職業指導

やま だ ゆう じ  
山 田 勇 治

### 〈講義目的〉（要旨）

職業指導（進路指導）は教職科目であるから，将来教員として役立つような講義内容とするように心掛け，



渋谷源蔵『貿易実務』（同文館）  
藤田栄一『貿易取引の英語』（勁草書房）

なるべく教育現場の現状をふまえた上で、実践的な授業にするつもりである。受講する場合には、問題意識をもって積極的に教育問題を考えるようにしてほしい。

〈授業内容・授業計画〉

前期は、職業指導の基礎的な概念である「職業」についての理解を深めるとともに、職業の中でも特に公認会計士を中心とした会計専門職業についてアメリカの場合と比較しながら、特に教育面を中心にして講義していきたいと考えています。

後期は、中学・高校を中心とした学校進路指導の現状とその問題点について文部省が過去3回にわたって実施した実態調査を中心にしてその現状と問題点について考えていくような授業をするつもりである。なお、時間的な余裕があれば学校で実施されている心理テストについて説明を加えたいと思っています。

〈評価方法〉

出席および授業中における課題などの提出状況を考慮しながら、期末のレポート提出によって評価する。

〔教科書〕山田勇治『会計教育論』（創成社）¥1,300

〔参考書〕藤本喜八『進路指導論』（恒星社厚生閣）

【商 業】

職業指導

やま だ ゆう じ  
山 田 勇 治

(P.16) 参照

商業実習

まえ だ ゆき かず  
前 田 幸 一

〈講義目的〉

国内よりも対外国企業との商品取引の実務について授業を進めていきます。授業はゼミ形式で行っていくつもりです。

〈授業内容〉

授業は基本的に以下の項目で進めていきます。

1. 輸出実務の概要
2. 取引関係の創設
3. 取引条件の取決め
4. 売買条件の取決めと契約成立
5. 輸出信用状の照合
6. 約定品の調達
7. 輸出保険
8. 輸出承認と認証の取付け
9. 運送契約の締結
10. 為替の予約
11. 海上保契約
12. 輸出検査と包装
13. 輸出通関
14. 船積み
15. 船積書類
16. 輸出決済
17. 貿易クレーム

〈評価方法〉

筆記試験はしません。評価は平常点かレポート提出等によって行います。

〔教科書〕開講時に指示

〔参考書〕石田貞夫『貿易取引の実務』（実教出版）

## II 学校図書館司書教諭講座

### 図書館学 I

やま ぎき けい こ  
山 崎 慶 子

小学校、中学校、高等学校各々の学校の教育目標を達成するために学校図書館はなくてはならぬ設備である。

人格形成期にある児童生徒たちが多くの事を学び教養や趣味を豊かに育てるためには、教科書の他にたくさんの資料が必要となる。児童生徒たちが生涯にわたって学ぶことの面白さを知る魅力ある学校図書館はどうあるべきか、そのためにはどのような研究や工夫が必要か。学校図書館を預かり教員の中心的存在として活躍する司書教諭の職務内容全般について、特に読書指導の意義及び資料利用の技能育成について考察を深めたい。

前期講義は「学校図書館通論」と「学校図書館の管理と運用」「図書館資料の選択」、後期は「学校図書館の利用指導」「読書指導」。

〔教科書〕図書館教育研究会『新編 学校図書館通論』改訂版（学芸図書）¥1,442

### 図書館学 II

みなもと しょう きゅう  
源 昌 久

この講義においては、司書教諭の資格を修得する上で必要な諸科目の内、主として資料組織法（分類法・目録法）について論じる。前期には分類法、後期には目録法を講じ、各々の概念的フレーム・ワーク、基本的規則およびコンピュータとの関連等について言及する。開講時に詳しいシラバスを示す。

〔教科書〕もり・きよし原編『日本十進分類法 新訂8版』（日本図書館協会）  
日本図書館協会目録委員会編  
『日本目録規則1987年版 改訂版』  
（日本図書館協会）

## Ⅲ 社会教育主事講座

### (1) 必修科目

#### 社会教育の基礎（社会教育概論）

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

社会教育の本質について理解を図ることを目的とする。その内容としておもに下記の事項をとりあげる。

1. 社会教育の意義 — 理念、歴史、現状、外国との比較、社会教育と学校教育
2. 多様な学習の機会
3. 社会教育の法と行財政
4. 社会教育の施設
5. 学習者の理解
6. 社会教育の内容と方法
7. 社会教育と生涯教育・生涯学習

〔教科書〕 碓井・倉内編『新社会教育』  
（学文社）¥2,000

〔参考書〕 『社会教育ハンドブック』  
（エイデル研究所）

〔教科書〕 永田良行著『成人教育への挑戦』  
（全日本社会教育連合会）¥773  
ジェルビ著『生涯教育』  
（東京創元社）¥1,500

#### 社会教育実習

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

実習前の指導 — これまでの実習の経験に学ぶ。

実 習 期 間 — 個別の訪問指導。

実習後の指導 — 個別の体験の整理・検討とそこから生ずる共通する課題の追求。  
〔例〕 社会教育職員の専門性とはなにか。

### (2) 選択必修科目

#### 社会教育計画

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

社会教育主事として社会教育計画を立てるに際して必要な事項について基礎的な理解を図る。社会教育の対象の理解と組織化、地域社会と社会教育、社会教育調査とデータの活用、社会教育事業計画、学習情報の提供と学習相談、社会教育と広報・広聴、社会教育施設の経営、社会教育の評価等が主な内容となる。

〔教科書〕 酒匂・村山他 共編著『生涯学習の方法と計画』（国土社）¥2,800

#### 現代社会の諸問題と教育

たか しま ひで き  
高 島 秀 樹

（P. 8）参照

#### 婦人問題と社会教育

や ぐち えつ こ  
矢 口 悦 子

女性問題（婦人問題）の現状を明らかにし、その解決にむけて取り組まれている諸活動を紹介・分析する。年間の予定としては、

- I. 女性問題を捉える基本的視点
- II. 日本における婦人運動の歴史
- III. 日本における婦人教育政策の歴史と現状
- IV. 国際的動向と女性学の発展
- V. 女性問題学習の実践  
（社会教育のなかでの実践・グループ・サークル等での実践、その他の活動・実践など）
- VI. 今後にむけての課題

という内容を考えている。

〔教科書〕 なし

〔参考書〕 授業中に紹介する。

#### 社会教育実習

かみ おか やす ひ  
上 岡 安 彦

##### 事前指導

社会教育分野の活動について講義

##### 実習期間

社会教育施設訪問指導

##### 事後指導

ジェルビ『生涯教育』によって自分の社会教育実習の体験を吟味し、日本の教育を考えてみる。

## 青少年問題研究

みな かわ ひろ よし  
皆 川 広 義

(P. 8) 参照

## 青少年指導演習

ひら の まなぶ  
平 野 学

青年期を生きる学生諸君が“青少年指導”について学ぶには微妙な難しさが伴う。まずかかわる側自身、自らをよく見つめていることが何よりも重要になってこよう。ここではこうした認識を土台に、青年心理学や臨床心理学、カウンセリング学等の立場から、現代の青少年の状況等論じつつ、その援助や指導のあり方について互いに学び合いたい。特に「演習」科目でもあることから、受講者各々の様々な体験（ボランティア等）の発表や小グループでの討議、更には話を聴く練習（ロールプレイ）や自己理解を深めるためのエクササイズ等、色々取り入れる形で進めていきたい。そしてそうした中、受講者自らの成長にも役立つような授業になればと思っている。

〔教科書〕特に使用しないが、プリント等適宜配布しつつ、色々紹介していきたい。

〔参考書〕河合隼雄『大人になることのむずかしさ』（岩波書店）  
同『カウンセリングを語る（上、下）』（創元社）

## 社会教育施設

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

1. 社会教育施設とは何か
2. 社会教育施設にかかわる人々
3. 公民館
4. 図書館
5. 博物館
6. 社会体育施設
7. その他の社会教育施設・関連施設
8. 社会教育施設をめぐる動向と課題

〔参考書〕適宜指示する。

## 図書館学 I

やま きき けい こ  
山 崎 慶 子

(P. 18) 参照

## 博物館学 I

くら た よし ろう  
倉 田 芳 郎

(P. 23) 参照

## 博物館学 II

たけ うち じゅん いち  
竹 内 順 一

(P. 23) 参照

## 企業内教育・職業訓練

しお かわ まさ と  
塩 川 正 人

「企業」は“生きもの”のように変貌し、成長してきます。企業の生きた姿を知ることは、卒業後の未来をつかむ上で必須の条件といえそうです。

本講座は、企業人教育20年の経営コンサルタントが、実践事例を中心に、企業論と人間論を、学生諸君と対話しつつ展開します。

★教職や社教主事を希望する諸君へは「採用試験合格」への決め手を、企業人教育の手法を活用して指導します。

★会社就職を希望する人へは、会社選択のノウハウを、個人別指導をしつつ展開します。

〔教科書〕なし

## 社会体育 I

ふる た じゅん こ  
古 田 潤 子

野口三千三氏の理論と方法論を基にして、私なりの考え方や方法を加味したものです。

“人間のからだはどうか” “いいからだとはどうなのか” “それにはどうしたらよいか” ということを動きを通じて考え、行動できるからだづくりを行います。

立つ・寝る・歩く等あらゆる姿勢に於て、地球の表

面と接触しているからだの最下部に全体重を任せきる  
ことの出来る能力と感覚を身につけます。

「社会体育Ⅰ・Ⅱ」は必ず対で履修すること。

〔参考書〕野口三千三著『原初生命体としての人間』  
(三笠書房) ¥980

## 社会体育Ⅱ

ふる た じゅん こ  
古 田 潤 子

人間の動きと道具との関係。

動きに於ける人と人との対話。

動きと呼吸との関係。

動きのイメージ。

効率のいい力の使い方。

あらゆる行動に対して最良の適応が出来る基本姿勢…等について動きながらたしかめ、自己発見していきます。

## 社会心理学

(前期) つば い つよし  
坪 井 健  
(後期) あな た よし ゆき  
穴 田 義 孝

社会心理学は、元来、社会学と心理学の境界領域にある現象を研究対象としてきた。従って、社会的アプローチと心理学的アプローチが並存しており、必ずしも統一されたものになっていない。

本講義は、個人の心理(行動)に影響を与える社会的諸条件に関心を持つ心理学的アプローチにも留意しつつ、現実の社会における人々の心理(行動)に関心を持ち、社会過程を重視する社会的アプローチを基調にして、社会生活をしている人々の社会心理諸現象の分析的な解明を目的としたい。

〔教科書〕穴田義孝編『ところ・行動そして社会』  
(人間の科学社)

## 視聴覚教育

いい もり あき ひこ  
飯 森 彬 彦

(P. 23) 参照

## 教育社会学

たか しま ひで き  
高 島 秀 樹

(P. 8) 参照

## 教育原理

(P. 1) 参照

## 教育調査

すず き のり お  
鈴 木 規 夫

(P. 9) 参照

## 教育心理学 (教育方法論を含む)

(P. 2) 参照

## 教育史

きた むら みつ こ  
北 村 三 子

(P. 9) 参照

## 青年心理学 (教育方法論を含む)

(P. 2・3) 参照

## 児童文化

か がわ よし しげ  
香 川 良 成

(P. 10) 参照

## 社会教育行政

ひがし とし たか  
東 寿 隆

前半は社会教育の法と行政について、戦後社会教育法制の動向をふまえて、社会教育行政の本質を考えてみる。

後半は、現在の生涯学習政策について、実態をふまえつつ、これからの社会教育行政の方向を考えたい。

〔教科書〕島田修一著『社会教育の自由と自治』

(青木書店) ¥2,000

〔参考書〕社会教育推進全国協議会編『社会教育・生涯学習ハンドブック』

(エイデル研究所) ¥3,500

## 成人学習論

ひがし とし たか  
東 寿 隆

前半では、成人の学習論について、社会教育の本質と実践事例などにもとづいて考えてみる。

後半では、地域づくりなどに果す学習の役割、新しい生活と文化の創造について考えたい。

〔教科書〕島田修一編『地域にくらしと文化をひらく』

(国土社) ¥1,700

〔参考書〕酒匂一雄・千野陽一・那須野隆一・村山輝吉・谷貝 忍共編著『生涯学習の方法と計画』(国土社) ¥2,800

## IV 博物館学講座

### (1) 必修科目

#### 博物館学 I

くら た よし ろう  
倉 田 芳 郎

学芸員課程の必修科目であり、社会教育主事課程の選択必修科目でもある。「博物館実習Ⅲ（見学）」ならびに「博物館学Ⅱ」と有機的に関連をもたせるので、同年度に併せて受講していただきたい。また、後期は午後いっぱい使って見学を行うことになるので、時間割を組むうえで、各自研究してもらいたい。なるべく2～3年生の時に受けておくことが望ましい。4年生で受けると、学芸員資格を卒業時に取得するのは難しいかもしれない。本講義は博物館の基本のみを講ずるので、2単位である。社教主事の資格を取得しようとする方は、「博物館学Ⅱ」（2単位）も履修することが必要である。受講方法について、誤りの無いようにしたいので、4月第1週の時間は必ず出席すること。

#### 博物館学 II

たけ うち じゅん いち  
竹 内 順 一

博物館の運営について、以下の項目を中心に実際例をとりあげる。①展覧会実施マニュアル ②パブリシティ ③インスタレーション ④美術館エデュケイター ⑤レジストレーション ⑥学芸員の研究 ⑦学芸員の文章と翻訳 ⑧外国における特別展の実施。これらを通して、将来の博物館像を追求し、専門家の分業体制とともにレジストラの役割の重要性を考える。

（しばしばレポート課題がある）

〔参考書〕講義時に指示する。

#### 教育原理

(P. 1) 参照

#### 社会教育の基礎（社会教育概論）

むら やま てる よし  
村 山 輝 吉

(P. 19) 参照

#### 視聴覚教育

い り もり あき ひ  
飯 森 彬 彦

まず、視聴覚教育の成立に至る歴史をたどり、視聴覚教育の理論と、その背景にある教育思想、コミュニケーション論・映像論などを紹介することにより、視聴覚教育とは何か探る。

次に、視聴覚教材を、ラジオ・テレビ・映画・OHP・ビデオ・パソコンなど、具体的に取り上げ、その特性、教材制作の過程、利用法などを紹介する。

最後に、情報化、国際化の進む社会で、今後ますます重要性を増すと思われる「メディア教育」について論じる。

〔参考書〕『メディアと教育』（小林出版）

#### 博物館実習 I（館務）

くら た よし ろう おお た き み こ  
倉 田 芳 郎 ・ 太 田 喜 美 子

博物館で10日間以上、学芸員の指導により実習を行なう。学芸員課程の必修科目である。この科目は学芸員課程の総仕上げでもあり、無条件に、誰でも履修できるわけではないので、年度第1週のこの科目の時間に必ず出席すること。欠席した場合は来年度履修することになる。

### 博物館実習Ⅱ（収集）

くら た よし ろう ところ り き お  
倉 田 芳 郎 ・ 所 理 喜 夫  
は ぬき まさ い えつ もり とも ゆき  
葉 貫 磨 哉 ・ 恵 津 森 智 行  
おお た き み こ  
太 田 喜 美 子

学芸員課程の必修科目である。詳しくは、年度第1週の講義時間に話すので、必ず出席すること。無断欠席のものは、受講できない。実習の種類・時期は下記の予定である。このうちの、1つを履修すればよい。

1. 考古学発掘調査 7月中旬から8月中旬
2. 民俗調査 12月か2月
3. 文書・石仏調査 9月下旬
4. 石仏調査 10月上旬

### 考古発掘実習

ち ぼ もと つぐ  
千 葉 基 次

一般的に言えば、考古学は机上の実習の一方で、遺跡を調査するための技術も必要とする。十分な技術は、一回の実習で身に付くと思えないが、いつの場合も基本・基礎の変わることはない。学友とこの基礎を、汗と泥にまみれて野外実習する経験も良いでしょう。新学期第1回目の授業は、必ず出席のこと。又、発掘実習には30日以上参加すること。

### 博物館実習Ⅲ（見学）

くら た よし ろう まつ もと のが みち  
倉 田 芳 郎 ・ 松 本 信 道  
おお た き み こ  
太 田 喜 美 子

学芸員課程の必修科目である。

都内および都周辺の博物館を見学する。博物館・学芸員の使命・役割を識るためには教室の講義だけでは不足である。そのため、現場で学芸員の方のご講義を承り、博物館運営上の諸問題について考えたい。実習の組分けを決定する関係上、今年度履修しようとする学生は、必ず4月第1週に出席すること。

## (2) 選択必修科目

### 日本文化史Ⅰ

ひろ せ りょう こう  
廣 瀬 良 弘

日本文化の流れを概観し、平安期末から江戸期にかけての文化について講述する。とくに中世文化の成立過程とその展開、北山・東山文化、禅宗と文化、下剋上の世と民衆文化、安土桃山文化と寛永文化、元禄文化、化政文化等について考察する。

### 西洋文化史Ⅰ

さ さ き まこと  
佐 々 木 真

今日、私たちがイメージする西洋文化とは、主に19世紀から20世紀にかけて、知識人たちの影響下で形成された、近代文化のことであろう。しかし、最近のヨーロッパ史研究では、前近代社会や民衆世界においては、今日と異なった文化が存在したことが指摘されている。本講義では、西洋の民衆文化を題材として、中世末から近代にかけての文化変容の問題を考えてみたい。具体的には、民衆の生活様式（人口動態、家族・労働形態、女性や子供の地位）や知の世界（読書行為、識字）、民衆の心性（価値規範、死生観）などを手がかりとして民衆の文化世界を考察する。教科書は特に指定せず、参考文献については必要に応じて授業時に紹介する。

### 西洋文化史Ⅲ

み こ だ とし お  
三 小 田 敏 雄

本年度は下記の教科書を使用して、〈西欧的結婚パターン〉や〈ライフ・サイクル奉公人〉というような西欧の特徴を通してヨーロッパの家族関係の変遷を辿りながら、文化の諸相におけるその具体的表現を学んで行く。

〔教科書〕ミッテラウア／ジューダー『ヨーロッパ家族社会史』（名古屋大学出版会）¥2,472

### 仏教民俗学

たに ぐち みつぎ  
谷 口 貢

仏教が日本社会に受容され、地域社会に定着するには、民間の習俗や信仰と接触し習合する過程があった。したがって、仏教と民俗信仰とのかかわりを追究することは、日本仏教の諸特徴を明らかにすることになる



といえよう。

講義では、各地の具体的な調査事例を紹介しながら、地域社会における寺院の機能に焦点をあて、仏教年中行事、葬送儀礼、先祖祭祀などについて考察を行うことにしたい。

〔参考書〕 必要に応じて紹介する。

## 仏教美術

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では仏教美術のルーツをインドに求め、その誕生の経緯と東漸のあとをたどり、その図像学的な解釈と信仰思想との関係、仏陀の伝記などを考察する。

後期は中国・朝鮮を経た仏教美術が、日本伝来後変容していく姿を、信仰思想の変遷とあわせて観察する。(スライド併用)

〔教科書〕 佐和隆研編『仏像案内』

(吉川弘文館) ¥1,900

〔参考書〕 その都度指示する。

## 現代美術

や の よう こ  
矢 野 陽 子

19世紀以降の美術の流れを鳥瞰しながら、あらゆる表現が試みられている現代美術を時代を追って検討していく。毎回スライド等で具体的に美術作品を見ながら、様式の革新、伝統の継承、作者の意図などを考察する。

## 禅美術

え び ね とし お  
海 老 根 聰 郎

日本の中世絵画には、伝統的な大和絵と、この時代に、中国から新たに流入した絵画を学んだ漢画がある。後者を作りだした環境は禅宗社会であり、画家も禅宗画僧である。講義は、この流れを黙庵、鉄舟、明兆、周文、雪舟などの画家を中心としてたどりながら、合わせて大和絵についても述べる。(毎回スライドを使用する)

## 美術史概説

なか じま りょう いち  
中 島 亮 一

前期では日本の原始時代から平安時代までの美術を、後期は鎌倉時代以後(できれば江戸時代まで)の美術を、時代の中で紀伝風にテーマ仕立てに分類し(例え

ば「明日香村の石造物」、「浄土教の美術」など)スライドなどをとおして考察し、それぞれの問題点も検討する。

〔教科書〕 久野健他『美術史〈日本〉』

(東京堂出版) ¥2,000

〔参考書〕 その都度指示する。

## 西域美術史

まつ たいら みわ こ  
松 平 美和子

西域から西アジアの遺跡から出土した美術品を東西美術交渉史の視点からながめ、いわゆるシルクロードの美術を考察しようとするものである。今年度はアフガニスタンの首都カーブルの北に位置するクシャーン朝の都の遺跡から出土した多様な遺宝を中心に、東西の美術をとりあげたい。(スライド使用)

〔教科書〕 特に定めず、プリントを使用する。

## 考古学概説 I (日本)

くら た よし ろう  
倉 田 芳 郎

日本考古学研究のための基礎知識について講義する。年度第1週目の授業には、必ず出席してほしい。

## 考古学概説 II (外国)

いい じま たけ つぐ  
飯 島 武 次

東洋考古学の概説を講義する。

〔参考書〕 飯島武次『夏殷文化の考古学研究』

1985年(山川出版社) ¥7,000

飯島武次『中国新石器文化研究』

1991年(山川出版社) ¥11,000

## 考古学特講 II

たか はま しゅう  
高 浜 秀

ユーラシア大陸の北を横切って、西はハンガリア平原から東は中国の北の大興安嶺まで続く草原地帯には、古来、南方の農耕地帯とは異なった独特の文化が栄えていた。初期鉄器時代になるとここには騎馬による遊牧が行われ始め、スキタイ系文化と呼ばれる互いにきわめて共通点の多い幾つかの文化が成立することになる。講義では、その前段階である青銅器時代から始めて、この地帯の文化を考えていきたい。

## 考古学特講Ⅳ

い い じま なけ つぶ  
飯 島 武 次

中国青銅器文化の研究。夏・殷・兩・周の考古学的研究を講義する。

〔参考書〕飯島武次『夏殷文化の考古学研究』

(山川出版社) 1985年¥7,000

飯島武次『中国新石器文化研究』

(山川出版社) 1991年¥11,000

## 日本民俗学

な ぐち みつぎ  
谷 口 貢

民俗学は世代をこえて伝承されてきた習俗・慣習の考察を通して、日本社会に展開する生活文化を究明する学問である。民俗はよく「民族」と混同されるので注意を要する。本年度は「日本人の一生」をめぐる民俗文化に焦点をあてながら、生活文化のなかにおいて何が変化し、何が持続しているかを検証し、われわれの現在の生活のありようを再考することにした。本講義は、民俗学をはじめて学ぶ人のための入門編として、基礎的視点をしっかりと把握できるように配慮がなされる予定である。

〔参考書〕必要に応じて紹介する。

## 宗教人類学

さ とう のり あき  
佐 藤 憲 昭

人類に根源的・普遍的な文化のひとつに憑霊文化がある。日常語で「私はツイテイル」という場合のツキとは、神霊・精霊が憑いていることを本来は意味するが、日常の会話ではツキの正体を不問にしている。神霊・精霊が憑いている現象・信仰は憑霊現象とか憑霊信仰と呼ばれるが、その内容は多岐にわたっている。本講では、宗教人類学の成立史、構成内容、方法などについて具体的に解説した後に、日本を含むアジアの憑霊文化を取り上げて、さまざまな角度から考察する。そして憑霊文化を通して「人間とは何か」という問題に接近してみたい。

〔教科書〕佐々木宏幹『宗教人類学』

(講談社学術文庫)

佐々木宏幹『仏(ホトケ)と霊(タマ)の人類学』(春秋社)

〔参考書〕佐々木宏幹・村武精一編『宗教人類学』

(新曜社)

小松和彦『憑霊信仰論』(講談社学術文庫)

## 地形学Ⅰ

こ いけ がず ゆき  
小 池 一 之

地理学の基礎、地形学史から講義をはじめ、川・海の作る地形を中心にする。地形事変が国の内外で起こったときは、出来るだけ、それらの解説も加える。講義は、プリント、スライド、ビデオを使ったわかりやすいものにした。 (内容は最先端の知見を含む)

〔教科書〕貝塚ほか編『写真と図でみる地形学』

(東大出版会) ¥4,532

## 地質学

かい つか そう へい  
貝 塚 爽 平

前期には、関東・東海地方でみられる、地震・火山・地層・岩石・地質構造・地殻変動などを解説しつつ一般論に及ぶ。また、日本列島ないし地球規模でおこる地質現象(たとえば大洋底の運動・造山運動・海面変動・気候変動・氷床の形成・サンゴ礁の形成)についても講ずる。後期には主として外国の地形・地質を一般論を交えて解説する。

# V 社会福祉主事講座 社会福祉士基礎

## 社会福祉原論

いとう しゅういち  
伊藤 秀一

本講では、受講生がこれから社会福祉を学ぶ者であることに留意しつつ、まず、社会福祉の概念を整理することから始めたい。

次いで、社会福祉の生成過程、制度的なしくみ、各分野の現状に論及する。

さらに、社会福祉の今日的課題を講述し、一応の体系的な把握に努めたい。

〔教科書〕仲村優一著『社会福祉概論』  
(誠信書房) ¥1,700

## 社会福祉原論

はら だ しんいち  
原 田 信一

社会福祉は、時代に即応し、個人のニーズに合致した福祉サービスの支援を要求する。そこには提供者と利用者(対象者)間における対人的・非貨幣的援助活動のもつ比重が著しく大きくなり、従来までのような物的・貨幣的救済を主とした、福祉問題の彌縫的・応急的対応では、最早、包摂できない状態にきている。

それらのことをふまえて、本講では時代要請に応える専門的原理の探究をおこないたい。

〔参考書〕原田他 共著『新しい社会福祉の理論』  
(高文堂出版社)

## 老人福祉論

とう じょう みつ まさ  
東 條 光 雅

人口の急速な高齢化が進む中、家族形態・機能の核家族化と相まって、老後問題に対する社会的関心が非常に高まっている。老後問題は、今後一層の深刻化が予想され、老人福祉施策は近年流動的に変化している。わが国においては、約30年後に超高齢化社会の到来が予測されるわけであるが、現状改善という視点からだけでなく、長期的な展望と広い視座から老人福祉対策の在り方を考えてゆくことが必要である。

本講では、老人福祉施策の歴史的変遷はもとより、現状認識を深め、今後の老人福祉サービスを考える上で重要な老人を取り巻く社会的諸状況の変化や、関連

する制度・政策についても理解が得られるよう講じてゆきたい。

〔教科書〕冷水 豊・浅野 仁・宮崎昭夫編『老人福祉』第3版(海声社) ¥2,000

〔参考書〕三浦文夫編『図説 高齢者白書1993』  
(全社協) ¥2,800

## 障害者福祉論

はら だ しんいち  
原 田 信一

わが国の障害者福祉の発展過程をその淵源に遡りつつ体系的に講ずる。内容面では、人権の認識を基盤においた正当性のある障害者観、そして今後、激動化によって惹起が予測される障害者問題発生メカニズムを究明する。さらに、その対応方法、政策、ならびに処遇のあり方などに加え、欧米先進諸国における障害者福祉との対比から、わが国の障害者福祉に見直しを必要とする新たな課題構築点などに重点をおき講じたい。

〔教科書〕星野・藤村・原田・井田編『障害福祉論入門』〔改訂版〕(有斐閣)

〔参考書〕(1)原田・春見・佐藤著『新しい社会福祉の理論』(高文堂)

(2)原田・吉田編『心身障害児(者)の心理・教育・福祉』(文化書房博文社)

## 児童福祉論

かしわ め れい ほう  
柏 女 霊 峰

児童福祉とは、理念的には人格主体として理解されながら、実際には自分たちの立場を主張したり、それを守ることができない児童に代わって、国、地方自治体、保護者及び社会全体が、その生活と発達、自己実現を保障する活動の総体であると考えられる。

本講では、最新の資料に基づきながら、児童福祉の理念、児童を取り巻く環境、制度体系、サービスの現状と課題、児童福祉の方法について論述するとともに、出生率の低下、児童虐待、不登校等の今日的・個別の課題についても言及し、現代社会とのつながりの中で児童の福祉について考えてみたい。

〔教科書〕柏女霊峰『児童福祉論考』(仮称)誠信書房(近刊)

〔参考書〕別途作成する『児童福祉資料集』をコピー

の上、使用する予定。

## 社会保障論

さか た しゅう いち  
坂 田 周 一

社会保障の理念、概念、歴史をふまえて、社会保障制度のしくみならびに運営を理解し、高齢化社会に対応できる社会保障制度の改政課題を考察する。

〔教科書〕古賀昭典編著『社会保障論』  
(ミネルパ書房) ¥2,600

## 公的扶助論

い どう しゅう いち  
伊 藤 秀 一

本講の中心的なテーマは、わが国の生活保護制度をどのように位置づけ、どのように方向づけるかである。講義内容としては、上述した問題意識のもとに、以下の項目について講じていく予定である。

1. 現代社会と公的扶助
  2. 低所得問題対策の概要
  3. 生活保護制度のしくみ
  4. 生活保護の最近の動向
  5. 生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方
- なお、テキスト等については開講時に指示する。

## 地域福祉論

わ だ とし あき  
和 田 敏 明

地域福祉を基調とする社会福祉の転換が、地方分権化、社会福祉供給システムの多様化、責任主体の多元化を伴い進展している。平成5年度からは、老人福祉法等8法改正の完全実施が行われ、市町村福祉時代が始まり、地域福祉の現実化が新しい段階を迎えた。講義では、地域福祉の理念と内容、推進方法、地域福祉の現状について基礎概論を講ずるとともに、それを実践動向に即して深めたい。

〔教科書〕改訂社会福祉士養成講座7  
『地域福祉論』(中央法規) ¥2,500  
〔参考書〕永田幹夫著〈改訂〉『地域福祉論』  
(全国社会福祉協議会) ¥2,060

## 心理学(福祉)

いの うえ たか よ  
井 上 孝 代

欧米諸国において、社会福祉実践の方法論として心

理学が広汎に取り入れられているという現況に基づき、社会福祉にかかわる基礎科学として心理学の分野全般を講義する。

重点的な内容としては、①人間の心理学的理解における心理機能と基礎的概念、②人間の成長発達の様相と障害、③人間理解の学説および諸理論の実際、④心理学的援助の技術と実践など、社会福祉士の養成における指定科目である「心理学」で学ぶべき内容を整理する。

教科書の指定は特に行わないが、必要に応じて資料、参考プリントなどを用意する。

## 社会学(福祉)

はし つめ さとし  
橋 爪 敏

この講義は、「社会学」についての基本的な知識を提供する事を目的とする。『改訂 社会福祉士養成講座12/社会学』をテキストとしてその内容を把握し、社会学独自の社会現象の見方や考え方を理解する。

したがって、テキストに即して、社会学の歴史、社会集団、現代社会の諸問題などを論じていく。参加学生数によっては講義以外の方法も併用したい。

〔教科書〕福祉士養成講座編集委員会編『改訂社会福祉士養成講座12/社会学』  
(中央法規出版)  
〔参考書〕安藤喜久雄ほか編『社会学概論』、『わかりやすい社会学』(学文社)

## 法学(福祉)

けい とく ひろ とう  
鶏 徳 啓 登

我国の福祉政策は、憲法に根拠を有し、個々の法令に基づいて国家によりなされている。そこで本講義は、テキストに従い、まず憲法の意義・原理原則を一通り説明し、次に各福祉法に共通する行政法総論をやり、最後に福祉六法を各論的に行う予定である。

〔教科書〕小林弘人編著『社会福祉のための法入門』  
(川島書店)  
〔参考書〕福祉六法等教場にて説明します。

## リハビリテーション論

はら だ しん いち  
原 田 信 一

リハビリテーション領域のなかで、学問的にいちじるしく遅れをみせているのが社会リハビリテーションであるといわれている。この分野は、内蔵する問題が広汎・多岐に亘っているばかりか、いずれも現実的で、しかも難解な社会福祉問題を抱えていることがいちじ

るしい遅滞をもたらす原因になっているといわれる。そこで、本講義はとくに、社会リハビリテーションの基本問題をふまえ、社会・文化的環境を考察し、政策と実践的方法論、それらを支える隣接科学面ならびにリハビリテーションの国際的展望等について概説したい。

〔教科書〕講義ノートによる。

〔参考書〕随時指示する。

## 社会福祉計画論

かわ いてい もと ゆき  
川 延 宗 之

社会福祉が問題対応的なサービス提供から、予防福祉的な側面も強調されるに従って、そのサービス提供を組織的計画に行おうとする傾向が増してくる。この傾向の内容や課題そして方向について、ソーシャルワークの側面から、社会福祉政策の側面から、整理するとともに、その実際の計画内容や計画技法について学ぶのが、本講の課題である。なお、社会福祉計画は一国の計画として考える事は可能であるが、多くは社会福祉サービスの特徴上、特定のエリアにおける地域福祉計画として考える必要がある。本講では、以上の様な点について、指定するテキストを中心に、相互学習方式による学習を展開する予定。なお、受講予定者は必ず第1回を受講する事。

〔教科書〕① 高田真治『社会福祉計画論』

(誠信書房) 1979年

② R. パールマン A. グリン著 岡村重夫監訳『コミュニティ・オーガニゼーションと社会計画』1980年

(全国社会福祉協議会版) ¥2,800

③ 全社協編『地域福祉計画 — 理論と方法 —』1984年

(全国社会福祉協議会版) ¥1,300

## 医療福祉論

はる み しず こ  
春 見 静 子

医療とは何か。医療の歴史、医療福祉の歴史、医療の分野で社会福祉援助活動を行うために必要な知識と技術を学ぶ。

1. 医療論 医療の概念、医療の場、与え手と受け手医療法、現代医療の問題点
2. 医療領域のソーシャルワーク 歴史、意義、機能、方法、機関
3. 医療ソーシャルワークの実際 事例を通して医療福祉の実際を学ぶ

〔教科書〕山川哲也『臨床医療ソーシャルワーク』

(誠信書房) ¥2,500

## 婦人福祉論

はやし ち よ  
林 千 代

戦後のある時期登場した“婦人福祉”という概念は、いまだ成熟しているとはいえない。唯一、女性を対象としている社会福祉事業は、売春防止法に基づいて制度化されている婦人保護事業である。しかし、女性という特性ゆえに遭遇する生活上の困難は多様であり、何らかの解決策を必要としている。

売買春問題を基底に据えて、婦人保護事業の現実から女性の福祉阻害の実態をとらえ、女性の人権復権の検討を課題としたい。それは当然、男性の人権侵害を問い考えることになる。

〔教科書〕特になし

〔参考書〕林 千代著『母子寮の戦後史』

(ドメス出版)

## 家族福祉論

たか はし げ ひろ  
高 橋 重 宏

現代の家族生活の問題と課題を解説する。さらに、「家族」、「家庭」、「家庭機能」等の概念を整理するとともに、ファミリー・サービスのあり方についても北米における事例を紹介しつつ検討したい。

とくに国連が定めた国際家族年の原則、目的、スロガン等についても講述する。

## 保健福祉論

あん め ととき え  
安 梅 勅 江

急速な人口の高齢化や国際化、地方の時代といった社会構造の大きな節目と相まって、福祉に対するニーズは大きく変貌してきており、わが国の保健・医療・福祉の諸領域は、今や連携から統合化の時代へと推移しつつあると言える。

従って、本講義では、人間の生涯における身体的・精神的・社会的に健康で豊かな生活を維持する原理及び方法論の希求を目的とした保健福祉学の理念に基づき、健康を機軸に据えた真の生涯福祉のあり方について理論的な整理を行う。さらに、学際的学問領域としての保健福祉学の概念、歴史、方法論を踏まえ、保健福祉の実践に根ざした体系につき概説する。

〔教科書〕日本保健福祉学会編 平山宏宗・高山忠雄

## 社会福祉発達史

はやし                      ち                      よ  
林                              千                      代

いつの時代にも、人々の生活不安は自然の変化と社会の変動によって生み出されてきたといえる。社会の変動期には、常に多くの問題が生じ人々は生活困難におちいった。社会事業は資本主義社会の成立とともに生成した。主に、英国、日本を中心に（部分的に米国にもふれる）社会福祉へ至る歩みを講述する。対象の存在と問題解決の方法、方法の意図や施策の背景をなす社会福祉の思想その関連等が内容となる。一定の歴史的産物である社会福祉、その本質は何か、その現状は等々を考えるためにこそ、歴史を学ぶ意義がある。

〔教科書〕今岡 他 編『社会福祉事業発達史』

（ミネルヴァ書房）

〔参考書〕随時紹介

## 海外社会福祉論

なか                      の                      こ  
中                              野                      いく子

前半では、福祉国家を世界で最初に成立させたイギリスを中心に社会福祉・社会保障のアイデアとその政策・制度的変遷を講じる。

後半では、北欧やヨーロッパ諸国、アメリカなどの福祉国家の実情と現在直面している問題について学習・討論することにした。その他に、受講生の関心があれば、アジア諸国の社会福祉についても取り上げたい。

講義だけでなく、受講生に活発に検討してもらおう授業にしたいので、意欲ある学生の受講を望む。

〔教科書〕開講時に指示する。

〔参考書〕社会保障研究所編『イギリスの社会保障』  
『フランスの社会保障』『西ドイツの社会  
保障』『スウェーデンの社会保障』『アメ  
リカの社会保障』（東大出版会）

# 付 録

研 究 所 案 内

国 家 試 験 に つ い て



# 研 究 所 案 内

## 法 学 研 究 所

本学には大学直属の研究機関として幾つかの研究所があるが、法学部学生諸君に関係するものとして「法学研究所」を紹介しておきたい。

昭和47年4月に設立された法学研究所は、現在、(1)研究部、(2)研修部、の2部から構成されている。研修部は、国家試験の受験指導等を企画担当している。現在、司法試験の主要科目について特別のカリキュラムを用意し、弁護士による講義を実施するとともに、本学の司法試験合格者および弁護士による特別ゼミを随時行なうと同時に、学界、法曹会等から講師を迎えて、司法試験関係の講演会を開催している。

本学の在学学生・卒業生であれば研修部会員になれるが、

そのためには、所定の手続をふまなければならない。また、研究所内の特別研究室において専用の机と書架を利用して勉強に専念できる特別研究室室員を希望する者は所定の入室試験に合格しなければならない。入室試験は、基礎的事項について行う。(ただし、試験の日時、試験科目等については、年度により変更があるので、掲示等に注意すること。)

国家試験等の受験を志望する学生は、法学研究所の研修部を利用することが合格への近道である。詳細については、法学研究所の事務局(体育館2F Tel. 3418-9553)に問い合わせさせていただきたい。

## マ ス ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 研 究 所

### 1. 本研究所の主旨

本研究所の学生指導の主旨は、1)現代の情報・社会的確に把握し、将来、新聞・テレビ・出版・広告などのマス・メディアをめざす諸君を育成すること、2)希望する学生諸君にマス・コミ各分野を研究してもらい、そのための機会をいろいろなかたちで提供することにある。

本研究所の授業・各コースは、今日のマス・コミ研究のラインに従って慎重に組まれている。これらは学部の授業(単位)とは全く別個なもので、自主的な学習意思があれば原則としてだれでも自由に学ぶことができる学習の場である。

マス・コミ界をめざしている諸君、あるいは自分の可能性を広げようとする多くの諸君の来訪を待っている。

尚、入所試験は4月下旬～5月上旬および10月中旬の年二回、論文及び面接によって行なわれる。

くわしくは、本研究所事務局(体育館2F Tel. 3418-9556)まで。

### 2. 開 講 科 目

下記の講座の中から1年間に2～4科目を履修する。また、授業は原則として5時限・6時限に行うので学部の授業とは重ならないように配慮してある。

マス・コミュニケーション論・国際比較マス・コミュニケーション論・文章表現論・情報システム概論・電子計算機実習・現代広告論・テレビ報道論・比較テレビ論・国際報道論・時事英語など。またそのほか、時に応じて、特別講義・講演などを開講している(いずれも学内外教員、もしくはマス・コミの第一線で活躍中の新聞論説委員、記者、等によって担当される)。開講科目、内容については本研究所事務局(体育館2F Tel. 3418-9556)まで。



# 国家試験について

## 〔1〕司法試験について（司法試験法）

1. (目的) 司法試験は、裁判官、検察官又は弁護士となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定することを目的とする国家試験である。
2. (司法試験の種類) 司法試験は、第1次試験及び第2次試験に分けられる。
3. (第1次試験及びその免除について) 第1次試験は、第2次試験を受けるのに相当な教養と一般学力を有するかどうかを判定することをその目的として行われるものであるから、本学において、学士の称号を得るために必要な一般教養科目（一般教育科目の人文・社会・自然の各分野にわたり、合計36単位以上及び第1外国語8単位、第2外国語4単位、計12単位以上）の履修を終った者については、免除される。
4. (第2次試験) 第2次試験は、第1次試験の合格者又は免除された者について、裁判官、検察官又は弁護士になろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを判定することを目的として行われるもので、短答式及び論文式による筆記並びに口述の方法によって、次の通り実施される。
  - (1) 試験科目等
    - a. 短答式による試験は、憲法・民法・刑法の3科目について行なわれる。
    - b. 論文式による試験は、短答式による試験に合格した者について、次の6科目について行なわれる。
      - (ア) 憲法、民法、商法、刑法、民事訴訟法又は刑事訴訟法の5科目。
      - (イ) 民事訴訟法、刑事訴訟法、行政法、破産法、労働法、国際公法、国際私法、刑事政策のうち選択1科目。なお、(ア)において民事訴訟法及び刑事訴訟法を選択しなかった場合に限り、民事訴訟法及び刑事訴訟法は選択することができる。
    - c. 口述試験は、筆記試験に合格した者につき、その者の論文式試験において受験した6科目について行なわれる。
  - (2) 第2次試験は、いずれも知識を有するかどうかの判定に偏することなく、その理解力、推理力等についても判定される。
  - (3) 第2次試験の論文式試験の合格者の1部を受験期間が短い者から定めることができる。
  - (4) 筆記試験（短答式及び論文式試験）に合格した者については、その申請により、次の筆記試験が免除される。
5. (司法試験の施行) 司法試験は、毎年1回以上実施され、その期日及び場所はあらかじめ官報をもって公告される。

6. (合格者の決定方法等) 司法試験の合格者は、司法試験審査委員の合議によって定められ、合格者には、合格証書が授与される。
7. (受験手数料) 第1次試験 4,500円、第2次試験 11,000円
8. 合格者の数は、700人。  
なお、受付期間、申込方法、採用人員等については、東京都千代田区霞ヶ関1の1法務省司法試験管理委員会に照会すること。

## 〔2〕国家公務員採用Ⅰ種試験について

1. 国家公務員採用Ⅰ種試験とは、従来の国家公務員採用上級試験の甲種の名称が変更されたもので、各省庁の上級係員又は試験研究機関の研究員として事務、技術又は研究の業務に従事する。
2. 受験資格  
学歴・性別などによる制限はなく、試験が行われる年度の4月1日における年齢が21歳以上33歳未満の者。
3. 試験方法
  - 第1次試験
    - a. 教養試験（多肢選択式）－公務員として必要な一般的知識および知能についての筆記試験。
    - b. 専門試験（多肢選択式）－下記の各区分に応じて必要な専門的知識・技術などの能力についての筆記試験。
  - 第2次試験
    - a. 専門試験（記述式）－第1次試験と同じ。
    - b. 総合試験（記述式）－総合的な判断力、思考力などの能力についての筆記試験。
    - c. 人物試験－人柄などについての個別面接。
4. 試験期間  
第1次試験6月中旬、第2次試験が7月中～下旬、最終合格者の発表は8月中旬。  
なお、試験の詳細については人事院任用局試験課（Tel. 3581-5311）または人事院の各地方事務局に照会するように。  
<区分>  
行政、法律、経済、心理、教育、社会、数学、物理、地質、情報工学、電気、電子、機械、土木、建築、化学、材料工学、資源工学、農業、薬学、農業経済、農芸化学、農業工学、畜産、林学、水産、砂防、造園。

## 〔3〕国家公務員採用Ⅱ種試験について

1. 国家公務員採用Ⅱ種試験とは、上級乙種試験と中級試験を統合して「将来の行政の第一線を担い得よう

な有能な人材を確保するため、大学卒業程度の能力を有する者の採用を充実していくことを目的とした試験で、各省庁の中級係員として事務・技術又は研究業務などに従事する。

## 2. 受験資格

学歴・性別などによる制限はなく、試験が行われる年度の4月1日における年齢が21歳以上29歳未満の者。

## 3. 試験方法

### 第1次試験

- 教養試験（多肢選択式）－公務員として必要な一般的知識および知能についての筆記試験。
- 専門試験（多肢選択式）－下記の区分に応じて必要な専門的知識・技術などの能力についての筆記試験。
- 専門試験（記述式）－図書館学、技術系、農業系区分のみ。
- 論文試験－行政のみ。

### 第2次試験

- 人物試験－人柄などについての個別面接。

## 4. 試験期間

第1次試験7月上旬、第2次試験が8月上～中旬、最終合格者の発表は9月上旬。

なお、試験の詳細については人事院任用局試験課（Tel. 3581-5311）または人事院の各地方事務所に照会するように。

### 〈区分〉

行政、図書館学、物理、電気・電子、機械土木、建築、化学、資源工学、農学、農業土木、林学。

## 〔4〕 裁判所職員（裁判所事務官）採用 I 種 試験 について

1. 裁判所の機構は大別すると裁判部門と司法行政部門に分けられますが、各裁判所の司法行政部門において、裁判部門が行う裁判権の行使に必要な人的・物的機構を供給し、事務の合理的・効率的な運用を図る等のいわばハウスキーピング的な事務を主として行う国家公務員を裁判所事務官といい、これらの人を採用する試験が、裁判所事務官採用試験である。

## 2. 受験資格

学歴・性別などによる制限はなく、受験する年度の4月1日現在、21歳から26歳未満の者。

## 3. 試験方法

### 第1次試験

- 教養試験（択一式）－一般的知識及び能力についての筆記試験。
- 専門試験A（択一式）－憲法・民法・刑法の専門的知識及び能力についての筆記試験。
- 専門試験B（択一式）－憲法・民法・刑法及び民事訴訟法又は刑事訴訟法の専門的知識及び能力についての筆記試験。

### 第2次試験

- 専門試験（論文式）－一次試験と同じ4科目の専門的知識および理論の応用能力についての筆記試験。
- 教養試験（論文式）－課題に対する識見、判断力及び理解力についての筆記試験。
- 口述試験－主として人物及び専門的素養について面接による試験

## 4. 試験期間

第1次試験6月中旬、第2次試験は7月中旬、口述試験は7月中旬から下旬にかけ指定する日に行われる。最終合格者の発表は8月下旬。

なお、試験の詳細については、最高裁判所事務総局人事局任用課試験係（Tel. 3264-8111）へ照会するように。

## 〔5〕 裁判所職員（裁判所事務官）採用 II 種 試験 について

1. I種試験とほぼ同じ方法で実施されるが、問題数、出題分野などはI種試験に比べて少なくなる。

## 2. 受験資格

I種試験と同じ。

## 3. 試験方法

### 第1次試験

- 教養試験（択一式）－I種試験と同じ。
- 専門試験A（択一式）－I種試験と同じ。

### 第2次試験

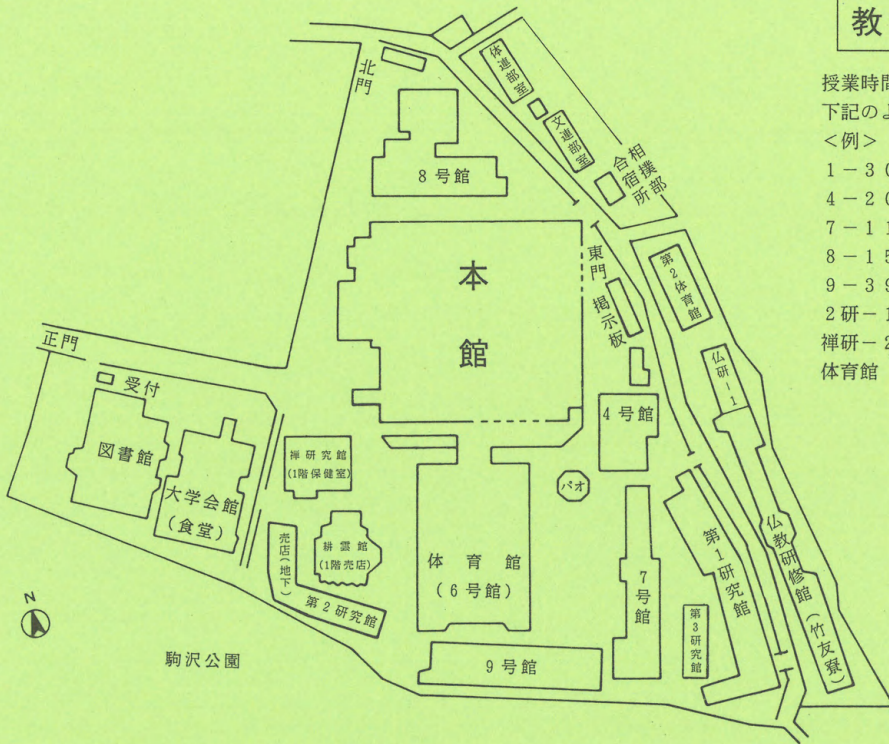
- 教養試験（論文式）－I種試験と同じ。
- 専用試験（論文式）－憲法についての専門的知識および理論の応用能力についての筆記試験。
- 口述試験－I種試験と同じ。

## 4. 試験期間

第1次試験は6月中旬、第2次試験は7月中旬、口述試験は7月中旬から8月上旬にかけ指定する日に行われる。最終合格者の発表は9月上旬。

なお、試験の詳細については、最高裁判所事務総局人事局任用課試験係（Tel. 3264-8111）へ照会するように。

# 駒澤大学の構内図



## 教場案内

授業時間表に載っている教場は下記のように見て下さい。

<例>

1-301	本館(1号館)3階
4-204	4号館2階
7-110	7号館1階
8-150	8号館1階
9-390	9号館3階
2研-101	第2研究館1階
禅研-201	禅研究館2階
体育館	体育館2階

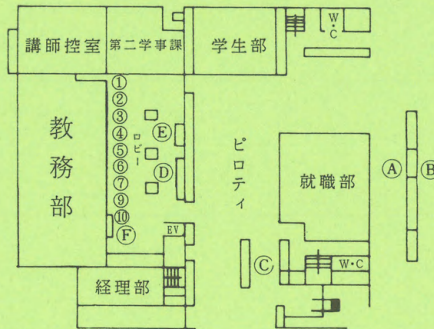
(ただし選択種目により第2体育館になる)

## 各事務室・掲示板配置図

### 教務部窓口

- ① 教職課程  
学校図書館司書教諭講座
- ② 博物館学講座  
社会福祉主事講座  
社会教育主事講座
- ③ 科目等履修生 聴講生 卒業証書
- ④ 証明書(教務関係)申込受付・発行  
<健康診断書および在学証明書は学生部>  
※ 諸証明書申込用紙は経理部前にあります。
- ⑤ 諸届願  
休学・復学・退学・死亡  
改氏名・本籍地変更・保証人変更・保証人住所変更
- ⑥ 大学院関係・留学生関係  
卒業論文(仏教学部・文学部)
- ⑦ 転部転科
- ⑧ 履修・試験・成績・学業相談  
学部演習(仏教学部・経済学部  
法学部・経営学部)
- ⑨ 時間割変更・休講・外国語指定届

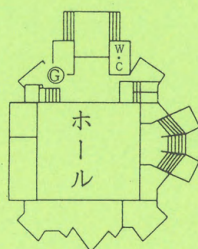
### 本館1F



### 掲示

- Ⓐ 第1掲示板(表面)  
公示・告示・学生部・就職部関係連絡事項, 教務部関係(試験・教職・研究室等)連絡事項, その他
- Ⓑ 第2掲示板(裏面) - 臨時掲示板 -  
教務部関係連絡事項(12月~3月)  
就職部関係連絡事項(8月)
- Ⓒ 第3掲示板 - 臨時掲示板 -  
教務部関係連絡事項(12月~3月)  
就職部関係連絡事項(4月~11月)
- Ⓓ 休講掲示板・ビデオ教場使用一覧(当日)
- Ⓔ 授業時間表カウンター・教場変更掲示板
- Ⓕ 大学院・留学生関係掲示板
- Ⓖ 国際センター掲示板
- Ⓖ 留学生専用・海外留学掲示板  
学外諸機関からの案内・募集広告等

### 耕雲館2F



### 体育館1F

